

**ニジェール共和国  
住民参画型学校運営改善計画  
フェーズ  
終了時評価調査報告書**

平成 22 年 2 月  
( 2010 年 )

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部

人 間
J R
10-013

**ニジェール共和国  
住民参画型学校運営改善計画  
フェーズ  
終了時評価調査報告書**

平成 22 年 2 月  
( 2010 年 )

**独立行政法人国際協力機構  
人間開発部**

## 序 文

サハラ以南アフリカ諸国のなかでも最貧国の1つであるニジェール共和国は、「教育開発10カ年計画（PDDE）2003-2012」において、初等教育総就学率を2002年の41.7%から2012年までに94%まで向上させることを目標としている。また同計画では、学校運営に係る権限を中央省庁から学校運営委員会（COGES）へ委譲することを骨子とする地方分権化政策を柱のひとつとして掲げている。この政策は学校をとりまく地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校活動計画策定から運営資金の管理、教員の管理などの権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動などの責任をもたせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGESは機能していなかった。そこでニジェール共和国政府は日本に対しCOGES政策を具現化するための技術協力を要請し、これに基づき、2004年1月から2007年7月まで「住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）」が実施された。

フェーズ Ⅰ では、学校運営における住民参画を効果的に促進するCOGES戦略が打ち出され、対象地域のタウア州及びザンデル州においてその有効性が実証された。2007年4月にはプロジェクトの同戦略が国民教育省により採用され、公式なモデルとして認められた。この承認を受け、ニジェール共和国政府は同モデルを全国（当初約9,000校、現在は約1万校）に普及することを決定したうえで、全国普及とモデル発展のための技術協力を日本に要請し、2007年8月から3年間の予定で本プロジェクトが開始された。

今般、2010年7月末のプロジェクト終了を控え、プロジェクトの終了時評価調査を実施することを目的として、調査団を派遣し、ニジェール共和国政府や関係機関との間でプロジェクトの進捗状況の確認と経済協力開発機構開発援助委員会（DAC）評価5項目に基づいた評価、今後の方向性に関する協議を行った。

本報告書は、この調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開、さらには類似プロジェクトの効率的実施のために活用されることを願うものである。

最後に、本調査にご協力頂いた内外の関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

平成22年2月

独立行政法人国際協力機構

人間開発部長 萱島 信子

# 目 次

序 文

目 次

地 図

略語表

評価調査結果要約表

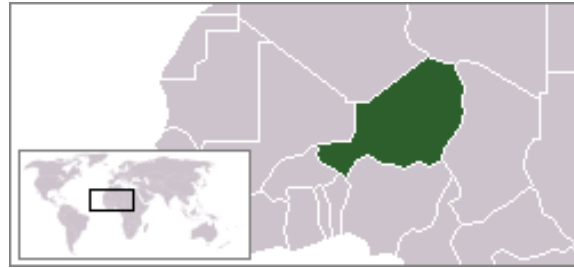
第 1 章 終了時評価調査団の概要	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	2
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	3
第 2 章 プロジェクトの概要	4
2 - 1 基本計画	4
2 - 2 プログラムにおける位置づけ	4
2 - 3 プロジェクト・デザイン・マトリックス	4
2 - 4 実施体制	4
第 3 章 終了時評価の方法	6
3 - 1 評価グリッドの作成	6
3 - 2 評価実施方法	6
第 4 章 計画達成度	8
4 - 1 投入実績	8
4 - 2 活動実績	8
4 - 3 成果の達成状況	8
4 - 4 プロジェクト目標の達成状況	13
4 - 5 上位目標の達成状況	16
第 5 章 終了時評価結果	17
5 - 1 評価5項目による評価	17
5 - 2 貢献要因と阻害要因の検証	22
5 - 3 結 論	23
第 6 章 提 言	24
6 - 1 短期的な観点からの提言（プロジェクト終了まで）	24
6 - 2 中・長期的な観点からの提言	24

第7章 類似プロジェクトへの教訓	26
------------------	----

付属資料

1. ミニッツ（英文）	31
別 添	
・投入実績	
・プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）	
・活動計画表（PO）	
・評価グリッド調査結果	
2. ミニッツ（仏文）	81
別 添	
・投入実績	
・プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）	
・活動計画表（PO）	
・評価グリッド調査結果	
3. 評価グリッド調査結果（和文）	136
4. 団長所感	153
5. 面談・視察録	155

対象地域：ニジェール共和国全土







COGES 委員への聞き取り (ザンデール)



APP クラブの活動 (ザンデール)



COGES 運営のコミュニティ幼稚園  
(ザンデール)



コミュニティ幼稚園手作りの児童教材  
(ザンデール)



COGES 連合から感謝状を贈られた COGES 担当  
官 (ザンデール)



小学校訪問 - COGES に関する寸劇 (ドッソ)



COGES 担当官会議 (ドッソ)



COGES 連合事務局員民主選挙 (ティラベリ)



ミニッツ協議



合同調整委員会



ミニッツ署名



## 略 語 表

略 語	正式名（英語名）	日本語
AFD	Agence Française de Développement	フランス開発庁
APP	Activités pratiques et productives ( Practical and productive activities )	生産実習活動
CFEPD	Certificat de fin d'études de premier degré	初等教育修了試験合格率
COGES	Comité de Gestion des Établissements Scolaires ( School Management Committee )	学校運営委員会
CP/COGES	Cellule de Promotion des COGES ( Section of Promotion of COGES )	COGES 推進室
DEP	Direction des Études et de la Programmation ( Department of Studies and Programming )	調査計画局
DGEB	Direction General de l'Enseignement de Base ( Department of Basic Education )	基礎教育総局
DREN	Direction Régionale de l'Education Nationale ( Regional Office of National Education )	州国民教育事務所
EPT	Ecole Pour Tous ( School for All )	みんなの学校プロジェクト
FCC	Fédération Communale des COGES	COGES 連合
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteers	青年海外協力隊
MEN	Ministère de l'Education Nationale ( Ministry of National Education )	国民教育省
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ
PADEB	Projet d'Appui au Développement de l'Education de Base ( Project of Support for the Development of Basic Education )	基礎教育開発支援プロジェクト
PDDE	Programme Décennal de Développement de l'Education ( Ten-Year Educational Development Plan )	教育開発 10 カ年計画
PDM	Schéma d'Elaboration du Projet ( Project Design Matrix )	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan d'Opération ( Plan of Operations )	活動計画表
PTF	Partenaires Techniques et Financiers ( Technical and Financial Partners/Donors )	ドナー
R/D	Record of Discussions	討議議事録
UNICEF	United Nations Children's Fund	国連児童基金

## 評価調査結果要約表

担当部：人間開発部基礎教育第二課

1. 案件の概要	
国名：ニジェール共和国	案件名：住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズ
分野：基礎教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部基礎教育第二課	協力金額（評価時点）：3.68億円
協力期間（R/D）： 2007年8月1日～2010年7月31日（3年間）	協力相手先機関：国民教育省
他の関連協力：なし	
<p>1 - 1 協力の背景と概要</p> <p>サハラ以南アフリカ諸国のなかでも最貧国の1つであるニジェール共和国（以下、「ニジェール」と記す）は、「教育開発10カ年計画（Programme Décennal de Développement de l'Éducation : PDDE）2003-2012」において、初等教育総就学率を2002年の41.7%から2012年までに94%まで向上させることを目標としている。また同計画では、学校運営に係る権限を中央省庁から学校運営委員会（Comité de Gestion des Établissements Scolaires : COGES）へ委譲することを骨子とする地方分権化政策が柱のひとつとして掲げられている。この政策は学校をとりまく地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校運営計画策定から運営資金の管理、教員の管理などの権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動などの責任をもたせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGESは機能していなかった。そこでニジェール政府はわが国に対し、COGES政策を具現化するための技術協力を要請し、この要請に基づいて2004年1月から2007年7月まで「住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズ」（以下「フェーズ」）が実施された。</p> <p>フェーズでは、学校運営における住民参画を効果的に促進するCOGESモデルが構築された。対象地域のタウア州及びザンデル州においては同モデルの有効性が実証され、2007年4月に国民教育省が主催した国家COGES実施戦略セミナーでは同モデルが公式なモデルとして承認された。この承認を受け、ニジェール政府は同モデルを全国（当初：約9,000校、現在は約1万校）に普及することを決定したうえで、全国普及とモデル発展のための技術協力をわが国に要請し、2007年8月から3年間の予定で「住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズ」（以下「フェーズ」）が開始された。</p> <p>これまでに長期専門家4名（チーフアドバイザー/教育アドバイザー、COGESモニタリング、学校活動計画、能力強化/業務調整）を派遣してきている（「学校活動計画」専門家は2009年12月に帰国）。また、全国普及時の研修実施にあたっては、世界銀行からの資金協力を得るなど、世界銀行との連携も図られている。</p> <p>1 - 2 協力内容</p> <p>COGESの全国普及とモデル発展を目的に、機能するCOGESの全国普及に向けた行政官、校長、教員及び住民の能力強化、設置されたCOGESのモニタリング体制の構築、パイロット地域（タウア州・ザンデル州）においてCOGESを通じた教育改善活動のモデル構築、を行うもの。</p> <p>（1）上位目標</p> <p>COGESによる学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。</p>	

(2) プロジェクト目標

全国の小学校に機能するCOGESを設置し、維持するためのCOGES政策実施体制が強化される。

(3) 成果

1. 機能するCOGESを全国に設置するためにさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。
2. COGESのモニタリング体制が構築される。
3. パイロット地域(タウア州及びザンデル州)においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。

(4) 投入(評価時点)

日本側: 合計 3.68億円

長期専門家派遣	4名(112MM)	機材供与	2,869万3,000円
短期専門家派遣	1名(1.83MM)	ローカルコスト負担	1億6,872万4,590円
研修員受入れ	2名		

相手国側:

カウンターパート配置	12名	機材購入	なし
土地・施設提供	なし		
ローカルコスト負担	世界銀行支援による研修費		

2. 評価調査団の概要

調査者	団長・総括 原 雅裕 JICA国際協力専門員/人間開発部課題アドバイザー 教育企画 梅宮 直樹 JICA人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課 調査役 協力企画 丸山 真司 JICA評価部事業評価第二課 評価分析 伊藤 治夫 ICONS国際協力株式会社
-----	--

調査期間	2010年1月18日(月)~2月11日(木)	評価種類: 終了時評価
------	------------------------	-------------

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果

成果1: 機能するCOGESを全国に設置するためにさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。

全国の州国民教育事務所長(Direction Régionale de l'Education Nationale: DREN)、COGES監督官、県視学官、COGES担当官を対象にワークショップ、セミナーが実施され、地方行政官の能力が強化された。また、対象州すべてにおいてCOGES設立及び学校活動計画の実施に係る研修実施プログラムが策定され、フェーズ から新規に対象となった6州で、6,579名の校長(計画の99.5%)がCOGES委員の民主選挙に関する研修を受講し、1万3,267名のCOGES委員(計画の98.5%)が学校活動計画策定に関する研修を受講した。なお、研修実施経費は世銀が支援した。

成果2: COGESのモニタリング体制が構築される。

COGES連合モデルは、2008年7月に国民教育省主催のワークショップにて公式に承認され、同年10月に省令が發布された。

COGES連合の設立と機能化については、タウア・ザンデルではフェーズ 実施中に99のCOGES連合が設立された。見返り資金運用開始の遅れによってCOGES担当官によるモニタリングが中断された期間、COGES連合の総会・事務局会合の実施回数に低下がみられたが、2009

年2月より見返り資金のディスパースメントが開始され、それ以降は月例会議が計画どおり実施されている。新規6州については、アガデスを除く5州の151コミュニティのうち、アクセスが困難なディッフア州の2コミュニティを除くすべてのコミュニティでCOGES連合が設立された。なお、アガデスに関しては治安状況悪化のため、COGES連合設置研修の実施が見合わされている。

地方行政官によるモニタリングについては、タウア・ザンデルではCOGES担当官が定期的にCOGES連合を巡回し、モニタリングを実施している。COGES担当官月例会議も定期的に行われており、COGES監督官がCOGES担当官を監督・支援している。

フェーズで新たに対象となった6州ではCOGES連合は2008/2009の中盤において設立されたばかりであり、分析を行うのは時期尚早である。しかしながら、タウア州及びザンデル州ではCOGES連合がプロジェクトの初期に設立されていることもあり、2008/2009年度においては両州のCOGES連合のうち82%が少なくとも年3回の住民総会及び年6回の事務局会合を行っている。したがって、2009/2010年度において、新規対象州でも目標の達成の可能性は高いと考えられる。

### 成果3：パイロット地域（タウア州及びザンデル州）においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。

2006年にタウアの3COGESに導入されたCOGESが運営主体となるコミュニティ幼稚園は、国連児童基金（United Nations Children's Fund：UNICEF）との連携の下、急速に拡大し、タウア、ザンデルの両州で165園に達した。両州の園児の数は1万人を超えていると想定される。コミュニティ幼稚園の設立は初等教育へのアクセスに対しても大きく貢献しており、例えば2州の園児のほとんどは小学校へと進学している。また、2008年8月には機能するCOGESが運営主体となるコミュニティ幼稚園モデルが公式モデルとして承認された。さらに、「コミュニティ幼稚園設置のためのガイドライン」がタウア及びザンデルでのパイロット活動を通じて策定され、同ガイドラインは2009年12月に開催されたワークショップにおいて公式に承認され、プロジェクト関係者に情報共有が行われている。

また、マラディ、タウア、ティラベリ、ザンデルの95%以上のCOGES連合が、フォーラムで決定した特定テーマへのコミットメントを引き出すことを目的とした総会を開催している。ドッソ州については、本評価調査の1カ月前にフォーラムが行われたため、現在そのモニタリングが実施されている。

### （2）プロジェクト目標：全国の小学校に機能するCOGESを設置し、維持するためのCOGES政策実施体制が強化される。

新規対象6州において6,577校（計画の97.1%）が民主的にCOGESを設置し、COGES設置に関する議事録を県視学官事務所に提出した。全国における民主的なCOGESの設置が達成された。COGESの機能度を測る指標となる学校活動計画策定について、2008/2009年度は全国で7,333校（計画の70.2%）が県視学官事務所に学校活動計画を提出した。他方、年間活動総括表については、全COGESの49.7%に当たる5,195のCOGESがこれを提出しているが、ほとんどの州において目標は達成されておらず、更なる努力が必要である。

### （3）上位目標：COGESによる学校運営を通じて、基礎教育の質とアクセスが向上する。

フェーズが開始された2004年以降、国民教育省とドナーの協力の結果、ニジェールにおける基礎教育の質とアクセスに関する指標には、改善が見られる。国民教育省とJICAは、プロジェクトを通じたCOGESの設置と機能化が教育指標の改善に大きく貢献しているという認識を共有した。

### 3 - 2 評価結果の要約

#### (1) 妥当性：非常に高い

教育の地方分権化の一環として住民参画型の学校運営を促進することはニジェール政府の教育開発10カ年計画（PDDE）2003-2012に明記されており、ニジェールの国家政策に合致する。日本は、第4回アフリカ開発会議（TICAD）において「みんなの学校」モデルを通じた学校運営改善プロジェクトを西アフリカにおいて1万校に拡大することを表明しており、日本の援助政策に合致している。

現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。住民参画による教育開発は、政府のリソースが限られているニジェールにおいて適切なアプローチである。また、民主選挙によるCOGES代表の選出は、メンバーのモチベーションを向上させ、COGESの機能化及び住民総会を通じた透明性の確保に貢献している。

#### (2) 有効性：高い

民主選挙により全国の97.1%の学校でCOGESが設立された。一方でCOGESの機能度及びCOGES連合を中心としたモニタリングの機能に左右される学校活動計画並びに活動総括表の提出率は、現時点においては目標値を下回る。今後、COGES連合による総会の開催がピークを迎えることから、回収率の向上が期待され、プロジェクト終了時までの目標達成が期待される。また、3つの成果（関係者の能力強化、モニタリングシステム構築、教育改善モデルの構築）は、それぞれにプロジェクト目標の達成に貢献しており、適切に設定されている。

#### (3) 効率性：高い

プロジェクトは限られた資源を有効に活用し、成果を産出している。プロジェクトの前半時点で見返り資金運用開始とCOGES担当官用バイク供与の遅延によるモニタリング体制の構築の遅れにより、目標が達成されていない成果もあるが、おおむね順調に成果が発現している。

プロジェクトが実施する研修は、必要最低限の研修経費、期間及び研修内容による実施が強調されている。このようなミニマムパッケージを用いることでCOGES設立の全国への普及を可能としている。他方、プロジェクトの対象が全国レベルであるにもかかわらず、少人数の日本人専門家及び現地スタッフでプロジェクトが運営されている。これは高い効率性をもたらしている一方で、個々のスタッフに負担を強いる結果となっている。活動の質を担保するためにも、業務負担の軽減が求められる。

#### (4) インパクト：非常に大きい

国家教育統計によれば、フェーズ開始の2004年以降、上位目標である総就学率、修了率などニジェールの教育指標には改善がみられる。これらの教育指標の向上には多くの貢献要因が考えられるが、各州への踏査による関係者へのインタビューの結果、プロジェクトを通じたCOGESの設置と機能化がその大きな貢献要因になっていることが確認された。

また、フォーラム・アプローチにより、例えば、ザンデルでは2007年5月から女子就学促進キャンペーンが、タウアでは2008年4月から女子就学促進キャンペーン、2009年3月からは入学した女子に対する残留キャンペーンが実施されたことによって、女子入学登録者数が大幅に増加すると同時に、入学登録者における男女比率（女子数/男子数）について両州において向上がみられるなどのインパクトが発現している。

さらに、コミュニティ幼稚園の普及により就学前教育就学児童数が大きく増加している。ニジェールの特に農村部での就学前教育へのアクセス拡大はPDDEの目標としてもその点が掲げられており、国家教育政策の実現に寄与している。また、コミュニティ幼稚園の普及による就学前教育の拡大は初等教育における女子教育の推進、学校運営の改善等に正の影響を



与えることが報告されている。

(5) 自立発展性：中

政策面については住民参画型の学校運営を促進することは教育開発10カ年計画（PDDE）に明記されている。COGES、COGES連合のモデルは国家レベルで公式化されており、政策面の自立発展性は高いと判断される。

組織・財政面については中央レベルにCOGES推進室、州レベルにCOGES監督官、県レベルにCOGES担当官が配置されており、COGES政策を持続的に推進する組織体制は整備されている。モニタリング経費は現在見返り資金から支出されているが、同資金の運用終了後の予算手当てについて今後検討していく必要がある。

技術面についてはCOGES監督官、COGES担当官はCOGESの全国普及に関する研修を成功させ、研修実施能力を実証した。COGES連合、COGESに対するモニタリング能力、技術支援能力については、COGES担当官月例会議等を通じて強化が図られている。また、限られた資源での継続的なモニタリング体制の構築のため、視学官に対する能力強化がフォーラムを開催した州の月例会議の際に実施されている。視学官の能力強化を図り、COGESモニタリングを通常業務として地方教育行政に組み入れることはCOGESのモニタリング体制の維持につながる。

3 - 3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

フォーラムの開催前後で、活動の成果が関係者に目に見える形で現れるようになった。プロジェクトの成果の可視化は、コミュニティ、教員や教育行政官がCOGES活動に対してより積極的になるための最も重要な要素であるといえる。

プロジェクトはCOGESを通じてコミュニティのリーダーや住民も学校の問題について議論を行う機会を得ることにより、コミュニティが自らのニーズを満たすための能力強化の支援を行い、コミュニティのオーナーシップの醸成に大きな役割を果たしている。

フォーラム・アプローチにおいては、州のリーダーや視学官などのすべての教育関係者のコミットメントを引き出し、特定テーマに基づいて策定される学校活動に対して、その責任の所在を明確にすることで成果の発現に大きく貢献している。

3 - 4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

一部の地方で治安の悪化がみられ、2009年12月以降日本人専門家によるモニタリング活動が制限されるなどの影響がみられた。現時点では活動の制限に伴う負のインパクトはみられないが、今後の治安の悪化への対応策について検討が行われている。

3 - 5 結論

以上のとおり、自立発展性については中程度である一方、妥当性、有効性、効率性、インパクトともに高く、総じて高く評価できる。本フェーズにおいて、プロジェクトは、COGESの関係者の能力強化を行い、CCOGES担当官とCOGES連合による集会型モニタリングという新しい

形のモニタリング体制の確立のため、モデルの実証、承認、全国普及を行い、その体制の確立の努力を続けている。また、プロジェクトは、住民と行政が連携し一体となった地域の教育開発のモデルとして、フォーラム・アプローチを開発し、その実施によりニジェールの教育開発に多大な貢献をなしたほか、更に地域の教育開発を強化するために、州レベルの視学官会議を提案し、その開催を支援した。現在は制度化され、その活動も大きな成果を出しつつある。また、COGESのイニシアティブにより開始され、その実施を支援し、モデル化を行ってきたコミュニティ幼稚園も、現在は園児数も1万人を越しモデル承認が行われ、ニジェールの公式なモデルとなった。

このように大きな成果を残しているフェーズ であるが、COGES連合の機能化とそのモニタリング体制に関し、試行期間が短かったため、その目標を達成できなかった。このため、調査団とニジェール側は、協議のうえ、目標達成のためにプロジェクト期間を1年間延長することを関係機関に提言することについて合意した。

### 3 - 6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

#### （１）COGESモニタリング体制における各関係者の役割の明確化とその強化

現在のCOGESのモニタリングは、COGES担当官及びCOGES連合が中心となっているが、行政レベルでは、当然、DREN、視学官、指導主事、校長などの関係者の役割が重要であり、政策的にはその役割の明確化が求められる。

#### （２）COGESモニタリング体制確立のための努力の継続

昨年、COGES連合の全国普及が終わり、COGES連合を通じたモニタリングが始まったが、全国における実施期間がまだ短く、現在体制整備の努力を継続している。今後、この体制の更なる強化が必要である。

#### （３）COGESモニタリング予算の確保

現在、COGES担当官のモニタリング経費や月例会議等のCOGESモニタリング予算は、見返り資金から支出されているが、見返り資金後の予算の確保が必要である。

#### （４）フォーラム・アプローチの経験の集約・記録

フォーラム・アプローチは、国民教育省や住民の教育開発需要に沿った形で、また、住民を中心とした活動を国民教育省が支援する形で大きな成果を上げてきた世界でもまれに見る住民と行政が一体となった効果的なアプローチである。フォーラム・アプローチの経験を集約し記録として取りまとめることが必要である。

#### （５）プロジェクト実施体制の強化

プロジェクトは、活動が全国に広がり業務量が増し、専門家の業務量が増大しており、短期専門家の派遣でのプロジェクト実施体制の強化が必要と思料される。

#### （６）COGES連合、コミューン及び教育行政の関係強化

本来、地域の教育開発、地方分権化からみれば、COGES連合、コミューン及び教育行政上の各関係者（DREN、視学官、指導主事、校長など）が協力して、地域の教育改革を行っていくことが望まれる。2008年にCOGES連合とコミューンの関係は省令で明確化されたが、その連携は、地域により濃淡がある。今後は、その連携を強化するための連絡会議等を常設し、3者の恒常的な協力強化を行っていく必要がある。

(7) フォーラム・アプローチの構造化、永続化

フォーラム・アプローチは、住民の力を最大限に引き出し、地域の教育開発に大きな成果を上げ、ひいては、ニジェール全体の教育の改善に大きな貢献を行っている。しかし、その実施は単発的であり、継続性には問題がある。このフォーラム・アプローチ及びその効果を持続化・永続化するための仕組みを考えていく必要がある。

(8) COGESの更なる能力強化

プロジェクトの開発したCOGES機能化モデルは、プロジェクトフェーズ、フェーズを経て、全国普及を行い、その結果、COGESが住民を動員した活動により、ニジェールの教育改善について大きな成果を上げてきた。しかし、住民が動員できる資源には限りがあり、今後、外部の資源の導入も考慮されていかなければならない。外部の資源導入にあたっては、更なる計画能力強化及び資源の管理運営能力強化を行っていく必要がある。また、教員養成校での養成内容にCOGESに関する研修を含める必要がある。

(9) コミュニティ幼稚園の全国普及支援戦略確立

プロジェクトとUNICEF、国民教育省が連携して開発したコミュニティ幼稚園モデルは、大きな成果を出し、制度化された。今後は、3者が協力して全国普及に取り組むべきであると思慮されるが、全国普及に向けた取り組み、戦略はまだ確立されていない。この戦略の確立の努力が求められる。

3 - 7 教訓（当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄）

(1) 普及可能なモデルの形成

フェーズでは、フェーズIで開発されたCOGESの普及モデルを実際に普及することに成功している。ミニマム・パッケージと呼ばれる研修の効率化（現地語の使用やシミュレーションの導入、研修対象人数の削減）、研修期間の短縮、地方行政官のモニタリングの合理化等を経て確立されたCOGES普及モデルの有効性が証明された。モデル形成に際して、モデルを広範囲に普及し、実証、モニタリングを実施したうえで、モデルの改善を行うといったPDCAサイクル<sup>1</sup>を確実に実行した結果、普及可能なモデルの確立が可能となっている。同時にモデルの有効性の広範囲での実証は、国民教育省、ドナーに対する説得力を高め、モデルの省令化、普及費用の獲得につながっている。

(2) 開発ニーズの明確化と技術協力の強みの活用

プロジェクトのめざす全国レベルでのCOGESの機能化は、ニジェールをはじめとするアフリカ諸国で進む地方分権化に伴う教育分野のニーズに対応したものである。プロジェクトは日本の技術協力の強みを生かして、現場のニーズを拾い上げ、住民の自主性を引き出すアプローチを用いることで、教育指標を改善し、他ドナーによる協力との差別化を実現した。プロジェクトの計画段階において、国家政策との整合性の有無を確認するのみでなく、その開発課題の本質を分析し、技術協力の強みを生かした戦略を立てることで、相手国政府のもつ開発ニーズを満たす協力が可能となる。

(3) フォーラムを通じた成功体験の活用

各州でのフォーラムにおいては、単に教育上の問題を探すだけでなく、その問題を解決するところまでをセットとして流れをつくることで、各アクターに成功体験を提供し、オーナ

<sup>1</sup> PDCAサイクルとは、Plan、Do、Check、Actionの4ステップから成る活動の継続的改善である。

ーシップの醸成が図られている。成功体験を得るためには、問題を自らの手で解決させ、その成果を顕在化させることで、各アクターがその成果を実感することが必要となる。

#### (4) 世銀との連携

本プロジェクトはわが国の技術協力と世銀との連携により全国展開を実現した貴重な事例であり、貴重な教訓が得られている。国家教育開発戦略に強い影響を与えている世銀との連携は、国民教育省からコミットメントを引き出し、また資金面においてプロジェクトの有効性を向上させた。一方で、世銀からのバイク供与の遅延によるCOGESモニタリング体制の構築の遅れ、世銀の資金で実施されるCOGESへの研修の質の担保の難しさなど、プロジェクトの進捗を妨げる外部要因も生んでいる。外部のリソースをプロジェクトの根幹となる活動に用いる際には、調達システムに関して十分に理解する必要があると同時に、その投入が実施されなかった場合のリスクヘッジなどを考慮して、プロジェクトデザインを行う必要がある。

## Overview of Final Evaluation Survey Results

**Dept. in Charge:** Basic Education Division II, Human Development Dept.

<b>1. Outline of the Project</b>	
<b>Country :</b> Republic of Niger	<b>Project Title :</b> Support to the Improvement of School Management through Community Participation (“School for All”) Phase II
<b>Issue/Sector :</b> Basic Education	<b>Cooperation Scheme :</b> Technical cooperation project
<b>Division in Charge :</b> Basic Education Division II, Group 1, Human Development Dept.	<b>Total Cost (evaluation point) :</b> 368 million yen
<b>Period of Cooperation (R/D):</b> 3 years from August 1, 2007 to July 31, 2010	<b>Partner Country’s Implementing Organization :</b> Ministry of National Education
	<b>Supporting Organization in Japan :</b>
<b>1-1 Background of the Project</b>	
<p>Republic of Niger (hereafter referred to as Niger), one of the poorest countries in sub-Saharan African countries, is aiming to improve the gross enrollment rate of primary education from 41.7% in 2002 to 94% by the year 2012 under the Ten-year Educational Development Plan (PDDE) 2003-2012". In this plan, transfer of the school management authority from the central government to School Management Committee (COGES) in each primary school has been listed as one of the important pillars of the decentralization policy. This policy outlines that the authority of planning school management, administration of operational cost and teachers should be transferred to community residents living in the vicinity of schools, and assigns a responsibility on awareness raising campaigns for the promotion of school enrollment by placing community residents as central actors in school management. Initially, however, COGES was not fully functioned due to the absence of the implementation strategy to realize the policy into practice. The government of Niger therefore requested the Japanese government for a technical cooperation project to realize the COGES policy. Based on the request, the Project on Support to the Improvement of School Management through Community Participation (“School for All”) Phase I (hereafter referred to as Phase I) was carried out from June 2004 to July 2007.</p> <p>In Phase I, the COGES model was established to promote the efficient community-based school management. The effectiveness of this model has been proved in the target regions of Tahoua and Zinder, and then the model was approved as an official model at the COGES implementation strategy seminar held by Ministry of National Education (MEN) in April 2007. Responding to this approval, the government of Niger decided to disseminate this model over all schools (originally for around 9,000 schools, but around 10,000 schools at present) and a technical cooperation project to disseminate and improve this model was requested to Japan. As a result, the Project on Support to the Improvement of School Management through Community Participation (“School for All”) Phase II (hereafter referred to as Phase II) was initiated for three years from August 2007. Four long-term experts (Chief Advisor/Education Advisor, COGES Monitoring, Development of COGES Initiatives, and Capacity Development/Coordinator) have been dispatched so far (the assignment of the expert of Development of COGES Initiatives ended in December 2009).</p> <p>Phase II is aiming at (1) developing capacity of government officials, school principals, teachers and community residents to disseminate functioning COGES nationwide, (2) building the monitoring system for installed COGES, and (3) establishing a model of school improvement activities conducted by COGES in pilot areas (Tahoua and Zinder regions).</p>	



## 1-2 Contents of Cooperation

### (1) Overall Goal

The quality of and the access to basic education are improved by school management through community participation

### (2) Project Purpose

Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide

### (3) Outputs

Output 1: The capacity of actors related to COGES is developed at all levels

Output 2: A COGES monitoring system is established

Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established

### (4) Input (up to the point of Final Evaluation)

Japanese side: Total 368 million yen

Long-term experts (4 persons) (112M/M) Provision of equipment 29 million yen

Short-term experts (1 person) (1.83M/M) Operation cost 169 million yen

Counterpart training in Japan (2 persons)

Nigerien side:

Counterparts (12 persons) Provision of equipment: n.a.

Provision of land and facility: n.a.

Operation cost: Training cost financed by the World Bank

## 2. Outline of Evaluation Study Team

Members of Evaluation Team	Leader	Mr. Masahiro Hara	Senior Advisor, JICA
	Education Planning	Mr. Naoki Umemiya	Assistant Director, Basic Education Division II, Basic Education Group, Human Development Department, JICA
	Cooperation Planning	Mr. Shinji Maruyama	Staff, Evaluation Division II, Evaluation Department, JICA
	Evaluation and Analysis	Mr. Haruo ITO	Consultant, Social System Department, ICONS International Cooperation Inc.
Period of Evaluation	From January 18, 2010 to February 11, 2010		Type of Evaluation: Final Evaluation

## 3. Outline of Evaluation Result

### 3-1 Verification of Outputs (results, degree of achievement of overall goal and project purpose)

#### (1) Output of the Project

Output 1: The capacity of actors related to COGES is developed at all levels

The capacity of local officers has been enhanced through the workshop and seminars for Regional Office of National Education (DREN), regional COGES supervisors (PFs), district inspector and district COGES officers (ORs). 6,579 school principals (99.5% of planned number) have participated in the training on democratic election of COGES members, and 13,267 COGES members (98.5% of planned number) have also participated in the training on the development of school action plans in the six regions which have been newly targeted from Phase II of the project. Training expenses have been supported by the World Bank.

Output 2: A COGES monitoring system is established

A model of FCC was formally approved at a workshop organized by the MEN in July 2008, and the

ministerial ordinance was promulgated in October 2002. For the establishment and activation of FCC functions, 99 FCC have been established in the Tahoua and Zinder regions in Phase I of the project. Although the slow-down of COGES monitoring, the reduction of frequency of general assemblies and committee meetings were identified as some problems due to delays in disbursement of the Counterpart Fund, the monthly meetings have been held as planned after the recommencement of the Counterpart Fund disbursement in February 2009.

In six newly targeted regions except Agadez in which the training for the FCC establishment has been postponed due to the deterioration of the security situation, FCCs have been established in all the 151 communes in those five regions except two communes in Diffa with access difficulty.

In terms of the monitoring by local government officials, the district COGES officers are in charge of the regular visits monitoring on FCC activities. Meanwhile, the monthly meeting for COGES officers has been regularly carried out. Through these activities, district COGES officers are directed and supported by the regional COGES supervisors. Since FCC in six target regions of Phase II was only founded in the middle of 2008-2009, it is too early to make analysis of the project outcomes. However, 82% of FCCs have been held at least three general assemblies and 6 committed meetings in Zinder and Tahoua regions in which FCCs were established in the early stage of the project period.

#### Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established

The community pre-schools run by communities, initially introduced to three COGESs in Tahoua in the year 2006, have been rapidly expanded and 165 pre-schools in both Tahoua and Zinder regions have been established to date under the cooperation with UNICEF. The number of pre-schools pupils in both regions is expected to be more than 10,000. The establishment of community pre-schools has also contributed greatly to the access to primary education because most pupils, for example, tend to enroll in primary schools after finishing these pre-schools in both regions. In August 2008, the community pre-school model run by COGES was approved as an official model. In addition, "the guideline for the establishment of community pre-school" was developed through pilot activities in Zinder and Tahoua, and the guideline was approved formally at the workshop held in December 2009 and in this workshop the information was shared among project stakeholders. In addition, more than 95% of the FCCs in each of Maradi, Tahoua, Tiraberi and Zinder region has held a general assembly for the propose to elicit a commitment to the educational theme decided at the forum. In Dosso region, the monitoring is still working progress as the forum was held just one month before the final evaluation.

## **(2) Project Purpose**

### Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide

6,577 schools (97.1% of the planned number) in th six newly target regions have democratically established COGES and submitted minutes on the establishment of COGES to district inspection offices. As a result, the indicators which show the establishment of COGES nationwide through democratic processes have been achieved. In terms of the submission rate of a school action plan which indicates the function level of COGES, 7,333 schools (70.2% of the planned number) across the country have submitted an action plan to district inspection offices. On the other hand, only 5,195 COGES, which is 49.7% of all COGES, have submitted an annual report. Thus, more effort is required because the target submission rate has not been achieved yet in most of the regions.

## **(3) Overall Goal**

The quality of and the access to basic education are improved by school management through

### community participation

Since Phase I of the project started in 2004, as results of the cooperation with the donors and MEN, the basic indicators of educational quality and access in Niger have been improved. JICA and MEN shared the perception that the establishment and activation of COGES has contributed greatly to improving these educational indicators.

## **3-2 Summary of Evaluation Result**

### **(1) Relevance : Very High**

As the enhancement of the community-based school management as part of the decentralization of educational administration is stipulated in the "PDDE", the project purpose corresponds to the national education policy in Niger. Community-based school management is also consistent with the Japanese aide policy as Japan pledged at TICAD IV to expand the school management projects to 10,000 schools in Western Africa through applying the "School for All" model. The Improvement of community-based school management based on the local needs meets the needs of children and community residents. The educational development with community participation is the appropriate approach in Niger considering limited resources of the government. The democratic election process of COGES representatives improves the motivation of COGES members and contributes to ensuring the activation and transparency of COGES.

### **(2) Effectiveness : High**

COGES have been democratically established in 97.1% of the schools nationwide. On the other hand, the submission rate of an action plan and annual report which is influenced by the capacity of COGES members and monitoring quality has not been achieved to the targeted level. However, holding the general assembly will reach a peak from now on. Thus, the achievement of project purpose by the end of the project period is expected through increase of the submission rate of an action plan and annual report.

### **(3) Efficiency : High**

The project well utilizes limited resources to produce the expected outputs. Though some outputs have not been realized due to delays in disbursement of the Counterpart Funds and supply of motorbikes for COGES officers in the early stage of the Project, the overall outputs have been smoothly generated.

The efforts to minimize training cost by reducing length and components of the training have been stressed in the project. This makes it possible for the project model to be disseminated nationwide. Though, the project targets all regions, the number of Japanese experts and local staff was minimized, so that the project enhances the efficient operation. In the meantime, it causes overload of the project members. The project should prevent this overload task to ensure the quality of the project activities.

### **(4) Impact : Very High**

According to the national statistic on the basic education, the indicators of the overall goal have been improved since Phase I of the project started in 2004. Although there are many factors that have influenced this improvement, it is identified through the interview to the Nigerian stakeholders that the establishment and activation of COGES by the project have contributed to this improvement of educational indicators.

Moreover, under the forum approach, Zinder region has conducted the girls' enrolment promotion campaigns in May 2007, and Tahoua region has also conducted the girls' enrolment promotion

campaigns in April 2008 and the retention campaigns for enrolled girl students in March 2009. As a result, positive impacts have been seen as the number of girl's registration has remarkably increased and the gender disparity rate (girls/boys) has been improved in both regions.

Besides, the pre-school enrollment rate has also been greatly increased due to the expansion of community pre-schools. While the improvement of the pre-school education access especially in rural areas of Niger is stressed in the objectives of PDDE, the project contributes to the realization of national education policy. The positive impacts of the expansion of pre-school education on promoting girl's education and improving school management at the primary level have also been reported through the introduction of community pre-schools.

#### **(5) Sustainability : Medium**

The enhancement of community-based school management as part of decentralization of educational administration is stipulated in PDDE. As COGES and FCC models have both been adopted as official models at the national level, the sustainability of the government policy is considered as high.

Concerning institutional and financial aspects, the section for promotion of COGES (CP/COGES) at the central level, COGES supervisors at the regional level, and COGES officers at the district level have been deployed. Thus, the organizational framework to promote sustainable development of COGES policies has been established. While the monitoring costs are paid out of the Counterpart Funds at present, it is necessary to consider the availability of the monitoring budget after the completion of the Funds.

For the technical aspect, regional COGES supervisors and district COGES officers demonstrated their sufficient capacity to conduct training through the successful implementation of training on the establishment of COGES and FCC nationwide. More than 1,000 primary schools are established each year in Niger. Regional COGES supervisors and district COGES officers have also responsibility to train these newly established COGES members. The capacity of monitoring and technical assistance for FCC and COGES has been strengthened through monthly meetings of COGES officers. In order for effective use of limited resources and the establishment of sustainable monitoring system, the capacity development of the inspectors has been implemented through the monthly meeting in the regions which had already held a forum. The capacity development of inspectors and incorporation of the COGES monitoring into a primary duty of the district educational administration will secure the sustainable COGES system.

### **3-3 Factors that Promoted the Realization of Effects**

#### **(1) Factors Concerning to Planning**

Not available.

#### **(2) Factors Concerning to the Implementation Process**

After holding the forum, tangible results of the project activities have been produced. The visualization of project results is the most important factor to stimulate the active participation of the community, teachers and education administrators in the COGES activities. The project successfully nurtures the ownership of community members through discussing educational issue of their schools in the COGES meetings, and through the discussion the members develop capacity to identify their needs and conduct activities to fill those needs by themselves. The forum approach which encourages the commitments of all inspectors and regional leaders, and assigns their responsibilities for school activities based on the specific educational themes also greatly contributes to generating project results.

### **3-4 Factors that Impeded the Realization of Effects**

#### **(1) Factors Concerning to Planning**

Not available.

#### **(2) Factors Concerning to Implementation Process**

The monitoring activities by Japanese experts have been restricted since December 2009 due to the deterioration of the security situation in some regions. Though significant negative impacts have not been seen so far, the measures against the security deterioration should be discussed for the future activities.

### **3-5 Conclusion**

In Phase II, the project enforces the capacity of stakeholders related to the COGES administration and makes a continuous effort to establish a new monitoring system which is carried out by COGES officers and FCC. This monitoring model has been formulated based on the verification, authorization and dissemination of the model. The project developed the forum approach as a model of school improvement activities based on the cooperation between community residents and government. The approach has generated a significant contribution to the educational development in Niger through its implementation. In addition to this, the project suggested to hold the inspector meeting at a regional level in order to promote the educational development at the community level. The inspector meeting is now institutionalized and it has generated major impacts on the project activities. The community pre-school which was initiated and supported by COGES has been modeled by the project, and it was approved as an official model of Niger. The community pre-schools currently accommodate more than 10,000 pupils. Although Phase II has produced several positive impacts, objectives with regard to the activation of FCC and its monitoring system have not been achieved due to the short trial period. Therefore, the government of Niger and the final evaluation team agreed to make a recommendation to extend the project period for one year based on the discussion.

### **3-6 Recommendations (specific measures, suggestions and advice)**

#### **(1) Clarifying and strengthening the roles of different players for monitoring COGES**

##### **(Recommendation for MEN)**

COGES officers and FCC have played a central role in COGES monitoring. However, different players in the decentralized educational administration body including DREN, inspectors, academic advisors, principals etc. are supposed to play important roles in monitoring as well. Thus it is highly required to define their roles in monitoring and the relevant policy.

#### **(2) Continuous efforts to establish a system of functional FCC (Recommendation for Project)**

The nationwide establishment of FCC was completed in 2009 and monitoring by FCC was started. However, the project still need to make a continuous effort to establish the monitoring system due to insufficient duration of the nationwide trial period. Therefore, the further reinforcement of the COGES monitoring system conducted by FCC is needed.

#### **(3) Securing budget for COGES monitoring (Recommendation for MEN)**

The expenses for the COGES monitoring including transportation expenses of COGES monitoring and expenses to hold monthly meeting have been allocated from the Counterpart Fund. It is needed to secure the budget for monitoring before Counterpart Fund ends.



**(4) Consolidation and documentation of experiences of the Forum Approach (Recommendation for Project)**

The forum approach is a unique and effective means for educational development in which the MEN supports community-driven activities based on the needs of both the MEN and the communities. Experiences of the forum approach should be consolidated and documented.

**(5) Strengthening project implementation (Recommendation for JICA)**

Since the workload of the project experts has been increased due to the nationwide dissemination of project effects, it is required to strengthen the implementation structure through the dispatch of short-term experts.

**(6) Strengthening the relationship among FCC, commune and different players in decentralized education administration body (Recommendation for MEN)**

In the perspective of regional development in education and decentralization, it is far desirable for FCC, commune and different players in education administration body to collaborate together for regional education reforms. Though the relationship between FCC and commune was clarified by a decree in 2008, its partnership varies in each region or commune. From now on, it is required to reinforce the partnership among the three by setting up a regular meeting.

**(7) Securing the sustainability of the Forum Approach (Recommendation for MEN)**

The forum approach has contributed to the regional educational development by bringing out the potential of community residents, and eventually to the educational development of the whole country. However, it is implemented intermittently, which would cause a problem of sustainability. Thus, the mechanism to secure the sustainability of this approach should be considered.

**(8) Further support for COGES (capacity, finance, material) (Recommendation for MEN and Project)**

The functional COGES model developed by the project Phase I and II has been established and spread out all over the country and greatly contributed to the educational improvement in Niger. Due to the limit of financial and material resources available in a community, however, introduction of external resources is to be taken into account for the coming future. Training for further strengthening planning and resource management skills is required before external resources are introduced. Moreover, training module on COGES should be included in the pre-service training program.

**(9) Making a strategy for the nation-wide establishment of the Community pre-schools (Recommendation for Project, UNICEF, MEN)**

The model of community pre-school developed jointly by the project, UNICEF and MEN has brought about remarkable outputs. The model has been approved and institutionalized by the Nigerien Government. Though continuously they are supposed to work together in order to establish and spread it nationwide, a strategy and approaches for the nationwide establishment have not yet been in place. Thus, it is needed to establish the strategy.

### **3-7 Lessons Learned (reference cases derived from the project for finding, planning implementation and management of other similar projects)**

#### **(1) Formation of a diffusion model**

In Phase II, the project successfully diffuses a COGES model developed in Phase I across the country. A COGES diffusion model called “Minimum package”, which is characterized by efficient training (use of local languages, introduction of simulation and reducing the number of participants), minimization of training period and rationalization of the monitoring by regional officers was established. In terms of developing a COGES model, the model which can be applied across the country has been developed as a result of the application of PDCA cycle<sup>1</sup> including the steps of the implementation, vilification, monitoring and improvement of a diffusion model.

#### **(2) Clarification of development needs and application of strengths of technical cooperation**

The activation of COGES across the country as an aim of the project addresses the needs based on the promotion of decentralization of the educational administration in Niger and other African countries. The project was able to improve educational indicators and differentiate itself from the cooperation of other donors through the utilization of advantages of Japanese technical cooperation which is focusing on local inputs and encouraging community initiatives. In the planning stage of a project, cooperation strategies should be developed considering the advantage of Japanese technical cooperation and analyzing the principle of development issue in order to carry out appropriate cooperation which meets the development needs of beneficiary countries.

#### **(3) Application of successful experience of forum**

Through the forum in each region, the ownership of each actor has been promoted by not only identifying educational issues but also solving these issues. In order to obtain a successful experience, each actor of the project should be aware of their educational issues and produce the impacts through the visualization of generated positive results.

#### **(4) Cooperation with the World Bank**

This project is a valuable case study of the nationwide dissemination of COGES model by the cooperation between Japanese technical cooperation and the World Bank. The project has shown valuable lessons learned through this experience. The cooperation with the World Bank which has a strong impact on the national education development strategy has promoted commitments of the MEN and effectiveness of project financial aspects. On the other hand, some negative external assumptions have appeared to obstruct the project progress such as delays in building the monitoring system due to the postponement of procurement of motorbikes by the World Bank and difficulties in securing quality of COGES training funded by the World Bank. In case of using external resources for the essential project activates, it is necessary to develop the project design with full understanding of the procurement system of other organizations and consider the risk hedge for unexpected situations.

---

<sup>1</sup> PDCA cycle is a continuing improvement composed of 4 steps such as plan, Do, Check, Action.

# 第1章 終了時評価調査団の概要

## 1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

サハラ以南アフリカ諸国のなかでも最貧国の1つであるニジェールは、「教育開発10カ年計画（PDDE）2003-2012」において、初等教育総就学率を2002年の41.7%から2012年までに94%まで向上させることを目標としている。また同計画では、学校運営に係る権限を中央省庁から学校運営委員会（COGES）へ委譲することを骨子とする地方分権化政策が柱のひとつとして掲げられている。この政策は学校をとりまく地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校運営計画策定から運営資金の管理、教員の管理などの権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動などの責任をもたせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGESは機能していなかった。そこでニジェール政府は日本に対し、COGES政策を具現化するための技術協力を要請し、この要請に基づいて2004年1月から2007年7月まで「住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）」が実施された。

フェーズ では、学校運営における住民参画を効果的に促進するCOGES戦略が打ち出され、対象地域のタウア州及びザンデル州においてその有効性が実証された。2007年4月にはプロジェクトの同戦略が国民教育省により採用され、公式なモデルとして認められた。この承認を受け、ニジェール政府は同モデルを全国（当初約9,000校。現在は約1万校）に普及することを決定したうえで、全国普及とモデル発展のための技術協力を日本に要請し、2007年8月から3年間の予定で本プロジェクトが開始された。

本終了時評価調査団は、2010年7月末のプロジェクト終了を控え、終了6カ月前の2010年2月に以下を目的として派遣された。

- （1）プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）に基づき、これまで実施した協力活動について、当初計画に照らし、投入実績、活動実績、計画達成度を確認する。
- （2）計画達成度を踏まえ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、プロジェクトチーム、ニジェール側関係者ととともに、プロジェクトの終了時評価を行う。
- （3）以上の評価結果に基づき、プロジェクトの残存期間に取り組むべき活動を検討するとともに、プロジェクト終了後の展開について提言を行う。また、JICAの類似事業に役立てるための教訓を抽出する。
- （4）評価・協議事項を双方の合意事項としてミニッツに取りまとめる。

1 - 2 調査団の構成

担当分野	氏名	所属	派遣期間
団長・総括	原 雅裕	JICA国際協力専門員/ 人間開発部課題アドバイザー	1/30-2/11
教育企画	梅宮 直樹	JICA人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課 調査役	1/30-2/11
協力企画	丸山 真司	JICA評価部事業評価第二課	1/30-2/11
評価分析	伊藤 治夫	ICONS国際協力株式会社	1/18-2/11

1 - 3 調査日程

日順	月 日	曜日	業務行程
1	1月19日	火	(伊藤団員 ニアメ着) JICAニジェル事務所・プロジェクトとの打合せ
2	1月20日	水	マラディへ移動 視学官事務所、COGES、州国民教育事務所訪問
3	1月21日	木	視学官事務所、COGES及びCOGES連合訪問
4	1月22日	金	タウアへ移動 COGES、COGES連合、州国民教育事務所、視学官事務所訪問
5	1月23日	土	COGES連合訪問 ニアメへ移動
6	1月24日	日	資料整理
7	1月25日	月	プロジェクト事務所との打合せ
8	1月26日	火	分析作業
9	1月27日	水	分析作業
10	1月28日	木	分析作業
11	1月29日	金	分析作業
12	1月30日	土	ミニッツ(M/M)案、報告書作成
13	1月31日	日	M/M案、報告書作成 (原団長、梅宮団員、丸山団員 ニアメ着)
14	2月1日	月	JICA事務所・プロジェクトとの打合せ SNV(NGO)訪問 UNICEF訪問 国民教育大臣表敬訪問 国民教育省次官補へのインタビュー フランス開発庁(AFD)訪問 世界銀行訪問 国民教育省基礎教育総局長へのインタビュー
15	2月2日	火	ニアメ州のCOGES、COGES連合、州国民教育事務所、視学官事務所訪問
16	2月3日	水	ティラベリ州のCOGES、COGES連合、州国民教育事務所、視学官事務所訪問

17	2月4日	木	JICA事務所・プロジェクトとの打合せ M/M案作成
18	2月5日	金	国民教育省とのM/M案協議 国民教育省就学前教育局長へのインタビュー
19	2月6日	土	報告書作成
20	2月7日	日	報告書作成
21	2月8日	月	M/M作成
22	2月9日	火	M/M署名 JICA事務所への報告
23	2月10日	水	(ニアメ発)

#### 1 - 4 主要面談者（敬称略）

##### ( 1 ) 国民教育省（Ministère de l'Education Nationale : MEN）

Ousmane Samba Mamadou 大臣  
Hamidou Soumana Diallo 次官補  
Marou Amadou 基礎教育総局長  
Damana Issaka COGES推進室長

##### ( 2 ) 州国民教育事務所（Direction Régionale de l'Education Nationale : DREN）

Gati Hassane Mamoudou タウア州国民教育事務所長  
Ali Issa Willy ティラベリ州国民教育事務所長  
Baudin Joseph マラディ州国民教育事務所長  
Erambel Iba Abdoulaye ニアメ州国民教育事務所長

##### ( 3 ) ドナー

Dominique Tallet Brasseur 国連児童基金（UNICEF）ニジェール事務所教育担当官  
Ouedraogo Adama 世界銀行ニジェール事務所教育担当官  
Celine Demagny フランス開発庁（AFD）ニジェール事務所担当官

##### ( 4 ) プロジェクトチーム

三浦 浩子 チーフアドバイザー/教育専門家  
國枝 信宏 COGESモニタリング担当専門家  
近藤 奈々 業務調整/能力強化担当専門家

##### ( 5 ) JICAニジェール事務所

西本 玲 所 長  
金田 雅之 所 員  
MOUSSA Abdou 現地職員

## 第2章 プロジェクトの概要

### 2 - 1 基本計画

名 称	ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズ
協力期間	2007年8月1日～2010年7月31日
上位目標	COGESによる学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。
プロジェクト目標	全国の小学校に機能するCOGESを設置し、維持するためのCOGES政策実施体制が強化される。
期待される成果（アウトプット）	1. 機能するCOGESを全国に設置するためにさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。 2. COGESのモニタリング体制が構築される。 3. パイロット地域（タウア州及びザンデル州）においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。

### 2 - 2 プログラムにおける位置づけ

対ニジェールJICA国別事業展開計画（2008年7月改訂）において、援助重点分野である教育分野の開発課題「基礎教育開発」に対応するプログラムとして「初等教育開発」が設定されている。本プロジェクトは同プログラムの中核案件として位置づけられている。

### 2 - 3 プロジェクト・デザイン・マトリックス

JICAでは、1990年代前半から、プロジェクト管理手法の一環としてプロジェクト・サイクル・マネジメント（Project Cycle Management：PCM）手法を導入した。PCM手法において中心的役割を果たすのは、PDMと名づけられたプロジェクト計画概要表である。これは「目標」「活動」「投入」などのプロジェクトの主要構成要素や、プロジェクトをとりまく「外部条件」との論理的相関関係を示したものである。

本プロジェクトにおいても、2007年4月の討議議事録（Record of Discussions：R/D）締結時にPDM（第1版）を策定し、R/Dの付属文書として承認した。その後中間評価を経て2009年11月に、主として指標をより具体化するための改訂が行われている。本終了時評価は改訂されたPDMに基づいて実施された。PDMは付属資料1（ミニッツ別添）に示す。

### 2 - 4 実施体制

本プロジェクトのカウンターパート機関は国民教育省である。フェーズI実施時と同様、同省次官をプロジェクトマネジャーとし、次官を議長とする合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）がプロジェクトの最高意思決定機関として設置されており、プロジェクトの実務的な責任者であるナショナルコーディネーター（National Coordinator：NC）にはCOGES推進室長が任命されている（図 - 1）。

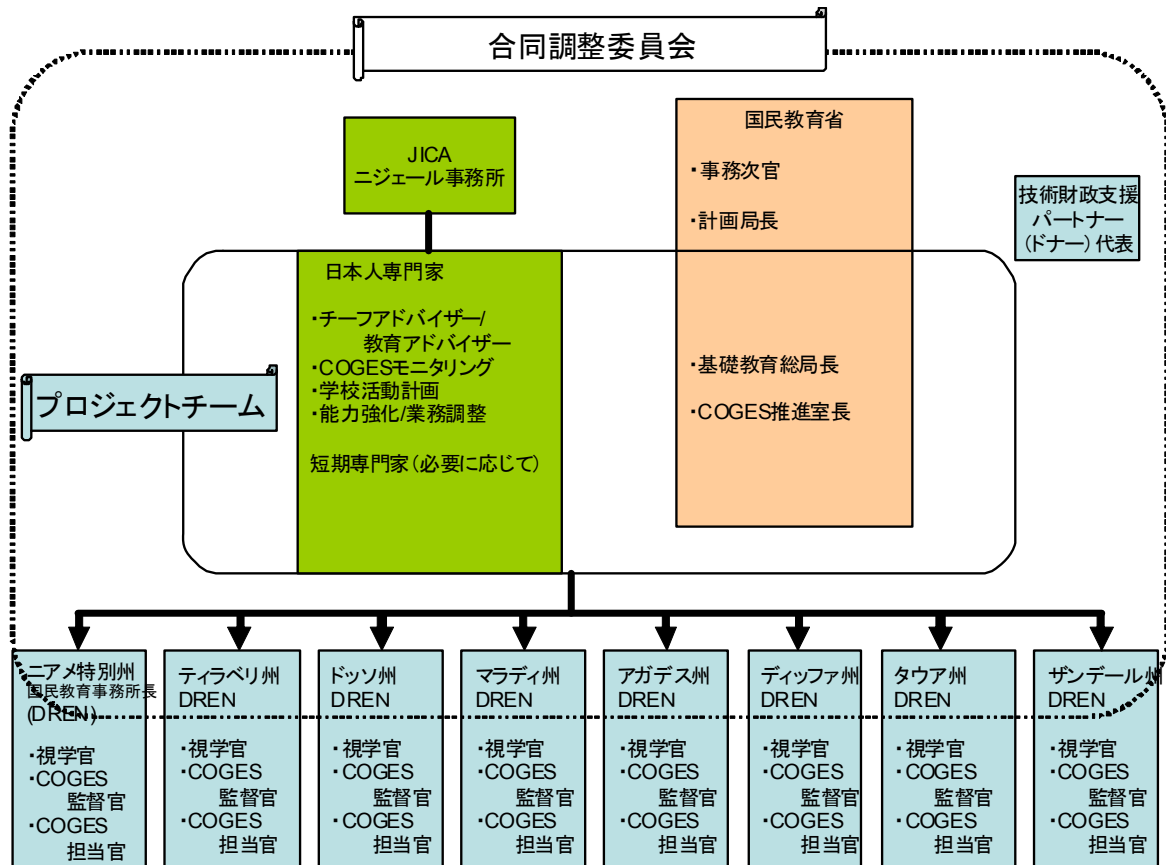


図 - 1 プロジェクトの実施体制

## 第3章 終了時評価の方法

### 3 - 1 評価グリッドの作成

本終了時評価は「JICA事業評価ガイドライン」(2004年3月改訂)に準拠して実施した。PDMやその他関係資料に基づいて評価設問(調査すべき項目)を検討し、プロジェクトの実績、実施プロセス、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性)に関する評価グリッドを作成した。実績、実施プロセス、評価5項目の定義は以下のとおりである。

作成された評価グリッドは付属資料3に示す。

#### (1) 実績

投入、成果、プロジェクト目標、上位目標に関する達成度、もしくは達成予測に関する情報。

#### (2) 実施プロセス

活動の実施状況やプロジェクトの現場で起きている事柄に関するさまざまな情報。

#### (3) 評価5項目

妥当性	プロジェクトのめざしている効果(プロジェクト目標や上位目標)が、受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当かなどといった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点。
有効性	プロジェクトの実施により、本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか(あるいは、もたらされるのか)を問う視点。
効率性	主にプロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか(あるいは、されるか)を問う視点。
インパクト	プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的・間接的效果や波及効果を見る視点。予期していなかった正・負の効果・影響を含む。
自立発展性	援助が終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続しているか(あるいは持続の見込みがあるか)を問う視点。

### 3 - 2 評価実施方法

評価グリッドに基づいて以下の方法で情報・データを収集し、評価分析を行った。

#### (1) 文献・既存資料調査

レビューした主な資料は以下のとおり。

- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画 中間評価調査報告書(平成17年11月)
- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画 終了時評価調査報告書(平成19年1月)
- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画フェーズ 実施協議報告書(平成19年7月)
- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画フェーズ 中間レビュー報告書(平成21年2月)



- ・ その他プロジェクト作成資料（月報など）
- ・ ニジェール共和国教育開発10カ年計画（PDDE 2003-2012） 中間レビュー報告書
- ・ ニジェール共和国教育統計（2004年～2009年）

（2）直接観察

プロジェクト事務所、各小学校を視察し、活動状況を確認した。

（3）インタビュー調査

長期専門家、国民教育省、州国民教育事務所長、視学官事務所長、COGES監督官、COGES担当官、校長、COGES連合メンバー、COGESメンバー、教員、生徒、青年海外協力隊員、関連ドナーを対象にインタビューを実施した。

## 第4章 計画達成度

### 4 - 1 投入実績

日本側、ニジェール側からの投入は計画どおり実施され、成果の発現に貢献している。詳細は付属資料1（ミニッツ別添）参照。

#### 4 - 1 - 1 日本側投入<sup>1</sup>

合計：3億6,829万1,000円

- (1) 長期専門家派遣 4名 (112MM)
- (2) 短期専門家派遣 1名 (1.83MM)
- (3) 研修員受入れ（本邦研修） 2名
- (4) 機材供与 2,869万3,000円
- (5) 在外事業強化費 1億6,872万4,590円

#### 4 - 1 - 2 ニジェール側投入

(1) カウンターパート配置：

中央レベル（国民教育省次官、基礎教育総局長、教育計画局長、COGES推進室長）  
州レベル（各州教育事務所長）、県レベル（各県視学官）

(2) プロジェクト事務所（長期専門家の執務室を含む）提供：なし

(3) 機材購入：なし

(4) プロジェクト実施に必要な経費（ローカルコスト）：世界銀行支援による研修費

### 4 - 2 活動実績

プロジェクト活動は、おおむねPDM及び年間活動計画（PO）に沿って計画どおり実施されている。ただし、見返り資金運用開始及び（世銀支援の）COGES担当官用バイクの供与が遅延したため、モニタリングに係る支援活動に遅れがみられる。

### 4 - 3 成果の達成状況

<p><b>成果1：機能するCOGESを全国に設置するためにさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。</b></p> <p><b>成果2：COGESのモニタリング体制が構築される。</b></p> <p><b>成果3：パイロット地域（タウア州とザンデール州）においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。</b></p>
---

ニジェール側及び日本側双方の継続的な努力の結果、一部の指標は達成されていないものの、各成果はおおむね達成された。成果の達成状況を示す指標の目標達成度は以下のとおりである。

**成果1：機能するCOGESを全国に設置するためのさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。**

- (1) COGES監督官（PF）及びCOGES担当官（OR）の90%がCOGESの設立及び学校活動計画策定に係る研修を受講する。

<sup>1</sup> 評価時点

プロジェクト活動の結果、全州のCOGES監督官(8名)及びCOGES担当官(51名)がCOGES設立及び学校活動計画策定に係る研修を受講している。

(2) 各州において研修実施プログラムが策定される。

対象州(6州)すべてにおいてCOGES設立及び学校活動計画の実施に係る研修実施プログラムが策定されている。

(3) 対象6州の小学校校長の90%がCOGES設立研修に参加する。

世界銀行の財政面での支援によってCOGES設立研修(民主選挙研修)が行われ、対象6州の校長の99.5%に当たる6,579名の学校長がこの研修を受講している。対象6州において学校数が増加していることから、新任の校長に対する研修は見返り資金によって行われている。

表 - 1 COGES設立研修の参加率

州	研修参加者(計画値)	研修参加者(実績)	参加率(%)
アガデス	364	364	100.0
ディッフア	425	425	100.0
ドッソ	1,802	1,795	99.6
マラディ	1,868	1,868	100.0
ニアメ	493	453	91.9
ティラベリ	1,860	1,870	100.5
合計	6,812	6,579	99.5

出所：みんなの学校プロジェクト

(4) 対象6州においてCOGES代表者の90%が学校活動計画に係る研修を受講する。

世界銀行の財政面での支援によって学校活動計画の策定に係る研修が行われ、対象6州の全COGESメンバーの98.5%に当たる1万3,267名がこの研修を受講している。アガデス州の研修参加率は他州に比べ低い値となっているが、アガデス州は砂漠地帯であり学校が広範囲に点在しているため、アクセスの難しさから研修参加が困難であったためと考えられる。

表 - 2 学校活動計画策定に係る研修への参加率

州	研修参加者(計画)	研修参加者(実績)	参加率(%)
アガデス	728	622	85.4
ディッフア	850	769	90.5
ドッソ	3,608	3,604	99.9
マラディ	3,736	3,748	100.3
ニアメ	984	916	93.1
ティラベリ	3,558	3,608	101.4
合計	13,464	13,267	98.5

出所：みんなの学校プロジェクト

( 5 ) COGES及びCOGES連合に係る戦略が改善される。

COGES連合のモデルについて、2008年7月に行われた国民教育省主催のワークショップにおいて国家モデルとして承認された。また2009年10月には、COGES連合の設立・役割・組織・機能に関する省令が公布された。

## 成果2：COGESのモニタリング体制が構築される。

( 1 ) COGES連合モデルが承認される。

COGES連合モデルは2008年7月、国民教育省主催のワークショップにて公式に承認され、同年10月に設立・役割・組織・機能に関する省令が公布された。同省令では、COGES連合がCOGESのモニタリングにおいて明確な機能と役割を有していることが規定されている。

( 2 ) 民主的選挙によってCOGES連合メンバーが選出され、すべてのコミューンにCOGES連合が設置される。

2009年12月時点で、5州<sup>2</sup>の151コミューンのうち、ディッファ州の2コミューンを除くすべてのコミューンでCOGES連合が設置されている。ディッファ州の2コミューンについては、多くの学校がコミューン庁舎から100km以上離れているため、研修が実施されていない。

( 3 ) COGES担当官の月例会議がすべての州において少なくとも年10回開催される。

すべての州において、COGES担当官月例会議が年10回以上開催されているが、2008年は見返り資金の運用開始時期の遅れにより、一部の会議で実施の遅れがみられた。しかし、2009年2月より見返り資金のディスバースメントが開始され、それ以降は月例会議が計画どおり実施されている。

表 - 3 月例会議開催数

	月例会議回数
アガデス	10
ディッファ	11
ドッソ	12
マラディ	10
ニアメ	12
タウア	11
ティラベリ	12
ザンデル	11

出所：みんなの学校プロジェクト

<sup>2</sup> 治安状況の悪化により、アガデス州では研修が延期されている。残りの5州には151のコミューンがあるが、ディッファ州の2コミューンについては所属するCOGESの2/3がコミューン庁舎から100km以上離れているため、COGES連合としての機能が必ずしも期待できない。

( 4 ) 2009/2010年度において、80%のCOGES連合が少なくとも3回の住民総会と6回の事務局会合を開催する。

フェーズ で新たに対象となった6州ではCOGES連合は2008/2009年度の中盤において設立されたばかりであり、分析を行うのは時期尚早である<sup>3</sup>。しかしながら、タウア州及びザンデール州ではCOGES連合がプロジェクトの初期に設立されていることもあり、2008/2009年度においては両州のCOGES連合のうち82%が少なくとも年3回の住民総会及び年6回の事務局会合を行っている。したがって、2009/2010年度において、新規対象州でも目標の達成の可能性が高いと考えられる。

表 - 4 年3回の住民総会及び年6回の事務局会合を行ったCOGES連合数

	COGES連合の数	住民総会（年3回）及び事務局会合（年6回）を行ったCOGES連合の数	割合（％）
タウア	44	33	75
ザンデール	55	48	87
合 計	99	81	82

出所：みんなの学校プロジェクト

( 5 ) 2009/2010年度においてCOGES連合の80%が少なくとも1つのフォーラムのテーマに沿った学校活動を実施する。

フォーラム・アプローチに伴う統一テーマによる学校活動は5州（タウア、ザンデール、マラディ、ティラベリ、ドッソ）で実施された。2008/2009年度においては、69%のCOGES連合が少なくとも統一テーマに沿った学校活動を実施していることから、今後の他州でのフォーラム・アプローチが指標の達成に大きく貢献することが見込まれる。

表 - 5 学校活動計画を少なくとも1つ実施したCOGES連合数

	1つ以上学校活動を実施したCOGES連合数	COGES連合の数	割合（％）
ディツファ	0	10	0
ドッソ	16	43	37
マラディ	33	47	70
ニアメ	4	5	80
タウア	44	44	100
ティラベリ	21	44	48
ザンデール	54	55	98
合 計	172	248	69

出所：みんなの学校プロジェクト

<sup>3</sup> タウア州及びザンデール州ではフェーズ において研修を実施している。

**成果3：パイロット地域（タウア州とザンデール州）においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。**

- (1) 2008/2009年度及び2009/2010年度において、タウア州及びザンデール州にある50のCOGESがコミュニティ幼稚園設立のための議事録を提出する。

就学前教育へのニーズを満たすため、2008/2009年度は62のCOGES（タウア：29、ザンデール：33）、2009/2010年度は53のCOGES（タウア：17、ザンデール：36）が就学前教育視学官事務所（Inspection of Preschool Education Office）にコミュニティ幼稚園設立のための議事録を提出している。

- (2) 2008/2009年度及び2009/2010年度において、タウア州及びザンデール州にある50のCOGESがコミュニティ幼稚園を設立・管理する。

2008/2009年度は62のCOGES（タウア：29、ザンデール：33）、2009/2010年度は53のCOGES（タウア：17、ザンデール：36）がUNICEFの支援を受けてコミュニティ幼稚園を設置した。両州ではこれまで合計で165のコミュニティ幼稚園が設立されている。両州の園児の数は1万人を超えていると想定される。タウア、ザンデールにおけるコミュニティ幼稚園の園児のほとんどが小学校へ進学しているなど、コミュニティ幼稚園の設立は初等教育へのアクセスの向上に大きく貢献することが確認された。

表 - 6 コミュニティ幼稚園及び園児数

		コミュニティ 幼稚園数	園児数	女子の数	女子の割合 (%)
2008/09	タウア	54	3,674	1,724	46.9
	ザンデール	55	2,825	1,383	49.0
	合計	109	6,499	3,107	47.8
2009/10 (2009年12 月時点)	タウア	71	N/A	N/A	N/A
	ザンデール	94	N/A	N/A	N/A
	合計	165	N/A	N/A	N/A

出所：みんなの学校プロジェクト

- (3) コミュニティ幼稚園のモデルが承認される。

2008年8月に国民教育省主催のワークショップにおいて、コミュニティ幼稚園のモデルが承認され、政策的・制度的な自立発展性に貢献している。また、「コミュニティ幼稚園設置のためのガイドライン」がタウア及びザンデールでのパイロット活動を通じて策定された。このガイドラインは2009年12月に開催されたワークショップにおいて公式に承認され、プロジェクト関係者（国民教育省、州教育事務所、就学前教育視学官）に情報共有が行われている。

- (4) フォーラムを実施した90%のCOGES連合が、関係者のコミットメントを引き出すことを目的として総会を開催する。

マラディ、タウア、ティラベリ、ザンデールのすべての州において95%以上のCOGES連合が、フォーラムで決定した特定テーマへのコミットメントを引き出すことを目的とした

総会を開催している。ドゥソ州については、終了時評価の1カ月前にフォーラムが行われたため、現在そのモニタリングが実施されている。

表 - 7 総会数 (2008～2009年)

	総会数	COGES連合数	割合 (%)
マラディ	47	47	100
タウア	42	44	95
ティラベリ	44	44	100
ザンデル	55	55	100

出所：みんなの学校プロジェクト

#### 4 - 4 プロジェクト目標の達成状況

**プロジェクト目標：全国の小学校に機能するCOGESを設置し、維持するためのCOGES実施体制が強化される。**

(1) 80%のCOGESが民主選挙によって設立される。

2009年2月時点で、アガデス、ディッファ、ドゥソ、マラディ、ニアメ、ティラベリの各州の全学校<sup>4</sup>のうち97.1%に当たる6,577校が民主選挙に基づきCOGESを設置し、設置に係る議事録を提出している<sup>5</sup>。なお、COGES設立に係る研修は世界銀行の支援によって行われている基礎教育開発支援プロジェクト (Projet d'Appui au Développement de l'Éducation de Base : PADEB) の資金を活用して行われている。

表 - 8 COGES設置数及び設置率 (2009年2月時点)

	小学校数	COGES設置に係る 議事録を提出した学校数 <sup>6</sup>	議事録提出率 (%)
アガデス	364	237	65.1
ディッファ	425	425	100.0
ドゥソ	1,795	1,795	100.0
マラディ	1,868	1,868	100.0
ニアメ	453	360	79.3
ティラベリ	1,870	1,892	101.2
合計	6,775	6,577	97.1

出所：みんなの学校プロジェクト

(2) 90%のCOGESがCOGES連合に学校活動計画を提出する。

2008/2009年度において、全COGES<sup>7</sup>の70.2%に当たる7,333のCOGESが学校活動計画を各COGES連合に提出している。タウア及びザンデルではCOGESの90%以上が提出している

<sup>4</sup> ここで全学校数とは、研修実施時に設立済みの学校の総数を指す。ニジェールでは学校数は常に増加しているため、州によってはCOGES設立の議事録を提出した学校数が全学校数を上回っている。

<sup>5</sup> タウア及びザンデル州はフェーズにおいて民主選挙に基づいてCOGESを設置している。

<sup>6</sup> COGES設立のための議事録には民主選挙の結果を記載する必要があることから、議事録を提出した学校の数は、民主的にCOGESを設立した学校の数と同じである。

<sup>7</sup> ここで全COGESとは、タウア及びザンデルを含む2007/2008年時点で確認されたCOGES数である10,446を用いている。

ものの、他州においては目標を達成していない。最新のデータによると、他州において改善の兆しが見られることから、目標の達成に向けて更なる努力が望まれる。

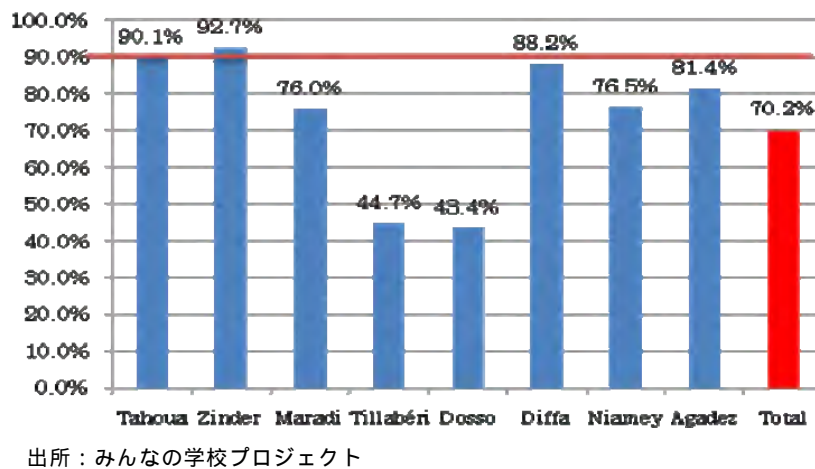


図 - 2 学校活動計画提出率

(3) 80%のCOGESがCOGES連合に年間活動総括表を提出する。

2008/2009年度において、全COGES<sup>8</sup>の49.7%に当たる5,195のCOGESが年間活動総括表を提出しているが、ほとんどの州において目標は達成されていない。目標値の達成に向けて更なる努力が必要であり、また、年間活動総括表の質の向上及びその保管方法についても改善が必要である。

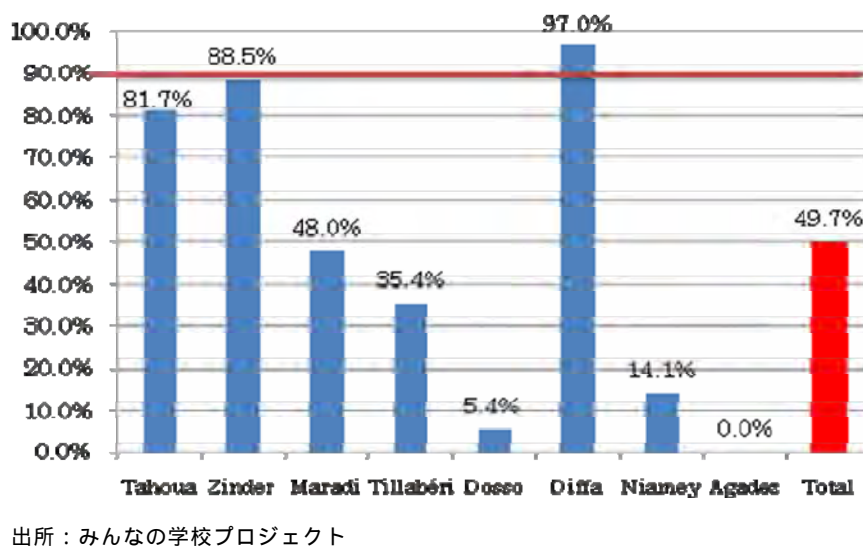


図 - 3 年間活動総括表提出率

<sup>8</sup> ここで全 COGES とは、タウア及びザンデルを含む 2007/2008 年時点で確認された COGES 数である 10,446 を用いている。



ザンデル、タウアでの活動総括表<sup>9</sup>を分析した結果、活動件数の内訳ではインフラ・家具、保健・衛生、成績向上に係る活動が多くなっている(図 - 4 参照)。一方で実際の投入金額の点では、インフラ・家具に係る活動が半分を占める(図 - 5 参照)。COGESの活動実績の大半を占めるインフラ・家具に係る活動の主な内容は、わらぶき教室の設置、黒板・机の購入などとなっている。聞き取り調査の結果からも、インフラ整備は教員、児童の親からのニーズも高く、特に教室の設置は、受入児童数を増やし、複式学級を減らすことを通じて教職員の労働条件を緩和する効果があり、就学率や教育の質の向上に直接影響を与えることが確認された。

一方、両州でフォーラムが実施された女子就学率向上の啓発にかかわる活動は件数、投入金額ともに少ないが、COGESのメンバーが中心となり実施する啓発活動は、予算が計上されない場合も多く、実際に活動が実施されたにもかかわらず、活動総括表には記載されていないケースもあることが確認されている。

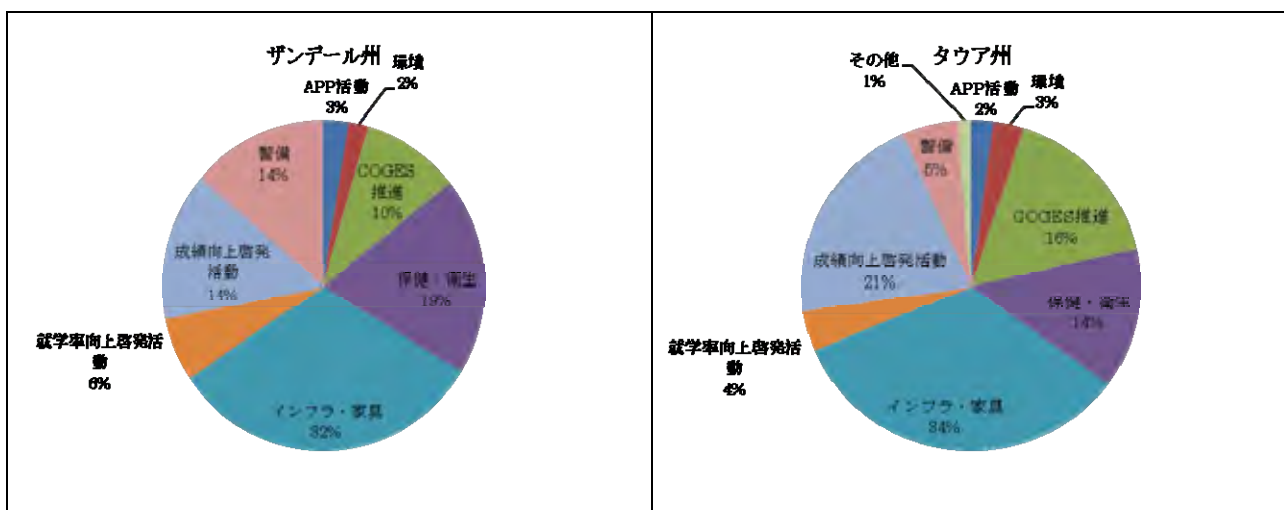


図 - 4 実績活動件数の内訳 (2008～2009年)

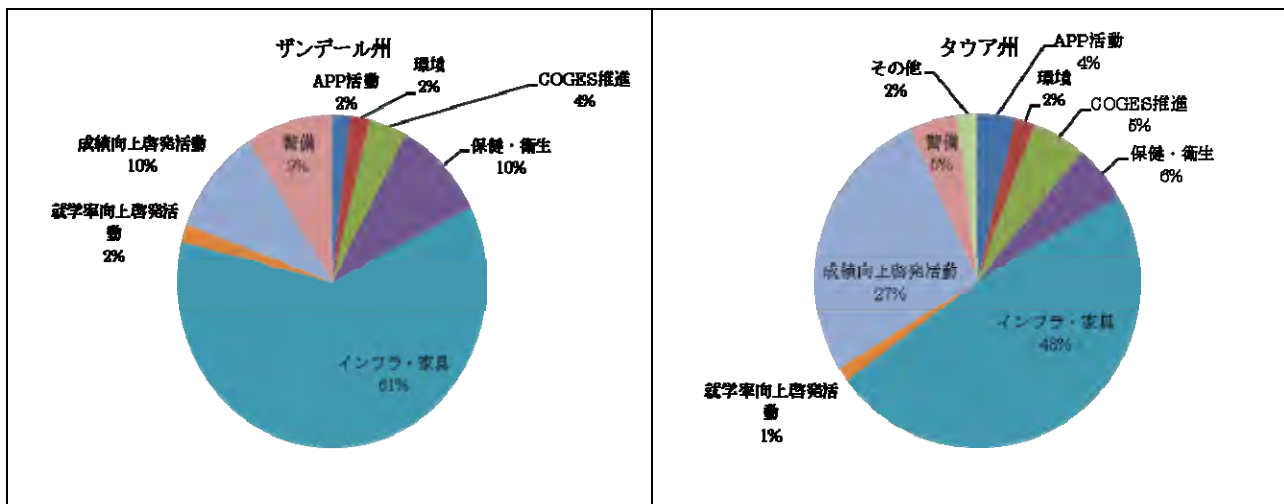


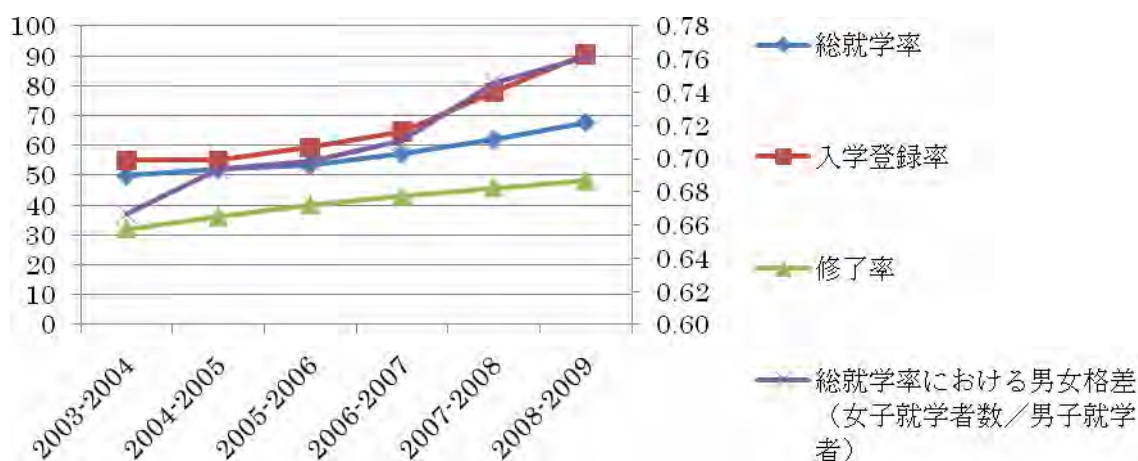
図 - 5 実績投入金額の内訳 (2008～2009年)

<sup>9</sup> サンプル数は、タウアについて 1,165 COGES (全体の 58%)、ザンデルについては 1,506 COGES (全体の 72%) となっている。ただし、今回の調査で活動総括表を提出した COGES は比較的機能化が進んでいることが推定されるため、このサンプルが必ずしも全体を代表しているとはいえない。

#### 4 - 5 上位目標の達成状況

上位目標：COGESによる学校運営改善を通じて、基礎教育の質とアクセスが向上する。

図 - 6 が示すとおり、2004年のプロジェクト開始時（フェーズ ）以来、総就学率や修了率、入学登録率、総就学率における男女格差は改善してきている。機能するCOGESによる教育改善活動やフォーラム・アプローチ<sup>10</sup>による女子の就学キャンペーンなどが、これらの上位目標の指標の改善に貢献したと考えられる。



出所：国民教育省統計

図 - 6 上位目標の指標

<sup>10</sup> フォーラム・アプローチとは、地域や国の教育開発ニーズを考慮した統一テーマに沿って、地域のすべての COGES と教育関係者が一斉に改善活動を実施することにより、大々的なインパクトを与えることを目的としたアプローチである。まず、COGES 連合代表や教育行政及び地方自治体関係者が一堂に会し、地域の教育開発ニーズを基に抽出した統一教育改善テーマについて議論し、そのテーマに関する各アクターの具体的な改善活動計画実施について合意を得、決議する。この決議事項は、参加者である COGES 連合代表により各地の COGES 連合総会を通じて各 COGES における住民総会に付され、フォーラム決議事項の実施の可否を議論し、実施の場合は学校活動計画のひとつとして策定されることになる。一方、地方教育行政、自治体関係者もそれぞれ決議に沿った活動を実施する。

## 第5章 終了時評価結果

### 5 - 1 評価5項目による評価

#### 5 - 1 - 1 妥当性：非常に高い

##### (1) 国家政策との整合性

- 教育の地方分権化の一環として住民参画型の学校運営を促進することは教育開発計画（PDDE）に明記されており、プロジェクト目標はニジェールの国家政策に合致している。また、PDDEにおいては2013年までに就学前教育の就学率を5%とすること及び地方部での幼稚園の拡大が目標に挙げられている。
- 2008年5月に開催のTICAD IVにて採択された横浜行動計画において、学校運営改善モデルによる支援対象を西アフリカにおいて1万校に拡大することを表明しており、日本の援助政策に合致している。

##### (2) 現地ニーズとの整合性

- 現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。
- COGESの活動としてのコミュニティ幼稚園の活動はコミュニティ、特に地方部のニーズに整合している。

##### (3) アプローチの妥当性

- 住民参画による教育開発は、政府のリソースが限られているニジェールにおいて妥当なアプローチである。また、民主選挙によるCOGES代表の選出は、メンバーのモチベーションを向上させ、COGESの機能化及び住民総会を通じた透明性の確保に貢献している。
- フェーズより全国への導入が実施されたCOGES連合は各州へ拡大しており、COGESとその他の関係者（視学官、支援者、地方自治会など）とのコミュニケーションを促進するうえで重要な役割を担っている。

#### 5 - 1 - 2 有効性：高い（ほぼ達成している）

##### (1) プロジェクト目標の達成状況

- 民主選挙により全国の97.1%の学校でCOGESが設立された。一方でCOGESの機能度及びCOGES連合を中心としたモニタリングの機能に左右される学校活動計画並びに活動総括表の提出率は、現時点においては目標値を下回る。今後、COGES連合による総会の開催がピークを迎えることから、回収率の向上が期待され、プロジェクト終了時までの目標達成が期待される。
- 2009年2月の中間レビュー結果を受けて、プロジェクト目標の指標に目標数値が設定された。現状に合わせた適切な数値目標である一方で、学校活動計画及び活動総括表回収の目的は、COGESによる計画策定を促すものであり、回収率の向上そのものが目的でないことに留意し、それらの内容、精度についても確認する必要がある。

(2) 成果のプロジェクト目標への貢献度

- 関係者への能力強化(成果1)に関して、教育行政官、校長などへの導入研修の実施により、各COGESは民主的な選挙により計画どおり設置された。また、COGES監督官、担当官への能力強化はCOGES機能化に寄与している。
- COGESへのモニタリングシステムの構築(成果2)に関して、全国の教育行政官〔州教育事務所長(DREN)、COGES監督官、県視学官、COGES担当官〕を対象としたワークショップ及びセミナーにより、モニタリングに必要な地方行政官の能力が強化されている。
- 教育改善活動のモデルの構築(成果3)に関しては、コミュニティ幼稚園、フォーラム・アプローチ、視学官会議といったCOGESを通じた教育改善活動モデルの構築により、COGESの機能強化・定着に貢献している。

(3) 有効性の阻害要因

- 近年の食料、牧草の不作により、地方部での貧困が拡大している。また、農村部住民の都市部への移住などが報告されている。このようなコミュニティの経済状況のなかで、住民によるCOGESへの分担金の負担は容易ではないことが想定される。

5 - 1 - 3 効率性：高い

(1) 成果の達成度と投入の適切さ

- プロジェクトは限られた資源を有効に活用し、成果を産出している。プロジェクトの前半時点で見返り資金運用開始とCOGES担当官用バイク供与の遅延によるモニタリング体制の構築の遅れにより、目標が達成されていない成果もあるが、おおむね順調に成果が発現している。
- プロジェクトが実施する研修は、必要最低限の研修経費、期間及び研修内容による実施が強調されている。このようなミニマム・パッケージを用いることでCOGES設立の全国への普及を可能としている。
- プロジェクトの対象が全国レベルであるにもかかわらず、少人数の日本人専門家及び現地スタッフでプロジェクトが運営されている。これは高い効率性をもたらしている一方で、個々のスタッフに負担を強いる結果となっている。活動の質を担保するためにも、業務負担の軽減が求められる。

(2) 効率性の推進要因

- 世界銀行によるPADEBの枠組みからの財政支援によりCOGESの全国普及に関する必要な研修が実施されている。
- UNICEFとのコミュニティ幼稚園促進に係る連携協定書により、COGESによるコミュニティ幼稚園の設立促進が行われている。設立・運営面の支援をプロジェクトが、教育面への支援(教員研修、教育面のモニタリング、遊具等の物品供与)をUNICEFが担うことで、タウア、ザンデール州におけるコミュニティ幼稚園の効率的な拡大を可能としている。

#### 5 - 1 - 4 インパクト：非常に高い

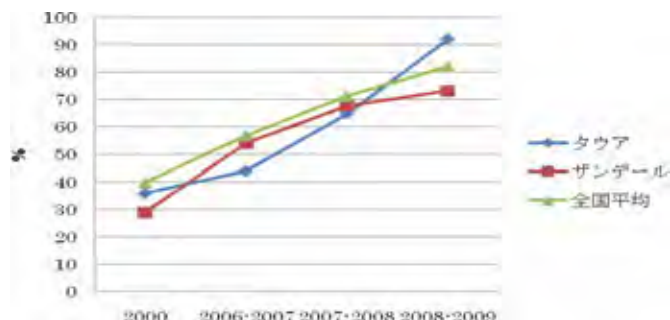
##### (1) 上位目標の達成見込み

- 国家教育統計によれば、フェーズI開始の2004年以降、上位目標である総就学率、修了率などニジェールの教育指標には改善が見られる。これらの教育指標の向上には多くの貢献要因が考えられるが、各州への踏査による関係者へのインタビューの結果、プロジェクトを通じたCOGESの設置と機能化がその大きな貢献要因になっていることが確認された。
- 上位目標である教育指標の改善がフェーズIより介入を行っているタウア、ザンデール州において顕著であることが確認された。これはCOGESの機能化の強化が教育指標の向上に貢献することを示すものであり、今後、プロジェクト効果が継続されることで、全国レベルでの指標の改善が期待される。

##### (2) フォーラム・アプローチによるインパクト

###### 1) 女子就学促進キャンペーン

- ザンデールでは2007年5月から女子就学促進キャンペーンが、タウアでは2008年4月から女子就学促進キャンペーン、2009年3月からは入学した女子に対する残留キャンペーンが実施され、女子入学登録者数が大幅に増加すると同時に、入学登録者における男女比率(女子数/男子数)について、図 - 7 に示すとおり両州において向上がみられる。

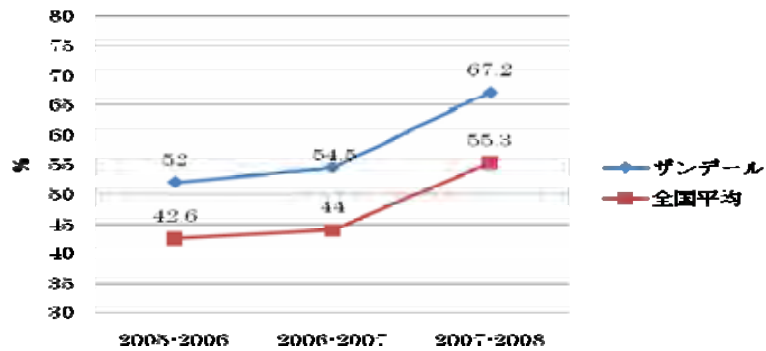


出所：国民教育省統計

図 - 7 新規入学登録者数における男女比率（女子数/男子数）

###### 2) 教育の質向上キャンペーン

- 2008年1月から教育の質向上キャンペーンが実施されたザンデールは、2007/2008年度の初等教育修了試験合格率（Certificat de fin d'études de premier degré：CFEPD）が67.2%となり、全国平均を大きく上回り全国1位となった。教育の質、特に試験合格率の向上には多くの要因による影響を考慮する必要があるが、ザンデールにおけるCOGESを通じた成績向上のキャンペーンが試験合格率の向上に寄与していることが想定される（図 - 8）。

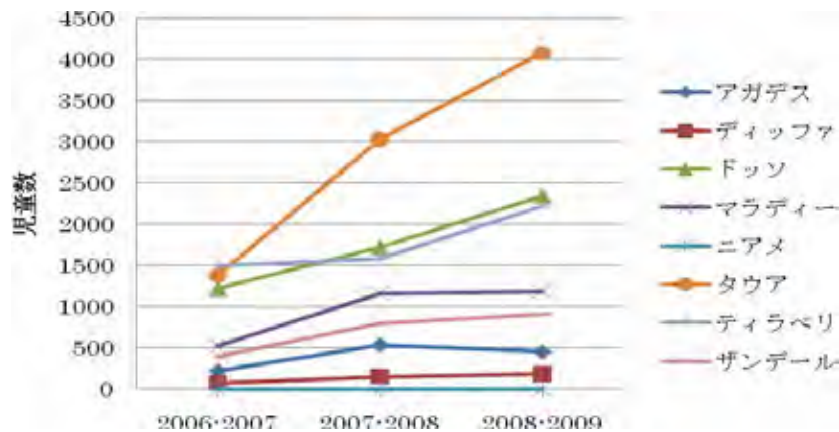


出所：国民教育省統計

図 - 8 初等教育修了試験合格率 (CFEPD)

(3) コミュニティ幼稚園普及のインパクト

- コミュニティ幼稚園の普及効果として、タウア州における農村部の就学前教育就学児童数が図 - 9 に示すとおり、プロジェクト介入 (2006年) 以後、群を抜いてトップに位置している。ニジェールの、特に農村部での就学前教育へのアクセス拡大はPDDEの目標としてもその点が掲げられており、国家教育政策の実現に寄与している。
- コミュニティ幼稚園の普及による就学前教育の拡大は初等教育における女子教育の推進、学校運営の改善等に正の影響を与えることが報告されている。



出所：国民教育省統計

図 - 9 農村部就学前教育就学児童数推移

#### (4) 波及効果

- マラディにおいてCOGES担当官が県レベルでのフォーラムを開催していることが確認された。通常州レベルの教育問題を解決するために行われるフォーラムは必ずしも各県の問題を反映しているとはいえないため、各県レベルでの地方指導者を巻き込んだフォーラムの必要性が指摘されている。
- セネガル、マリ、ブルキナファソにおいても同様の学校運営改善プロジェクトが実施されている。これらの国に対して、プロジェクトがその経験を共有し、プロジェクトスタッフが技術支援を実施している。

### 5 - 1 - 5 自立発展性：中

#### (1) 政策面

- COGESを通じた住民参画型の学校運営を促進することは、教育開発10カ年計画（PDDE）に明記されている。
- COGES、COGES連合のモデルは、国民教育省よりこれらの設置・強化に係る省令が公布され、国家レベルで公式化されており、政策的な自立発展性は高いと判断される。
- 国民教育省はCOGES政策を実施するうえでの能力を有している。一方で国民教育省の積極的な活動への参加がプロジェクトのインパクトの継続には不可欠であり、更なる主体的なかかわりによるCOGES政策の強化が求められる。

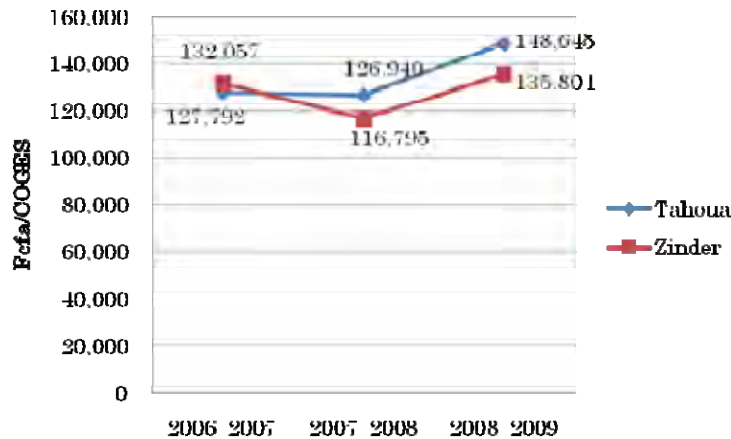
#### (2) 組織面

- ほぼすべての州国民教育局の局長は教育開発におけるCOGESの役割を理解し、積極的に州レベルの政策の実施を支援している。
- 州国民教育局に配属された多くのCOGES監督官がCOGESのモニタリングを担うCOGES担当官の監督にかかわる能力を有している。
- COGES連合はコミュニティレベルにおいて、省令に基づき設立されている。COGES連合は効果的なCOGESのモニタリングを推進しており、その重要性が確認された。

#### (3) 財政面

- COGES担当官へのガソリン経費の支給など見返り資金によってモニタリングが順調に実施されている。しかし、プロジェクト終了後のモニタリングの継続のための経費負担に関しても、国民教育省による経費の確保の意向が示されているが、その可能性については今後の課題である。
- COGES連合についてはCOGESからの分担金及び地方政府、地元企業などの他の支援者からの寄付を主な財源としている。今後、継続的にこれらのパートナーからの支援を得るための広報活動、提案書作成といった連合のメンバーへの研修機会に対するニーズが高いことが確認された。
- タウア、ザンデルの活動総括表からは、地域住民が中心となりCOGESへの財政的、物質的な支援が実施されていることが確認される。また、図 - 10に示すように、各COGES当たり分担金はそれぞれの州で増加している。





出所：活動総括表

図 - 10 タウア、ザンデルにおける分担金の推移<sup>11</sup>

#### (4) 技術面

- COGES監督官、COGES担当官はCOGES及びCOGES連合の全国普及に係る研修の実施能力を有している。ニジェールでは年間約1,000校の小学校が新設されているが、これら新設校へのCOGESの設置はCOGES監督官、COGES担当官が責任を担っている。一方でCOGESメンバーの能力の不足による、学校活動計画、活動総括表の提出率が低いことから、COGESメンバーに対する再訓練の実施などが求められる。
- 限られた資源での継続的なモニタリング体制の構築のため、視学官に対する能力強化がフォーラムを開催した州の月例会議の際に実施されている。視学官の能力強化を図り、COGESモニタリングを通常業務として地方教育行政に組み入れることはCOGESのモニタリング体制の維持につながる。

#### 5 - 2 貢献要因と阻害要因の検証

見返り資金のディスペースメントの遅れによるCOGESのモニタリング活動の遅れがみられたものの(2009年2月)、PDMに記載された活動はすべて行われている。活動に係る貢献要因及び阻害要因は以下のとおりである。

##### (1) 効果発現に貢献した要因

###### 1) プロジェクトの成果の可視化

フォーラムの開催前後で、活動の成果が関係者に目に見える形で現れるようになった。プロジェクトの成果の可視化は、コミュニティ、教員や教育行政官がCOGES活動に対してより積極的になるために最も重要な要素であるといえる。フォーラムにおいては、各地域の教育課題を解決するための特定テーマが設けられ、その実施によってもたらされるインパクトを具体的に示すことで、すべての関係者のイニシアティブを引き出すことが可能となった。

<sup>11</sup> サンプル数は、タウアについて1,165 COGES(全体の58%)、ザンデルについては1,506 COGES(全体の72%)となっている。ただし、今回の調査で活動総括表を提出したCOGESは比較的機能化が進んでいることが推定されるため、このサンプルが必ずしも全体を代表しているとはいえない。



## 2) コミュニティのニーズに基づいた活動

コミュニティには教育に対する潜在的なニーズが多く存在しているものの、さまざまな要因からそれらのニーズを満たすことができていない。プロジェクトはCOGESを通じてコミュニティが自らのニーズを満たすための能力強化の支援を行い、コミュニティのオーナーシップの醸成に大きな役割を果たしている。COGESの会合においては、COGESメンバーだけでなく、コミュニティのリーダーや住民も学校の問題について議論を行う機会を得ている。その結果、COGES活動を通じてコミュニティが地域の教育改善を自分たちの課題・問題として認識するようになった。

## 3) すべての教育関係者によるコミットメント

フォーラム・アプローチにおいては、州のリーダーや視学官などのすべての教育関係者のコミットメントを引き出し、特定テーマに基づいて策定される学校活動に対して、その責任の所在を明確にした。また、COGES監督官及び担当官によるモニタリングがキャンペーン活動を促進している。このモニタリング及び関係者の役割の明確化は、フォーラム・アプローチによる成果の発現に大きく貢献している。

## (2) 阻害要因

### 1) 治安状況の悪化

一部の地方で治安の悪化がみられ、2009年12月以降日本人専門家によるモニタリング活動が制限されるなどの影響がみられた。現時点では活動の制限に伴う負のインパクトはみられないが、今後の治安の悪化への対応策について検討が行われている。

## 5 - 3 結 論

本プロジェクトにおいて、COGESの関係者の能力強化を行い、CCOGES担当官とCOGES連合による集会型モニタリングという新しい形のモニタリング体制の確立のため、モデルの実証、承認、全国普及を行い、その体制の確立の努力を続けている。また、プロジェクトは、住民と行政が連携し一体となった地域の教育開発のモデルとして、フォーラム・アプローチを開発し、その実施によりニジェールの教育開発に多大な貢献をなしたほか、更に地域の教育開発を強化するために、州レベルの視学官会議を提案し、その開催を支援した。現在は制度化され、その活動も大きな成果を出しつつある。また、COGESのイニシアティブにより開始され、その実施を支援し、モデル化を行ってきたコミュニティ幼稚園も、現在は園児数も1万人を越しモデル承認が行われ、ニジェールの公式なモデルとなった。

このように大きな成果を残しているフェーズ であるが、本評価結果でも示されたように、COGES連合の機能化とそのモニタリング体制に関し、試行期間が短かったため、その目標を達成できなかった。このため、調査団とニジェール側は、協議のうえ、目標達成のためにプロジェクト期間を1年間延長することを関係機関に提言することについて合意した。

最後に、現在、ニジェールのCOGES機能化モデルやモニタリング体制は、近隣国の手本となり、調査団は、このような成果を成し遂げたプロジェクトやCOGES推進室をはじめとした国民教育省関係者の多大なる努力を評価する。

## 第6章 提言

### 6 - 1 短期的な観点からの提言（プロジェクト終了まで）

#### （1）COGESモニタリング体制における各関係者の役割の明確化とその強化

現在のCOGESのモニタリングは、COGES担当官及びCOGES連合が中心となっているが、行政レベルでは、当然、DREN、視学官、指導主事、校長などの関係者の役割が重要であり、政策的にはその役割の明確化が求められる。（国民教育省）

#### （2）COGESモニタリング体制確立のための努力の継続

2009年、COGES連合の全国普及が終わり、COGES連合を通じたモニタリングが始まったが、全国における実施期間がまだ短く、現在体制整備の努力を継続している。今後、この体制の更なる強化が必要である。（プロジェクト）

#### （3）COGESモニタリング予算の確保

現在、COGES担当官のモニタリング経費や月例会議等のCOGESモニタリング予算は、見返り資金から支出されているが、見返り資金後の予算の確保が必要である。（国民教育省）

#### （4）フォーラム・アプローチの経験の集約・記録

フォーラム・アプローチは、国民教育省や住民の教育開発需要に沿った形で、また、住民を中心とした活動を国民教育省が支援する形で大きな成果を上げてきた世界でもまれに見る住民と行政が一体となった効果的なアプローチである。フォーラム・アプローチの経験を集約し記録として取りまとめることが必要である。（プロジェクト）

#### （5）プロジェクト実施体制の強化

プロジェクトは、活動が全国に広がり業務量が増し、専門家の業務量が増大しており、短期専門家の派遣でのプロジェクト実施体制の強化が必要と思料される。（JICA）

### 6 - 2 中・長期的な観点からの提言

#### （1）COGES連合、コミュン及び教育行政の関係強化

本来、地域の教育開発、地方分権化からみれば、COGES連合、コミュン及び教育行政上の各関係者（DREN、視学官、指導主事、校長など）が協力して、地域の教育改革を行っていくことが望まれる。2008年にCOGES連合とコミュンの関係は省令（No. 00168/MEN/SG/DGEB）で明確化されたが、その連携は、地域により濃淡がある。今後は、その連携を強化するための連絡会議等を常設し、3者の恒常的な協力強化を行っていく必要がある。（国民教育省）

#### （2）フォーラム・アプローチの構造化、永続化

フォーラム・アプローチは、住民の力を最大限に引き出し、地域の教育開発に大きな成果を上げ、ひいては、ニジェール全体の教育の改善に大きな貢献を行っている。しかし、その実施は単発的であり、継続性には問題がある。このフォーラム・アプローチ及びその効果を

持続化・永続化するための仕組みを考えていく必要がある。(国民教育省)

(3) COGESの更なる能力強化

プロジェクトの開発したCOGES機能化モデルは、プロジェクトフェーズ、フェーズを経て、全国普及を行い、その結果、COGESが住民を動員した活動により、ニジェールの教育改善について大きな成果を上げてきた。しかし、住民が動員できる資源には限りがあり、今後、外部の資源の導入も、考慮されていかなければならない。外部の資源導入にあたっては、更なる計画能力強化及び資源の管理運営能力強化を行っていく必要がある。また、教員養成校での養成内容にCOGESに関する研修を含める必要がある。(国民教育省及びプロジェクト)

(4) コミュニティ幼稚園の全国普及支援戦略確立

プロジェクトとUNICEF、国民教育省が連携して開発したコミュニティ幼稚園モデルは、大きな成果を出し、制度化された。今後は、3者が協力して全国普及に取り組むべきであると思慮されるが、全国普及に向けた取り組み、戦略はまだ確立されていない。この戦略の確立の努力が求められる。(プロジェクト、UNICEF、国民教育省)

## 第7章 類似プロジェクトへの教訓

### (1) 普及可能なモデルの形成

本プロジェクトはフェーズⅠで形成されたCOGESの普及モデルを実際にフェーズⅡにおいて普及することに成功している。実際の全国普及に際して、さまざまな取り組みが実施されたが、ミニマム・パッケージと呼ばれる研修の効率化（現地語の使用やシミュレーションの導入、研修対象人数の削減）及び、研修期間の短縮、地方行政官のモニタリングの合理化等を経たCOGES普及モデルの有効性が証明された。モデル形成に際して、モデルを広範囲に普及し、実証、モニタリングを実施したうえで、モデルの改善を行うといったPDCAサイクル<sup>12</sup>を確実に実行した結果、普及可能なモデルの確立が可能となった。モデルの広範囲での実証は、同時に国民教育省、ドナーに対する説得力を生み出し、モデルの省令化、普及費用の獲得につながっている。

### (2) 開発ニーズの明確化と技術協力の強みの活用

プロジェクトのめざす全国レベルでのCOGESの機能化は、ニジェールをはじめとするアフリカ諸国が進む地方分権化の流れのなかで、住民参加による教育開発という新たな制度構築に向けて各国が試行錯誤している教育分野のニーズに対応したものである。プロジェクトが開始された当初は、多くの他ドナーがCOGESの能力開発を通じた住民参加による協力を行っていた。このような状況下でプロジェクトは、日本の技術協力の強みを生かして、現場のニーズを拾い上げ、住民の自主性を引き出すアプローチを用いることで、教育指標を改善し、他ドナーによる協力との差別化を実現した。プロジェクトの計画は政府の国家政策との整合性の有無を確認するのみでなく、その開発課題の本質を分析し、技術協力の強みを生かした戦略を立てることで、相手国政府のもつ開発ニーズを満たす協力が可能となる。

### (3) フォーラムを通じた成功体験の活用

特にフォーラム・アプローチを実施した州ではアクター（住民、行政官）のプロジェクトの活動に対する高いオーナーシップが目立つ。各州でのフォーラムにおいては単に教育上の問題を探すだけでなく、解決するところまでをセットとして流れをつくることで各アクターに成功体験を提供し、オーナーシップの醸成が図られている。成功体験を得るためには、自らの手で問題を解決させ成果を顕在化させることで、各アクターがその成果を実感することが必要となる。このことは専門家の報告書にも下記のように指摘されている。

フォーラムに失敗は許されない。なぜなら、新設立州にとってはキャンペーンが初の試みであり、ポジティブな結果を出さないと住民は来年度から「どうせ活動しても失敗する」と、腰が重くなってしまふからである。（中澤専門家業務完了報告書）

### (4) 世銀との連携

本プロジェクトはわが国の技術協力と世銀との連携により全国展開を実現した貴重なケースであり、貴重な教訓が得られている。国家教育開発戦略に強い影響を与えている世銀との連携は、国民教育省からコミットメントを引き出し、また資金面においてプロジェクトの有効性を

<sup>12</sup> PDCAサイクルとは、Plan、Do、Check、Actionの4ステップから成る活動の継続的改善である。

向上させた。一方で、世銀からのバイク供与の遅延によるCOGESモニタリング体制の構築の遅れ、世銀の資金で実施されるCOGESへの研修の質の担保の難しさなど、プロジェクトの順調な進捗を阻害する外部要因にもなっている。外部のリソースをプロジェクトの根幹となる活動に用いる際には、調達システムに関して十分に理解する必要があると同時に、その投入が実施されなかった場合のリスクヘッジなどを考慮して、プロジェクトデザインを行う必要がある。

## 付 属 資 料

### 1．ミニッツ（英文）

別 添

- ・投入実績
- ・プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）
- ・活動計画表（PO）
- ・評価グリッド調査結果

### 2．ミニッツ（仏文）

別 添

- ・投入実績
- ・プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）
- ・活動計画表（PO）
- ・評価グリッド調査結果

### 3．評価グリッド調査結果（和文）

### 4．団長所感

### 5．面談・視察録

**MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
JAPANESE EVALUATION TEAM AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF NIGER  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE PROJECT ON SUPPORT TO THE IMPROVEMENT OF  
SCHOOL MANAGEMENT THROUGH COMMUNITY PARTICIPATION  
("SCHOOL FOR ALL") PHASE II**

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Masahiro HARA, visited the Republic of Niger from 19 January to 10 February 2010 for the purpose of the final evaluation of the Project on "Support to the Improvement of School Management through Community Participation ("School for All") Phase II" (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in Niger, the Team had a series of discussions with the Nigerien authorities concerned, jointly evaluated the achievements of the Project, and exchanged views on project activities to fulfill the Record of Discussion signed on 24<sup>th</sup> May 2007.

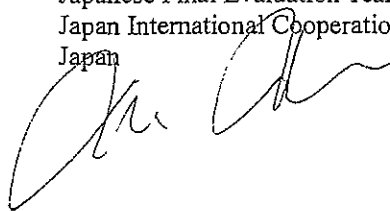
As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

This Minutes of Meeting has been prepared in French and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence in the original translation, the original text in either or both languages may be modified as appropriate upon further consultation and agreement between the two parties.

Niamey, 9 February 2010

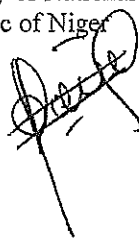
---

Mr. Masahiro HARA  
Leader,  
Japanese Final Evaluation Team,  
Japan International Cooperation Agency,  
Japan



---

Mr. Hamidou Soumana Diallo  
Deputy Secretary-General,  
Ministry of National Education,  
Republic of Niger



**ATTACHED DOCUMENTS**

**TABLE OF CONTENTS**

**List of Abbreviations and Acronyms**

**1. INTRODUCTION..... 3**

- 1-1. Preface
- 1-2. Objectives of Evaluation
- 1-3. Schedule of Evaluation
- 1-4. Members of Evaluation Team
- 1-5. Methodology of Evaluation
- 1-6. Change of the Project Design Matrix

**2. EVALUATION..... 6**

- 2-1. Achievement of the Project
- 2-2. Results of Evaluation
- 2-3. Conclusion

**3. RECOMMENDATIONS..... 21**

- 3-1. Recommendations for the Short-term Perspective
- 3-2. Recommendations for the Mid and Long-term Perspective

**ANNEXES**

**ANNEX 1. Inputs to the Project**

- 1-1. List of Japanese Experts
- 1-2. List of Main Machinery and Equipment Provided by JICA
- 1-3. List of Participants in Counterpart Training in Japan
- 1-4. List of Nigerien Counterparts
- 1-5. List of Land, Buildings and Facilities

**ANNEX 2. Project Design Matrix**

**ANNEX 3. Plan of Operation**

**ANNEX 4. Evaluation Grid**

- 4-1. Achievement of the Project
- 4-2. Process of the Project Implementation
- 4-3. Evaluation by the Five Criteria

11



## List of Abbreviations and Acronyms

AFD	Agence Française de Développement
APP	Activités Pratiques Productives (Practical and Productive Activities)
COGES	Comités de Gestion des Établissements Scolaires (School Management Committee)
C/P	Counterpart
CP/COGES	Cellule de Promotion des COGES (Section of COGES Promotion)
DAC	Development Assistance Committee
DEP	Direction des Études et de la Programmation (Department of Studies and Programming)
DGEB	Direction General de l'Enseignement de Base / Directeur General de l'Enseignement de Base (General Department of Basic Education / General Director of Basic Education)
DREN	Direction Régionale de l'Éducation Nationale / Directeur Régionale de l'Éducation Nationale (Regional Office of National Education / Director of the Regional Office of National Education)
EPT	Ecole Pour Tous (School for All Project)
FCC	Fédération Communale des COGES (Communal Federation of COGES)
JICA	Japan International Cooperation Agency
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteer
MEN	Ministère de l'Éducation Nationale (Ministry of National Education)
M/M	Minutes of Meeting
NGO	Non-governmental Organization
ONEN	Organisation Nigérienne des Educateurs Novateurs
OR	Observateur de relais (COGES officer)
PADEB	Projet d'Appui au Développement de l'Éducation du Base (Project of Supporting Development in Basic Education)
PDDE	Programme Décennal de Développement de l'Éducation (Ten-Year Educational Development Plan)
PDM	Project Design Matrix
PF	Point focal (COGES supervisor)
PO	Plan of Operations
R/D	Record of Discussions
SG	Secretary General
SNV	Organisation Néerlandaise de Développement
TICAD	Tokyo International Conference on African Development
UNICEF	United Nations Children's Fund
WB	the World Bank

## 1. INTRODUCTION

### 1-1. Preface

The Project was launched in August 2007 and its duration is to be three (3) years. With the remaining period of the Project, approximately six (6) months, JICA dispatched the Team to the Republic of Niger from 19 January to 10 February 2010 for the purpose of evaluating the achievement of the Project. The evaluation has been undertaken jointly by the Team and the Nigerien authorities concerned.

### 1-2. Objectives of Evaluation

Objectives of the evaluation are as follows:

- (1) to review and evaluate the inputs, activities and achievements of the Project;
- (2) to clarify the problems and issues to be addressed for the successful implementation of the Project for the remaining period; and
- (3) to make recommendations for the sustainable implementation of the activities after the Project.

### 1-3. Schedule of the Evaluation

Date	Day	Activities
19 Jan	Tue	Arrival at Niamey Meeting with JICA Office & Project team
20 Jan	Wed	Move to Maradi Site visit and interview (Maradi)
21 Jan	Thu	Site visit and interview (Maradi)
22 Jan	Fri	Move to Tahoua Site visit and interview (Tahoua)
23 Jan	Sat	Site visit and interview (Tahoua) Move to Niamey
24 Jan	Sun	Document preparation
25 Jan	Mon	Interview to Project team
26 Jan	Tue	Interview to Project team Analysis of Data
27 Jan	Wed	Analysis of Data
28 Jan	Thu	Analysis of Data
29 Jan	Fri	Analysis of Data
30 Jan	Sat	Document preparation
31 Jan	Sun	Document preparation
1 Feb	Mon	Courtesy call and discussion with; • SNV • UNICEF • Minister of National Education (MEN) • SGA • AFD

		• World Bank
2 Feb	Tue	Site visit and interview (Niamey)
3 Feb	Wed	Move to Tillaberi Site visit and interview (Tillaberi)
4 Feb	Thu	Preparation of M/M Draft Preparation of M/M Draft
5 Feb	Fri	Interview with C/P COGES& DEPESCO
6 Feb	Sat	Finalizing of M/M
7 Feb	Sun	Finalizing of M/M
8 Feb	Mon	Discussion on M/M with C/Ps
9 Feb	Tue	Signing of M/M Documentation and Discussion within the Team
10 Feb	Wed	Departure from Niamey

#### 1-4. Members of the Evaluation Team

##### (1) Ministry of National Education (MEN)

Hamidou Soumana Diallo	Deputy Secretary-General, Ministry of National Education, MEN
Marou Amadou	Director General of Basic Education, MEN
Aliou Ibrahim	Director, Department of Studies and Programming, MEN
Damana Isaka	National Coordinator of CP/COGES, MEN

##### (2) Japanese Evaluation Team

Mr. Masahiro Hara	Leader	Senior Advisor, JICA
Mr. Naoki Umemiya	Education Planning	Assistant Director, Basic Education Division II, Basic Education Group, Human Development Department, JICA
Mr. Shinji Maruyama	Cooperation Planning	Staff, Evaluation Division II, Evaluation Department, JICA
Mr. Haruo Ito	Evaluation Analysis	Senior Consultant, Social System Department, ICONS International Cooperation Inc.

##### (3) JICA Niger Office

Mr. Akira Nishimoto	Resident Representative, JICA Niger
Mr. Masayuki Kaneda	Assistant Resident Representative, JICA Niger
Mr. Abdou Moussa	Assistant in Project Planning and Coordination, JICA Niger

#### 1-5. Methodology of Evaluation

The evaluation is designed to verify the following aspects based on the second version of PDM and Plan of Operations. Following aspects were considered:

- 1) Achievements of the Project based on the PDM indicators

- 2) Implementation process
- 3) Five evaluation criteria of DAC

Definitions of the criteria are as follows;

Relevance	Relevance of the project plan was reviewed in terms of the validity of the project purpose and the overall goal in connection with the development policy of the Government of Niger, aid policy of the Government of Japan, needs of beneficiaries, and by logical consistency of the project plan.
Effectiveness	Effectiveness was assessed by evaluating the extent to which the Project had achieved its purpose and by clarifying the relationship between the purpose and outputs.
Efficiency	Efficiency of the project implementation was analyzed by focusing on the relationship between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity of inputs.
Impact	Impact of the Project was assessed on the basis of both positive and negative influences caused by the Project.
Sustainability	Sustainability of the Project was assessed in terms of political, institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievements of the Project would be sustained or expanded after the Project period.

Conclusions were drawn from the results of the study and recommendations were made by the Team.

#### 1-6. Change of the Project Design Matrix

The original PDM was approved in May 2007. The second version of PDM (see ANNEX 2) was prepared based on the mid-term review in February 2009 in order to agree on the detailed indicators. The second version of PDM was approved by the JCC in November 2009.

## 2. EVALUATION

### 2-1. Achievements of the Project

#### 2-1-1 Outputs

**Output 1: The capacity of actors related to COGES is developed at all levels**

**Output 2: A COGES monitoring system is established**

**Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established**

With the efforts of both the Nigerien and the Japanese sides, most of the outputs have been achieved while some indicators which need further improvement were identified. The status of the achievement of each indicator is as follows:

#### **Output 1: Capacity of actors related to COGES is developed at all levels**

*(1) 90% of the regional COGES supervisors (PFs) and the district COGES officers (ORs) have participated in a series of trainings on the establishment of COGES and the planning of school activities*

As a result of the project activities, All regional COGES supervisors (8) and district COGES officers (51) in all regions in Niger received the training on establishment of COGES, planning COGES activities and basic accounting.

*(2) A regional training program has been developed for each region*

The regional training program to establish COGES and to develop and implement school activity plans were formulated in all six new target regions.

*(3) 90% of the principals of primary schools in the six (6) regions have participated in a training on the establishment of COGES*

6,579 principals (99.5 % of all school) have participated in the training on democratic election of COGES members in all six new target regions<sup>1</sup> with financial support from the World Bank. As the number of the school has increased in all regions, this training for new principals continues to be conducted by using the Counterpart Fund of Japanese cooperation.

---

<sup>1</sup> The targeted regions are following: Agadez, Diffa, Dosso, Niamey, Maradi and Thillaberi.

Table1 Participation Rate of School Principals in Training on Democratic COGES Establishment

	Expected Number of Participants	Number of Participants (Principals)	Participation Rate (%)
Agadez	364	364	100.0
Diffa	425	425	100.0
Dosso	1,802	1,795	99.6
Maradi	1,868	1,868	100.0
Niamey	493	453	91.9
Tillaberi	1,860	1,870	100.5
Total	6,812	6,579	99.5

Source: EPT Project

(4) 90% of the COGES representatives in the six (6) regions have participated in a training on the planning of school activities

13,267 COGES members (98.5% of the expected number<sup>2</sup>) have participated in the training on the development of school action plans in all six new target regions<sup>3</sup> with financial support from the World Bank. In Agadez region, the participation rate of the training is lower compared with other regions. This is thought to be causally related to the difficulty in access to the training session because of scattering of schools in a desert area.

Table2 Participation Rate in Training on Action Plan Development and Basic Accounting

	Expected No. of Participants	No. of Participants	Participation Rate (%)
Agadez	728	622	85.4
Diffa	850	769	90.5
Dosso	3,608	3,604	99.9
Maradi	3,736	3,748	100.3
Niamey	984	916	93.1
Tillaberi	3,558	3,608	101.4
Total	13,464	13,267	98.5

Source: EPT Project

(5) The strategies of COGES and FCC have been improved

The strategies of COGES and FCC have been improved. The FCC model was adopted at the national workshop organized by MEN in July 2008.

## Output 2: A COGES monitoring system is established

(1) A model of FCC has been endorsed

After FCC model was adopted at the national workshop in July 2008, the ministerial ordinance n° 00168/MEN/SG/DGEB was published in 24 octobre 2008 regarding the establishment, duty, structure and function of FCC. The ordinance provides that FCC is given a clear function and duty on monitoring COGES.

<sup>2</sup> Expected number in the planning stage

<sup>3</sup> Training in Tahoua and Zinder had been conducted during the Phase I of the Project.

- (2) 100% of the communes in Niger have a communal federation of COGES (FCC) whose committee members have been elected democratically

As of December 2009, all 149 communes in 5 regions<sup>4</sup> established FCC. The access from the commune office to school is extremely difficult for 2 communes in Diffa, therefore the training was not conducted in these communes.

- (3) Monthly meetings of district COGES officers (OR) have been held at least ten (10) times a year in each region

More than 10 monthly meetings of OR were conducted per year in all regions. Monthly meetings were postponed due to the delay in disbursement of the Counterpart Fund in 2008. However as the Fund was made available in February 2009, the OR meeting has been conducted as planned since then.

Table 3 Number of Monthly Meeting Held in Each Region

	Number of monthly meeting
Agadez	10
Diffa	11
Dosso	12
Maradi	10
Niamey	12
Tahoua	11
Tillaberi	12
Zinder	11

Source: EPT Project

- (4) 80% of the FCC has held at least three (3) general assemblies and six (6) committee meetings in 2009/2010

Since the nationwide FCC was initiated in the mid year of 2008-2009, it is too early to make analysis of this indicator for new target regions<sup>5</sup>. However the general assembly and committee meeting are held as planned in all regions. As in Tahoua and Zinder where FCC was developed in early stage, 82% of FCC held at least 3 general assemblies and 6 committee meetings in 2008/2009, the possibility for achieving this indicator is high in 2009-2010 in the new regions.

Table 4 Number of FCC Which Held at Least 3 General Meeting and 6 Committee Meetings

	Total number of FCC	Number of FCC which held at least 3 general meeting and 6 committee meetings	Percentage (%)
Tahoua	44	33	75
Zinder	55	48	87
Total	99	81	82

Source: EPT Project

<sup>4</sup> Training in Agadez has been postponed because of the insecurity situation. Although the total number of communes in the 5 regions is 151, 2 communes in Diffa were excepted because 2/3 of the COGES located over 100 km far from the commune office, which cause difficulty in functioning as a COGES commune.

<sup>5</sup> Training in Tahoua and Zinder had been conducted during the Phase I of the Project.

- (5) 80% of the FCC has implemented at least one thematic activity in 2009/2010

The Forum Approach according to the thematic issue has just started in several new target regions<sup>6</sup>. The Project identified that 69% of FCC have conducted at least one activity in 2008/2009. As the Forum Approach will contribute to improving this indicator, the target is expected to be achieved.

Table 5 Number of FCC Which Held at Least One Activity

	Number of FCC that held at least one activity	Number of All FCC	Percentage (%)
Diffa	0	10	0
Dosso	16	43	37
Maradi	33	47	70
Niamey	4	5	80
Tahoua	44	44	100
Tillabéri	21	44	48
Zinder	54	55	98
Total	172	248	69

Source: EPT Project

**Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established**

- (1) 50 COGES have submitted meeting minutes for the establishment of community pre-schools in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively

To respond to the needs for pre-primary education in the community, 52 COGES (Tahoua:29, Zinder:33) in 2008/09, and 53 COGES (Tahoua:17, Zinder 36) in 2009/10 submitted the minutes to the Inspection of Pre-school Education (IEP) office in order to establish community pre-schools.

- (2) 50 community pre-schools have been established and managed by the COGES in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively

In Tahoua and Zinder region, 52 pre-schools (Tahoua:29, Zinder:33) in 2008/09, and 53 pre-schools (Tahoua:17, Zinder 36) in 2009/10 were newly established by COGES with support of UNECEF. So far 165 community pre-schools have been established in Tahoua and Zinder regions in total. The current total number of enrolled pre-school children in both regions is expected nearly 10,000. The establishment of pre-school has several positive impacts on the access to and quality of the primary education. For example, almost all pre-school children enroll a primary school.

<sup>6</sup> After Maradi (April 2009), Tillabéri (May 2009), Dosso (December 2009) conducted a forum, FCC held activities based on the contents of the forum.



Table6 Number of Community Pre-school and Pre-school Children

		Community pre-schools	Pre-school children	Pre-school children (female)	Percentage of female (%)
2008/09	Tahoua	54	3,674	1,724	46.9
	Zinder	55	2,825	1,383	49.0
	Total	109	6,499	3,107	47.8
2009/10 (Dec.2009)	Tahoua	71	N/A	N/A	N/A
	Zinder	94	N/A	N/A	N/A
	Total	165	N/A	N/A	N/A

Source: EPT Project

(3) *A model of community pre-schools has been endorsed*

The model of community pre-school managed by functional COGES was adopted as an official model at the national workshop in August, 2008, organized by MEN, indicating political and institutional sustainability of the model. Moreover, “the guideline of establishment of community pre-school” was developed based on the pilot activities in Tahoua and Zinder. The workshop on the guideline was held in December 2009 in order to officially endorse and share the guideline.

(4) *90 % of the FCC in the regions which had organized regional forums has held a general assembly for information sharing and consensus building on the commitments made at the forums*

After holding the forum for the thematic issue of their region, more than 95 % of the FCC in Maradi, Tahoua, Tillaberi and Zinder held general assembly for sharing information and building consensus on the commitment made at the forum. The monitoring is currently being carried out in Dosso region as the forum was organized just a month before the final evaluation.

Table7 Number of General Assembly on Forums (2008-2009)

	Number of General Assembly	FCC	Percentage (%)
Maradi	47	47	100%
Tahoua	42	44	95%
Tillaberi	44	44	100%
Zinder	55	55	100%

Source: EPT Project

## 2-1-2. Project Purpose

**Project Purpose: Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide**

(1) *80% of the COGES have been established through democratic elections*

By February 2009, 6,577 schools which are 97.1% of the expected number<sup>7</sup> of total schools in Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, and Tillaberi<sup>8</sup> democratically established COGES and submitted the minutes on the establishment to COGES officers after the training conducted by MEN with resources from PADEB financed by the World Bank.

Table8 Number and Rate of Established COGES (February 2010)

	Total number of primary schools	Schools submitted minutes on establishment of COGES <sup>9</sup>	Submission Rate (%)
Agadez	364	237	65.1
Diffa	425	425	100.0
Dosso	1,795	1,795	100.0
Maradi	1,868	1,868	100.0
Niamey	453	360	79.3
Tillaberi	1,870	1,892	101.2
<b>Total</b>	<b>6,775</b>	<b>6,577</b>	<b>97.1</b>

Source: EPT Project

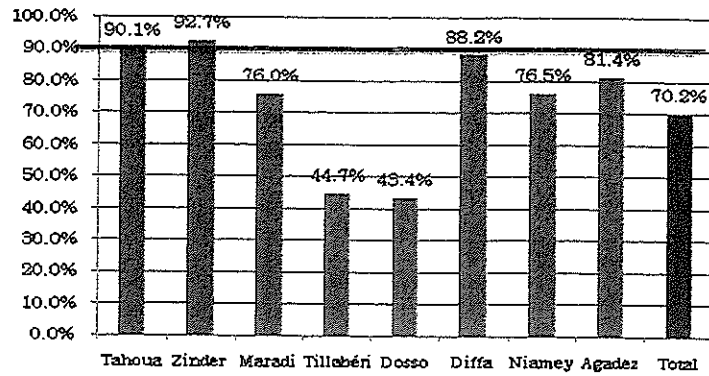
(2) *90% of the COGES have submitted school action plans to their respective communal federations of COGES (FCC)*

6,632 COGES have submitted action plans to their respective FCC in 2008-09 which is 70.2 % of all COGES. While Tahoua and Zinder have achieved 90 %, the others have not achieved the target. Although, latest data has shown that there are some improvements, the Project is required for further efforts to achieve this target level.

<sup>7</sup> The expected number of total schools means the number of total schools which is expected to operate at the time of provision of training when trainings are planned. The number of schools always increases in Niger. This is the reason why the number of schools which submitted minutes on establishment of COGES exceeds the total number of primary schools.

<sup>8</sup> In Tahoua and Zinder, democratic establishment of COGES had been done in the Phase I.

<sup>9</sup> Number of schools which submitted minutes on establishment of COGES is used as an indicator for the number of COGES established through democratic election because the minutes of the general assembly for establishment of COGES describe the election results.

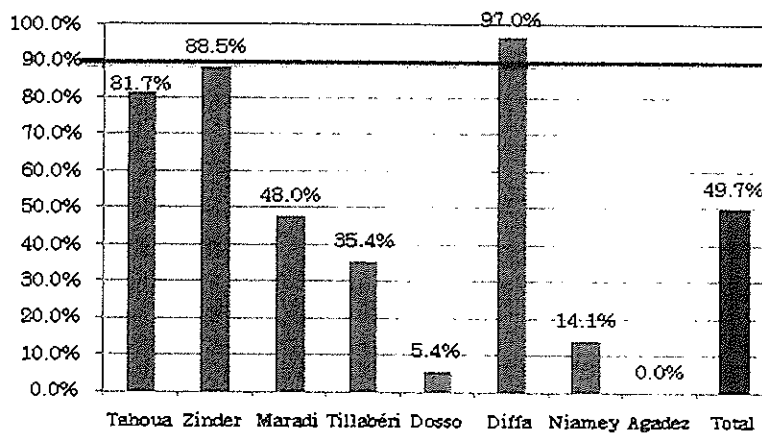


Source: EPT Project

Figure1 Submission Rate of Action Plan

(3) More than 80% of COGES submitted annual report of action plans to their respective FCC

5,302 COGES have submitted annual report to their respective FCC in 2008-09 which is 49.7% of all COGES. The target has not been achieved yet in most of the regions. The indicator needs to be improved. In addition, the quality and storage method should be improved.



Source: EPT Project

Figure2 Submission Rate of Annual Report

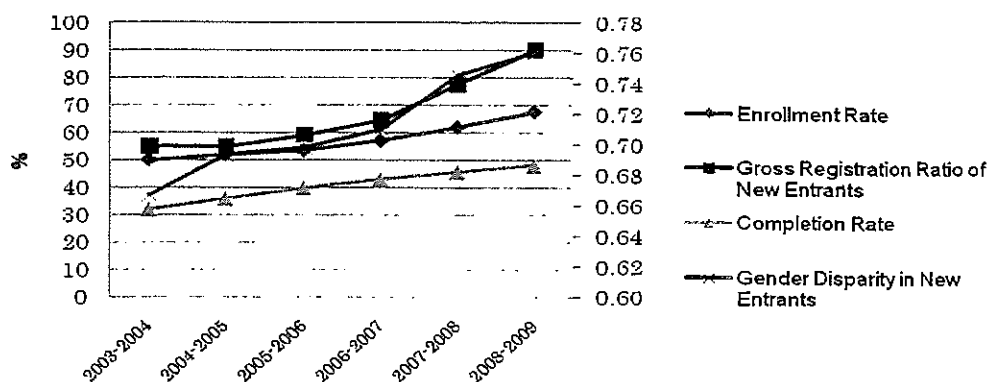
### 2-1-3. Overall Goal

**Overall Goal: The quality of and the access to basic education are improved by school management through community participation**

Since the Phase I of the Project started in 2004, overall goal indicators such as enrollment rate, completion rate, gross admission rate of new entrants and gender parity in new entrants have improved as shown in the chart below. Activities implemented by functional COGES and through Forum Approach<sup>10</sup>

<sup>10</sup> The Forum Approach is the approach which enables to solve educative problems through conducting thematic

such as a campaign on the improvement in girls' enrollment and achievement of students are thought to be promotion factors in the improvement of these Overall goal indicators.



Source: National statistic of the primary education

Figure3 Overall Goal Indicators

## 2-2. Results of the Evaluation

### 2-2-1. Implementation Process

All the activities in PDM were initiated, although the disbursement of the Counterpart Funds for COGES monitoring activities was delayed. However since the disbursement started in February 2009, the Project is trying to make up for this delay. Some contribution and hindering factors were identified as follows:

#### (1) Contribution factors to the process

##### (i) Visualizing project outcomes

The Project outcomes were measured before and after the forum to make it possible to evaluate the impact of the forum. The project stakeholders agreed that showing visible outcomes of the Project is the most important factor for communities, teachers and educational administrators to become more responsive to COGES activities. By showing strong impacts from the forum which held to solve regional educational issues, the project enables to enhance initiative of all actors.

##### (ii) Community needs based activities

Though there are vast educational needs in community level, the community themselves have difficulty to meet these needs. The Project successfully nurtures the ownership of communities through the capacity development which enables communities to identify and meet their needs by themselves. In the COGES meeting, not only COGES members but community leaders and residences are able to

---

activities. The representatives from FCC, education administration and municipality participate to the forum to discuss educational issue based on the regional education needs. The all participants reach consensus and express the commitment on the implementation of concrete activities for this theme.

discuss the issues of their schools. As a result, community regards the improvement of schooling condition as their own issue through the COGES activities.

(iii) Commitment from all actors

In Forum Approach, all actors including community leaders and decentralized officers of MEN (DREN, inspectors) are committed to fulfill their responsibilities (through the thematic activities conducted in their regions). Monitoring by COGES supervisors and COGES officers have promoted campaign activities. Commitments from all the actors to each of their responsibilities have led to tangible outputs of the Forum Approach.

(2) *Hindering factors against the process*

(i) Deteriorating security

Due to deterioration of public security in some regions, the Project monitoring activities by Japanese experts are restricted since November 2009. Although negative impacts of this restriction on the activity have not been identified yet, the Project is now considering feasible means to solve this potential hindering factor.

**2-2-2. Evaluation by the Five Criteria**

**Relevance: Very High**

**Relevance of the Project Strategy**

- The Project Purpose corresponds to the national education policy of Niger stipulated in the PDDE which aims at the enhancement of community-based school management as a part of decentralization in education.
- Pre-school education is also emphasized in the PDDE. In particular, PDDE is aiming to improve pre-school enrolment rate to 5% by the year 2013, and to expand pre-school education in rural areas.
- Improving access to and quality of basic education through community-based school management is consistent with the Japanese aid policy as Japan pledged to expand the school management model to 10,000 schools in Western Africa at TICAD IV in May 2008.

**Needs for this Project**

- The Project Purpose to establish and functionalize COGES nationwide meets the needs of children and community for better school management based on the local demand.
- Community pre-school is one of the activities of COGES for which the strong need of community has been identified especially in rural areas.

**Relevance of the Project Strategy**

- Introducing the school management by the initiative of functional COGES is an appropriate strategy to address the educational issues in Niger where the resources of the government are limited.

22

- Those who are selected by democratic election under COGES approach were highly motivated to make COGES functional, and committed to be transparent to community through general assemblies.
- FCC model had been successfully adapted in each region. Currently the FCC has an important role for promoting communication among each COGES and stakeholders. Thus, the establishment of FCC system has made COGES activates more varied and dynamic.

**Effectiveness: High (mostly achieved)**

**Prospect of Achieving the Project Purpose**

- COGES have been democratically established in 97.1% of the schools nationwide. On the other hand, the indicator for measuring number of submitted school action plans and annual report by COGES is still achieving at the time of the final evaluation. This means that establishment of COGES monitoring system is still under process.
- Based on the result of the mid-term review in February 2009, the indicators of the Project Purpose are clearly defined in the revised PDM. The target level is appropriate to show the functionality of COGES. However, the quality of submitted school action plan and annual report should also be assessed.

**Cause and Effect Relations**

- Capacity development of stakeholders related to COGES (Output1). As a result of the capacity development of all stakeholders, COGES were democratically established as planned. The training for COGES supervisors and COGES officers contributed to enhancement of the functionality of COGES.
- Establishment of COGES monitoring system (Output 2) by FCC and COGES officers have contributed to strengthening the functionality of COGES.
- Establishment of education improvement activity models (Output 3) such as community pre-school, Forum Approach and inspectors' meeting have contributed to strengthening the functionality and the supporting system of COGES.

**Hindering Factor in Effectiveness**

- Striking poverty to the household has influenced on the amount of the annual budget of the FCC and COGES due to the contribution from parents and partners was affected by the economic situation of communities.

**Efficiency: High**

**Activities and Inputs to Produce the Outputs**

- Project well utilized limited resources to produce the expected Outputs. Though some of the outputs have not been realized yet due to the delays in the disbursement of the Counterpart Funds and the supply of motorbikes for COGES officers in the early stage of the Project, the overall efficiency of

the Project is considered high.

- The effort to minimize the training cost by reducing length and component of the training has been stressed in the Project. This makes it possible for the project model to be disseminated nationwide.
- While the Project targets all regions, the minimum number of Japanese experts and local staff has been allocated. This causes overload of the Project members. Therefore the Project should prevent this overload task to ensure the quality of the Project.

#### **Contribution Factors in Efficiency**

- Financial assistance of the World Bank under the framework of PADEB enabled the implementation of training necessary for the establishment of COGES nationwide.
- The collaboration with UNICEF based on the agreement on community pre-schools worked effectively as UNICEF supported the pedagogical aspects including supply of educational materials while the Project provided technical support for the establishment and management of pre-school, which enabled the rapid expansion of the pre-schools in Tahoua and Zinder.

#### **Impact: Very High**

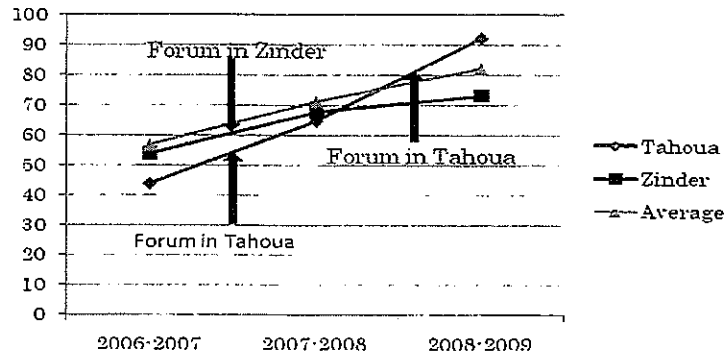
##### **Prospect of Achieving the Overall Goal**

- According to the National Statistic on the basic education, the indicators of the Overall Goal have been improved since the Project phase I started in 2004. Although there are many factors that have influence on this improvement, the project contribution to this improvement is identified through the interview to the Nigerian stakeholders.
- Overall Goal indicators have improved significantly in the states of Tahoua and Zinder where the COGES has been established since Project phase I. This shows that the enhancement of the function of COGES would contribute to the improvement of the educational condition at the school level. Therefore the all Overall Goal indicators are expected to improve at national level through the continuation of the Project activities to enforce the function of COGES.

#### **Impact of Forum Approach**

##### *(1) Girls' Enrolment Promotion*

- The Girls' enrolment promotion campaigns have been conducted in Zinder from May 2007 and in Tahoua from April 2008. As a result, the number of girl's registration has remarkably increased and the gender disparity has been improved as shown below.

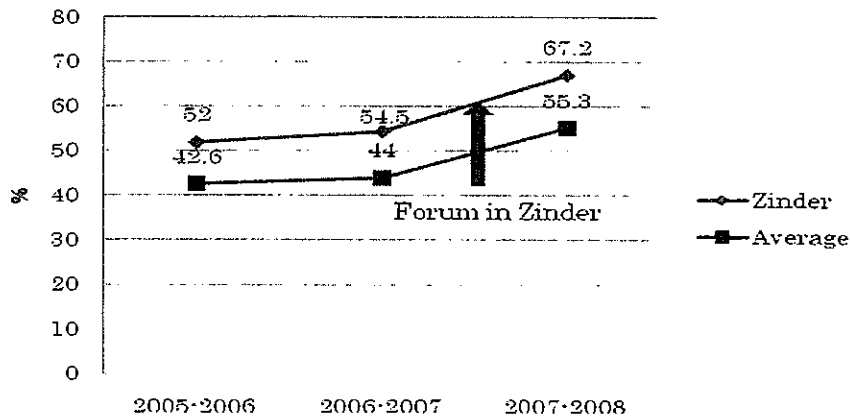


Source: National statistic of the primary education

Figure4 Increase of Girl's Registration Rate

*(2) Improvement in Education Quality*

- Improvement in quality of education campaign has been conducted in Zinder since January 2008. As a result, Zinder marked the best passing rate of 67.2% among the all regions in 2007-08. Although there are many factors for the improvement of the student achievement, particularly the passing rate of the final examination, Forum Approach could be considered one of the major factors of this improvement. (drill and mock examination)



Source: National statistic of the primary education

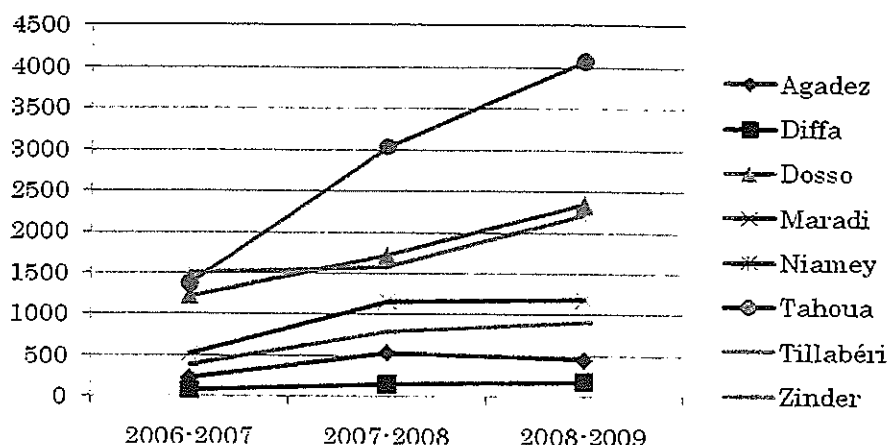
Figure5 Passing Rate of Final Examination

**Impact of Introduction and Expansion of Community Pre-schools**

- As an impact of the introduction and expansion of community pre-schools, Tahoua marked the highest enrolment rate of pre-primary education in rural areas as shown in the figure below. This improvement in pre-school enrolment rate in rural areas directly contributes to the realization of PDDE.
- There are many positive impacts of introducing community pre-schools on primary education such as promoting girl's education, improving class management of primary school etc.

AA





Source: National statistic of the primary education

Figure6 Pre-school Enrolment Rate in Rural Areas

### **Extended Effects**

- In Maradi region, district COGES officer organized a forum at the commune level. In the interview a COGES officer suggested that the district level forum is required because district readers should be involved and committed to the activities, moreover the educational issues at commune level are different from those at regional level.
- The Project has supported the promotion of community-based school management in Senegal, Mali and Burkina Faso through hosting experience sharing seminars and sending Project staff to the respective country to provide technical assistance.

### **Sustainability: Medium**

#### **Political and Institutional Aspect (National Level)**

- Enhancement of community-based school management as a part of decentralization in education is stipulated in PDDE.
- The functional COGES model and the FCC model have both been adopted as official models in the national workshop and related ministerial ordinance have been published.
- MEN has sufficient capacity to implement the COGES strategy. However it is observed that the active participation of the MEN in the project activities continues to enjoy the impacts of the Project. The initiative of the MEN for enhancing the implementation of COGES strategy is required.

#### **Institutional and Organizational Aspect**

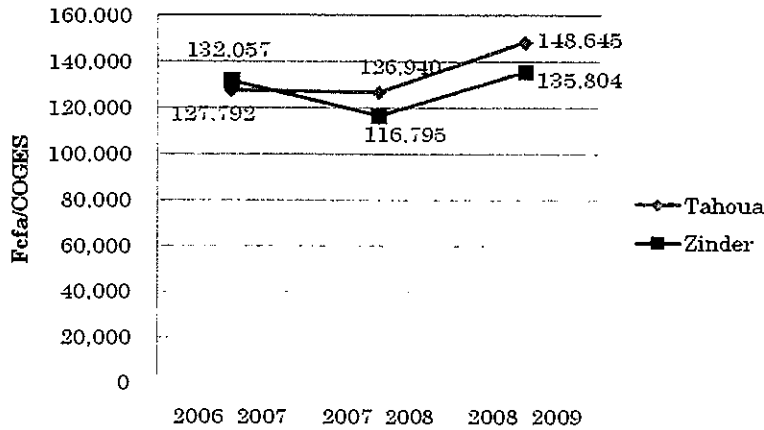
- Each DREN understands the importance of COGES in education development and strongly support the implementation of the policy at the regional level.
- Most of the regional COGES supervisors posted to each DREN have enough capacity and ownership to supervise COGES officers on the monitoring on COGES.
- FCC has been established at the communal level based on the ministerial ordinance. The importance of the FCC has been identified by all the stakeholders of the Project. The function of FCC promotes the efficiency of COGES monitoring.

#### **Financial Aspects**

- With the Counterpart Funds for the cost of fuel for COGES officers, the monitoring activities were

smoothly conducted. However, this fact leaves a question for financial sustainability for monitoring.

- The budget of FCC is mobilized from the contribution from COGES and partners such as local government, local company etc. In order to collect continuous financial support from these partners, FCC members suggested that they need more training opportunity on financial management, advocacy and proposal development.
- The annual report from COGES in Tahoua and Zinder<sup>11</sup> shows strong initiative made in resources mobilization at school and communities. The average amount of the mobilized budget per COGES is improved in both regions as a table below.



Source: EPT Project

Figure7 Average Mobilized Budget in Tahoua and Zinder

**Technical Aspect**

- Regional COGES supervisors and district COGES Officers have sufficient capacity to carry out training related to the establishment of COGES and FCC nationwide. More than 1000 of primary schools are established each year in Niger. Regional COGES supervisor and district COGES officers have also responsibility to train these newly established COGES members. However, low collection rate of school action plan and annual report was identified due to the lack of ability of COGES members. Therefore, the follow-up training should be considered to the COGES members.
- In order for effective use of a limited resource and to establish sustainable monitoring system, the capacity development of the inspectors has been implemented through the monthly meeting in the regions which had organized a forum. This capacity development of inspectors and incorporating the COGES monitoring into a primary duty of the district education administration will lead to maintaining the sustainable COGES system.

<sup>11</sup> Sample size is 1165 COGES (58%) in Tahoua, 1506 COGES (72%) in Zinder

### 2-3. Conclusion

In the phase 2 of EPT, the project has been making lots of efforts to develop capacity of COGES-related personnel and to establish a new monitoring system by COGES officers and COGES Federation called FCC model. Moreover, the project developed the Forum Approach, a regional educational development model in which community and government work together, and it has given a large impact on the educational development in Niger. In order to further develop regional education, regular meetings of inspectors in each province proposed and supported by the project have been institutionalized and producing remarkable outputs.

Concerning the community pre-schools which COGES took an initiative in carrying out, the number of registered kindergartners is now more than 10,000 and it has become the official model in Niger.

Despite a large number of positive results brought during the phase 2, the trial period for verifying the FCC model and its monitoring system was insufficient so that the project purpose has not yet been achieved. Therefore, the Team and Niger side agreed to recommend to the concerned authorities of both Niger and Japanese governments to extend the project period for one more year to achieve the purpose.

The functional COGES model in Niger and its monitoring system have become a good model for the neighboring countries and had reputation from all over the world. The team would like to praise the project members, CP/COGES and all other stakeholders involved in this project for their continuous and devoted efforts.

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

### 3. RECOMMENDATIONS

#### 3-1.Recommendations for the Short-term Perspective

##### *(1) Clarifying and Strengthening the roles of different players for monitoring COGES*

So far, mainly the COGES officers and FCC have been involved in monitoring COGES. However, different players in the decentralized education administration body including DREN, inspectors, academic advisors, principals etc. are also supposed to play important roles in monitoring as well. Thus it is highly required to define their roles in monitoring in the relevant policy (Recommendation for MEN).

##### *(2) Continuous efforts to establish a system of Functional FCC*

After the nation-wide establishment of FCC, it has important role to conduct monitoring COGES since 2009. However, it does not function fully yet as it is less than one year since it started nationwide. Therefore, further reinforcement of the COGES monitoring system based on FCC through the improvement of its functions is needed hereafter (Recommendation for Project).

##### *(3) Securing budget for COGES monitoring*

At the moment, expenses for monitoring COGES including monitoring by COGES officers and monthly-meeting are allocated from Counterpart Fund. It is needed to secure the budget for monitoring before Counterpart Fund ends (Recommendation for MEN).

##### *(4) Consolidation and documentation of experiences of the Forum Approach*

The Forum Approach is a unique and effective means for educational development in which the MEN supports community-driven activities based on the needs of both the MEN and the communities. Experiences of the Forum Approach are expected to be consolidated and documented (Recommendation for Project).

#### 3-2.Recommendations for the Mid and Long-term Perspective

##### *(1) Strengthening the relationship among FCC, commune and different players in decentralized education administration body*

In the perspective of regional development in education and decentralization, it is far desirable for FCC, commune and different players in education administration body to collaborate together for regional education reforms. Though the relationship between FCC and commune was clarified by a decree in 2009, its partnership varies in each region or commune. From now on, it is required to reinforce the partnership among the three by setting up a regular meeting (Recommendation for MEN).

##### *(2) Securing the sustainability of the Forum Approach*

The Forum Approach has contributed to regional educational development by bringing out the potential of the community and, eventually to the educational development of the whole country. However, it is implemented intermittently, which would cause a problem of sustainability. Thus, mechanism to secure the sustainability of this approach should be considered (Recommendation for

24

MEN).

*(3) Further support for COGES (capacity, finance, material)*

The functional COGES model developed by the project over the phase 1 and 2 has been established and spread out all over the country and greatly contributed to the improvement in education in Niger by COGES initiated activities with resources contributed by communities. Due to the limit of financial and material resources available in a community, however, introduction of external resources is to be taken into account for the coming future. Trainings for further strengthening planning and resource management skills are required before introducing external resources. Moreover, training module on COGES should be included in the pre-service training program (Recommendation for MEN and Project).

*(4) Making a strategy for the nation-wide establishment of the Community pre-schools*

The model of Community pre-school developed jointly by the project, UNICEF and MEN has brought about remarkable outputs and been approved and institutionalized by the Nigerien Government. Though continuously they are supposed to work together in order to establish and spread it nation-wide, a strategy and approaches for the nation-wide establishment have not yet been in place. Thus, it is needed to establish the strategy (Recommendation for Project, UNICEF, MEN)

24

24

## ANNEX 1 Inputs to the Project

### 1-1. List of Japanese Experts

#### (1) List of Long-term Expert

No.	Name	Field	From	To
1	Mr. Masahiro Hara	Chief Advisor/Education Advisor	1 Aug 2007	1 Aug 2008
2	Ms. Hiroko Miura	Chief Advisor/Education Advisor	25 Jun 2008	present
3	Mr. Kimikazu Onoue	COGES Monitoring	1 Aug 2007	29 Mar 2008
4	Ms. Akiko Kageyama	Development of COGES Initiatives (School Action Plans)	27 Sep 2007	27 Dec 2009
5	Ms. Junko Nakazawa	Capacity Development/Coordinator	1 Aug 2007	30 July 2009
6	Mr. Nobuhiro Kunieda	COGES Monitoring	10 Mar 2008	present
7	Ms. Nana Kondo	Capacity Development/Coordinator	28 Jun 2009	present

#### (2) List of Short-term Expert

No	Name	Field	From	To
1	Ms. Minako Morimoto	Local Education Administration	2 Jan 2008	26 Feb 2008

**ANNEX 1-2. List of Main Machinery and Equipment Provided by JICA**

Item	Specification (Model Name/No, Manufacturer )	Quantity	Unit Price (NGN)	Sub Total	Delivery Date	Beneficiaries	Condition
Air conditioner	SHARP 2HP	2	435,000	870,000	Nov. 13 2007	Niamey, Konni	Good
Printer	HP F 2180 Color	3	127,500	382,500	Nov. 13 2007	Niamey, Konni	Repair is needed
Laser Printer	HP 5550 DN Color	1	2,995,000	2,995,000	Jan. 18 2008	Niamey	Good
Safety Box	100kg	1	350,000	350,000	Nov. 14 2007	Konni	Good
Fax machine	Panasonic KX-FP series	1	230,000	230,000	Nov. 28 2007	Konni	Good
Photocopier	TOSHIBA e-studio165	1	1,883,193	1,883,193	Nov. 19 2007	Niamey	Good
Notebook PC	Potable HP processor Intel Celeron M	1	650,000	650,000	Dec. 4 2007	Niamey	Good
Desktop PC	HP Compaq	1	820,000	820,000	Dec. 4 2007	Niamey	Good
UPS	UPS800VA	1	120,000	120,000	Dec. 4 2007	Niamey	Good
Motorcycle	SUZUKI TF125	9	1,700,000	15,300,000	Dec. 13 2008	Tahoua	Good
Notebook PC	HP 530	2	680,000	1,360,000	Mar. 3 2008	Niamey	Good
Vehicle	Toyota Land Cruiser HZJ 76L	1	21,000,000	21,000,000	July 15 2008	Niamey	Good
Vehicle	Toyota Land Cruiser HZJ 76L	1	21,000,000	21,000,000	Aug. 1 2008	Niamey	Good
Vehicle	Toyota Land Cruiser VDJ 200L	1	34,000,000	34,000,000	Mar. 31 2009	Niamey	Good
Vehicle	Toyota Prado LJ 120	1	21,500,000	21,500,000	July 3 2009	Niamey	Good

**ANNEX 1-3. List of Participants in Counterpart Training in Japan**

No	Name	Position or Profession	Course Title	Venue	From	To
1	Marou Amadou	Director-General of Basic Education of MNE	Study on Education Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries	Osaka	Nov 2008	Dec 2008
2	Ali N'Diaye Ibrahim	Director of Regional Office of National Education/Zinder	Study on Education Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries	Osaka	Nov 2008	Dec 2008
3	Damana Issaka	National Coordinator of CP/COGES, MNE	Study on Educational Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries	Osaka	Nov 2009	Dec 2009
4	Yeya Dan Inna	Deputy Director of Regional Office of National Education/Niamey	Study on Educational Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries	Osaka	Nov 2009	Dec 2009

21



**ANNEX 1-4. List of Nigerien Counterparts**

No.	Name	Position
1	Maignizo Rakiatou Zada	Secretary-General, Ministry of National Education (MEN) National Coordinator of the Project
2	Marou Amadou	Director-General of Basic Education, MEN
3	Aliou Ibrahim	Director, Department of Studies and Programming, MEN
4	Damana Isaka	National Coordinator of CP/COGES, MEN
5	Abdou Aman	Director, Regional Office of National Education/Agadez
6	Abba Baitou	Director, Regional Office of National Education/Diffa
7	Issouf Sidi Mohamed	Director, Regional Office of National Education/Dosso
8	Erambel Iba Abdoulaye	Director, Regional Office of National Education/Niamey
9	Baudin Joseph	Director, Regional Office of National Education/Maradi
10	Gati Hassane Mamoudou	Director, Regional Office of National Education/Tahoua
11	Ali Issa Willy	Director, Regional Office of National Education/Tillabéri
12	Boukar Kolimi	Director, Regional Office of National Education/Zinder

**ANNEX 1-5. List of Land, Buildings and Facilities**

No.	Building/Facilities
1	Project Office (Niamey)
2	Project Office (Konni) <sup>12</sup>

---

<sup>12</sup> The project office in Tahoua region (Konni) has been closed since December 2009 in accordance with the leave of a Japanese expert.

## ANNEX 2. Project Design Matrix (PDM)

**Project Title:** Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

**Target Area:** All the regions (Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, Tahoua, Tillaberi, Zinder)

**Target Group:** Parents/community residents, principals, teachers and local education administrators

**Duration:** August 1, 2007 – July 31, 2010 (3 years)

*Modified and endorsed on November 3, 2009*

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p><b>OVERALL GOAL</b></p> <p>The quality and the access of basic education are improved by school management through community participation</p>	<p>Changes in enrollment rate Changes in repetition rate Changes in dropout rate Changes in completion rate</p>	<p>Statistics of MEN, DREN, IEB</p>	
<p><b>PROJECT PURPOSE</b></p> <p>The structure to establish and sustain school management committees (COGES*) is reinforced to make COGES effective nationwide</p>	<p>1 80% of the COGES have been established through democratic elections 2 90% of the COGES have submitted school action plans to their respective communal federations of COGES (FCC**) 3 80% of the COGES have submitted annual reports to their respective communal federations of COGES (FCC)</p>	<p>1 Reports of regional COGES supervisors (PFs) and district COGES officers (ORs) 2 Reports of PFs / ORs 3 Reports of PFs / ORs</p>	<p>Niger's education policy which places importance on COGES is unchanged</p>
<p><b>OUTPUTS</b></p> <p>The capacity of actors related to COGES is developed at all levels</p>	<p>1-1 90% of the regional COGES supervisors (PFs) and the district COGES officers (ORs) have participated in a series of trainings on the establishment of COGES and the planning of school activities 1-2 A regional training program has been developed for each region 1-3 90% of the principals of primary schools in the six (6) regions have participated in a training on the establishment of COGES 1-4 90% of the COGES representatives in the six (6) regions have participated in a training on the planning of school activities 1-5 The strategies of COGES and FCC have been improved</p>	<p>1-1 Report of the trainers training 1-2 Regional training program developed 1-3 Reports of PFs 1-4 Report of the trainers training 1-5 Revised strategy papers on the COGES and FCC</p>	<p>➤ The schools do not face serious disturbances ➤ The poverty situation of households with school-aged children does not worsen</p>

2

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>2 A COGES monitoring system is established</p>	<p>2-1 A model of FCC has been endorsed</p> <p>2-2 100% of the communes in Niger have a communal federation of COGES whose committee members have been elected democratically</p> <p>2-3 Monthly meetings of ORs have been held at least ten (10) times a year in each region</p> <p>2-4 80% of the FCC have held at least three (3) general assemblies and six (6) committee meetings in 2009/2010</p> <p>2-5 80% of the FCC have implemented at least one thematic activity in 2009/2010</p>	<p>2-1 Report of the national workshop on the establishment of FCC</p> <p>2-2 Reports of PFs / ORs</p> <p>2-3 Reports of PFs / ORs</p> <p>2-4 Reports of PFs / ORs</p> <p>2-5 Reports of PFs / ORs</p>	
<p>3 A model of school improvement activities conducted by COGES is established</p>	<p>3-1 50 COGES have submitted meeting minutes for the establishment of community pre-schools in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively</p> <p>3-2 50 community pre-schools have been established and managed by the COGES in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively</p> <p>3-3 A model of community pre-schools has been endorsed</p> <p>3-4 90 % of the FCC in the regions which had organized regional forums have held a general assembly for information sharing and consensus building on the commitments made at the forums</p>	<p>3-1 Meeting minutes elaborated</p> <p>3-2 Reports and/or statistics of the Inspectors of pre-schools (IEP)</p> <p>3-3 Report of the department of pre-schools on the model of community pre-schools</p> <p>3-4 Minutes of the general assemblies at FCC</p>	

ACTIVITIES	INPUTS		IMPORTANT ASSUMPTIONS
	JAPAN	NIGER	
1-1 To hold an introductory workshop for the local administrators related to COGES (e.g. DREN, Inspectors, etc.)	(a) Dispatch of Japanese experts 1) Long-term experts - Chief Advisor / Education Advisor - COGES Monitoring - Development of COGES Initiatives (School Action Plans) - Capacity Development / Coordinator	(a) Assignment of the counterparts - Director-General of Basic Education, Ministry of National Education (MEN) - National Coordinator of C.P.COGES - Director, Department of Studies and Programming, Ministry of National Education (MEN) - Regional Directors of National Education, Regional Offices of National Education (DREN)	➤ The security conditions do not deteriorate in any parts of the country.
1-2 To support trainers trainings to the regional COGES supervisors and district COGES officers on democratic elections, planning and implementation of school action plans and financial management	2) Short-term experts if necessary	(b) Provision of an office	➤ The Japanese "counterpart fund" allocated for the monitoring of activities of FCCs is regularly remitted to the accounts of the DREN.
1-3 To support the C.P.COGES***, regional COGES supervisors district COGES officers and NGO personnel on developing training programs	(b) Provision of equipment: vehicle for monitoring, motorcycles, etc. (if necessary)	(c) Allocation of project implementation cost	
1-4 To support regional COGES supervisors, district COGES officers and NGO personnel to conduct trainings on democratic elections, planning and implementation of school action plans and financial management	(c) Allocation of project implementation cost	(d) Others	
1-5 To support the C.P.COGES to refine the COGES and FCC strategies			
2-1 To revise manuals on the establishment and monitoring of FCC			
2-2 To support C.P.COGES to hold a national workshop for the endorsement of the model of FCC			
2-3 To conduct a training for COGES members on the establishment of FCC			
2-4 To support the regional COGES supervisors and the district COGES officers in holding monthly meetings at regional level			
2-5 To support the process of establishing a COGES-related reporting system from school level to national level			
2-6 To organize national workshops for experience sharing			
2-7 To organize regional forums of FCCs			
3-1 To conduct needs surveys on community pre-schools as school improvement activity in the regions of Tahoua et Zinder			
3-2 To support community pre-schools as school improvement activity at pilot schools of the regions of Tahoua et Zinder			
3-3 To compile documents on the model of community pre-schools as school improvement activity			
3-4 To hold seminars for experience sharing on community pre-schools as school improvement activity			
3-5 To support the regional education offices in holding inspectors meetings			
3-6 To support the initiatives of COGES via the FCCs for attaining the objectives of regional campaigns			

\* COGES : Comité de Gestion des Etablissements Scolaires (School Management Committee)

\*\* FCC : Fédération Communale des COGES (Communal Federation of COGES)

\*\*\* C.P.COGES : Cellule de Promotion des COGES (COGES Promotion Section)



**ANNEX 4. Evaluation Grid**  
**ANNEX 4-1: Achievements of the Project**

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study																																			
<p><b>Achievement of Overall Goal</b></p> <p>Quality of and access to basic education is improved by school management through community participation.</p>	<p><b>[PDM indicator]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Changes in Enrollment rate</li> <li>• Changes in Completion rate</li> <li>• Changes in Gross Registration Ratio of New Entrants</li> <li>• Changes in Gender Disparity in New Entrants</li> </ul>	<p>According to the National Statistic on the primary education, the indicators of the Overall Goal have been improved since the Project phase I started in 2004. The contribution of the Project activities to this improvement is also identified through the interview to the Nigerian stakeholders.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Overall Goal indicators have improved significantly in the states of Tahoua and Zander where the COGES has been established since Project phase I. This shows that the enhancement of the COGES function would play an important role to improve educational condition at the school level. Therefore the all Overall Goal indicators are expected to improve at national level through the continuation of the project activities to enforce the function of COGES.</li> </ul> <table border="1"> <caption>Graph Data (Approximate Values)</caption> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Enrollment Rate (%)</th> <th>Gross Registration Ratio of New Entrants (%)</th> <th>Completion Rate (%)</th> <th>Gender Disparity in New Entrants (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2003-2004</td> <td>55</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2004-2005</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>42</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>2005-2006</td> <td>62</td> <td>52</td> <td>45</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>2006-2007</td> <td>68</td> <td>60</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>2007-2008</td> <td>72</td> <td>68</td> <td>58</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>2008-2009</td> <td>78</td> <td>76</td> <td>68</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Enrollment Rate (%)	Gross Registration Ratio of New Entrants (%)	Completion Rate (%)	Gender Disparity in New Entrants (%)	2003-2004	55	45	40	35	2004-2005	58	48	42	38	2005-2006	62	52	45	42	2006-2007	68	60	50	50	2007-2008	72	68	58	60	2008-2009	78	76	68	72
Year	Enrollment Rate (%)	Gross Registration Ratio of New Entrants (%)	Completion Rate (%)	Gender Disparity in New Entrants (%)																																	
2003-2004	55	45	40	35																																	
2004-2005	58	48	42	38																																	
2005-2006	62	52	45	42																																	
2006-2007	68	60	50	50																																	
2007-2008	72	68	58	60																																	
2008-2009	78	76	68	72																																	

**Achievement of Project Purpose**

Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide.

【PDM indicator 1】80% of the COGES have been established through democratic elections

• By February 2009, 6,577 schools which are 97.1% of the expected number<sup>1</sup> of total schools in Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, and Tillaberi<sup>2</sup> democratically established COGES and submitted the minutes on the establishment to COGES officers after the training conducted by MEN with resources from PADEB financed by the World Bank.

Number of COGES established COGES and its rate as of February 2010.

	Total number of primary schools	Number of schools which submitted minutes on establishment of COGES <sup>3</sup>	Submission Rate (%)
Agadez	364	237	65.1
Diffa	425	425	100.0
Dosso	1,795	1,795	100.0
Maradi	1,868	1,868	100.0
Niamey	453	360	79.3
Tillaberi	1,870	1,892	101.2
<b>Total</b>	<b>6,775</b>	<b>6,577</b>	<b>97.1</b>

Source: EPT Project

• The number of the schools has increased at a rapid rate. Therefore the COGES also has been established continually by the efforts of Nigerian side. For example in Tillaberi region, more than 200 COGES were newly established in 2009. The results of the interview show that newly established COGES demonstrate strong initiative in supporting their schools.

• 7,333 COGES have submitted school action plans to their respective FCC in 2008-09 which is 70.2 % of all COGES. While Tahoua and Zinder have achieved 90 %, the others have not achieved the target.

• The latest data show that there is some improvement in the submission of school action plan. However, the Project still needs more effort to achieve the target level. The stakeholder suggested in the interview that this is because of lack of capacity of newly appointed COGES members in developing a school action plan.

• The inspect responsibility to collect school action plans from COGES in Maradi, Zinder and Tillaberi.

【PDM indicator 2】90% of the COGES have submitted school action plans to their respective communal federations of COGES (FCC)

<sup>1</sup> The expected number of total schools means the number of total schools which is expected to operate at the time of provision of training when trainings are planned. The number of schools always increases in Niger. This is the reason why the number of schools which submitted minutes on establishment of COGES exceeds the total number of primary schools.

<sup>2</sup> In Tahoua and Zinder, democratic establishment of COGES had been done in the Phase I.

<sup>3</sup> Number of schools which submitted minutes on establishment of COGES is used as an indicator for the number of COGES established through democratic election because the minutes of the general assembly for establishment of COGES describe the election results.



Submission Rate of Action Plan and Annual Report				
	No. of COGES	Action plans	Submission Rate (%)	Submission Rate (%)
	239	264	82.8	43.1
Agadez	381	330	88.2	85.6
Difa	1,798	1,147	43.4	5.4
Dosso	1,958	1,093	76.0	48.0
Maradi	383	159	76.5	15.1
Niamey	1,710	1,264	90.1	81.7
Tahoua	2,039	723	44.7	35.4
Tillaberi	1,876	1,652	92.7	88.5
Zinder				
<b>Total</b>	<b>10,384</b>	<b>6,632</b>	<b>70.2</b>	<b>51.1</b>

Source: EPT Project

- 5,195 COGES have submitted annual report to their respective FCC in 2008-09 which is 51.1% of all COGES. The target has not been achieved yet in most of the regions. Although some improvement is confirmed in new target regions, the Project is required more effort to achieve the target level.
- Some submitted annual reports have no coherency with school action plans and some of them are missing some items. The quality and storage policy of both the action plan and the annual report need to be developed.

**Achievement of Outputs**

1. Capacity of actors related to COGES is developed at all levels.

- As a result of the project activities, All regional COGES supervisors (8) and district COGES officers (51) in all regions in Niger received the training on establishment of COGES and planning COGES activities.
- Regional COGES supervisors and district COGES officers shows an understanding of the strategy of COGES and importance of monitoring. They are capable to plan and conduct training and support for COGES members. COGES officers' monthly meeting which had started in several regions has also contributed to develop their capacity.
- The regional training plan to establish COGES and to formulate school activity plan and implementation were formulated in all six new target regions.
- 6,579 principals (99.5 % of all school) have participated in the training on democratic election of COGES members in all six new target regions' with financial support from the World Bank. The number of the school has increased in all regions. This training for new principals continues to be conducted by using the Counterpart fund.

Participation Rate in Training on COGES Establishment

	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Expected Number of Participants</th> <th>Number of Participants (Principals)</th> <th>Participation Rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Agadez</td> <td>364</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>Diffa</td> <td>425</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>Dosso</td> <td>1,802</td> <td>99.6</td> </tr> <tr> <td>Maradi</td> <td>1,868</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>Niamey</td> <td>493</td> <td>91.9</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>1,860</td> <td>100.5</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>6,812</b></td> <td><b>99.5</b></td> </tr> </tbody> </table>	Expected Number of Participants	Number of Participants (Principals)	Participation Rate (%)	Agadez	364	100.0	Diffa	425	100.0	Dosso	1,802	99.6	Maradi	1,868	100.0	Niamey	493	91.9	Tillaberi	1,860	100.5	<b>Total</b>	<b>6,812</b>	<b>99.5</b>
Expected Number of Participants	Number of Participants (Principals)	Participation Rate (%)																							
Agadez	364	100.0																							
Diffa	425	100.0																							
Dosso	1,802	99.6																							
Maradi	1,868	100.0																							
Niamey	493	91.9																							
Tillaberi	1,860	100.5																							
<b>Total</b>	<b>6,812</b>	<b>99.5</b>																							
<p>Source: EPT Project</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>13,267 COGES members (98.5% of the expected number<sup>3</sup> have participated in the training on the development of school action plans in all six new target regions<sup>6</sup> with financial support from the World Bank.</li> <li>In Agadez region, the participation rate of the training is lower compared with other regions. This is thought to be causally related to the difficulty in access to the training session because of a scattering of schools in a desert area.</li> </ul>	<p>Participation Rate in Training on Action Plan Development</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Expected No. of Participants</th> <th>No. of Participants</th> <th>Participation Rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Agadez</td> <td>728</td> <td>85.4</td> </tr> <tr> <td>Diffa</td> <td>850</td> <td>90.5</td> </tr> <tr> <td>Dosso</td> <td>3,608</td> <td>99.9</td> </tr> <tr> <td>Maradi</td> <td>3,736</td> <td>100.3</td> </tr> <tr> <td>Niamey</td> <td>984</td> <td>93.1</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>3,558</td> <td>101.4</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>13,464</b></td> <td><b>98.5</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The improvements made in strategy of FCC and COGES are observed. First, FCC model had been adopted at the national work shop hosted by MEN in July 2008.</li> <li>Though a detail plan needs to be developed, MEN has an initiative for further improvement of COGES strategies.</li> <li>Based on the FCC model adopted at the national workshop in July 2008, the ministerial ordinance of the establishment, duty, structure and function of FCC had been published in October 2008. The ordinance provides that FCC has given a clear function and duty on monitoring COGES.</li> <li>As of December 2009, all 149 communes in 5 regions<sup>7</sup> established FCC. The access from the commune office to school is extremely difficult in 2 communes in Diffa therefore the training was not conducted in these communes.</li> <li>FCC plays an important role in campaign for awareness on girls' enrollment and learning achievement and communication between parents and COGES, and monitoring and supervision of COGES.</li> </ul>	Expected No. of Participants	No. of Participants	Participation Rate (%)	Agadez	728	85.4	Diffa	850	90.5	Dosso	3,608	99.9	Maradi	3,736	100.3	Niamey	984	93.1	Tillaberi	3,558	101.4	<b>Total</b>	<b>13,464</b>	<b>98.5</b>
Expected No. of Participants	No. of Participants	Participation Rate (%)																							
Agadez	728	85.4																							
Diffa	850	90.5																							
Dosso	3,608	99.9																							
Maradi	3,736	100.3																							
Niamey	984	93.1																							
Tillaberi	3,558	101.4																							
<b>Total</b>	<b>13,464</b>	<b>98.5</b>																							
<p>2. COGES monitoring system is established.</p>	<p>Source: EPT Project</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The strategies of COGES and FCC have been improved</li> </ul>																								
<p>2. COGES monitoring system is established.</p>	<p>Source: EPT Project</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The strategies of COGES and FCC have been improved</li> </ul>																								

21

<p>【PDM indicator 2-3】Monthly meetings of district COGES officers (ORs) have been held at least ten (10) times a year in each region</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 10 monthly meeting of ORs were conducted per year in all regions. The monthly meeting was postponed due to the delay in disbursement of the Counterpart Funds in 2008. However as the Funds were available in February 2009, the OR meeting has been conducted as planned since then.</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">Number of Monthly Meeting in Each Region</th> </tr> <tr> <th colspan="2">Number of monthly meeting</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Agadez</td><td>10</td></tr> <tr><td>Diffa</td><td>11</td></tr> <tr><td>Dosso</td><td>12</td></tr> <tr><td>Maradi</td><td>10</td></tr> <tr><td>Niamey</td><td>12</td></tr> <tr><td>Tahoua</td><td>11</td></tr> <tr><td>Tillabéri</td><td>12</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>	Number of Monthly Meeting in Each Region		Number of monthly meeting		Agadez	10	Diffa	11	Dosso	12	Maradi	10	Niamey	12	Tahoua	11	Tillabéri	12	Zinder	11																				
Number of Monthly Meeting in Each Region																																									
Number of monthly meeting																																									
Agadez	10																																								
Diffa	11																																								
Dosso	12																																								
Maradi	10																																								
Niamey	12																																								
Tahoua	11																																								
Tillabéri	12																																								
Zinder	11																																								
<p>【PDM indicator 2-4】80% of the FCC has held at least three (3) general assemblies and six (6) committee meetings in 2009/2010</p>	<p>Since the nationwide FCC was initiated in the mid year of 2008-2009, it is too early to make analysis of this indicator for new target regions. However the general meeting and committee meeting are held as planned in all regions. As in Tahoua and Zinder where FCC was developed in early stage, 82% of FCC held at least 3 general meeting and 6 committee meetings in 2008/2009, the possibility for achieving this indicator is high in 2009-2010 in the new regions.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">Number of FCC Which Held at Least 3 General Meeting and 6 Committee Meetings</th> </tr> <tr> <th>Total number of FCC</th> <th>Number of FCC which held at least 3 general meeting and 6 committee meetings</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Tahoua</td><td>44</td><td>33</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>55</td><td>48</td></tr> <tr><td>Average</td><td>99</td><td>81</td></tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>	Number of FCC Which Held at Least 3 General Meeting and 6 Committee Meetings			Total number of FCC	Number of FCC which held at least 3 general meeting and 6 committee meetings	Percentage (%)	Tahoua	44	33	Zinder	55	48	Average	99	81																									
Number of FCC Which Held at Least 3 General Meeting and 6 Committee Meetings																																									
Total number of FCC	Number of FCC which held at least 3 general meeting and 6 committee meetings	Percentage (%)																																							
Tahoua	44	33																																							
Zinder	55	48																																							
Average	99	81																																							
<p>【PDM indicator 2-5】80% of the FCC has implemented at least one thematic activity in 2009/2010</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The forum approach according to the thematic issue has just started in 2009 in Maradi, Tillabéri and Dosso. The results of the interview show that all actors of campaign for awareness on girls' enrollment and learning achievement are highly motivated because visible outcomes are observed as results of their activities.</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">Number and theme of Forum in each region</th> </tr> <tr> <th colspan="2">2007</th> <th colspan="2">2008</th> <th colspan="2">2009</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tahoua</td> <td></td> <td>Girls enrollment (Apr.)</td> <td>Dropout (Mar.)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>Girls enrollment (May)</td> <td>Learning achievement (Jan.)</td> <td>Dropout (Mar.)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Maradi</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Girls enrollment (Apr.)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Tillabéri</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Girls enrollment (May)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Dosso</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Dropout (Mar.)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>	Number and theme of Forum in each region				2007		2008		2009		Tahoua		Girls enrollment (Apr.)	Dropout (Mar.)			Zinder	Girls enrollment (May)	Learning achievement (Jan.)	Dropout (Mar.)			Maradi				Girls enrollment (Apr.)		Tillabéri				Girls enrollment (May)		Dosso				Dropout (Mar.)	
Number and theme of Forum in each region																																									
2007		2008		2009																																					
Tahoua		Girls enrollment (Apr.)	Dropout (Mar.)																																						
Zinder	Girls enrollment (May)	Learning achievement (Jan.)	Dropout (Mar.)																																						
Maradi				Girls enrollment (Apr.)																																					
Tillabéri				Girls enrollment (May)																																					
Dosso				Dropout (Mar.)																																					

de

de

<ul style="list-style-type: none"> <li>The Project identified that 69% of FCC have conducted at least one activity in 2008/2009. The indicator is expected to be achieved through conducting the forum in each region.</li> </ul>																																														
<p>Number of FCC Which Held at Least One Activity</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of FCC that held at least one activity</th> <th>Number of All FCC</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Diffa</td><td>0</td><td>10</td><td>0</td></tr> <tr><td>Dosso</td><td>16</td><td>43</td><td>37</td></tr> <tr><td>Maradi</td><td>33</td><td>47</td><td>70</td></tr> <tr><td>Niamey</td><td>4</td><td>5</td><td>80</td></tr> <tr><td>Tahoua</td><td>44</td><td>44</td><td>100</td></tr> <tr><td>Tillaberi</td><td>21</td><td>44</td><td>48</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>54</td><td>55</td><td>98</td></tr> <tr><td><b>Total</b></td><td><b>172</b></td><td><b>248</b></td><td><b>69</b></td></tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>		Number of FCC that held at least one activity	Number of All FCC	Percentage (%)	Diffa	0	10	0	Dosso	16	43	37	Maradi	33	47	70	Niamey	4	5	80	Tahoua	44	44	100	Tillaberi	21	44	48	Zinder	54	55	98	<b>Total</b>	<b>172</b>	<b>248</b>	<b>69</b>										
	Number of FCC that held at least one activity	Number of All FCC	Percentage (%)																																											
Diffa	0	10	0																																											
Dosso	16	43	37																																											
Maradi	33	47	70																																											
Niamey	4	5	80																																											
Tahoua	44	44	100																																											
Tillaberi	21	44	48																																											
Zinder	54	55	98																																											
<b>Total</b>	<b>172</b>	<b>248</b>	<b>69</b>																																											
<p>3. A model of school improvement activities conducted by COGES is established in pilot regions (Tahoua and Zinder).</p>	<p>[PDM indicator 3-1] 50 COGES have submitted meeting minutes for the establishment of community kindergartens in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively</p> <p>[PDM indicator 3-2] 50 community kindergartens have been established and managed by the COGES in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively</p>																																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>52 COGES (Tahoua:29, Zinder:33) in 2008/09, and 53 COGES (Tahoua:17, Zinder 36) in 2009/10 submitted the minutes to the Inspection of Preschool Education (IEP) office in order to establish community pre-schools.</li> <li>52 pre-schools (Tahoua:29, Zinder:33) in 2008/09, and 53 pre-schools (Tahoua:17, Zinder 36) in 2009/10 were newly established by COGES with support of UNECEF. So far, the 165 community pre-schools have been established in Tahoua and Zinder regions in total.</li> <li>The current total number of enrolled pre-school children of both regions is expected nearly 10,000. The establishment of pre-school has several positive impacts on the access to and quality of the primary education. For example, almost all pre-school children enroll a primary school.</li> </ul>																																														
<p>Number of Community pre-school and Pre-school Children</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Community pre-schools</th> <th>Pre-school children</th> <th>Pre-school children (female)</th> <th>Percentage of female (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2008/07</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Tahoua</td><td>54</td><td>3,674</td><td>46.9</td><td>46.9%</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>55</td><td>2,825</td><td>49.0</td><td>49.0%</td></tr> <tr><td>Total</td><td>109</td><td>6,499</td><td>47.8</td><td>47.8%</td></tr> <tr><td>2009/10 (Dec.2009)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Tahoua</td><td>71</td><td>N/A</td><td>N/A</td><td>N/A</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>94</td><td>N/A</td><td>N/A</td><td>N/A</td></tr> <tr><td>Total</td><td>165</td><td>N/A</td><td>N/A</td><td>N/A</td></tr> </tbody> </table>		Community pre-schools	Pre-school children	Pre-school children (female)	Percentage of female (%)	2008/07					Tahoua	54	3,674	46.9	46.9%	Zinder	55	2,825	49.0	49.0%	Total	109	6,499	47.8	47.8%	2009/10 (Dec.2009)					Tahoua	71	N/A	N/A	N/A	Zinder	94	N/A	N/A	N/A	Total	165	N/A	N/A	N/A	
	Community pre-schools	Pre-school children	Pre-school children (female)	Percentage of female (%)																																										
2008/07																																														
Tahoua	54	3,674	46.9	46.9%																																										
Zinder	55	2,825	49.0	49.0%																																										
Total	109	6,499	47.8	47.8%																																										
2009/10 (Dec.2009)																																														
Tahoua	71	N/A	N/A	N/A																																										
Zinder	94	N/A	N/A	N/A																																										
Total	165	N/A	N/A	N/A																																										

<p>Source: EPT Project</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The community pre-school provides strong impact on the improvement in education as summarized in ANNEX 3. Considering sustainability of the Project, however, establishment of an effective and efficient monitoring system is required.</li> <li>The practical guideline for establishment of community pre-school was developed in based on the lessons and learned in Tahoua and Zinder region.</li> <li>The model of community pre-school managed by functional COGES was adopted as an official model at the national workshop in August, 2008, organized by MEN, indicating political and institutional sustainability of the model.</li> <li>"The practical guideline of establishment of community pre-school" was developed based on the pilot activities in Tahoua and Zinder. The workshop for endorsement of the guideline was held in December 2009 in order to share the content of the guideline among the project stakeholders (MEN, DREN and regional pre-school inspectors).</li> <li>After holding the forum for the thematic issue of their region, more than 95 % of the FCC in Maradi, Tahoua, Tillaberi and Zinder held general assembly for sharing information and building consensus on the commitment made at the forum.</li> <li>As the forum was organized in Dosso in December 2009, the monitoring is now in practice.</li> </ul>	<p>Number of General Assembly on Forums (2008-2009)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of General Assembly</th> <th>Number of FCC</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Maradi</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Tahoua</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>		Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)	Maradi	47	47	100%	Tahoua	42	44	95%	Tillaberi	44	44	100%	Zinder	55	55	100%
	Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)																		
Maradi	47	47	100%																		
Tahoua	42	44	95%																		
Tillaberi	44	44	100%																		
Zinder	55	55	100%																		
<p>Source: EPT Project</p>	<p>Number of General Assembly on Forums (2008-2009)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of General Assembly</th> <th>Number of FCC</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Maradi</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Tahoua</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>		Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)	Maradi	47	47	100%	Tahoua	42	44	95%	Tillaberi	44	44	100%	Zinder	55	55	100%
	Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)																		
Maradi	47	47	100%																		
Tahoua	42	44	95%																		
Tillaberi	44	44	100%																		
Zinder	55	55	100%																		
<p>Source: EPT Project</p>	<p>Number of General Assembly on Forums (2008-2009)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of General Assembly</th> <th>Number of FCC</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Maradi</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Tahoua</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>		Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)	Maradi	47	47	100%	Tahoua	42	44	95%	Tillaberi	44	44	100%	Zinder	55	55	100%
	Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)																		
Maradi	47	47	100%																		
Tahoua	42	44	95%																		
Tillaberi	44	44	100%																		
Zinder	55	55	100%																		
<p>Source: EPT Project</p>	<p>Number of General Assembly on Forums (2008-2009)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of General Assembly</th> <th>Number of FCC</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Maradi</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Tahoua</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>		Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)	Maradi	47	47	100%	Tahoua	42	44	95%	Tillaberi	44	44	100%	Zinder	55	55	100%
	Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)																		
Maradi	47	47	100%																		
Tahoua	42	44	95%																		
Tillaberi	44	44	100%																		
Zinder	55	55	100%																		
<p>Source: EPT Project</p>	<p>Number of General Assembly on Forums (2008-2009)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of General Assembly</th> <th>Number of FCC</th> <th>Percentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Maradi</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Tahoua</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Tillaberi</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>		Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)	Maradi	47	47	100%	Tahoua	42	44	95%	Tillaberi	44	44	100%	Zinder	55	55	100%
	Number of General Assembly	Number of FCC	Percentage (%)																		
Maradi	47	47	100%																		
Tahoua	42	44	95%																		
Tillaberi	44	44	100%																		
Zinder	55	55	100%																		

**Inputs Provided**

**Inputs**

**Japan Side**

- A. Dispatch of Japanese experts
  - 1) Long-term experts (4 persons)
  - 2) Short-term experts (if necessary)
- B. Provision of equipment: vehicle for monitoring, motorcycles, etc. (as necessary)
- C. Allocation of project implementation cost

**A. Dispatch of Japanese experts**

- 1) Long-term experts (4 persons)
  - Chief Advisor / Education Advisor
  - COGES Monitoring
  - Development of COGES Initiatives (School Action Plans)
  - Capacity Development / Coordinator
- 2) Short-term experts (1 persons)
  - Local Education Administration

		<p>For the details, please refer to ANNEX 1-1</p> <p>B. Provision of equipment: Necessary equipment and machinery equivalent to 28,693,000 Japanese Yen (122,460,693Fcfā) have been provided. (as of February 2010, provisional). For the details, please refer to ANNEX 1-2.</p> <p>C. Allocation of project implementation cost 168,724,590 Japanese Yen (753,117,056 Fcfā) (as of February 2010, provisional)</p> <p>D. Counterpart training in Japan Two persons participated in the "Study on Education Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries" in Japan. For the details, please refer to ANNEX 1-3.</p>
<p><b>Precondition</b> The COGES policy exists.</p>	<p>Niger Side A. Assignment of the counterparts: Secretary General, Director-General of Basic Education, National Coordinator of C.P. COGES, Director of Department of Studies and Programming at MEN, Regional Directors of National Education, Inspectors B. Provision of office at MEN compound C. Allocation of project implementation cost: cost associated with training for election and school activity plan, and monitoring COGES</p>	<p>A. Assignment of the counterparts Please refer to ANNEX 1-4</p> <p>B. Provision of office at MEN compound The Project has rented the own Office.</p> <p>C. Allocation of project implementation cost The cost for trainings for establishment of COGES is provided as planned by MEN, financed by PADEB/the World Bank. However, the recurrent cost for monitoring by COGES officers is disbursed from the Counterpart Funds.</p>
<p>• COGES policy is strengthened by the ministerial ordinance on FCC issued by MEN in October 2008.</p>		

21

21

## ANNEX 4-2: Process of the Project Implementation

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Implementation of planned activities	<ul style="list-style-type: none"> <li>Were planned activities implemented as planned?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>All the activities in PDM were initiated, although the disbursement of the Counterpart Funds for COGES monitoring activities was delayed. However since the disbursement of the Counterpart Fund started in January 2009, the Project is trying to make up for this delay. See Annex 4 for Plan of Operation and implemented activities.</li> </ul>
Project management and implementation system	<ul style="list-style-type: none"> <li>Are project staff enough? Are their roles and responsibilities appropriate?</li> <li>Is communication among the Project team members sufficient? Is decision making process is appropriate?</li> <li>Is communication between the Project team and the counterparts sufficient? Have they built mutual trust?</li> <li>Is the Joint Coordination Committee (JCC) effective?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>It is observed that the workloads of both Japanese experts and Nigerian staff are still at high level due to frequent travels to respective regions.</li> <li>The Project team holds the weekly meetings since January 2009. Though some meetings were canceled because of the frequent travels of the team members, it was suggested the communication among the members has been improved.</li> <li>The results of interviews to the Director, COGES C.P. and DREN in Tahoua, Tillaberi, Maradi and Niamey have shown a positive relationship between Project team and the counterparts. The all counterparts share their experience in the Experience exchange seminars, which are held at the same time of JCC.</li> <li>JCC has been held as planned. JCC is effective for reviewing the progress of the Project and sharing information.</li> </ul>
Ownership of the counterparts	<ul style="list-style-type: none"> <li>Are counterparts actively involved in the project activities?</li> <li>Do FCC, COGES members and community resident activity implement the project activities?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Counterparts are involved in the Project activities. DREN in Tahoua, Tillaberi, Maradi and Niamey are highly motivated to promote COGES strategy.</li> <li>Most of interviewed COGES and FCC members are highly motivated and activity involved in the Project activities.</li> <li>The Project successfully improves the ownership of the FCC and COGES members by showing visible change in the educational situation at community level.</li> </ul>
Relation with other donors	<ul style="list-style-type: none"> <li>Is necessary information shared with other donors?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The Project has necessary meeting with related other donors such as WB, UNICEF.</li> </ul>
Relation between the Project and JOCV	<ul style="list-style-type: none"> <li>Does the project cooperate effectively with the activities of JOCV?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES members participate in APP clubs organized by JOCV. One interviewed JOCV member said that it is depending on the initiative of school principal whether APP clubs are organized well or not. Only few schools conduct APP activities in his district.</li> </ul>
Are there any contribution factors to progress activities and achieve the Outcome and Project purpose.		<ul style="list-style-type: none"> <li>The results of the interview suggested that showing visible outcomes of the Project is the most important factor for communities to become more responsive to COGES activities. Showing impacts of the project enables to enhance the commitment and initiative of all stakeholders.</li> <li>In forum approach, all stakeholders including regional leaders and inspectors committed to their responsibilities in the thematic activities in their regions, and their responsibilities and results are monitored by COGES supervisors and COGES officers.</li> </ul>
Are there any prevention factors to progress activities and achieve the Outcome and Project purpose.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Important Assumption]Has the security situation not been worsen?</li> <li>Important Assumption]Is the Counterpart Fund for the monitoring of the FCC activities regularly allocated to DREN?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Due to the security reason the travels of team member especially Japanese experts to respective regions have been restricted.</li> <li>Since the disbursement of Counterpart Fund started in January 2009, the Project is trying to make up for this delay.</li> <li>According to the result of the presidential election, many major donors are considering discontinuance of their assistance. Since the government budget in educational sector is depending on the financial support from donors, the discontinuation of the donor support may cause a hindrance on activities.</li> </ul>

**ANNEX 4-3. Evaluation by the Five Criteria  
Relevance : Very High**

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
<p><b>Necessity</b></p> <p>Does Project Purpose correspond with the needs of target group?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Do activities of COGES correspond with the needs of community residents and school children?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The Project Purpose "establishing and functionalizing COGES nationwide" corresponds to the needs of children and community for better school management based on the local demand.</li> <li>Community pre-school is one of the activities of COGES to which the strong need of community has been identified especially in rural areas.</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Priority</b></li> </ul> <p>Does the Project purpose correspond with the Niger government national development plan?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Has the PDDE, which stipulates COGES as one of the priorities, not changed?</li> <li>Has the decentralization policy, which delegates power to commune, not changed?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>No change is made to the PDDE indicating that COGES is one of the priorities of PDDE.</li> <li>Preschool education is also emphasized in the PDDE. In particular, PDDE is aiming to improve pre-school enrollment rate to 5% by the year 2013, and to expand preschool education in rural areas.</li> <li>No change is made to the decentralization policy. Furthermore, the MEN announced the ordinance regarding establishment of FCC in October 2008, which stipulates that FCC is under jurisdiction of communes, suggesting that communes have power to control and support FCC.</li> </ul>
<p>Is the Project consistent with the cooperation policy of Japan and the JICA country program?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Is there any important change concerning the cooperation policy of Japan and the JICA country program after the Project started?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>After the Project started, Japanese cooperation policy has put more emphasis on school based management through community participation. Japan announced in January 2008 at TICAD IV that it would assist promoting school based management through community participation targeting 10,000 schools in West Africa with contributing US\$ 10 million to Japan Social Development Fund administered by the World Bank.</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Appropriateness as a Means</b></li> </ul> <p>Is the approach appropriate?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Is COGES minimum package appropriate strategy to make COGES effective? Is monitoring by COGES officers and FCC effective?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Those who are selected by democratic election were highly motivated to make COGES functional, and committed to be transparent to community through general assemblies.</li> <li>In terms of the national wide establishment of COGES, the minimum package contributes to conducting training for all actors. The minimum training cost and duration lead to effective establishment of COGES. Thus, minimum package was a feasible strategy for the expansion of COGES to all the regions in Niger.</li> <li>FCC model had been successfully adapted in each region. Currently the FCC has an important role for promoting communication among each COGES and stakeholders. Thus, the establishment of FCC system made COGES activates more varied and dynamic.</li> </ul>
<p>Does Japan have advantage in technical cooperation in this field?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Has Japan accumulated knowledge and skills in the field? Has the experience from similar projects been utilized in the Project?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The knowledge and skills associated with functional COGES model which was accumulated in the phase I of the Project have been utilized in the phase II to expand COGES in new targeted regions.</li> </ul>



### Effectiveness: High (mostly achieved)

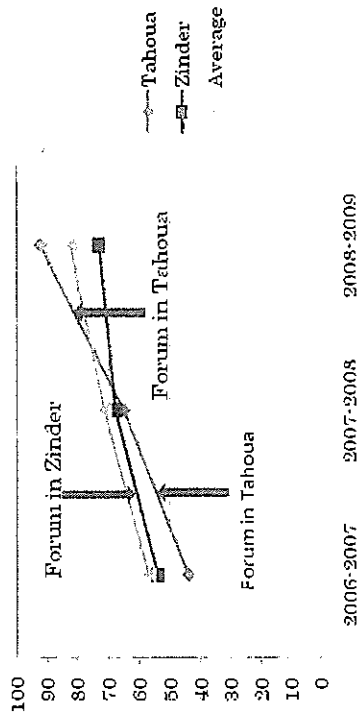
Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
<p><b>Prospect of Achieving the Project Purpose</b></p>		
<p>Is the Project Goal appropriate?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Is the Project Purpose likely to be achieved?</li> <li>Is the level of Indicators of the Project Purpose appropriate?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES have been democratically established at 97.1% of the schools nationwide.</li> <li>The indicators for measuring number of submitted school action plans and annual report by COGES have still been achieving. This fact shows that establishing 'functionalization' and monitoring system of COGES is still under process.</li> <li>Based on the result of the mid-term review in January 2009, the indicators of the Project Purpose are clearly defined in the revised PDM. The target level is appropriate to show the functionality of COGES. However, the quality of submitted school action plan and annual report should also be assessed.</li> </ul>
<p>• Cause and Effect Relations</p>		
<p>Does the Project Output contribute to the achievement of Project Purpose?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Does capacity development of COGES related actions contribute to nationwide COGES establishment?(Output 1)</li> <li>Does establishment of COGES monitoring system (COGES officers and FCC) contribute to strengthening COGES? (Output 2)</li> <li>Does establishment of the model on education improvement activities through COGES contribute to strengthening and sustaining COGES? (Output 3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>High rate of establishment of COGES shows that the training for School principals on democratic election was effective to achieve its purpose. Moreover, training on school action plan resulted in formation of school action plan, its implementation and monitoring.</li> <li>The low rate of establishment of COGES and formation of school action plan in Niamey can be attributed to the large number of private schools. Though these private schools are supposed to have a COGES, those school have own policy regarding parents associations.</li> <li>The low rate of establishment in Agadez can be attributed to the difficulty in access to the training session on establishment of COGES because of scattering of schools in a desert area.</li> <li>FCC and COGES members suggest that establishment of COGES monitoring system by FCC and COGES officers have contributed to the strengthening of the function of COGES.</li> <li>The evaluation survey results show that monthly meeting of COGES officers is working as an opportunity for capacity development as well as a COGES monitoring mechanism. COGES officers gather and share experiences, learn from good practices and discuss each other how to solve problems they have.</li> <li>Establishment of education improvement activity models such as community pre-school, forum approach and inspectors' meeting have contributed to strengthening the function of COGES and the supporting system of COGES as described in the section for Output 3.</li> <li>Forum approach has direct impact on the access and quality of the education. It was also observed that the all actors enhance their capacity with commitment made in the forum.</li> </ul>
<p>Is there any preventing for the Project Purpose?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[Important Assumption] Were schools closed for a long period due to principals and teachers' strike?</li> <li>Important Assumption] Did the poverty situation of households with school age children worsen?</li> <li>Is there any personal transfer which has negative impact on the training implementation?</li> <li>Any other preventing factors in effectiveness?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Teachers' strikes might affect access to and quality of education because absence of teachers by strikes lead to less teaching hours causing lowering education quality, and less student attendance causing increasing drop out of students.</li> <li>Striking poverty prevails nationwide in Niger. Community contribution to COGES often is affected by bad harvest due to shortfall of rain.</li> <li>Because COGES members are composed of school principal and teachers, the change in school staff has effect on the COGES activities. In response to this, some district COGES officers said in the interview that they hold a training session for newly appointed COGES staff on developing a school action plan.</li> <li>If change in political administrations takes place according to the criticism from the international community for the recent presidential election, there is possibility that ministerial staff of MFEN are changed accordingly.</li> </ul>

**Efficiency: High**

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
<p><b>Degree of Outputs Achievement</b> Are Outputs achieved as planned?</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Most of the planned activities have been implemented successfully and outputs are being produced, which is expected to contribute to the attainment of the Project Purpose. However, some activities related to the establishment of the COGES monitoring system is behind the original schedule because of the delay in disbursement of the Counterpart Funds.</li> </ul>
<p><b>Cause and Effect Relationship</b> Are activities effective to generate Outputs? Are quality, quantity, and timing of inputs suitable from the attained Outputs?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Are activities effective to produce Output?</li> <li>Are the number, specialty and dispatch timing of experts appropriate?</li> <li>Are the specification, quantity, and installation timing of equipment appropriate?</li> <li>Are the field, contents, timing of the training in Japan appropriate?</li> <li>Is the local activity budget of both Japanese side and Nigerian side appropriate?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Activities have generally been implemented based on the plan and inputs to the Project are well utilized to produce the expected Outputs.</li> <li>Considering nationwide establishment of COGES, it is observed that the workloads of Japanese experts are still at high level due to frequent travels to respective regions. This can hinder efficient project management.</li> <li>Purchased equipment and machinery have been necessary and properly used.</li> <li>The interview results to the national coordinator of CP/COGES who participated in the training in Japan, show that the training was appropriate to learn school management system and community participation in Japan.</li> <li>Some activities related to establishment of COGES monitoring system was behind the schedule. However the Fund was made available in February 2009, and the project activities were conducted as planned since then.</li> </ul>
<p><b>Factors which have affected the efficiency of the implementation process of the Project</b> Does the collaboration with other donors result in improving efficiency?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Is collaboration with the PADEB financed by the World Bank for establishing and monitoring COGES nationwide efficient?</li> <li>Is collaboration with UNICEF for establishing community pre-school efficient?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Inputs and activities in collaboration with the PADEB financed by the World Bank for establishing and monitoring COGES nationwide have shown mixed results. The necessary resources for training were provided as planned utilizing resources of PADEP. However, motorbikes for COGES officers have not been supplied yet, causing serious difficulties for COGES officers to conduct monitoring activities. Most COGES officers are using motorbikes of their own or motorbikes borrowed from inspectors, which is limiting their performance.</li> <li>Collaboration with UNICEF for community pre-school established and supported by COGES has made the Project efficient. UNICEF has provided pre-service and in-service training to pre-school teachers in cooperation with Pre-school Inspection Offices, and minimum materials package to community pre-schools whereas JICA has provided technical support to COGES for establishment, management and monitoring of community pre-schools. These complementary efforts have led to establishing 165 pre-schools in Tahoua and Zinder.</li> </ul>
<p>Are local resource used effectively?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Are local resources used effectively?</li> <li>Are experiences of the phase I of the Project used effectively?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Financial inputs to COGES were not provided to schools and COGES in order to maximize initiatives and potential of communities, which was proved to be a right strategy.</li> <li>The strategies, approaches, techniques, skills, knowledge, human resources, networks and logistics developed in phase I have been fully utilized.</li> </ul>

**Impact: Very High**

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study												
<p><b>Prospect of Achieving the Overall Goal</b></p> <p>Is achievement of Overall Goal expected from the present situation of the Project? Any gap between Overall Goal and Project Purpose?</p>	<p>Are the establishment of the COGES and implementation of the forum approach contributed to the achievement of the Overall?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>According to the National Statistic on the basic education, the indicators of the Overall Goal have been improved since the Project phase I started in 2004. Although there are many factors that have influence on this improvement, the project contribution to this improvement is identified through the interview to the Nigerian stakeholders.</li> <li>The relation between the Overall Goal and the Project Purpose is logical. Interviewed education officials argued that improved school management through COGES has contributed to this progress.</li> </ul>												
<p>Is Important Assumption to achieve overall goal likely to be secured?</p>	<p>[Important assumption] The Niger education policy which places importance on COGES is unchanged.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES policy is strengthened by the ministerial ordinance on FCC issued by MEN in October 2008.</li> <li>Change in political administrations carry out according to the criticism from the abroad is a potential risk factor to change COGES policy.</li> </ul>												
<p><b>Extended Effect</b></p>														
<p>Is there any extended effects?</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>In Maradi region, district COGES officer organized a forum at the district level. In the interview a COGES officer suggested that the district level forum is required because district leaders should be involved and committed to the activities, moreover the educational issues in district level are different from these of regional level.</li> <li>The Project has supported the promotion of community-based school management in Senegal, Mali and Burkina Faso through hosting experience sharing seminars and sending project staff to the respective country to provide technical assistance as shown in the table below.</li> </ul>												
		<p>Promotion of Community-based School Management</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Country</th> <th>Name of the project</th> <th>Contents of technical support provided</th> <th>Date</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mali</td> <td>Project for Support to School Committee</td> <td>Technical support for training of trainers</td> <td>22 August – 2 September, 2008</td> </tr> <tr> <td>Burkina Faso</td> <td>Pilot Project for Support to School Committee</td> <td>Training of trainers</td> <td>25 November – 2 December, 2008</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT Project</p>	Country	Name of the project	Contents of technical support provided	Date	Mali	Project for Support to School Committee	Technical support for training of trainers	22 August – 2 September, 2008	Burkina Faso	Pilot Project for Support to School Committee	Training of trainers	25 November – 2 December, 2008
Country	Name of the project	Contents of technical support provided	Date											
Mali	Project for Support to School Committee	Technical support for training of trainers	22 August – 2 September, 2008											
Burkina Faso	Pilot Project for Support to School Committee	Training of trainers	25 November – 2 December, 2008											
<p><b>Other Impacts</b></p>														
<p>Are there any other positive or negative impacts produced?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Positive impacts</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>It is observed that community pre-schools managed by COGES, campaign for girls enrollment promotion and education quality improvement launched by FCC, and inspectors' meeting introduced by the Project have contributed to improve both access and quality of primary education in Tahoua and Zinder. The impacts of Forum Approach are as follows: Girls' Enrollment Promotion</li> <li>The Girls' enrolment promotion campaigns have been conducted in Zinder from May 2007 and in Tahoua from April 2008. As a result, the number of girl's registration has remarkably increased and the gender disparity has been improved as shown below.</li> </ul>												

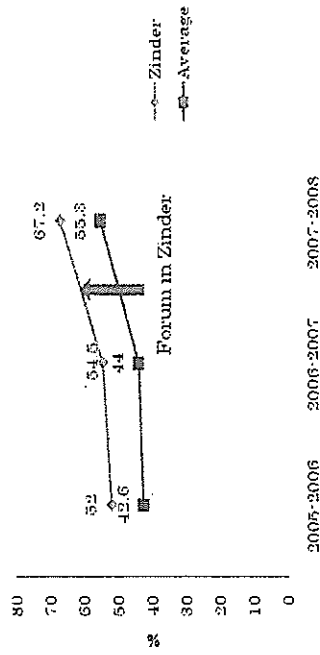


Source: National statistic of the primary education

#### Increase of Girl's Registration Rate

#### Improvement in Education Quality

- Improvement in quality of education campaign has been conducted in Zinder from January 2008. As a result, Zinder marked the best passing rate of 67.2% among the all regions in 2007-08. Although there are many factors for the improvement of the student achievement, particularly the passing rate of the final examination, Forum Approach could be considered one of the major factors for this improvement.

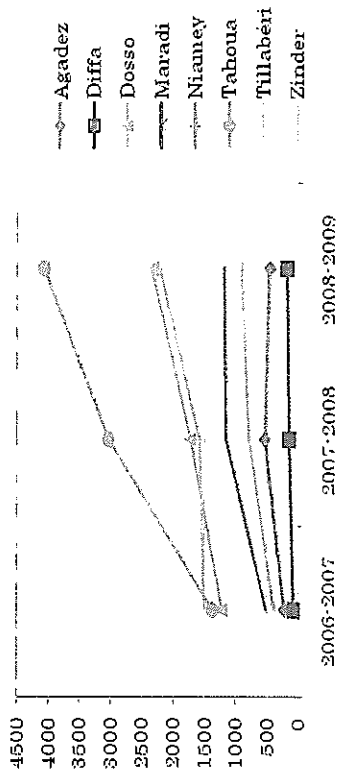


Source: National statistic of the primary education

#### Passing Rate of Final Examination

**Impact of Introduction and expansion of community pre-schools**

- As an impact of the introduction and expansion of community pre-schools, Tahoua marked the highest enrolment of pre-primary education in rural areas as shown in the figure below. This improvement in access to and quality of pre-school education and pre-school enrolment rate in rural areas directly contributes to the realization of PDDE.



Source: National statistic of the primary education

Pre-school Enrolment Rate in Rural Areas

- There are many positive impacts of introducing community pre-schools on primary education such as promoting girl's education, improving class management of primary school etc.
- As a result of significant improvement of the school enrolment rate, the shortage of teachers and the delay of construction of the necessary class rooms were identified as problems. Due to this situation, it is reported that some students were not able to enroll, even though they once registered to the school entrance. The allocating supporting teachers and the adopting the combined class were introduced as a counterpart-measure to this problem.

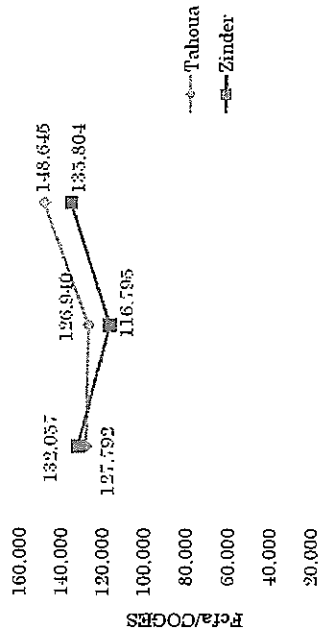
**Negative impacts**

21

21

**Sustainability : Medium**

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
<p><b>Policy and System Aspects</b></p> <p>Is there high possibility for continuation of the policy support after the cooperation period?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Does MEN have strategy to maintain COGES after the cooperation period?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Enhancement of community-based school management as a part of decentralization in education is stipulated in PDDE.</li> <li>The functional COGES model and the FCC model have both been adopted as official models in the national workshop and related ministerial ordinance have been published.</li> <li>MEN has sufficient capacity to implement the COGES strategy. However it is observed that the active participation of the MEN in the project activities is needed to continuously enjoy the impacts of the Project. The initiative of the MEN for enhancing the implementation of COGES strategy is required.</li> </ul>
<p><b>Institutional, Organizational and Financial Aspects</b></p> <p>Is the implementation system of COGES policy sustainable?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Does C.P. COGES have sufficient power, staff members and recurrent budget to formulate, control and implement COGES policy at national level?</li> <li>Does regional office of MEN have sufficient power, staff members and recurrent budget to formulate, control and implement COGES policy at regional level?</li> <li>Does inspector's office have sufficient power, staff members and recurrent budget to formulate, control and implement COGES policy at department level?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C.P. COGES is under Director-General of Basic Education and responsible for COGES policy formulation. C.P. had a difficulty in disbursement process of the Counterpart Funds. C.P. COGES organizes experience sharing seminar to share good and bad practices of COGES policy implementation.</li> <li>COGES supervisor has been posted to each DREN. The main role of COGES supervisor is to supervise COGES officers.</li> <li>Monthly meeting of COGES officers has been held regularly in Tahoua and Zinder. Other regions have also started to hold the monthly meeting.</li> <li>Monthly meeting of inspectors has been held regularly in Tahoua and Zinder. As the meeting had been institutionalized by MEN, other regions have also started to hold the meeting. It should be noted that Inspector's meeting is not financed by the Project, indicating its financial sustainability.</li> <li>Most of the DREN understands the importance of COGES in education development and strongly support the implementation of the policy at the regional level.</li> <li>COGES officer has been posted to each inspector's office. The main role of COGES officer is to monitor and supervise FCC and COGES.</li> <li>Although the role of COGES officers is monitoring which is similar to pedagogic advisors, there is no official qualification for them.</li> <li>With the Counterpart Funds for the cost of fuel for COGES officers, the monitoring activities were smoothly conducted. However, this fact leaves a question for financial sustainability for monitoring.</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• FCC is established at the communal level based on the ministerial ordinance. The main function of FCC is the monitoring of COGES. Secretariat members of FCC are elected democratically.</li> <li>• A functional FCC is expected to be a self-sufficient body capable of mobilizing financial resources by themselves to carry out their activities. The main financial source is the contribution from COGES. FCC in Tahoua and Zinder mobilized 334,115 Fefa on average in 2008-09.</li> <li>• The budget of FCC is mobilized from the contribution from COGES and partners such as local government, local company etc. In order to collect continuous financial support from these partners, FCC members suggested that they need more training opportunity on financial management, advocacy and proposal development.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Does FCC have sufficient power and resources to sustain and develop their activities?</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• COGES is established at the community level based on the ministerial ordinance. Secretariat members of COGES from Parents' Association are elected democratically.</li> <li>• A functional COGES is expected to be a self-sufficient body capable of mobilizing financial resources by themselves to carry out their activities. The main financial source is the contribution from community residents. The result of analyzing annual reports from Tahoua and Zinder shows that the mobilized amount was improved in both regions as shown in the table below. It shows a strong initiative made in resources mobilization at schools and communities.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Does COGES have sufficient power and resources to sustain and develop their activities?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Is it necessary to continue activities funded by Japan side and counterpart fund after cooperation period? If necessary, will the fund be likely to be secured?</li> </ul>
<div style="text-align: center;">  <p>Source: EPT Project Team</p> <p>Average Mobilized Budget in Tahoua and Zinder</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• With the Counterpart Funds for the cost of fuel for COGES officers, the monitoring activities were smoothly conducted. However, this fact leaves a question for financial sustainability for monitoring.</li> </ul>		



	secured?	
<b>Technical Aspects</b>		
Are actors related to COGES equipped with sufficient capacity?	Do COGES supervisors have sufficient technical capacity to implement COGES policy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• COGES supervisors understand the COGES strategy well and are well trained. They have successfully carried out training related to the establishment of COGES and FCC nationwide. Some already have enough capacity while others are on their way to developing their capacity to supervise COGES officers and report the circumstances to their supervisors.</li> <li>• Most of the COGES Officers understand the COGES strategy and they are motivated. They have successfully carried out training related to the establishment of COGES and FCC nationwide.</li> </ul>
	Do COGES officers have sufficient technical capacity to implement COGES policy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The results of the interview show that FCC members are highly motivated in conducting their activities. The FCC has good relation with COGES officers and COGES members.</li> <li>• Some FCC required for training on financial management, advocacy and proposal development as they plan to request the commune for financial support.</li> </ul>
	Does FCC have sufficient technical capacity for functionalization?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Most of the COGES members are well trained and motivated.</li> <li>• The school action plan submission rate is 72% which shows the function of COGES has been improving. However some COGES still need to improve their capacity to develop action plan.</li> <li>• The annual report submission rate is 51% which shows room for improvement.</li> </ul>
	Does COGES have sufficient technical capacity for functionalization?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The resource and contribution from parents to COGES is affordable level. However, some parents have difficulty in payment of contribution due to the bad harvest.</li> <li>• Some FCC are supported by private company in urban area. The contribution from individuals to COGES is also found in Niamey. This shows there is large gap in contribution between urban and rural areas.</li> </ul>
<b>Social Aspect</b>		
Is there any possibility that a sustained effect is inhibited through a lack of consideration for the poor and the vulnerable?	Is resources mobilized by community affordable level?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The resource and contribution from parents to COGES is affordable level. However, some parents have difficulty in payment of contribution due to the bad harvest.</li> </ul>
	Are there large geographical gap in revenue of COGES and FCC?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Some FCC are supported by private company in urban area. The contribution from individuals to COGES is also found in Niamey. This shows there is large gap in contribution between urban and rural areas.</li> </ul>



**COMPTE RENDU DE LA RENCONTRE  
ENTRE  
L'EQUIPE JAPONAISE D'EVALUATION ET  
LES AUTORITES COMPETENTES DU GOUVERNEMENT DE  
LA REPUBLIQUE DU NIGER  
DANS LE CADRE DE  
LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE  
POUR  
LE PROJET D'APPUI A L'AMELIORATION DE LA GESTION  
DES ETABLISSEMENTS SCOLAIRES  
A TRAVERS LA PARTICIPATION COMMUNAUTAIRE  
« ECOLE POUR TOUS » PHASE II**

L'Equipe Japonaise d'Evaluation (ci-après désignée « l'Equipe ») mise en place par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « JICA ») et dirigée par M. Masahiro HARA, a séjourné en République du Niger du 19 janvier au 10 février 2010 en vue de procéder à l'évaluation finale du Projet d'« Appui à l'Amélioration de la Gestion des Etablissements Scolaires à travers la Participation Communautaire (Ecole Pour Tous) Phase II » (ci-après désigné « le Projet »).

Au cours de son séjour au Niger, l'Equipe a eu une série de discussions avec les autorités compétentes nigériennes, évalué conjointement avec elles les réalisations du Projet et échangé les points de vue sur les activités du Projet dans le but de réaliser les conclusions du compte rendu de la réunion signé le 24 mai 2007.

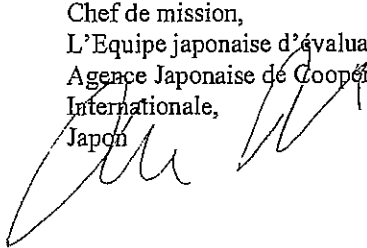
Au terme des discussions, les deux parties sont tombées d'accord sur les questions référencées dans le document annexé au présent compte rendu.

Ce compte rendu a été rédigé en Français et en Anglais, étant entendu que chaque version est parfaitement authentique. En cas de divergence au niveau de la traduction originale, le texte de départ dans l'une ou les deux langues peut être modifié en cas de besoin et cela après une concertation et un accord entre les deux parties.

Fait à Niamey, le 09 février 2010

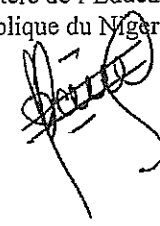
---

M. Masahiro HARA  
Chef de mission,  
L'Equipe japonaise d'évaluation finale  
Agence Japonaise de Coopération  
Internationale,  
Japon



---

M. Hamidou Soumana Diallo  
Secrétaire Général Adjoint,  
Ministère de l'Education Nationale,  
République du Niger



## PIECES JOINTES

### TABLE DES MATIERES

#### Liste des abréviations et sigles

<b>1. INTRODUCTION.....</b>	<b>3</b>
1-1. Préface	
1-2. Objectifs de l’Evaluation	
1-3. Calendrier de l’Evaluation	
1-4. Membres de l’Equipe d’Evaluation	
1-5. Méthodologie de l’Evaluation	
1-6. Changement du Projet du Cadre Logique	
<b>2. EVALUATION.....</b>	<b>6</b>
2-1. Réalisation du Projet	
2-2. Résultats de l’Evaluation	
2-3. Conclusion	
<b>3. RECOMMANDATIONS.....</b>	<b>22</b>
3-1. Recommandations pour la Perspective à Court Terme	
3-2. Recommandations pour la Perspective à Moyen et Long Terme	

#### ANNEXES

##### ANNEXE 1. Contributions au Projet

- 1-1. Liste d’experts japonais
- 1-2. Liste des machines et équipements principaux fournis par la JICA
- 1-3. Liste de Participants en Formation au Japon
- 1-4. Liste des homologues nigériens
- 1-5. Liste des terrains, bâtiments et infrastructures

##### ANNEXE 2. Projet du Cadre Logique (PDM)

##### ANNEXE 3. Plan d’Opération (PO)

##### ANNEXE 4. Grille d’Evaluation

- 4-1. Réalisation du Projet
- 4-2. Processus de mise en œuvre du Projet
- 4-3. Evaluation selon les Cinq Critères

## Liste des abréviations et sigles

AFD	Agence Française de Développement
APP	Activités Pratiques Productives
COGES	Comités de Gestion des Établissements Scolaires
C/P	Counterpart (Homologue)
CP/COGES	Cellule de Promotion des COGES (section promotion de COGES)
DAC	Development Assistance Committee (Comité d'Assistance au Développement)
DEP	Direction des Études et de la Programmation
DGEB	Direction Générale de l'Enseignement de Base / Directeur Générale de l'Enseignement de Base
DREN	Direction Régionale de l'Éducation Nationale / Directeur Régionale de l'Éducation Nationale
EPT	Ecole Pour Tous
FCC	Fédération Communale des COGES
JICA	Agence Japonaise de Coopération Internationale
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteer (Volontaires Japonais de la Coopération)
MEN	Ministère de l'Éducation Nationale
M/M	Minutes of Meeting (Procès verbal de réunion)
ONEN	Organisation Nigérienne des Educateurs Novateurs
ONG	Organisation Non Gouvernementale
OR	Observateur de Relais (District COGES officer)
PADEB	Projet d'Appui au Développement de l'Éducation de Base (Support Project to Basic Education Development)
PDDE	Program Décennal de Développement de l'Éducation
PDM	Project Design Matrix (Projet du Cadre Logique)
PF	Point Focal (Regional COGES Supervisor)
PO	Plan d'Opérations
R/D	Record of Discussion (Compte rendu de réunions)
SG	Secrétaire Général
SNV	Organisation Néerlandaise de Développement
TICAD	Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique
UNICEF	Fonds des Nations Unis pour l'enfant
WB	Banque Mondiale (BM)

## 1. INTRODUCTION

### 1-1. Préface

Le Projet a été lancé en août 2007 et devrait durer trois (3) ans. Avec la période restante du Projet, approximativement (6) mois, la JICA a envoyé l'Equipe en République du Niger du 19 janvier au 10 février 2010 dans le but d'évaluer la réalisation du Projet. L'évaluation a été effectuée conjointement par l'Equipe et les autorités compétentes nigériennes.

### 1-2. Objectifs de l'Evaluation

Les objectifs de l'évaluation sont les suivants:

- (1) Faire la revue et évaluer les contributions, activités et réalisations du Projet;
- (2) Clarifier les problèmes et les questions à aborder en vue d'une mise en œuvre satisfaisante du Projet pour la période restante; et
- (3) Faire des recommandations pour une mise en œuvre durable des activités post Projet.

### 1-3. Calendrier de L'Evaluation

Date	Jour	Activités
19 jan	mardi	Arrivée à Niamey Réunion avec le bureau de la JICA et l'Equipe du Projet
20 jan	mercredi	Départ à Maradi Visite de terrain et interview (Maradi)
21 jan	jeudi	Visite de terrain et interview (Maradi)
22 jan	vendredi	Départ à Tahoua Visite de terrain et interview (Tahoua)
23 jan	samedi	Visite de terrain et interview (Tahoua) Départ à Niamey
24 jan	dim	Préparation de documents
25 jan	lundi	Interview de l'équipe du Projet
26 jan	mardi	Interview de l'équipe du Projet Analyse de données
27 jan	mercredi	Analyse de données
28 jan	jeudi	Analyse de données
29 jan	vendredi	Analyse de données
30 jan	samedi	Préparation de documents
31 jan	dim	Préparation de documents
01 fev	lundi	Visite de courtoisie et discussion avec : <ul style="list-style-type: none"><li>• SNV</li><li>• UNICEF</li><li>• Ministère de l'Education Nationale (MEN)</li><li>• SGA</li></ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• AFD</li> <li>• Banque mondiale</li> </ul>
02 fév	mardi	Visite de terrain et interview (Niamey)
03 fév.	mercredi	Départ à Tillabéri Visite de terrain et interview (Tillabéri)
04 fév.	jeudi	Préparation du Projet du compte rendu de réunion
05 fév.	vendredi	Interview des C/P COGES & DEPRESCO
06 fév.	samedi	Finalisation du compte rendu
07 fév.	dim	Finalisation du compte rendu
08 fév	lundi	Discussion du compte rendu avec les homologues
09 fév	mardi	Signature du compte rendu Documentation et discussion au sein de l'Equipe
10 fév	mercredi	Départ de Niamey

#### 1-4. Membres de L'Equipe d'Evaluation

##### (1) Ministère de l'Education Nationale (MEN)

Hamidou Soumana Diallo	Secrétaire-Général Adjoint, Ministère de l'éducation nationale, MEN
Marou Amadou	Directeur Général de l'éducation de base, MEN
Aliou Ibrahim	Directeur, département des études et de la programmation, MEN
Damana Issaka	Coordonnateur national de la CP/COGES, MEN

##### (2) L'Equipe Japonaise de l'Evaluation

M. Masahiro HARA	Chef d'Equipe	Conseiller Principal en Education, JICA
M. Naoki Umemiya	Planification de l'éducation	Directeur Adjoint de l'Education, Division II, Groupe Education de Base, Département de Développement Humain, JICA
M. Shinji Maruyama	Planification de la coopération	Membre du Personnel, Division de l'Evaluation II, Département de l'Evaluation, JICA
M. Haruo Ito	Analyse de l'Evaluation	Consultant principal, Département du Système Social ICONS International Coopération Inc.

##### (3) Bureau de la JICA Niger

M. Akira NISHIMOTO	Représentant Résident, JICA Niger
M. Masayuki KANEDA	Représentant Résident Adjoint, JICA Niger
M. ABDOU Moussa	Assistant en Planification et Coordination de Projet, JICA Niger

#### 1-5. Méthodologie de l'Evaluation

L'évaluation est conçue pour vérifier les aspects suivants basés sur la deuxième version du PDM et du Plan des opérations. Ont été pris en compte les aspects suivants;

- 1) Réalisations du Projet basées sur les indicateurs du PDM

2) Processus de mise en œuvre

3) Les Cinq critères d'évaluation du DAC

Définitions des critères comme suit;

Pertinence	La pertinence du plan du Projet a été passée en revue en termes de validité du but du Projet et de l'objectif global relativement à la politique de développement du gouvernement du Niger, la politique d'aide du gouvernement du Japon, les besoins des bénéficiaires, ainsi que la cohérence logique du plan de Projet.
Efficacité	L'efficacité a été évaluée en déterminant jusqu'à quel degré l'objectif du Projet avait été réalisé et en clarifiant la relation entre le but et les résultats.
Efficiences	L'efficience de la mise en œuvre du Projet a été analysée en mettant l'accent sur la relation entre les résultats et les contributions en termes de synchronisation, qualité et quantité des contributions.
Impact	L'impact du Projet a été évalué sur la base des influences positives et négatives du Projet.
Durabilité	La durabilité du Projet a été évaluée aux plans politique, institutionnel, financier et technique en examinant le degré auquel les réalisations du Projet seraient soutenues ou généralisées après la période du Projet.

Des conclusions ont été tirées des résultats de l'étude et des recommandations ont été faites par l'Equipe.

#### 1-6. Changement du Projet du Cadre Logique

Le Projet du Cadre Logique (PDM) originale a été approuvée en mai 2007. La deuxième version du PDM (voir Annexe 2) a été préparée sur la base de la revue à mi-parcours en février 2009 en vue de s'accorder sur les indicateurs détaillés. La seconde version du PDM a été approuvée par le JCC (CCM) en novembre 2009.

## 2. EVALUATION

### 2-1. Réalisations du Projet

#### 2-1-1 Résultats

**Résultat 1: Les capacités des acteurs par rapport aux COGES sont développées et renforcées à tous les niveaux**

**Résultat 2: Un système durable de suivi de COGES est mis en place**

**Résultat 3: Un modèle d'amélioration des activités scolaires menées par les COGES est mis en place**

Avec les efforts des deux parties nigérienne et japonaise, la plupart des résultats ont été produits et certains indicateurs qui ont besoin d'être améliorés davantage ont été identifiés. Ci-dessous, le niveau d'accomplissement de chaque indicateur:

**Résultat 1: Les capacités des acteurs par rapport aux COGES sont développées et renforcées à tous les niveaux**

*(1) 90% des points focaux (PF) et des observateurs relais (OR) de COGES ont reçu une série de formations sur la mise en place de COGES et la planification des activités des COGES.*

Comme résultat, tous les points focaux(8) et les observateurs relais (51) de toutes les régions au Niger ont reçu la formation sur la mise en place des COGES, la planification des activités et la gestion simplifiée.

*(2) Plan de formation élaboré pour chaque région*

Le programme régional de formation pour la mise en place des COGES ainsi que pour l'élaboration et la mise en place des plans d'action scolaires ont été formulés dans toutes les six nouvelles régions cibles.

*(3) 90% des directeurs d'écoles dans les six (6) régions ont reçu une formation sur la mise en place de COGES.*

6.579 directeurs (soit 99,5% toutes les écoles confondues) ont participé à la formation sur l'élection démocratique des membres des COGES dans toutes les six (6) nouvelles régions<sup>1</sup> cibles avec l'appui financier de la Banque Mondiale. Le nombre des écoles a augmenté dans toutes les régions. En réponse à cela, la formation de nouveaux directeurs se poursuit en utilisant les fonds de la Coopération Japonaise.

---

<sup>1</sup> Il s'agit de : Agadez, Diffa-,Dosso -Niamey, Maradi et Tillabéri

Table 1 Taux de participation des directeurs d'écoles à la formation  
sur la mise en place démocratique des COGES

	Nombre de Participants attendus	Nombre de participants (directeurs d'école)	Taux de participation (%)
Agadez	364	364	100,0
Diffa	425	425	100,0
Dosso	1802	1795	99,6
Maradi	1868	1868	100,0
Niamey	493	453	91,9
Tillabéri	1860	1870	100,5
Total	6812	6579	99,5

Source : Projet EPT

(4) 90% des délégués des COGES dans les six (6) régions ont reçu une formation sur la planification des activités des COGES.

13.267 membres des COGES (98,5% du nombre attendu<sup>2</sup>) ont participé à la formation sur l'élaboration des plans d'action scolaires dans toutes les six (6) nouvelles régions cibles<sup>3</sup> avec l'appui financier de la Banque mondiale. Dans la région d'Agadez, le taux de participation est plus bas comparativement aux autres régions. On pense que cela est lié à la difficulté d'accès à la session de formation en raison de la dispersion des écoles dans une zone désertique.

Table 2 Taux de participation à la formation sur l'élaboration  
de plan d'action et gestion simplifiée des ressources

	Nombre de Participants attendus	Nombre de participants	Taux de participation (%)
Agadez	728	622	85,4
Diffa	850	769	90,5
Dosso	3608	3604	99,9
Maradi	3736	3748	100,3
Niamey	984	916	93,1
Tillabéri	3558	3608	101,4
Total	13 464	13267	98,5

Source/ Projet EPT

(5) Amélioration faite en stratégie de COGES locaux et FCC

Les stratégies des COGES et FCC ont été améliorées. Le modèle FCC avait été adopté lors de l'atelier national organisé par le MEN en juillet 2008.

<sup>2</sup> Nombre prévu durant l'étape de la planification

<sup>3</sup> La formation à Tahoua et à Zinder avait été menée au cours de la phase I du projet



## Résultat 2: Un système durable de suivi de COGES est mis en place

### (1) Validation du modèle de FCC

Après l'adoption du modèle FCC durant l'atelier national en juillet 2008, un arrêté n° 00168/MEN/SG/DGEB du 24 octobre 2008 a été pris portant création, tâche, structure et fonction de la FCC. L'arrêté stipule que la FCC a été chargée d'une fonction et d'une tâche claires sur le suivi des activités de COGES.

### (2) 100% des communes du pays disposent d'une FCC dont les membres de bureau sont élus démocratiquement.

A la date de décembre 2009, toutes les 51 communes des cinq régions<sup>4</sup> ont mis en place la FCC à l'exception de 02 communes à Diffa où l'accès à l'école à partir du bureau communal est extrêmement difficile.

### (3) Au moins 10 réunions mensuelles des observateurs relais (OR) se sont tenues par an dans chaque région.

Plus de 10 réunions mensuelles des OR ont été organisées chaque année dans toutes les régions. Les réunions mensuelles ont été reportées à cause du retard de décaissement des fonds de contrepartie en 2008. Toutefois, le fonds a été décaissé depuis février 2009 et depuis cette date, la réunion des OR est organisée comme prévu.

Table 3 Nombre de réunions mensuelles tenues dans chaque région

Nombre de réunions mensuelles	
Agadez	10
Diffa	11
Dosso	12
Maradi	10
Niamey	12
Tahoua	11
Tillabéri	12
Zinder	11

Source: Projet EPT

### (4) 80% des FCC ont tenu au moins trois (3) assemblées générales et six (6) réunions de bureau en 2009/2010.

Depuis que les FCC ont été initiées à l'échelle nationale au milieu de l'année 2008-2009, il est très facile de faire une analyse de cet indicateur pour la nouvelle région cible<sup>5</sup>. Toutefois, les assemblées générales et les réunions du bureau se tiennent dans toutes les régions comme prévu. A Tahoua et Zinder

<sup>4</sup> La formation d'Agadez a été reportée à cause de la situation d'insécurité. Bien que le nombre total des communes dans les 5 régions est de 151, 2 communes à Diffa ont été exemptées parce que les 2/3 des COGES sont situés à plus de 100 km du bureau communal, ce qui a entraîné des difficultés de fonctionnement en tant que commune disposant de COGES

<sup>5</sup> La formation à Tahoua et à Zinder avait été organisée au cours de la phase I du projet

par exemple, où les FCC ont été développées au tout début, 82% d'entre elles ont tenu au moins trois assemblées générales et six réunions de comité en 2008/2009.

Table 4 Nombre de FCC ayant tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de bureau

	Nombre total de FCC	Nombre de FCC ayant tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de bureau	Pourcentage (%)
Tahoua	44	33	75
Zinder	55	48	87
Total	99	81	82

Source: Projet EPT

(5) 80% des FCC ont réalisé au moins une activité thématique en 2009/2010

L'approche Forum abordant la question thématique vient juste de démarrer dans plusieurs nouvelles régions cibles<sup>6</sup>. Le Projet a montré que 69% des FCC ont réalisé au moins une activité en 2008/2009. Etant donné que l'approche forum contribuera à améliorer cet indicateur, espère que la cible sera améliorée.

Table 5 Nombre de FCC ayant organisé au moins une activité

	Nombre de FCC ayant organisé au moins une activité	Nombre total des FCC	Pourcentage (%)
Diffa	0	10	0
Dosso	16	43	37
Maradi	33	47	70
Niamey	4	5	80
Tahoua	44	44	100
Tillabéri	21	44	48
Zinder	54	55	98
Total	172	248	69

Source : Projet EPT

**Résultat 3: Un modèle d'amélioration des activités scolaires menées par les COGES est mis en place**

(1) 50 PV de création de jardins d'enfants communautaires ont été collectés dans les régions de Tahoua et Zinder, respectivement en 2008/2009 et en 2009/2010

Pour satisfaire aux besoins de l'éducation préscolaire dans la communauté, 52 COGES (Tahoua: 29, Zinder: 33) en 2008/09, et 53 COGES (Tahoua: 17, Zinder: 36) en 2009/10 ont remis leurs PV à l'Inspection de l'Education Préscolaire (IEP) en vue de la création de jardins d'enfants communautaires.

<sup>6</sup> Après Maradi (avril 2009), Tillabéri (mai 2009), Dosso (déc. 2009) où des fora ont été organisés, les FCC ont mené des activités basées sur les contenus des fora.

(2) 50 jardins d'enfants communautaires ont été initiés et gérés par les COGES dans les régions de Tahoua et Zinder, respectivement en 2008/2009 et en 2009/2010.

Dans les régions de Tahoua et Zinder, 52 jardins d'enfants (Tahoua: 29, Zinder: 33) en 2008/09, et 53 jardins d'enfants (Tahoua: 17, Zinder: 36) en 2009/10 ont été nouvellement créés par les COGES avec l'appui de l'UNICEF. Présentement, 165 jardins d'enfants communautaires ont été créés au total dans les régions de Tahoua et Zinder. Le nombre total actuel d'enfants inscrits aux jardins des deux régions peut atteindre environ 10.000. La création de jardins d'enfants a beaucoup d'impacts positifs sur l'accès et la qualité de l'éducation primaire. Par exemple, presque tous les enfants inscrits aux jardins sont inscrits au primaire.

Table 6 Nombre de jardins d'enfants communautaires et d'enfants inscrits

		Jardins d'enfants communautaires	Nbre d'enfants inscrits au jardin	Nbre d'enfants inscrits au jardin (fille)	Pourcentage des filles(%)
2008/2007	Tahoua	54	3674	1724	46,9
	Zinder	55	2825	1383	49,0
	Total	109	6499	3107	47,8
2009/10 (déc. 2009)	Tahoua	71	N/A	N/A	N/A
	Zinder	94	N/A	N/A	N/A
	Total	165	N/A	N/A	N/A

Source: Projet EPT

(3) Validation du modèle de jardin d'enfants communautaire

Le modèle de jardin d'enfants communautaire développé par les COGES fonctionnels a été adopté comme modèle officiel au cours de l'atelier national organisé par le MEN en août 2008, prouvant ainsi la durabilité politique et institutionnelle du modèle. De plus, les directives de la création de jardins d'enfants communautaires ont été élaborées sur la base des activités pilotes à Tahoua et à Zinder. L'atelier d'adoption de la directive a été organisé en décembre 2009 en vue d'adopter et partager officiellement cette directive.

(4) 90% des FCC des régions ayant organisé des fora ont tenu une AG de restitution du forum régional

Après la tenue du forum sur la question thématique de leur région, plus de 95% des FCC à Maradi, Tahoua, Tillabéri et Zinder ont tenu une assemblée générale pour partager les informations et arriver à un consensus sur l'engagement pris lors du forum. Présentement, le suivi se fait dans la région de Dosso parce que le forum a été organisé juste un mois avant l'évaluation finale.

Table 7 Nombre d'assemblées générales organisées sur les fora (2008-2009)

	Nombre d'assemblées générales	FCC	Percentage (%)
Maradi	47	47	100
Tahoua	42	44	95
Tillabéri	44	44	100
Zinder	55	55	100

Source: Projet EPT

## 2-1-2. Objectif du Projet

**Objectif du Projet: La structure chargée de la mise en place des COGES fonctionnels et durables est renforcée afin qu'ils soient effectifs sur l'étendue du territoire**

(1) 80% des COGES des écoles ont été mis en place à travers l'élection démocratique

En février 2009, 6577 écoles, soit 97,1% du nombre total prévu<sup>7</sup> des écoles à Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey et Tillabéri<sup>8</sup> ont mis en place des COGES de façon démocratique et remis les procès verbaux de création auprès des administrateurs locaux de COGES suite à la formation organisée par le MEN avec des ressources octroyées par la Banque mondiale à travers le PADEB.

Table 8 Nombre et taux de COGES mis en place (février 2010)

	Nombre total d'écoles primaires	Nbre de comptes rendus de réunions de création de COGES <sup>9</sup> remis	Taux de dépôt (%)
Agadez	364	237	65,1%
Diffa	425	425	100,0%
Dosso	1795	1795	100,0%
Maradi	1868	1868	100,0%
Niamey	453	360	79,3%
Tillabéri	1870	1892	101,2 %
<b>Total</b>	<b>6775</b>	<b>6577</b>	<b>97,1%</b>

Source: Projet EPT

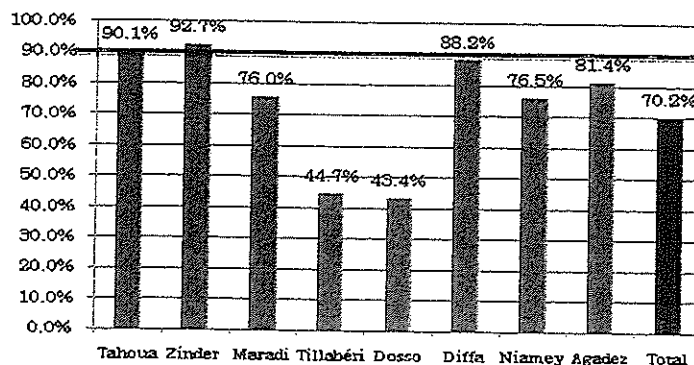
<sup>7</sup> Le nombre total d'écoles prévues signifie le nombre total d'écoles susceptibles d'être fonctionnelles au moment de la formation lorsqu'elle est programmée. Au Niger, le nombre d'écoles augmente constamment. Cela explique le fait que le nombre d'écoles ayant remis leurs comptes rendus de réunion de mise en place de COGES dépasse le nombre total des écoles primaires.

<sup>8</sup> A Tahoua et Zinder, la mise en place démocratique de COGES a été réalisée au cours de la phase I.

<sup>9</sup> Le nombre d'écoles ayant remis un compte rendu de réunion de mise en place de COGES est utilisé comme un indicateur pour le nombre de COGES mis en place à travers une élection démocratique parce que le compte rendu de réunion de l'assemblée générale de mise en place de COGES décrit les résultats de l'élection.

(2) 90% des COGES des écoles ont soumis leurs plans d'actions à leurs Fédérations Communales des COGES (FCC) respectives.

6.632 COGES ont remis des plans d'action scolaires à leurs FCC respectives en 2008-2009, ce qui représente 70,2% de tous les COGES. Tandis que de Tahoua et Zinder ont réalisé 90%, les autres n'ont pas atteint l'objectif fixé. Bien que les données collectées récemment montrent qu'il y a une certaine amélioration, le Projet nécessite davantage d'efforts pour atteindre le niveau visé.

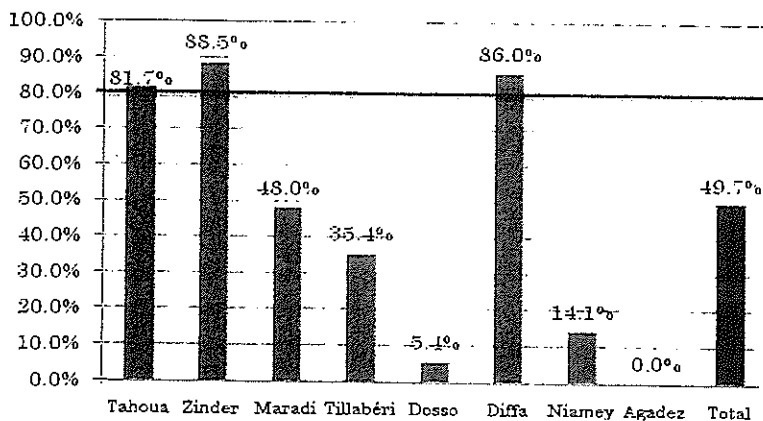


Source : Projet EPT

Figure 1 Taux de remise de plans d'actions

(3) 80% des COGES des écoles ont soumis leurs bilans annuels du plan d'actions à leurs FCC respectives.

5302 COGES ont remis leur rapport annuel à leurs FCC respectives en 2008-2009, soit 49,7 % de tous les COGES. L'objectif n'a pas encore été atteint dans la plupart des régions. L'indicateur doit être amélioré. De plus, la qualité et la méthode de stockage devraient être améliorées.



Source : Projet EPT

Figure 2 Taux de remise de bilans annuels

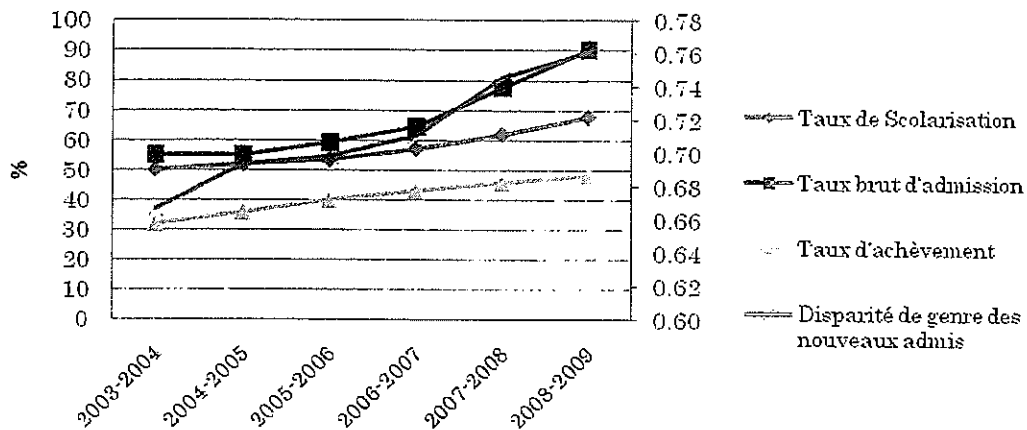
M

A

### 2-1-3. Objectif Global

**Objectif Global: La qualité et l'accès à l'éducation de base sont améliorés par la gestion de l'école à travers la participation communautaire**

Lorsque la phase I du Projet a commencé en 2004, les indicateurs globaux tels que le taux de scolarisation, le taux d'achèvement des études primaires, le taux brut d'inscription de nouveaux admis et la disparité du genre parmi les nouveaux admis ont connu une amélioration comme l'indique le tableau ci-dessous. Les activités mises en œuvre par les COGES fonctionnels et à travers l'approche forum<sup>10</sup> tels que la campagne sur la scolarisation des filles et les résultats scolaires sont considérés comme des facteurs de promotion dans l'amélioration de ces indicateurs d'objectifs globaux.



Source : Statistique nationale de l'éducation de base

Figure 3 Indicateurs d'objectifs globaux

## 2-2. Résultats de l'Evaluation

### 2-2-1. Processus de mise en œuvre

Toutes les activités prévues dans le PDM ont été initiées bien que le décaissement des fonds de contrepartie ait été retardé. Cependant, depuis que les fonds ont été décaissés en janvier 2009, le Projet essaie de rattraper ce retard.

#### (1) Facteurs de contribution au processus

##### (i) Visualisation des résultats du Projet

Les résultats du Projet ont été mesurés avant et après le forum pour permettre d'évaluer son impact. Les partenaires du Projet sont d'avis que le facteur le plus important est d'en visualiser les résultats pour

<sup>10</sup> L'approche Forum est l'approche qui permet de résoudre les problèmes de l'éducation à travers des activités thématiques. Les représentants des FCC, les autorités de l'éducation et la municipalité participent au forum pour discuter des questions éducatives basées sur les besoins de la région en matière d'éducation. Tous les participants arrivent à un consensus et expriment leur engagement à mettre en œuvre des actions concrètes pour ce thème.

que les communautés soient réceptives aux activités du COGES. L'impact du Projet est très important à travers l'approche Forum. En mettant en exergue les impacts importants du forum destiné à résoudre les problèmes d'éducation au niveau régional, le Projet permet de renforcer l'initiative de toutes les parties prenantes.

(ii) Activités basées sur les besoins de la communauté

Au niveau communautaire, il existe des besoins importants; mais les communautés elles-mêmes ont des difficultés à satisfaire ces besoins. Le Projet améliore l'appropriation des communautés avec satisfaction par le renforcement des capacités qui permet aux communautés elles-mêmes d'identifier et de satisfaire leurs besoins. Au cours des réunions des COGES, non seulement les membres mais aussi les leaders de la communauté et les autres membres de la communauté peuvent discuter des questions relatives à leurs écoles. Ainsi, la communauté se sent concernée par l'amélioration des conditions de scolarisation à travers les activités des COGES.

(iii) Engagement de tous les acteurs

Dans l'approche Forum, tous les acteurs, y compris les leaders d'opinion et les responsables des services déconcentrés du MEN (DREN, Inspecteurs) sont engagés à assumer leurs responsabilités (à travers des activités thématiques menées dans leur région). Le suivi par les points focaux et les observateurs relais ont favorisé les activités de la campagne. Les engagements de tous les acteurs, chacun selon ses responsabilités ont abouti à des résultats tangibles de l'approche forum.

(2) *Facteurs entravant le processus*

(i) Détérioration des conditions de sécurité

A cause de la détérioration des conditions de sécurité dans certaines régions, les activités de suivi du Projet par les experts japonais ont été restreintes depuis novembre 2009. Bien que n'ayant pas encore identifié d'impacts négatifs de cette restriction, le Projet réfléchit en ce moment à des moyens pouvant permettre de résoudre ce facteur potentiel d'entrave.

**2-2-2. Évaluation par les cinq critères**

**Pertinence: Très élevée**

**Pertinence de la stratégie du Projet**

- L'objectif du Projet correspond à la politique nationale du Niger en matière d'éducation, politique stipulée dans le PDDE et qui vise le renforcement de la gestion de l'école basée sur la participation de la communauté et considérée comme un aspect de la décentralisation de l'éducation.
- Le PDDE met également l'accent sur l'éducation préscolaire. En particulier, le PDDE vise à améliorer le taux de scolarisation à hauteur de 5% en 2013, et étendre l'éducation préscolaire aux zones rurales.

01

\$

- L'amélioration de l'accès et la qualité de l'éducation de base à travers la gestion de l'école basée sur la communauté concorde avec la politique d'aide japonaise étant donné que le Japon s'est engagé lors de la TICAD IV en mai 2008 à généraliser le modèle de gestion scolaire à 10.000 écoles en Afrique de l'Ouest

#### **Besoins du Projet**

- L'objectif du Projet visant à mettre en place des COGES fonctionnels à l'échelle nationale répond aux besoins des enfants et à ceux de la communauté pour une meilleure gestion de l'école basée sur les réalités locales.
- L'éducation préscolaire communautaire est une des activités des COGES qui a été identifiée comme étant un besoin très important, en particulier dans les zones rurales.

#### **Pertinence de la stratégie du Projet**

- L'introduction de la gestion scolaire sur l'initiative des COGES fonctionnels est une stratégie appropriée pour aborder les questions d'éducation au Niger où les ressources du gouvernement sont limitées.
- L'apport minimum des COGES se résume à ce que ceux qui sont choisis à l'issue d'une élection démocratique soient très motivés à rendre les COGES fonctionnels et engagés à être transparents envers la communauté à travers des assemblées générales.
- Le modèle FCC a été adapté avec succès dans chaque région. En ce moment, la FCC a un rôle important dans la promotion de la communication au sein de chaque COGES et auprès de chaque partie prenante.

#### **Efficacité : Elevée (quasi réalisée)**

##### **La perspective de réaliser le but de Projet**

- Les COGES ont été démocratiquement mis en place dans 97,1% des écoles à l'échelle nationale. D'autre part, l'indicateur permettant de mesurer le nombre de plans d'actions scolaires et de rapports annuels par les COGES est encore en phase d'achèvement au moment de l'évaluation finale. Cela signifie que la mise en place du système de suivi des COGES est en cours.
- En se basant sur le résultat de la revue à mi-parcours de février 2009, les objectifs des indicateurs du Projet sont clairement définis dans le PDM révisé. Le niveau visé est approprié pour montrer le caractère opérationnel des COGES. Toutefois, la qualité du plan d'action scolaire et du rapport annuel devrait être également évaluée.

##### **Relations de cause et effet**

- Le renforcement des capacités des acteurs impliqués dans les COGES (Résultat1). Un des résultats du renforcement des capacités de toutes les parties prenantes est que les COGES ont été mis en place de



manière démocratique comme initialement prévu. La formation des observateurs relais et des points focaux a contribué au renforcement de leur opérationnalité.

- La mise en place d'un système de suivi de COGES (Résultat 2) par la FCC et les observateurs relais a contribué au renforcement de l'opérationnalité des COGES.
- La mise en place de modèles d'activité d'amélioration de l'éducation (résultat 3) tels que le jardin d'enfants communautaire, l'approche Forum et la réunion des inspecteurs ont contribué à renforcer la fonction et le système d'appui des COGES.

#### **Facteurs entravant l'efficacité**

- La pauvreté saisissante qui affecte les familles a une influence sur le montant du budget annuel de la FCCC si bien que les COGES, dépendant de la contribution des parents et des partenaires, ont été affectés par la situation économique des communautés.

#### **Efficiences : Élevée**

##### **Activités et contributions pour produire les résultats**

- Les ressources limitées du Projet sont bien utilisées pour donner les résultats attendus. Bien que certains résultats n'aient pas encore été réalisés à cause du retard de décaissement des fonds de contrepartie et la dotation des observateurs relais en moto-cross au commencement du Projet, l'efficacité globale du Projet est jugée élevée.
- Dans le Projet, l'accent a été mis sur l'effort pour minimiser le coût de la formation en réduisant la durée et le contenu. Cela permet de faire connaître le modèle du Projet à l'échelle nationale.
- Bien que le Projet vise toutes les régions, les experts japonais et le personnel local ont été déployés au minimum. Cela surcharge le personnel du Projet. En conséquence, il serait souhaitable d'éviter cette surcharge de travail pour assurer la qualité du Projet.

#### **Facteurs de contribution à l'efficacité**

- L'aide financière de la Banque mondiale dans le cadre du PADEB a permis d'organiser la formation nécessaire pour la mise en place des COGES à l'échelle nationale.
- La collaboration avec l'UNICEF basée sur l'accord portant sur les jardins d'enfants communautaires a fonctionné efficacement étant donné que l'UNICEF a apporté un appui aux aspects pédagogiques y compris l'approvisionnement en matériels didactiques tandis que le Projet a fourni l'appui technique pour la mise en place et la gestion des jardins d'enfants, chose qui a permis leur extension rapide à Tahoua et à Zinder.

#### **Impact: Très élevé**

##### **Perspective de réalisation de l'objectif global**

- Selon les chiffres de la statistique nationale sur l'éducation, les indicateurs de l'objectif global ont été améliorés depuis la phase I du Projet en 2004. Bien que beaucoup de facteurs influencent cette

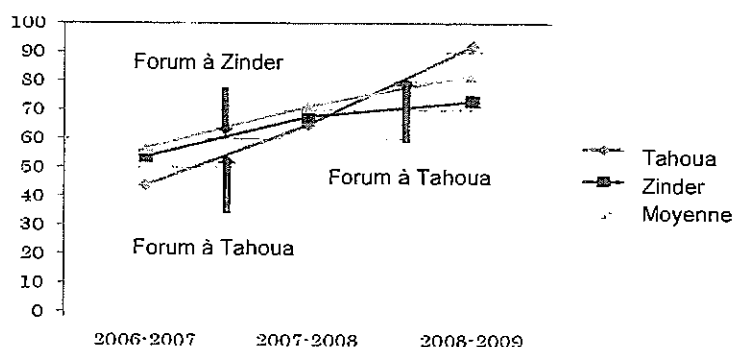
amélioration, la contribution du Projet à cette amélioration est révélée à travers l'interview des partenaires nigériens.

- Les indicateurs d'objectifs globaux ont été améliorés de façon significative dans les régions de Tahoua et Zinder où les COGES ont été mis en place depuis la phase I du Projet. Cela montre que le renforcement de la fonction des COGES pourrait contribuer à l'amélioration des conditions d'éducation au niveau de l'école. Aussi, espère-t-on que les indicateurs d'objectifs globaux seront améliorés au niveau national à travers la poursuite des activités du Projet pour consolider la fonction des COGES.

### Impact de l'approche Forum

#### *(1) la promotion de la scolarisation des filles*

Les campagnes sur la promotion de la scolarisation des filles ont été menées à Zinder en mai 2007 et à Tahoua à partir d'avril 2008. Résultat : le nombre de filles inscrites a remarquablement augmenté et la disparité du genre s'est améliorée (voir ci-dessous)

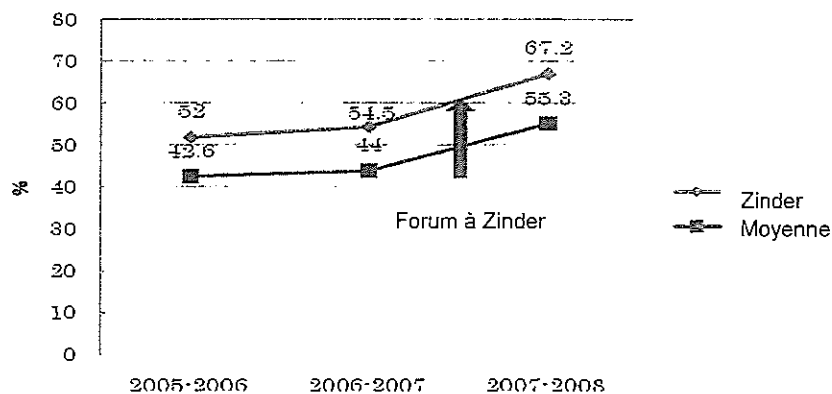


Source: Statistique nationale de l'éducation de base

Figure 4 Augmentation du taux de scolarisation des filles

#### *(2) Amélioration de la qualité de l'Education*

La campagne pour l'amélioration de la qualité de l'Education a été menée à Zinder à partir de janvier 2008. Il en résulte que de toutes les régions, Zinder a enregistré le meilleur taux d'admission en 2007-08 avec 67,2%. Bien que les facteurs d'amélioration des résultats des élèves soient nombreux, en particulier le taux d'admission de l'examen final, l'approche Forum pourrait être considérée comme un des facteurs majeurs de cette amélioration (annales et examens blancs).

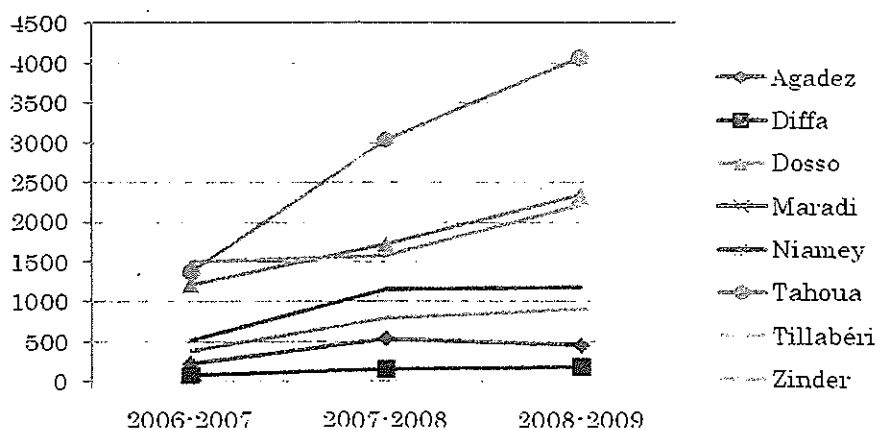


Source: Statistique nationale de l' éducation de base

Figure 5 Taux d'admission de l'examen final

**Impact de l'introduction et la généralisation des jardins d'enfants communautaires.**

- En termes d'impact de l'introduction et de la généralisation des jardins d'enfants communautaires, Tahoua a enregistré le taux le plus élevé de l'éducation préscolaire dans les zones rurales comme le montre la figure ci-dessous. Cette amélioration du taux de scolarisation aux jardins d'enfants contribue directement à la réalisation du PDDE.
- L'introduction des jardins d'enfants communautaires dans l'éducation préscolaire a beaucoup d'impacts positifs, telles que la promotion de la scolarisation de la jeune fille, l'amélioration de la gestion des classes à l'école primaire, etc.



Source: Statistique nationale de l' éducation de base

Figure 6 Taux de scolarisation aux jardins d'enfants dans les zones rurales

### Effets généralisés

- Dans la région de Maradi, les observateurs relais ont organisé un forum au niveau de la commune. Dans une interview, un observateur relais a relevé que le forum au niveau de la commune est nécessaire parce que les leaders locaux devraient être impliqués et engagés dans les activités ; de plus, les questions d'éducation au niveau de la commune sont différentes de celles qui se posent au niveau régional.
- Le Projet a appuyé la promotion de la gestion scolaire basée sur la communauté au Sénégal, au Mali et au Burkina Faso en organisant des séminaires sur le partage des expériences et en envoyant le personnel du Projet dans les pays respectifs pour fournir une assistance technique.

### Durabilité: Moyenne

#### Aspect politique et institutionnel (Niveau national)

- L'amélioration de la gestion scolaire communautaire comme partie de la décentralisation dans l'éducation est stipulée dans le PDDE.
- Le modèle de COGES fonctionnel et le modèle de la FCC tous deux ont été adoptés en tant que modèles officiels aux ateliers nationaux et l'arrêté ministériel y afférent a été pris.
- Le MEN a une capacité suffisante pour mettre en œuvre la stratégie de COGES ; cependant il a été observé que la participation active du MEN aux activités du Projet continue de jouir des impacts du Projet. L'initiative du MEN de renforcer la mise en œuvre de la stratégie de COGES s'avère donc nécessaire.

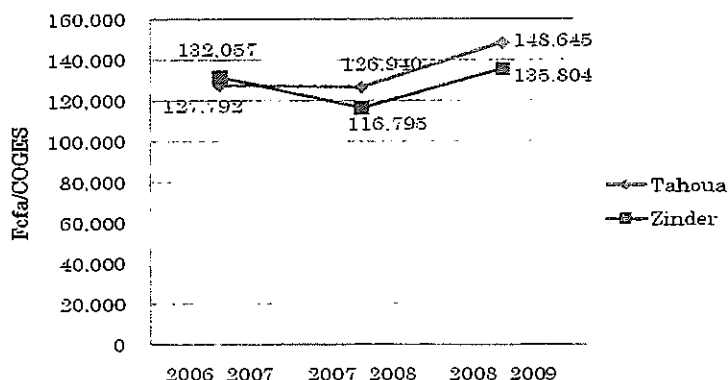
#### Aspects institutionnel et organisationnel

- Chaque DREN comprennent l'importance des COGES dans le développement de l'éducation et apportent un soutien ferme à la mise en œuvre de la politique au niveau régional.
- La plupart des points focaux en poste dans chaque DREN a la possibilité et le droit de superviser les observateurs relais relativement au suivi de COGES.
- La FCC a été mise en place au niveau communal sur la base de l'arrêté ministériel. L'importance de la FCC a été identifiée par l'ensemble des acteurs du Projet. La fonction de la FCC est de promouvoir l'efficacité du suivi des COGES.

#### Aspects financiers

- Grâce aux fonds de contrepartie alloués au coût du carburant des observateurs relais, les activités de suivi étaient menées sans problème. Toutefois, cet état de fait pose une question de durabilité du financement du suivi.
- Le budget de la FCC est mobilisé à partir des contributions des COGES et des partenaires, tels que le gouvernement, les sociétés locales, etc. En vue de bénéficier d'un appui financier continu de ces partenaires, les membres de la FCC ont fait connaître leur besoin de se former davantage en gestion financière, en plaidoyer et en élaboration de Projet

- Les bilans annuels des COGES de Tahoua et de Zinder<sup>11</sup> montrent que des initiatives importantes ont été prises pour la mobilisation des ressources dans les écoles et les communautés. Le montant moyen du budget mobilisé par les COGES est en hausse dans les deux régions comme le montre le tableau ci-dessous:



Source: Projet EPT

Figure 7 Budget moyen mobilisé à Tahoua et Zinder

#### Aspect technique

- Les points focaux et les observateurs relais ont une capacité suffisante pour animer une formation sur la mise en place des COGES et de FCC à l'échelle nationale. Plus de 1000 écoles primaires sont créées chaque année au Niger. Les points focaux au niveau régional et les observateurs relais ont également la responsabilité de former les membres de ces COGES nouvellement mis en place. Toutefois, un bas taux de collecte de plans d'actions scolaires et de bilans annuels a été observé et peut être attribué au manque de capacité des membres de COGES. En conséquence, la formation sur le suivi devrait être envisagée pour ces membres.
- En vue d'une utilisation efficace de ressources limitées et de mettre en place un système de suivi durable, le renforcement des capacités des inspecteurs été mis en oeuvre à travers la réunion mensuelle dans les régions qui avaient organisé un forum. Ce renforcement des capacités des inspecteurs et l'insertion du suivi dans la tâche primaire de l'administration de l'inspection conduiront au maintien d'un système durable de suivi de COGES.

<sup>11</sup> La taille de l'échantillon est 1165 COGES (58%) à Tahoua, 1506 COGES (72%) à Zinder

21



### 2-2-3. Conclusion

Dans la phase 2 de EPT, le Projet a fait beaucoup d'efforts pour renforcer les capacités du personnel des COGES et mettre en place un nouveau système de suivi par les observateurs relais et la fédération des COGES appelée Modèle FCC.

De plus, le Projet a développé l'approche Forum, un modèle régional de développement dans lequel la communauté et le gouvernement travaillent ensemble et qui a eu un impact considérable sur le développement de l'éducation au Niger. Afin de développer davantage l'éducation au niveau régional, des réunions régulières des inspecteurs dans chaque région ont été proposées, appuyées par le Projet, institutionnalisées et produisant des résultats remarquables.

Concernant les jardins d'enfants communautaires créés sur l'initiative des COGES, le nombre d'enfants inscrits atteint maintenant 10 000; ils sont devenus le modèle officiel au Niger. Malgré un grand nombre de résultats positifs accumulés durant la phase 2, la période d'essai permettant de vérifier le modèle FCC et son système de suivi ont été insuffisants, si bien que le but du Projet n'a pas encore été atteint. En conséquence, l'Equipe et la partie nigérienne ont convenu de recommander aux autorités compétentes du Niger et du Japon de proroger la durée du Projet pour une année supplémentaire en vue d'atteindre cet objectif.

Le modèle des COGES fonctionnels au Niger et son système de suivi sont devenus un bon exemple pour les pays voisins et jouit d'une bonne réputation à travers le monde entier. L'Equipe voudrait féliciter les membres du Projet, la CP/COGES et toutes les autres parties prenantes impliquées dans ce Projet pour leurs efforts et leur dévouement continus.

### 3. RECOMMANDATIONS

#### 3-1. Recommandations pour les Perspectives à Court Terme

##### *(1) Clarifier et renforcer davantage les rôles des différents acteurs dans le suivi des COGES*

Jusqu'ici, principalement les observateurs relais et les FCC ont été impliqués dans le suivi des COGES. Toutefois, différents acteurs de la structure administrative décentralisée de l'éducation y compris les DREN, les inspecteurs, les conseillers pédagogiques, les directeurs d'écoles, etc. sont supposés jouer également un rôle important dans le suivi. Ainsi, il est fortement recommandé de définir leurs rôles dans la mise en œuvre des activités de suivi des COGES. (recommandation pour le MEN)

##### *(2) Poursuivre des efforts en vue de mettre en place un système de suivi des COGES basé sur la FCC fonctionnelle*

Après sa mise en place à l'échelle nationale, la FCC a commencé à jouer un rôle important d'une partie de système du suivi du COGES en 2009. Cependant, elle ne fonctionne pas pleinement encore, parce qu'elle a moins d'une année depuis son démarrage à l'échelle nationale. En conséquence, il faudra, encore davantage de renforcement du système de suivi des COGES basé sur la FCC tout en améliorant sa fonctionnalité. (recommandation pour le Projet)

##### *(3) Assurer le budget pour le suivi des COGES*

Actuellement, les dépenses relatives au suivi des COGES, y compris le suivi effectué par les agents chargés du COGES ainsi que leurs réunions mensuelles sont couvertes par les fonds de contrepartie. Il faut chercher à assurer le budget de ce suivi avant que les fonds de contrepartie prennent fin. (recommandation pour le MEN)

##### *(4) Consolider et synthétiser les expériences de l'Approche Forum*

L'Approche Forum est un moyen unique et efficace pour le développement de l'éducation. A travers le Forum, le MEN peut apporter un appui aux activités basées sur à la fois ses besoins et ceux de la communauté et menées à l'initiative de la communauté. Il est désormais nécessaire de synthétiser les expériences des forums en améliorant son approche. (recommandation pour le Projet)

#### 3-2. Recommandations pour les Perspectives à Moyen et Long Terme.

##### *(1) Renforcer les relations entre la FCC, la commune et les différents acteurs de la structure administrative décentralisée de l'éducation.*

Dans la perspective du développement de l'éducation et la décentralisation au niveau régional, il est fortement recommandé que la FCC, la commune et l'administration scolaire décentralisé collaborent de manière plus étroite pour la mise en œuvre de la réforme de l'éducation au niveau régional. Bien que leurs relations de partenariat aient été clarifiées dans l'arrêté n° 00168/MEN/SG/DGEB du 24 octobre

2008, la situation de collaboration varie selon les régions ou les communes. Il est préconisé de renforcer davantage leurs liens de partenariat en instituant une réunion régulière de ces partenaires.

(Recommandation pour le MEN)

*(2) Assurer la durabilité de l'Approche Forum*

L'Approche Forum a contribué au développement de l'éducation au niveau régional en révélant le potentiel de la communauté et, finalement conduit à son développement dans tout le pays. Cependant, il est mis en œuvre de façon intermittente, ce qui pourrait engendrer un problème de durabilité. Il est donc nécessaire d'établir un mécanisme pour assurer la durabilité de la mise en œuvre de Forum ainsi que de ses effets produits. (Recommandation pour le MEN).

*(3) Améliorer le développement de la capacité des COGES(capacity, funance, matériels)*

Le modèle de COGES fonctionnel développé par le Projet durant la phase 1 et 2 a été établi et généralisé dans tout le pays. Sa mise en œuvre a fortement contribué à améliorer l'éducation au Niger à travers les activités initiées par les COGES grâce aux ressources mobilisées par les communautés. Eu égard aux ressources limitées disponibles dans une communauté, l'introduction de ressources externes doit être prise en compte pour l'avenir. Il est également indispensable de renforcer les capacités des COGES par rapport au planning et à la gestion des ressources avant l'introduction des ressources externes. De plus, un module de formation sur les COGES devrait être inséré dans le programme de formation initiale.

(Recommandation pour le MEN et le Projet)

*(4) Elaborer une stratégie à l'échelle nationale pour la mise en place des jardins d'enfants communautaires.*

Le modèle de jardin d'enfants communautaires (JEC) développé conjointement par le Projet, l'UNICEF et le MEN a produit des résultats remarquables et il a été approuvé et institutionnalisé par le gouvernement nigérien. Bien que ces partenaires continuent de travailler ensemble afin de diffuser les JEC à l'échelle nationale, une stratégie de généralisation de JEC n'est pas encore mise en place. Il est donc nécessaire d'élaborer cette stratégie. (recommandation pour le Projet, l'UNICEF, le MEN)



## ANNEX 1 Contributions au Projet

### 1-1. Liste d'experts japonais

#### (1) Liste d'experts à long terme

No.	Nom	domaine	De	A
1	M. Masahiro Hara	Conseiller en chef/Conseiller en éducation	1 août 2007	1 août 2008
2	Mme Hiroko Miura	Conseillère en chef/Conseillère en éducation	25 Juin 2008	Aujourd'hui
3	M. Kimikazu Onoue	Suivi de COGES	1 août 2007	29 mars 2008
4	Mlle. Akiko Kageyama	Elaboration d'initiatives de COGES (Plans d'action scolaires)	27 sept. 2007	Aujourd'hui
5	Mlle. Junko Nakazawa	Renforcement des capacités/Coordonnateur	1 août 2007	Aujourd'hui
6	M. Nobuhiro Kunieda	Suivi de COGES	10 mars 2008	Aujourd'hui
7	Mme Nana Kondo	Renforcement des capacités/Coordonnatrice	28 juin 2009	Aujourd'hui

#### (2) Liste d'experts à court terme

No	Nom	Domaine	De	A
1	Mlle. Minako Morimoto	Administration éducation locale	2 janv. 2008	26 fév. 2008

ANNEX 1-2. Liste de machines principales et d'équipement fournis par la JICA

Désignation	Spécification (Nom du modèle/No, Fabricant)	Quantité	Prix unitaire Price (NGN)	Sous- Total	Date de livraison	Bénéficiaires	Condition
Climatiseur	SHARP 2HP	2	435.000	870.000	13 nov. 2007	Niamey, Konni	Bon
Imprimante	HP F 2180 Color	3	127,500	382.500	13 nov. 2007	Niamey, Konni	Besoin de réparation
Imprimante Laser	HP 5550 DN Color	1	2.995.000	2.995.000	Jan. 18 2008	Niamey	Bon
Coffre fort	100kg	1	350.000	350.000	14 nov. 2007	Konni	Bon
Machine Fax	Panasonic KX- FP series	1	230.000	230,000	28 nov. 2007	Konni	Bon
Photocopieur	TOSHIBA e- studio165	1	1.883.193	1.883.193	19 nov. 2007	Niamey	Bon
Cahier de PC	Potable HP processor Intel Celeron M	1	650.000	650.000	4 déc. 2007	Niamey	Bon
Ordinateur de bureau	HP Compaq	1	820.000	820,000	4 déc. 2007	Niamey	Bon
Onduleur	UPS800VA	1	120.000	120.000	4 déc. 2007	Niamey	Bon
Moto-cross	SUZUKI TF125	9	1.700.000	15.300.000	13 déc. 2008	Tahoua	Bon
Cahier de PC	HP 530	2	680.000	1.360.000	3 mars2008	Niamey	Bon
Véhicule	Toyota Land cruiser HZJ 76l	1	21.000.000	21.000.000	15 juillet 2008	Niamey	Bon
Véhicule	Toyota Land cruiser HZJ 76l	1	21.000.000	21.000.000	1 <sup>er</sup> août 2008	Niamey	Bon
Véhicule	Toyota Land Cruiser VDJ 200l	1	34.000.000	34.000.000	31 mars 2009	Niamey	Bon
Véhicule	Toyota Prado LJ 120	1	21.500.000	21.500.000	3 juillet 2009	Niamey	Bon

ANNEX 1-3. Liste de Participants en formation d'homologue au Japon

(1) Liste de Participants en Formation au Japon

No	Nom	Position ou Profession	Titre du cours	Lieu	De	A
1	Marou Amadou	Directeur-Général de l'éducation de base du MEN	Etude sur l'amélioration de l'éducation de la formation des formateurs Cours pour les francophones des pays africains	Osaka	nov. 2008	déc. 2008
2	Ali N'Diaye Ibrahim	Directeur régional de la direction régionale de l'éducation nationale /Zinder	Etude sur l'amélioration de l'éducation de la formation des formateurs Cours pour les francophones des pays africains	Osaka	nov. 2008	déc. 2008
3	Damana Issaka	Coordonnateur National C/P COGES	Etude sur l'amélioration de l'éducation de la formation des formateurs Cours pour les francophones des pays africains	Osaka	Nov. 2009	Déc. 2009
4	Yeya Dan Inna	Directeur Régional Adjoint de la direction régionale de l'éducation/ Niamey	Etude sur l'amélioration de l'éducation de la formation des formateurs Cours pour les francophones des pays africains	Osaka	Nov. 2009	Déc. 2009

**ANNEX 1-4. Liste des homologues nigériens**

No.	Nom	Fonction
1	MAIGUIZO Rakiatou Zada	Secrétaire-Générale du Ministère de l'éducation nationale (MEN)
2	Marou Amadou	Directeur-Général de l'éducation de base du MEN
3	Abdoulaye Souley	Chef de Division de Coopération et Projet, MEN
4	Damana Issaka	Coordonnateur national de la CP/COGES
5	Abdou Aman	Directeur régional de l'éducation nationale/Agadez
6	Abba Baitou	Directeur régional de l'éducation nationale /Diffa
7	Asmane Guizo	Directeur régional de l'éducation nationale /Dosso
8	Erambel Iba Abdoulaye	Directeur régional de l'éducation nationale /Niamey
9	Baudin Joseph	Directeur régional de l'éducation nationale /Maradi
10	Gati Hassane Mamoudou	Directeur régional de l'éducation nationale /Tahoua
11	Ali Issa Waly	Directeur régional de l'éducation nationale /Tillabéri
12	Boukar Kolimi	Directeur régional de l'éducation nationale /Zinder

**ANNEXE 1-5. Liste de terrains, bâtiments et équipements**

No.	Construction/Equipements
1	Bureau du Projet (Niamey)
2	Bureau du Projet (Konni) <sup>12</sup>

---

<sup>12</sup> Le bureau du Projet dans la région de Tahoua conformément au départ de l'expert japonais est fermé depuis décembre 2009

## ANNEX 2. Projet du cadre logique (PDM)

SCHEMA D'ELABORATION DU PROJET (PDM) Pour l'Appui à l'Amélioration de la Gestion des Etablissements Scolaire à travers la Participation Communautaire (Ecole Pour Tous) Phase II

(Ecole Pour Tous) Phase II

Titre du Projet: Appui à l'Amélioration de la Gestion des Etablissements Scolaire à travers la Participation Communautaire (Ecole Pour Tous) Phase II

Zone cible: Toutes les régions (Niamey, Tillabéri, Dosso, Tahoua, Maradi, Zinder, Agadez, Diffa)

Groupe cible: Parents/membres de la communauté, directeurs d'écoles, enseignants des écoles, et administrateurs régionaux de l'éducation

PDM proposé v.130109

Durée : 1er Août 2007 – 31 Juillet 2010 (3 ans)

Indicateurs proposés v.020709

RESUME NARRATIF	INDICATEURS OBJECTIVEMENT VERIFIABLES	MOYENS DE VERIFICATION	SUPPOSITIONS IMPORTANTES
<b>OBJECTIF GLOBAL</b> La qualité et l'accès à l'éducation de base sont améliorés par la gestion de l'école à travers la participation communautaire	Amélioration dans le taux de scolarisation Amélioration dans le taux de redoublement Amélioration dans le taux d'abandon Amélioration dans le taux d'achèvement	Statistiques MEN	
<b>OBJECTIF DU PROJET</b> La structure chargée de la mise en place des COGES fonctionnels et durables est renforcée afin qu'ils soient effectifs sur l'étendue du territoire	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 80% des COGES des écoles ont été mis en place à travers l'élection démocratique.</li> <li>2 90% des COGES des écoles ont soumis leurs plans d'actions à leurs Fédérations Communales des COGES (FCC) respectives.</li> <li>3 80% des COGES des écoles ont soumis leurs bilans annuels du plan d'actions à leurs FCC respectives.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Rapports des PF de COGES</li> <li>2 Rapport de suivi de COGES</li> <li>3 Rapport de suivi de COGES</li> </ol>	La politique éducative du Niger qui donne de l'importance au COGES n'a pas changé
<b>RESULTATS</b> 1 Les capacités des acteurs par rapport aux COGES sont développées et renforcées à tous les niveaux	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 90% des points focaux et des observateurs relais de COGES ont reçu une série de formations sur la mise en place de COGES et la planification des activités des COGES.</li> <li>1-2 Plan de formation élaboré pour chaque région</li> <li>1-3 90% des directeurs d'écoles dans les six (6) régions ont reçu une formation sur la mise en place de COGES.</li> <li>1-4 90% des délégués des COGES dans les six (6) régions ont reçu une formation sur la planification des activités des COGES.</li> <li>1-5 Amélioration faite en stratégie de COGES locaux et FCC</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Rapport de la formation des formateurs</li> <li>1-2 Plans de formation élaborés</li> <li>1-3 Rapports des PF de COGES</li> <li>1-4 Rapport de la formation des formateurs</li> <li>1-5 Document de stratégie de COGES révisé</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; Les écoles n'ont pas connu de perturbation importante</li> <li>&gt; La situation de pauvreté des ménages ne s'empire pas</li> </ul>

<p>2 Un système durable de suivi de COGES est mis en place</p>	<p>2-1 Validation du modèle de FCC</p> <p>2-2 100% des communes du pays disposent d'une FCC dont les membres de bureau sont élus démocratiquement.</p> <p>2-3 Au moins 10 réunions mensuelles des OR se sont tenues par an dans chaque région.</p> <p>2-4 80% des FCC ont tenu au moins 3 Assemblées Générales (AG) et 6 réunions de bureau en 2009/2010</p> <p>2-5 80% des FCC ont mis en œuvre au moins une activité thématique en 2009/2010</p>	<p>2-1 Rapport de l'atelier national sur les FCC</p> <p>2-2 Rapports des PF de COGES</p> <p>2-3 PV fait par les points focaux de COGES</p> <p>2-4 Rapports des Points Focaux de COGES</p> <p>2-5 Rapports des Point Focaux de COGES</p>	
<p>3 Un modèle d'amélioration des activités scolaires menées par les COGES est mis en place</p>	<p>3-1 50 PV de création de jardins d'enfants communautaires ont été collectés dans les régions de Tahoua et Zinder, respectivement en 2008/2009 et en 2009/2010.</p> <p>3-2 50 jardins d'enfants communautaires ont été initiés et gérés par les COGES dans les régions de Tahoua et Zinder, respectivement en 2008/2009 et en 2009/2010.</p> <p>3-3 Validation du modèle de jardin d'enfants communautaire</p> <p>3-4 90% des FCC des régions ayant organisé des fora ont tenu une AG de restitution du forum régional</p>	<p>3-1 PV élaborés</p> <p>3-2 Rapport et/ou statistique des Inspecteurs de l'éducation préscolaire (IEP)</p> <p>3-3 Rapport de la direction préscolaire du modèle type de jardin d'enfants communautaire</p> <p>3-4 PV des AG au niveau des FCC</p>	

ACTIVITES		CONTRIBUTIONS	
		JAPON	NIGER
1-1	Organiser un atelier d'internalisation relatif au COGES pour les administrateurs locaux (ex. DREN, Inspecteurs, etc.)	(a) Affectation d'experts japonais 1) Experts à long terme - Chef du Projet / Conseiller Technique en éducation - Chargé de Suivi des COGES et FCC - Chargé de développement des initiatives des COGES - Coordonnateur / Développement de capacité	(a) Affectation des personnels - Directeur Général de l'Education de Base, Ministère de l'Education Nationale(MEN) - Coordonnateur national de la C.P.COGES, - Directeurs Régionaux de l'Education Nationale (DREN),
1-2	Appuyer l'organisation de la formation des formateurs en faveur, des points focaux et des observateurs relais de COGES sur l'élection démocratique, la planification et la mise en oeuvre des plans d'action d'école et sur la gestion financière		
1-3	Appuyer la C.P.COGES, les Observateurs relais de COGES et les ONG en élaboration de plan de formation		
1-4	Appuyer les Points focaux, les Observateurs Relais de COGES et les ONG sur la conduite des formations sur la mise en place des COGES et sur l'élaboration et la mise en oeuvre des plans d'action scolaires		
1-5	Appuyer la C.P.COGES à peaufiner la stratégie de COGES et FCC	2) Experts à court terme en cas de besoin Fourniture d'équipement: véhicule(s) pour le suivi, mobylettes, etc. (en cas de besoin)	
2-1	Réviser les manuels sur la mise en place et le suivi de FCC		
2-2	Appuyer la C.P.COGES à organiser un atelier national de validation le modèle de FCC		
2-3	Conduire une formation pour les membres de COGES sur la mise en place des FCC		(b) Fourniture de bureaux
2-4	Appuyer les Points Focaux et Observateurs relais en ce qui concerne la tenue des réunions mensuelles au niveau régional		
2-5	Appuyer l'élaboration d'un système de rapportage de COGES du niveau de l'école au niveau national	(c) Allocation du coût de mise en oeuvre du Projet (d) Autres	(c) Allocation du coût de mise en oeuvre du Projet
2-6	Organiser des ateliers de partage d'expérience		
2-7	Organiser des fora régionaux des FCC		
3-1	Mener une enquête de besoins sur l'activité scolaire du jardin d'enfants communautaire dans les régions de Tahoua et Zinder		
3-2	Appuyer l'activité scolaire du jardin d'enfants communautaire dans des écoles pilotes des régions de Tahoua et Zinder		
3-3	Appuyer la compilation des documents sur le modèle d'amélioration de l'activité scolaire du jardin d'enfants communautaire.		
3-4	Appuyer l'organisation des séminaires pour partager mutuellement les expériences d'amélioration d'activité scolaire du jardin d'enfants communautaire		
3-5	Organiser des fora régionaux des FCC		
3-6	Appuyer l'organisation des réunions des inspecteurs		
3-7	Appuyer l'initiative des COGES locaux à travers les FCC pour atteindre des buts des campagnes		
		<b>Condition préalable</b>	
		La politique de COGES existe	





**ANNEX 4. Grille d'Evaluation  
ANNEX 4-1: Réalisations du Projet**

Eléments d'évaluation	Information et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude																																			
<p><b>Réalisation du objectif global</b></p> <p>La qualité et l'accès à l'éducation de base sont améliorés par la gestion de l'école à travers le la participation communautaire</p>	<p><b>[Indicateur de PDM]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Amélioration dans le taux de scolarisation</li> <li>• Amélioration dans le taux de redoublement</li> <li>• Amélioration dans le taux d'abandon</li> <li>• Amélioration dans le taux d'achèvement</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Depuis la phase I du projet commencé en 2004, les indices de l'éducation primaire au Niger ont montré une amélioration comme dans les diagrammes ci-dessous. La contribution des activités du Projet à cette amélioration est également montrée dans l'interview des partenaires nigériens.</li> <li>• Les indicateurs d'objectifs globaux se sont améliorés dans les régions de Tahoua et Zinder. Où les COGES ont été mis en place depuis la phase I du Projet. Cela montre que le renforcement de la fonction des COGES pourrait jouer un rôle important dans l'amélioration des conditions d'éducation au niveau scolaire. En conséquence, l'on s'attend à ce que l'ensemble des indicateurs d'objectifs globaux s'améliore au niveau national à travers la poursuite des activités du projet pour renforcer le rôle des COGES.</li> </ul> <div data-bbox="718 291 1197 1120"> <table border="1"> <caption>Estimated data from the line graph</caption> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Enrollment rate (%)</th> <th>Completion rate (%)</th> <th>Gross Registration Ratio of New Entrants (%)</th> <th>Gender Disparity in New Entrants (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2003-2004</td> <td>~85</td> <td>~65</td> <td>~65</td> <td>~65</td> </tr> <tr> <td>2004-2005</td> <td>~88</td> <td>~68</td> <td>~62</td> <td>~62</td> </tr> <tr> <td>2005-2006</td> <td>~90</td> <td>~70</td> <td>~60</td> <td>~60</td> </tr> <tr> <td>2006-2007</td> <td>~92</td> <td>~72</td> <td>~58</td> <td>~58</td> </tr> <tr> <td>2007-2008</td> <td>~94</td> <td>~74</td> <td>~56</td> <td>~56</td> </tr> <tr> <td>2008-2009</td> <td>~96</td> <td>~76</td> <td>~54</td> <td>~54</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>Source: Statistique nationale de l'éducation de base Indicateurs d'objectifs globaux</p>	Year	Enrollment rate (%)	Completion rate (%)	Gross Registration Ratio of New Entrants (%)	Gender Disparity in New Entrants (%)	2003-2004	~85	~65	~65	~65	2004-2005	~88	~68	~62	~62	2005-2006	~90	~70	~60	~60	2006-2007	~92	~72	~58	~58	2007-2008	~94	~74	~56	~56	2008-2009	~96	~76	~54	~54
Year	Enrollment rate (%)	Completion rate (%)	Gross Registration Ratio of New Entrants (%)	Gender Disparity in New Entrants (%)																																	
2003-2004	~85	~65	~65	~65																																	
2004-2005	~88	~68	~62	~62																																	
2005-2006	~90	~70	~60	~60																																	
2006-2007	~92	~72	~58	~58																																	
2007-2008	~94	~74	~56	~56																																	
2008-2009	~96	~76	~54	~54																																	

<b>Réalisation de l'objectif du projet</b>																																	
<p>La structure chargée de la mise en place des COGES fonctionnels et durables est renforcée afin qu'ils soient effectifs sur l'étendue du territoire</p>	<p><b>[Indicateur 1 du PDM] 80% des COGES des écoles ont été mis en place à travers l'élection démocratique.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>En février 2009, à la suite de la formation conduite par le MEN avec les ressources du PADEB financé par la Banque Mondiale, 6.577 écoles, soit 97% du nombre total d'écoles prévu<sup>1</sup> à Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, et Tillabéri<sup>2</sup> ont mis en place des COGES de façon démocratique et ont soumis les procès verbaux aux observateurs relais.</li> </ul> <p>Nombre et taux de COGES mis en place à partir de février 2008.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Nombre total d'écoles primaires</th> <th>Nombre d'écoles ayant soumis les procès verbaux sur la mise en place de COGES<sup>3</sup></th> <th>Taux de dépôt (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Agadez</td> <td>364</td> <td>237</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>Diffa</td> <td>425</td> <td>425</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Dosso</td> <td>1795</td> <td>1795</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Maradi</td> <td>1868</td> <td>1868</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Niamey</td> <td>453</td> <td>360</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>Tillabéri</td> <td>1870</td> <td>1892</td> <td>101%</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>6775</b></td> <td><b>6577</b></td> <td><b>97%</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Projet EPT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Le nombre d'écoles a augmenté à un taux rapide. En conséquence, la mise en place des COGES s'est poursuivie grâce aux efforts de la partie nigérienne. Par exemple, dans la région de Tillabéri, plus de 200 nouveaux COGES ont été mis en place en 2009. Le résultat de l'entrevue montre que les COGES nouvellement mis en place démontrent une forte initiative d'appui à leurs écoles.</li> </ul>		Nombre total d'écoles primaires	Nombre d'écoles ayant soumis les procès verbaux sur la mise en place de COGES <sup>3</sup>	Taux de dépôt (%)	Agadez	364	237	65%	Diffa	425	425	100%	Dosso	1795	1795	100%	Maradi	1868	1868	100%	Niamey	453	360	79%	Tillabéri	1870	1892	101%	<b>Total</b>	<b>6775</b>	<b>6577</b>	<b>97%</b>
	Nombre total d'écoles primaires	Nombre d'écoles ayant soumis les procès verbaux sur la mise en place de COGES <sup>3</sup>	Taux de dépôt (%)																														
Agadez	364	237	65%																														
Diffa	425	425	100%																														
Dosso	1795	1795	100%																														
Maradi	1868	1868	100%																														
Niamey	453	360	79%																														
Tillabéri	1870	1892	101%																														
<b>Total</b>	<b>6775</b>	<b>6577</b>	<b>97%</b>																														
<p><b>[Indicateur 2 du PDM] 90% des COGES des écoles ont soumis leurs plans d'actions à leurs Fédérations Communales des COGES (FCC) respectives.</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7,333 COGES ont soumis leurs plans d'action à leur FCC respectif en 2008-2009, soit 70,2 % de tous les COGES. Alors que Tahoua et Zinder ont atteint un taux de 90%, les autres n'ont pu réaliser l'objectif.</li> <li>Les données les plus récentes montrent une certaine amélioration dans la soumission du plan d'action. Cependant, le Projet a encore davantage d'efforts à faire en vue d'atteindre le niveau visé. Les partenaires ont fait savoir au cours de l'entrevue que cela est dû au manque de capacité de la part des nouveaux membres élus de COGES à développer un plan d'action</li> <li>La responsabilité de collecte de plans d'action scolaires de COGES examinée à Maradi, Zinder et</li> </ul>																																

<sup>1</sup> Le nombre total d'écoles prévues signifie le nombre total d'écoles susceptibles d'être fonctionnelles au moment de la formation lorsqu'elle est programmée. Au Niger, le nombre d'écoles augmente constamment. Cela explique le fait que le nombre d'écoles ayant remis leurs procès verbaux de mise en place de COGES dépasse le nombre total des écoles primaires.

<sup>2</sup> A. Tahoua et Zinder, la mise en place démocratique de COGES a été réalisée au cours de la phase I.

<sup>3</sup> Nombre d'écoles qui a soumis ses procès verbaux sur la mise en place de COGES est utilisé comme un indicateur pour le nombre de COGES mis en place à travers une élection démocratique parce que les procès verbaux de l'assemblée générale pour la mise en place de COGES décrivent les résultats de l'élection.

Tillabéri.				
Taux de soumission de plan d'action et rapport annuel				
	No. de COGES	Plans d'action	Pourcentage de remise (%)	Pourcentage de remise (%)
	239	264	82,8	103
	381	330	86,2	326
	1798	1147	43,4	97
	1958	1093	76,0	939
	383	159	76,5	58
	1710	1264	90,1	1397
	2039	723	44,7	721
	1876	1652	92,7	1661
	<b>Total</b>	<b>6632</b>	<b>70,2</b>	<b>5302</b>
	Source: Projet EPT			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>5,195 COGES ont soumis leur rapport annuel à leur FCC respective en 2008-09, soit 51,1% de tous les COGES. L'objectif n'est pas encore atteint dans la plupart des régions. Bien que quelques améliorations aient été confirmées dans de nouvelles régions cibles, le Projet nécessite davantage d'efforts pour arriver au niveau visé.</li> <li>Certains des rapports soumis n'ont aucune cohérence avec les plans d'action scolaires tandis qu'il manque des éléments dans d'autres. La qualité et la politique de conservation tant des plans d'action que des rapports annuels doivent être développés.</li> </ul>			
Achievement of Outputs				
I. Les capacités des acteurs par rapport aux COGES sont développées et renforcées à tous les niveaux	[Indicateur 1 du PDM] 90% des points focaux (PFs) et des observateurs relais (ORs) de COGES ont reçu une série de formations sur la mise en place de COGES et la planification des activités des COGES.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Comme résultat du démarrage du Projet, tous les DREN (8) et tous les observateurs relais (51) dans toutes les régions du Niger ont reçu la formation sur la mise en place des COGES et la planification des activités de COGES.</li> <li>Les DREN et les observateurs relais comprennent la stratégie de COGES et l'importance du suivi. Ils ont la capacité de planifier et conduire une formation et apporter un appui aux membres de COGES. La réunion mensuelle des inspecteurs de COGES qui avait commencé dans plusieurs régions a également contribué au développement de leur capacité.</li> <li>Le plan régional de formation sur la mise en place de COGES, l'élaboration et la mise en oeuvre du plan d'action scolaire ont été exprimés dans toutes les six nouvelles régions cibles.</li> <li>6.579 directeurs d'écoles (plus de 99,5% de toutes les écoles) ont participé à la formation sur l'élection démocratique des membres de COGES dans les six nouvelles régions cibles grâce à l'appui financier de la Banque mondiale. Le nombre d'écoles a augmenté dans toutes les régions. En conséquence, la formation des nouveaux directeurs d'écoles se poursuit avec ces fonds de contrepartie.</li> </ul>		
	[Indicateur 1-2 du PDM] Plan de formation élaboré pour chaque région			
	[Indicateur 1-3 du PDM] 90% des directeurs d'écoles dans les six (6) régions ont reçu une formation sur la mise en place de COGES.			

Taux de participation à la formation sur la mise en place des COGES			
	Nombre de Participants attendus	Nombre de participants (directeurs d'école)	Taux de participation (%)
	364	364	100,0%
Agadez	425	425	100,0%
Diffa	1802	1795	99,6%
Dosso	1868	1868	100,0%
Maradi	493	453	91,9%
Niamey	1860	1870	100,5%
Tillabéri	6812	6579	99,5%
<b>Total</b>			

Source: Projet EPT

- 13267 membres de COGES (98,5% du nombre prévu<sup>1</sup>) ont participé à la formation sur le développement de plans d'action dans toutes les six nouvelles régions cibles avec l'appui financier de la Banque mondiale.
- Dans la région d'Agadez, le taux de participation à la formation est bas comparé avec celui des autres régions. On pense que cela est dû à la difficulté d'accès à la session de formation étant donné que les écoles sont éparpillées dans une zone désertique.
- 13267 membres de COGES (plus de 98% of du nombre<sup>5</sup> prévu) ont participé à la formation sur l'élaboration de plans d'action scolaires à Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey et Tillabéri<sup>6</sup> comme indiqué dans le tableau ci-dessous. La Banque Mondiale a financièrement appuyé la formation.

Taux de participation à la formation sur le développement de plan d'action			
	Nombre de participants prévus	Nombre de participants	Taux de participation(%)
Agadez	728	622	86,4
Diffa	850	769	90,5
Dosso	3608	3604	99,9
Maradi	3736	3748	100,3
Niamey	984	916	93,1
Tillabéri	3558	3608	101,4
<b>Total</b>	<b>13464</b>	<b>13267</b>	<b>98,5</b>

Source: Projet EPT

- Les améliorations faites dans la stratégie de FCC et COGES sont observées. Le premier modèle de FCC a été adopté lors de l'atelier national organisé par le MEN en juillet 2008.
- Bien qu'il faille développer un plan détaillé, le MEN a une initiative pour améliorer davantage les stratégies de COGES.
- Basé sur le modèle de la FCC adopté à l'atelier national en juillet 2008, l'arrêté ministériel portant mise en place, tâche, structure et fonction de la FCC avait été pris en octobre 2008. L'arrêté stipule que la FCC a reçu une fonction et une tâche claires pour le suivi des COGES.

<sup>1</sup> Nombre prévu à l'étape de la planification  
<sup>5</sup> Nombre prévu à l'étape de la planification.  
<sup>6</sup> La formation à Tahoun et à Zinder a été conduite pendant la Phase I du Projet.

<p><b>[Indicateur 2-2 du PDM]</b> 100% des communes du pays disposent d'une FCC dont les membres de bureau sont élus démocratiquement.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Comme en décembre 2009, toutes les 149 communes dans les 5 régions<sup>7</sup> ont mis en place une FCC à l'exception de deux communes à Diffa où l'accès des écoles est extrêmement difficile à partir du bureau communal. En conséquence la formation n'y a pas eu lieu.</li> <li>• La FCC joue un rôle important dans la campagne de sensibilisation sur l'enrôlement des filles et le succès de l'apprentissage, dans la communication entre les parents d'élèves et les COGES et, dans le suivi et la supervision des COGES.</li> </ul>																				
<p><b>[Indicateur 2-3 du PDM]</b> Au moins 10 réunions mensuelles des OR se sont tenues par an dans chaque région.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Plus de dix (10) réunions mensuelles des observateurs relais ont été conduites chaque année dans toutes les régions. La réunion mensuelle a été reportée à cause du retard dans le décaissement du fonds de contrepartie en 2008. Toutefois, le fonds ayant été mis en place en février 2009 et depuis cette date la réunion des OR est organisée régulièrement comme prévu.</li> </ul> <table border="1" data-bbox="510 627 766 1209"> <thead> <tr> <th colspan="2">Nombre de réunions mensuelles dans chaque région</th> </tr> <tr> <th colspan="2">Nombre de réunions mensuelles</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Agadez</td><td>10</td></tr> <tr><td>Diffa</td><td>11</td></tr> <tr><td>Dosso</td><td>12</td></tr> <tr><td>Maradi</td><td>10</td></tr> <tr><td>Niamey</td><td>12</td></tr> <tr><td>Tahoua</td><td>11</td></tr> <tr><td>Tillabéri</td><td>12</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> <p>Source: Projet EPT</p>	Nombre de réunions mensuelles dans chaque région		Nombre de réunions mensuelles		Agadez	10	Diffa	11	Dosso	12	Maradi	10	Niamey	12	Tahoua	11	Tillabéri	12	Zinder	11
Nombre de réunions mensuelles dans chaque région																					
Nombre de réunions mensuelles																					
Agadez	10																				
Diffa	11																				
Dosso	12																				
Maradi	10																				
Niamey	12																				
Tahoua	11																				
Tillabéri	12																				
Zinder	11																				
<p><b>[Indicateur 2-4 du PDM]</b> 80% des FCC ont tenu au moins 3 Assemblées Générales (AG) et 6 réunions de bureau en 2009/2010</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Depuis l'initiative des FCC sur toute l'étendue de en mi 2008-2009, il est trop tôt pour faire une analyse de cet indicateur des nouvelles régions<sup>8</sup> cibles. Cependant, l'assemblée générale et la réunion de comité sont tenues dans toutes les régions comme prévu.</li> </ul> <p>Comme à Tahoua et à Zinder où la FCC a été développée dès le début, 82% des FCC ont tenu au moins 3 assemblées générale et 6 réunions de comité en 2008/2009. La possibilité de compléter cet indicateur est élevée dans les nouvelles régions en 2009-2010</p> <table border="1" data-bbox="957 380 1149 1209"> <thead> <tr> <th colspan="3">Nombre de FCC qui ont tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de comité</th> </tr> <tr> <th>Nombre total de FCC</th> <th>Nombre de FCC qui ont tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de comité</th> <th>Pourcentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Tahoua</td><td>44</td><td>75</td></tr> <tr><td>Zinder</td><td>55</td><td>87</td></tr> <tr><td><b>Average</b></td><td><b>99</b></td><td><b>82</b></td></tr> </tbody> </table> <p>Source: EPT, Project</p>	Nombre de FCC qui ont tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de comité			Nombre total de FCC	Nombre de FCC qui ont tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de comité	Pourcentage (%)	Tahoua	44	75	Zinder	55	87	<b>Average</b>	<b>99</b>	<b>82</b>					
Nombre de FCC qui ont tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de comité																					
Nombre total de FCC	Nombre de FCC qui ont tenu au moins 3 assemblées générales et 6 réunions de comité	Pourcentage (%)																			
Tahoua	44	75																			
Zinder	55	87																			
<b>Average</b>	<b>99</b>	<b>82</b>																			

<sup>7</sup> La formation d'Agadez a été reportée à cause de la situation d'insécurité. Bien que le nombre total des communes dans les 5 régions est de 151, 2 communes à Diffa ont été exemptées parce que les 2/3 des COGES sont situés à plus de 100 km du bureau communal, ce qui a entraîné des difficultés de fonctionnement en tant que commune disposant de COGES.

<sup>8</sup> La formation à Tahoua et à Zinder avait été organisée au cours de la phase I du projet.

<p><b>[Indicateur 2-5 du PDM] 80% des FCC ont mis en œuvre au moins une activité thématique en 2009/2010</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>L'approche Forum abordant la question thématique vient juste de commencer en 2009 à Maradi, Tillabéri et Dosso. Les résultats de l'interview montrent que tous les acteurs de la campagne de sensibilisation sur l'inscription des filles et le succès de l'apprentissage sont très motivés parce qu'ils sont témoins des résultats visibles de leurs activités.</li> </ul> <p>Nombre et thème de forum dans chaque région</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007</th> <th>2008</th> <th>2009</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tahoua</td> <td></td> <td>Inscription des filles (Avr.)</td> <td>Abandon (mar.)</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>Inscription des filles (mai)</td> <td>Succès de l'apprentissage (jan.)</td> <td>Abandon (mar.)</td> </tr> <tr> <td>Maradi</td> <td></td> <td></td> <td>Inscription des filles (avr.)</td> </tr> <tr> <td>Tillabéri</td> <td></td> <td></td> <td>Inscription des filles (mai)</td> </tr> <tr> <td>Dosso</td> <td></td> <td></td> <td>Abandon (mar.)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Projet EPT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Le projet a identifié que 69% des FCC ont conduit au moins une activité en 2008/2009. L'indicateur doit être complété à travers l'organisation de forum dans chaque région.</li> </ul>		2007	2008	2009	Tahoua		Inscription des filles (Avr.)	Abandon (mar.)	Zinder	Inscription des filles (mai)	Succès de l'apprentissage (jan.)	Abandon (mar.)	Maradi			Inscription des filles (avr.)	Tillabéri			Inscription des filles (mai)	Dosso			Abandon (mar.)												
	2007	2008	2009																																		
Tahoua		Inscription des filles (Avr.)	Abandon (mar.)																																		
Zinder	Inscription des filles (mai)	Succès de l'apprentissage (jan.)	Abandon (mar.)																																		
Maradi			Inscription des filles (avr.)																																		
Tillabéri			Inscription des filles (mai)																																		
Dosso			Abandon (mar.)																																		
<p><b>[Indicateur 3-1 du PDM] 50 PV de création de jardins d'enfants communautaires ont été collectés dans les régions de Tahoua et Zinder, respectivement en 2008/2009 et en 2009/2010.</b></p>	<p>Nombre de FCC qui ont organisé au moins une activité</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ont organisé au moins une activité</th> <th>Nombre total des FCC</th> <th>Pourcentage (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Difa</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Dosso</td> <td>16</td> <td>43</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>Maradi</td> <td>33</td> <td>47</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>Niamey</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>Tahoua</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Tillabéri</td> <td>21</td> <td>44</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>172</b></td> <td><b>248</b></td> <td><b>69</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Projet EPT</p>		ont organisé au moins une activité	Nombre total des FCC	Pourcentage (%)	Difa	0	10	0	Dosso	16	43	37	Maradi	33	47	70	Niamey	4	5	80	Tahoua	44	44	100	Tillabéri	21	44	48	Zinder	54	55	98	<b>Total</b>	<b>172</b>	<b>248</b>	<b>69</b>
	ont organisé au moins une activité	Nombre total des FCC	Pourcentage (%)																																		
Difa	0	10	0																																		
Dosso	16	43	37																																		
Maradi	33	47	70																																		
Niamey	4	5	80																																		
Tahoua	44	44	100																																		
Tillabéri	21	44	48																																		
Zinder	54	55	98																																		
<b>Total</b>	<b>172</b>	<b>248</b>	<b>69</b>																																		
<p><b>3. Un modèle d'amélioration des activités scolaires conduits par COGES est établi dans les régions pilotes (Tahoua et Zinder).</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>52 COGES (Tahoua:29, Zinder:33) en 2008/09, et 53 COGES (Tahoua:17, Zinder 36) en 2009/10 ont soumis leurs procès verbaux aux bureaux des inspections de l'éducation préscolaire (IEP) en vue de mettre en place des jardins d'enfants.</li> <li>52 jardins d'enfants (Tahoua:29, Zinder:33) en 2008/09, et 53 jardins d'enfants (Tahoua:17, Zinder 36) en 2009/10 ont été nouvellement mis en place par des COGES avec l'appui de l'UNICEF. Jusqu'ici, au total 165 jardins d'enfants communautaires ont été mis en place dans les régions de Tahoua et Zinder.</li> </ul>																																				

<p>2008/2009 et en 2009/2010.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le nombre total actuel d'enfants inscrits aux jardins des deux régions peut atteindre environ 10 000. La création de jardins d'enfants a beaucoup d'impacts positifs sur la qualité et l'accès et de l'éducation primaire. Par exemple, presque tous les enfants inscrits aux jardins entrent au primaire.</li> </ul> <p>Nombre de jardins d'enfants communautaires et d'enfants inscrits</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Jardins d'enfants communautaires</th> <th>Enfants inscrits</th> <th>Enfants inscrits (filles)</th> <th>Pourcentage des filles(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008/07</td> <td>Tahoua 54</td> <td>3674</td> <td>1724</td> <td>46,9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Zinder 55</td> <td>2825</td> <td>1383</td> <td>49,0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Total 109</td> <td>6499</td> <td>3107</td> <td>47,8%</td> </tr> <tr> <td>2009/10 (Dec.2009)</td> <td>Tahoua 71</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Zinder 94</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Total 165</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Projet EPT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Les jardins communautaires ont un impact fort sur l'amélioration de l'éducation tel que résumé en ANNEX 3. Toutefois, si l'on considère la durabilité du projet, il est absolument nécessaire de mettre en place un système de suivi efficace et efficient.</li> <li>La directive pratique de mise en place des jardins communautaires a été développée sur la base des leçons apprises dans les régions de Tahoua et Zinder.</li> <li>Le modèle de jardins d'enfants gérés par les COGES fonctionnels a été adopté comme modèle officiel lors de l'Atelier national en août 2008, organisé par le MEN, indiquant ainsi sa durabilité politique et institutionnelle.</li> <li>« La directive pratique de mise en place des jardins communautaires a été développée sur la base des activités pilotes de Tahoua et Zinder. L'atelier d'adoption de la directive a été organisée en décembre 2009 en vue de partager son contenu avec les partenaires (MEN, DREN et inspecteurs régionaux de jardins d'enfants). »</li> <li>Après la tenue du forum pour les questions thématiques de leur région, plus de 95 % des FCC à Maradi, Tahoua, Tillabéri et Zinder ont organisé une assemblée générale dans le but de partager les informations et arriver à un consensus sur l'engagement pris durant le forum.</li> <li>Etant donné que le forum a été organisé à Dosso en décembre 2009, le suivi est maintenant mis en pratique.</li> </ul>		Jardins d'enfants communautaires	Enfants inscrits	Enfants inscrits (filles)	Pourcentage des filles(%)	2008/07	Tahoua 54	3674	1724	46,9%		Zinder 55	2825	1383	49,0%		Total 109	6499	3107	47,8%	2009/10 (Dec.2009)	Tahoua 71	N/A	N/A	N/A		Zinder 94	N/A	N/A	N/A		Total 165	N/A	N/A	N/A
	Jardins d'enfants communautaires	Enfants inscrits	Enfants inscrits (filles)	Pourcentage des filles(%)																																
2008/07	Tahoua 54	3674	1724	46,9%																																
	Zinder 55	2825	1383	49,0%																																
	Total 109	6499	3107	47,8%																																
2009/10 (Dec.2009)	Tahoua 71	N/A	N/A	N/A																																
	Zinder 94	N/A	N/A	N/A																																
	Total 165	N/A	N/A	N/A																																
<p>[Indicateur 3-3 du PDM] Validation du modèle de jardin d'enfants communautaire</p>																																				
<p>[Indicateur 3-4 du PDM] 90 % des FCC des régions ayant organisé des fora ont tenu une AG de restitution du forum régional</p>																																				



Nombre d'Assemblées générales sur les foras (2008-2009)			
	Nombre d'Assemblées générales	Nombre de FCC	Taux de dépôt (%)
Maradi	47	47	100%
Tahoua	42	44	95%
Tillabéri	44	44	100%
Zinder	55	55	100%

Source: Projet EPT

Contributions faites	
Contributions	
<p><b>Côté Japon</b></p> <p>A. Mise à disposition d'experts japonais</p> <p>1) Experts à long terme (4 personnes)</p> <p>2) Experts à court terme (en cas de besoin)</p> <p>B. Fourniture d'équipements: véhicule de suivi, moto-cross, etc. (selon besoin)</p> <p>C. Allocation de coût de mise en oeuvre du projet</p>	<p>A. Mise à disposition d'experts japonais</p> <p>1) Experts à long terme (4 personnes)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Conseiller principal, conseiller en éducation</li> <li>• Suivi des COGES</li> <li>• Développement des Initiatives de COGES (Plans d'action scolaires)</li> <li>• Développement de capacité/ Coordinateur</li> </ul> <p>2) Experts à court terme (1 personne)</p> <p>Administration locale de l'Education</p> <p>Pour les détails voir ANNEX 1-1</p> <p>B. Fourniture d'équipements:            Equipement et appareils nécessaires d'un montant équivalent à 28,693,000 Yen japonais (122.460.693Fcfâ) ont été fournis (comme en février 2010, par provision,). Pour les détails, voir ANNEX 1-2.</p> <p>C. Allocation de coût de mise en oeuvre du projet: 168.724.590 Yen japonais (753.117.056Fcfâ) (comme en février 2010, par provision,)</p> <p>D. Formation des homologues au Japon            Deux personnes ont participé à « l'Etude sur l'amélioration de l'éducation dans le cadre des cours de formation des instituteurs pour l'Afrique francophone » au Japon. Pour les détails voir ANNEX 1-3.</p>



<p>Côté Niger</p> <p>A. Affectation des homologues: Secrétaire Général, Directeur Général de l'éducation de base, Coordinateur national des C.P. COGES, Directeur du département des études et programmation au MEN, Directeurs régionaux de l'éducation nationale, Inspecteurs.</p> <p>B. Mise à disposition de bureau dans la cours du MEN</p> <p>C. Allocation de coût de mise en oeuvre du projet: coût relatif à la formation pour les élections et plan d'action d'activités scolaires et, suivi des COGES</p>	<p>A. Affectation des homologues: Voir ANNEX 1-4</p> <p>B. Mise à disposition de bureau dans la cours du MEN Le projet loue son bureau</p> <p>C. Allocation de coût de mise en oeuvre du projet: Le coût relatif aux formations pour la mise en place des COGES est pris en charge, comme prévu par le MEN, finance par PADEB/Banque mondiale. Cependant, les coûts périodiques du suivi par COGES est pris en charge par le fonds de contrepartie.</p>
<p><b>Condition préalable</b></p>	
<p>La politique de COGES existe</p>	<p>Aucun changement dans la politique de COGES</p>
<p>• La politique de COGES est renforcée par l'arrêté pris par le MEN relativement à la FCC octobre 2008.</p>	

M



## ANNEXE 4-2: Processus de mise en oeuvre du Projet

Eléments d'Evaluation	Informations et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude
Mise en oeuvre des activités programmées	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les activités programmées ont-elles été mises en oeuvre comme prévu?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Toutes les activités Dans la PDM ont été initiées, bien que le décaissement du fonds de contrepartie pour les activités de suivi du COGES a été retardé. Cependant, depuis que le début du décaissement du fonds de contrepartie a commencé en janvier, le Projet essaye de rattraper ce délai. Voir Annexe 3 pour le plan d'opération et des activités mises en oeuvre.</li> </ul>
Gestion du Projet et système de mise en oeuvre	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le personnel du Projet est-il suffisant ? Leur rôle et responsabilités sont-ils appropriés ?</li> <li>La communication entre les membres de l'équipe du Projet est-elle suffisante? Le processus de prise de décision est-il approprié ?</li> <li>La communication entre les membres de l'équipe du Projet et les homologues est-elle suffisante? Ont-ils établi entre eux une confiance réciproque ?</li> <li>Le comité conjoint de coordination (JCC) et-il efficace?</li> <li>Les partenaires sont-ils activement impliqués dans les activités du Projet?</li> <li>Les membres de COGES et des FCC et les habitants de la communauté mettent-ils activement en oeuvre les activités du projet ?</li> <li>Les informations nécessaires sont-elles partagées avec les donateurs?</li> <li>Le Projet coopère-t-il efficacement avec les activités de JOCV ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Il a été noté que la charge de travail des experts japonais et le personnel nigérien est encore très élevée à cause de fréquents voyages aux régions respectives.</li> <li>L'équipe du Projet tient sa réunion hebdomadaire depuis 2009. Bien que certaines réunions aient été annulées à cause des voyages fréquents des membres de l'équipe, il a été fait remarquer que la communication parmi les membres a été améliorée.</li> <li>Les résultats des entrevues avec le Directeur, COGES CP et DREN à Tahoua, Tillabéri, Maradi et Niamey ont montré une relation positive entre l'équipe du Projet et les homologues. Tous les partenaires partagent leur expérience dans les échanges d'expérience au cours des séminaires qui sont organisés au même moment de JCC.</li> <li>Le JCC a été organisé et programmé. Il est efficace dans la révision du progrès et partager l'information.</li> <li>Les homologues sont impliqués dans les activités du Projet. Les DREN à Tahoua, Tillabéri, Maradi et Niamey sont très motivés à promouvoir la stratégie de COGES.</li> <li>La plupart des membres de COGES et de la FCC sont très motivés et activement impliqués dans les activités du Projet.</li> <li>En montrant un changement visible dans la situation de l'éducation au niveau communautaire, le Projet réussit à améliorer l'appropriation par les membres de la FCC et de COGES</li> <li>Le Projet a des rencontres nécessaires avec les autres donateurs tels que BM, UNICEF</li> <li>Les membres de COGES participent aux clubs APP organisés par les JOCV. Un membre de JOCV a déclaré au cours d'une interview que la bonne ou mauvaise organisation des clubs APP dépend de l'initiative des directeurs d'école. Seules quelques écoles initient des APP dans son district</li> <li>Les résultats de l'entrevue ont suggéré que montrer des résultats visibles du Projet est le facteur le plus important qui rendent les communautés plus réceptives aux activités de COGES.</li> <li>Dans l'approche Forum, tous les partenaires, y compris les leaders régionaux et inspecteurs dont les responsabilités sont engagées dans les activités thématiques de leurs régions dont les résultats sont suivis par les administrateurs de et les observateurs relais.</li> </ul>
Appropriation du projet par la contrepartie		
Relation avec d'autres donateurs		
Relation entre le Projet et JOCV		
Existe-t-il des facteurs de contribution pour faire avancer les activités, produire des résultats et atteindre l'objectif du Projet?		

<p>Existe-t-il des facteurs de prévention pour faire avancer les activités, produire des résultats et atteindre l'objectif du Projet?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [Suppositions importante] La situation sécuritaire n'a-t-elle pas empiré?</li> <li>• [Suppositions importante] Le fonds de contrepartie pour le suivi des activités de la FCC est-elle régulièrement alloué aux DREN ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• A cause des raisons de sécurité, les voyages des membres de l'équipe, en particulier les experts japonais vers des régions respectives ont été restreints.</li> <li>• Depuis que le décaissement du fonds de contrepartie a commencé en janvier 2009, le Projet essaye de rattraper le retard.</li> <li>• Selon le résultat de l'élection présidentielle, beaucoup de donateurs majeurs pensent à arrêter leur assistance. Etant donné que le budget du gouvernement alloué au secteur de l'éducation dépend de l'appui financier des donateurs, l'arrêt de l'appui des donateurs pourrait être un obstacle pour les activités du Projet.</li> </ul>
---	--	---

**ANNEX 4-3. Evaluation par les cinq critères  
Pertinence : Très élevée**

Eléments d'Evaluation	Informations et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude
<b>Nécessité</b>		
L'objectif du Projet correspond-il aux besoins du groupe ciblé?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les activités de COGES correspondent-elles aux besoins des habitants de la communauté et des élèves?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les besoins des enfants et de la communauté pour une meilleure gestion de l'école basée sur les demandes locales L'objectif du Projet " mise en place et fonctionnalisation de COGES sur l'ensemble du pays correspond aux</li> <li>Le jardin d'enfants communautaire constitue un besoin fort de la communauté et a été identifié particulièrement dans les zones rurales</li> </ul>
<b>Priorité</b>		
L'objectif du Projet correspond-il au plan national de développement du gouvernement?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le PDDE qui stipule COGES comme une des priorités n'a-t-il pas changé ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Aucun changement n'est fait dans le PDDE indiquant que le COGES est une des priorités du PDDE.</li> <li>L'éducation préscolaire a également été accentuée dans le PDDE. En particulier, le PDDE vise à améliorer le taux d'inscription préscolaire à 5% aux environs de 2013, et à étendre l'éducation préscolaire aux zones rurales.</li> </ul>
Le projet convient-il à la politique japonaise de coopération et le programme pays de la JICA ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>La politique de décentralisation qui délègue des pouvoirs à la commune n'a-t-elle pas changé?</li> <li>Y a-t-il un changement important dans la politique de coopération et le programme pays de la JICA après le début du Projet?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Aucun changement n'est fait dans la politique de décentralisation. De plus, le MEN a annoncé l'arrêt relatif à la mise en place des FCC en octobre 2008, arrêté qui stipule que la FCC et sous la juridiction des communes, suggérant que les communes ont le pouvoir de contrôler et d'appuyer la FCC</li> <li>Après le début du projet, la politique japonaise de coopération a mis plus l'accent sur la gestion basée sur l'école à travers la participation de la communauté. Le Japon a annoncé en janvier 2008 lors de TICAD IV qu'il serait assisterait la gestion basée sur l'école à travers la participation communautaire avec pour cible 10 000 écoles en Afrique de l'ouest pour une contribution de 10 millions de dollars US au fond japonais de développement social géré par la Banque mondiale.</li> </ul>
<b>Adéquation comme un moyen</b>		
L'approche est-elle appropriée?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le paquet minimum de COGES est-il une stratégie appropriée pour les rendre efficaces? Le suivi effectué par les administrateurs de COGES et de la FCC est-il efficace ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ceux qui ont été choisis par une élection démocratique étaient très motivés à rendre le COGES fonctionnel et se sont engagés d'être transparent envers la communauté à travers des assemblées générales.</li> <li>En termes de la mise en place des COGES sur toute l'étendue du territoire, le paquet minimum contribue à conduire la formation de tous les acteurs. Le coût minimum de la formation et sa durée conduisent à la mise en place effective de COGES. Ainsi, le paquet minimum était une stratégie faisable pour l'expansion des COGES dans toute les régions du Niger</li> <li>Le modèle FCC avait été adapté avec succès dans chaque région. Présentement la FCC a un rôle important dans la promotion de la communication auprès de chaque COGES et partenaires. Ainsi, la mise en place du système de la FCC a permis aux COGES d'être plus variés et dynamiques.</li> </ul>
Ya-t-il un avantage technique pour le Japon à coopérer dans ce domaine?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le Japon a-t-il acquis des connaissances et savoir-faire dans le domaine?</li> <li>L'expérience des projets similaires a-t-elle été utilisée dans le Projet?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>La connaissance et les compétences du modèle COGES fonctionnel qui ont été accumulés durant la phase I du projet ont été utilisés à la phase II pour étendre les COGES à de nouvelles régions cibles</li> </ul>

## Efficacité: Elevée (Presque atteinte)

Eléments d'évaluation	Informations et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude
<p><b>Perspective de réalisation de l'objectif du Projet</b></p> <p>L'objectif du projet est-il approprié ?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• L'objectif du projet peut-il être atteint?</li> <li>• Le niveau d'indicateur de l'objectif du Projet est-il approprié?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les COGES ont été mises en place démocratiquement à 97,1% des écoles sur toute l'étendue du pays.</li> <li>• Les indicateurs permettant de mesurer le nombre et les plans d'action scolaires soumis ainsi que les rapports annuels par COGES sont toujours en voie d'accomplissement. Cela montre que la mise en place de la fonctionnalisation et de système de suivi des COGES se poursuit.</li> <li>• Basés sur le résultat de la revue à mis parcours en janvier 2009, les indicateurs de l'objectif du projet sont clairement définis dans la PDM révisée. Le niveau cible est approprié pur montrer la fonctionnalité de COGES. Toutefois la qualité du plan d'action scolaire soumis et du rapport annuel devrait être également mesuré.</li> </ul>
<p><b>Relations de cause à effet</b></p> <p>Le résultat du Projet contribue-t-il à la réalisation de son objectif?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La capacité de développement des acteurs partenaires de COGES contribue-t-elle à étendre sa mise en place à l'échelle nationale ? (résultat 1)</li> <li>• La mise en place du système de suivi de COGES (Administrateurs de COGES et FCC) contribue-t-elle à son renforcement ? (Résultat 2)</li> <li>• La mise en place du modèle sur l'amélioration des activités de l'éducation à travers les COGES contribue-t-elle à son renforcement et sa durabilité? (Résultat 3)</li> <li>• [Suppositions importantes] Les écoles sont-elles restées fermées pendant longtemps à cause de la grève des Directeurs d'écoles et les instituteurs ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le taux élevé de la mise en place des COGES montre que la formation des directeurs d'école sur l'élection démocratique a atteint son but. De plus, la formation sur le plan d'action scolaire a débouché sur sa mise en œuvre et sur son suivi.</li> <li>• Le bas taux de la mise en place des COGES et la formation du plan d'action scolaire à Niamey peuvent être attribué au grand nombre d'écoles privées. Bien que ces écoles privées soient sensées avoir un COGES, ces écoles ont leur propre politique en matière d'association des parents d'élèves.</li> <li>• Le bas taux de la mise en place à Agadez peut être attribué à la difficulté d'accès au moment de la session de formation sur la mise en place des COGES à cause de l'éparpillement des COGES dans une zone désertique</li> <li>• Les membres de FCC et COGES suggèrent que la mise en place du système de suivi des COGES par les administrateurs e FCC et FCC ont contribué à renforcer la fonction des COGES</li> <li>• L'enquête sur l'évaluation a montre que les réunions mensuelles de s administrateurs de COGES sont une opportunité de travail pour le développement de la capacité tout comme il est un mécanisme de COGES. Les administrateurs de COGES réinissent et partagent leur expérience, apprennent de bonnes pratiques et discutent de comment résoudre leurs problèmes.</li> <li>• La mise en place de modèle d'amélioration de l'éducation tels que les jardins d'enfants communautaires , l'approche forum et les réunions des inspecteurs ont contribué à renforcer la fonction de COGES et le système d'appui aux COGES tel que décrit dans le chapitre du résultat 3.</li> <li>• L'approche forum a un impact direct sur l'accès et la qualité de l'éducation. Il a été également observé que tous les acteurs renforcent leur capacité et l'engagement pris durant le forum.</li> <li>• La grève des enseignants pourrait affecter l'accès et la qualité de l'éducation parce que l'absence du maître conduit à un volume horaire inférieur causant ainsi la baisse de la qualité de l'éducation, et une fréquentation réduite entraîne le nombre d'abandon des élèves.</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• [Suppositions importantes] La situation de la pauvreté des ménages ayant des enfants en âge d'aller à l'école a-t-elle empiré ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La pauvreté saissante prévaut sur l'étendu du territoire nigérien. La contribution communautaire aux CGES est souvent affectée par la mauvaise récolte causée par l'insuffisance de la pluie</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Existe-il un transfert personnel ayant un impact négatif sur la mise en oeuvre de la formation ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Parce que les membres de CGES sont compose de directeurs d'école et de maîtres, le changement dans le personnel de l'école affecte les activités de CGES. Pour parer à cela, certains observateurs relatifs ont déclaré au cours des entrevues</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Autres facteurs d'entrave à l'efficacité?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• En cas de changement dans la politique de gestion selon la critique de la communauté internationale au sujet de récente élection présidentielle il y a possibilité que le personnel du MEN soit changé</li> </ul>

**Efficience: Elevée**

Eléments d'évaluation	Informations et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude
<p><b>Degré de réalisation des résultats</b> Les résultats sont-ils réalisés comme prévu ?</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• La plus part des activités programmées ont été exécutées avec succès et donne lieu à des résultats qui doivent contribuer à l'atteinte de l'objectif du projet. Cependant, certaines activités liées à la mise en place du système de suivi de COGES ont pris du retard par rapport au programme initial et cela à cause du délai de décaissement du fond de contrepartie.</li> </ul>
<p>• <b>Relations de cause et effet</b></p>		
<p>Les activités sont-elles efficaces pour produire des résultats?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les activités sont-elles efficaces pour produire des résultats?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les activités qui ont été mises en œuvre ont été basées en général sur la base du programme et les contributions au projet sont bien utilisées pour produire les résultats attendus</li> </ul>
<p>La qualité, quantité et le timing des résultats sont-ils convenables pour les résultats atteints?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le nombre, la spécialité et le temps d'affectation des experts sont-ils appropriés?</li> <li>• Are the specification, quantity, and installation timing of equipment appropriate?</li> <li>• Are the field, contents, timing of the training in Japan appropriate?</li> <li>• Is the local activity budget of both Japanese side and Nigerian side appropriate?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Si l'on considère la mise en place des COGES sur toute l'étendue du territoire, nous observons que la charge de travail des experts japonais est encore élevée à cause de fréquents déplacements dans des régions respectives. Cela peut affecter l'efficacité de la gestion du projet.</li> <li>• Les équipements et appareils nécessaires achetés ont été correctement utilisés</li> </ul>
<p>• <b>Facteurs ayant affecté l'efficience du processus de la mise en œuvre du projet</b> La collaboration avec d'autres donateurs entraîne-t-elle l'amélioration de l'efficience?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La collaboration avec le PADEB financé par la Banque mondiale pour la mise en place et le suivi de COGES sur l'ensemble du pays est-elle efficace?</li> <li>• La collaboration avec l'UNICEF pour la mise en place des jardins d'enfants communautaires est-elle efficace?</li> <li>• Les ressources locales sont-elles utilisées de façon efficace?</li> <li>• L'expérience de la phase I du projet est-elle utilisée efficacement?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les résultats des entrevues des coordonnateurs de CP/COGES qui ont participé à la formation au Japon montre que la formation était appropriée et a permis d'apprendre le système de gestion scolaire et la participation de la communauté au Japon.</li> <li>• Certaines activités liées aux systèmes de suivi des COGES ont pris du retard. Toute fois, le fond a été mis en disposition en février 2009 et depuis ce temps les activités du projet ont été conduites comme prévues.</li> <li>• Les contributions et les activités en collaboration avec le PADEB financé par la Banque mondiale pour mettre en place et faire le suivi du COGES dans tout le pays ont montré des résultats mitigés. Les ressources nécessaires pour la formation ont été fournies comme prévu en utilisant les ressources du PADEB. Cependant les moto cross pour les administrateurs de COGES n'ont pas encore été fournis, leur causant de sérieuses difficultés pour conduire les activités de suivi. La plupart des administrateurs de COGES utilisent leur propres moto-cross ou empruntent auprès des inspecteurs ce qui limite leurs performances</li> <li>• La collaboration avec l'UNICEF pour les jardins d'enfants communautaires mises en place et supportées par COGES a rendu le projet efficace. L'UNICEF a fourni des services avant et au moment de la formation au enseignants du préscolaire en collaboration avec les inspections du préscolaire et le paquet minimum de matériel des jardins d'enfant pour lesquels JICA a fourni un appui technique aux COGES pour leur mise en place, leur gestion et leur suivi. Ces efforts complémentaires ont conduit à la création de 265 jardins d'enfants à Tahoua et à Zinder</li> <li>• Les contributions financières ont été fournies aux écoles et aux COGES en vue de maximiser les initiatives et le potentiel des communautés jugées comme une bonne stratégie.</li> <li>• Les stratégies, les approches, techniques, compétences, connaissances, ressources humaines, réseaux et logistiques développés à la phase I ont été pleinement utilisés.</li> </ul>
<p>Les ressources locales sont-elles utilisées de façon efficace?</p>		



**Impact: Très élevé**

Eléments d'évaluation	Informations et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude												
<p><b>Perspective de réalisation de l'objectif global</b></p> <p>Is achievement of Overall Goal expected from the present situation of the Project? Any gap between Overall Goal and Project Purpose?</p> <p>Peut-on garantir une hypothèse importante pouvant permettre de réaliser l'objectif global ?</p>	<p>La mise en place des COGES et de l'approche forum a-t-elle contribué à la réalisation de l'objectif global?</p> <p>[<b>Supposition importante</b>] La politique d'éducation du Niger qui donne une place importante sur les COGES est inchangée</p>	<p>• Selon les statistiques nationales sur l'éducation de base, les indicateurs de l'objectif global ont été améliorés depuis le début de la phase I du projet en 2004. Bien beaucoup de facteurs influencent cette amélioration, la contribution du Projet à cette amélioration est identifiée à travers l'entrevue avec des partenaires nigériens.</p> <p>• La relation entre l'objectif global et l'objectif du projet est logique. Au cours d'entrevue avec les officiels de l'éducation, ceux-ci ont déclaré que la gestion améliorée de l'école à travers les COGES a contribué à ce progrès.</p> <p>• La politique des COGES est renforcée par l'arrêté ministériel qui a été pris par le MEN sur la FCC en octobre 2008.</p> <p>• Le changement dans les administrations politiques, selon la critique formulée par l'extérieur, est un facteur de risque potentiel pour changer la politique des COGES.</p>												
<p><b>Effet prolongé</b></p> <p>Existe-t-il des effets prolongés?</p>		<p>• Dans la région de Maradi, les observateurs relais ont organisé un forum au niveau du district. Dans l'entrevue, un administrateur de COGES a relevé que le forum au niveau du district est nécessaire parce que les leaders locaux devraient être impliqués et engagés dans les activités ; de plus, les questions d'éducation au niveau du district sont différentes de celles qui se posent au niveau régional.</p> <p>• Le Projet a appuyé la promotion de la gestion scolaire basée sur la communauté au Sénégal, au Mali et au Burkina Faso en organisant des séminaires sur le partage des expériences et en envoyant le personnel du Projet dans les pays respectifs pour fournir une assistance technique.</p> <p>Promotion of Community-based School Management</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="965 1276 989 1400">Pays</th> <th data-bbox="965 952 989 1276">Nom du projet</th> <th data-bbox="965 627 989 952">Contenu de l'appui technique fourni</th> <th data-bbox="965 369 989 627">Date</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1013 1355 1037 1400">Mali</td> <td data-bbox="1013 952 1037 1276">Projet d'appui au comité scolaire</td> <td data-bbox="1013 627 1037 952">appui technique à la formation des formateurs</td> <td data-bbox="1013 369 1037 627">22 août – 2 septembre, 2008</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 1265 1117 1400">Burkina Faso</td> <td data-bbox="1093 952 1117 1276">Projet Pilote d'appui au comité scolaire</td> <td data-bbox="1093 627 1117 952"></td> <td data-bbox="1093 369 1117 627">25 novembre – 2 décembre, 2008</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Project EPT</p>	Pays	Nom du projet	Contenu de l'appui technique fourni	Date	Mali	Projet d'appui au comité scolaire	appui technique à la formation des formateurs	22 août – 2 septembre, 2008	Burkina Faso	Projet Pilote d'appui au comité scolaire		25 novembre – 2 décembre, 2008
Pays	Nom du projet	Contenu de l'appui technique fourni	Date											
Mali	Projet d'appui au comité scolaire	appui technique à la formation des formateurs	22 août – 2 septembre, 2008											
Burkina Faso	Projet Pilote d'appui au comité scolaire		25 novembre – 2 décembre, 2008											

**Autres impacts**

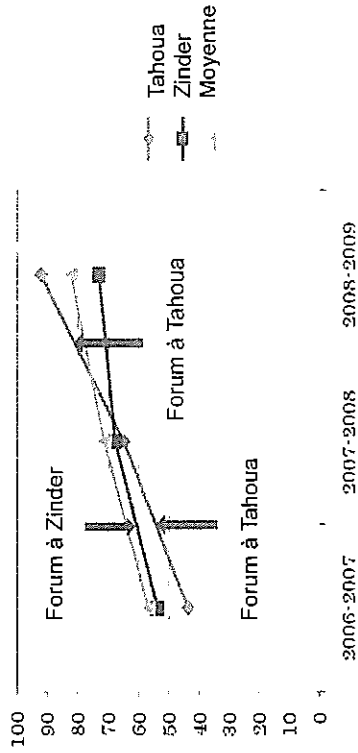
Y a-t-il d'autres impacts positifs ou négatifs produits?

- Impacts positifs

- Il a été observé que les jardins d'enfants géré par les COGES, la campagne pour l'inscription des filles, et la promotion de la qualité de l'éducation lance par la FCC et les réunions des inspecteurs introduites par le projet, ont contribué à améliorer l'accès et la qualité de l'éducation primaire à Tahoua et Zinder. Les impacts de l'approche forum sont les suivants:

La promotion de l'inscription des filles

- Les campagnes de promotion pour l'inscription des filles ont été conduites à Zinder de mai 2007 et Tahoua avril 2008. Comme résultats, le nombre d'inscription des filles a remarquablement augmenté et la disparité du genre a été améliorée comme on peut voir ci-dessous:

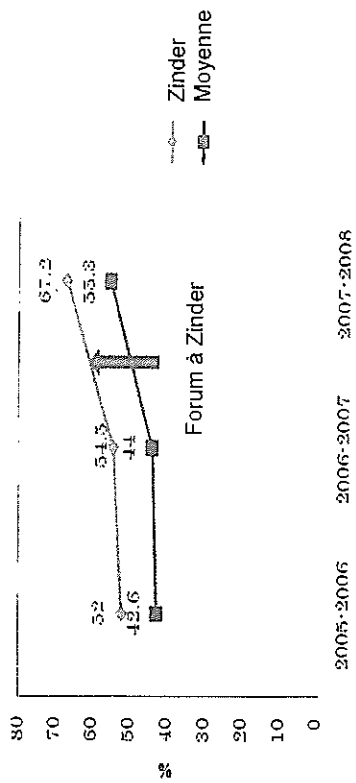


Source: Statistique nationale de l'éducation de base

Augmentation du taux d'inscription des filles

Amélioration de la qualité de l'Education

- La campagne pour l'amélioration de la qualité de l'Education a été menée à Zinder à partir de janvier 2008. Il en résulte que de toutes les régions, Zinder a enregistré le meilleur taux d'admission en 2007-08 avec 67,2%. Bien que de nombreux facteurs influencent l'amélioration des résultats des élèves, en particulier le taux d'admission de l'examen final, l'approche Forum pourrait être considérée comme un des facteurs majeurs de cette amélioration.

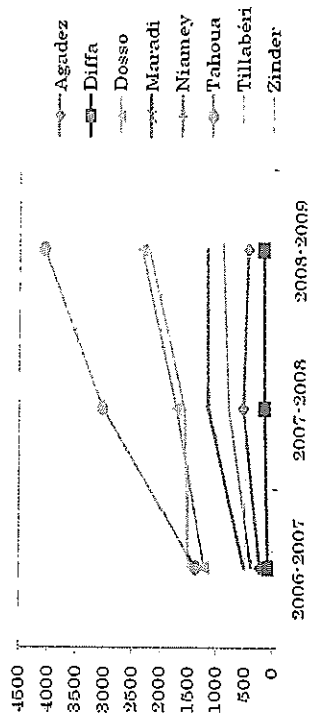


Source: Statistique nationale de l'éducation de base

Taux d'admission de l'examen final

Impact de l'introduction et l'expansion des jardins d'enfants communautaires

- En termes d'impact de l'introduction et l'expansion des jardins d'enfants communautaires, Tahoua a enregistré le taux le plus élevé de l'éducation préscolaire dans les zones rurales comme le montre la figure ci-dessous. Cette amélioration du taux d'inscription aux jardins d'enfants contribue directement à la réalisation du PDDE.



Source: Statistique nationale de l'éducation de base

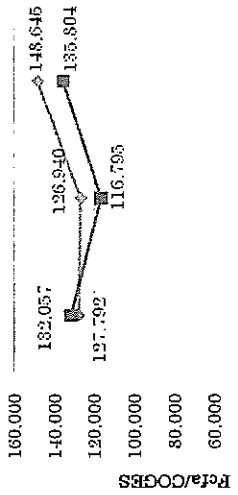
Taux de scolarisation aux jardins d'enfants dans les zones rurales

<ul style="list-style-type: none"> <li>• L'introduction des jardins d'enfants communautaires dans l'éducation préscolaire a beaucoup d'impacts positifs, telles que la promotion de la scolarisation de la jeune fille, l'amélioration de la gestion des classes à l'école primaire, etc.</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Comme résultat d'amélioration importante du taux d'inscription, l'insuffisance des enseignants, et le retard de construction des classes nécessaires ont été identifiés comme problèmes. A cause de cette situation, certains élèves n'ont pu être inscrits même en étant déjà un ancien élève. L'allocation de soutien au maître et l'adoption des classes jumelées ont été introduites pour résoudre ce problème</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Impacts négatifs</li> </ul>	

## Durabilité : Moyenne

Eléments d'évaluation	Informations et données nécessaires (Indicateurs)	Résultats de l'étude
<p><b>Aspect et système politiques</b></p> <p>Existe-il une forte probabilité de poursuite de l'appui politique après la période de coopération?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le MEN a-t-il une stratégie pour maintenir COGES après la période de coopération?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>L'amélioration de la gestion scolaire communautaire comme partie de la décentralisation dans l'éducation est stipulée dans le PDDE.</li> <li>Le modèle de COGES fonctionnel et le modèle de la FCC tous deux ont été adoptés en tant que modèles officiels à l'atelier national et l'arrêté ministériel y afférant a été pris.</li> <li>Le MEN a une capacité suffisante pour mettre en œuvre la stratégie de COGES. Cependant, il a été observé que la participation active du MEN aux activités du Projet doit continuer à jouer de l'impact du Projet. L'initiative du MEN de renforcer la mise en œuvre de la stratégie de COGES s'avère donc nécessaire.</li> </ul>
<p><b>Aspects institutionnels, organisationnels et financiers</b></p> <p>Le système de mise en œuvre de la politique de COGES est-il durable?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le C.P. COGES a-t-il suffisamment de pouvoir, de personnel et un budget récurrent pour élaborer, contrôler et mettre en œuvre la politique de COGES au niveau national ?</li> <li>Le bureau régional du MEN dispose-t-il de pouvoir suffisant de personnel et un budget récurrent pour élaborer, contrôler et mettre en œuvre la politique de COGES au niveau national ?</li> <li>Le bureau des Inspecteurs ont-ils un pouvoir suffisant, un personnel suffisant et un budget récurrent pour élaborer, contrôler et mettre en œuvre la politique de COGES au niveau départemental ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C.P. COGES est sous la responsabilité du Directeur Général de l'éducation de base et responsable de l'élaboration de la politique de COGES. C.P. a eu des difficultés de décaissement du fonds de contrepartie. C.P. COGES organise des séminaires de partage d'expérience pour partager les bonnes et mauvaises pratiques de la mise en œuvre de la politique de COGES.</li> <li>Un inspecteur de COGES a été nommé dans chaque DREN. Son rôle principal est de superviser les administrateurs de COGES.</li> <li>Les réunions mensuelles des administrateurs de COGES se tiennent régulièrement à Tahoua et à Zinder. D'autres régions ont commencé à tenir des réunions mensuelles.</li> <li>Les réunions mensuelles des administrateurs de COGES se tiennent régulièrement à Tahoua et à Zinder. Etant donné que la réunion a été institutionnalisée par le MEN, d'autres régions ont commencé à tenir leurs réunions mensuelles.</li> <li>Etant donné que la réunion a été institutionnalisée par le MEN, d'autres régions ont commencé à tenir la réunion. Il faut noter que la réunion des inspecteurs n'est pas financée par le Projet, cela indique sa durabilité financière.</li> <li>La plupart des DREN comprennent l'importance des COGES dans le développement de l'éducation et l'appuient fortement sa mise en œuvre au niveau régional.</li> <li>Un administrateur de COGES a été nommé dans chaque inspection. Son rôle principal est de faire le suivi et de superviser les COGES ET FCC,</li> <li>Bien que le rôle de l'administrateur soit de faire le suivi des COGES, ce qui le rapproche du conseiller pédagogique et supervise FCC et COGES, il n'y a aucune qualification officielle pour eux.</li> <li>Avec le fonds de contrepartie, pour le coût du carburant, pour les administrateurs de COGES, les activités de suivi se déroulent comme prévu. Cependant, cela appelle à une interrogation sur la durabilité financière du suivi.</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• FCC est mis en place au niveau de la commune sur la base de l'arrêté ministériel. Sa fonction principale est le suivi des COGES. Les membres du secrétariat de la FCC sont élus démocratiquement.</li> <li>• Une FCC fonctionnelle doit être autosuffisante, capable de mobiliser des ressources financières pour mener ses activités. La source financière est la contribution des COGES. À Tahoua et Zinder, la FCC a mobilisé 334.115 Fcfa en moyenne en 2008-09.</li> <li>• Le budget de la FCC est mobilisé à partir des contributions de COGES tel que le gouvernement local, les sociétés, etc. Pour collecter continuellement l'appui financier des partenaires, les membres de la FCC ont suggéré que qu'ils ont besoin davantage d'opportunité de formation sur la gestion financière, le plaider et le marketing.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La FCC a-t-elle suffisamment de pouvoir et de ressources pour pérenniser et développer leurs activités ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FCC est mis en place au niveau de la commune sur la base de l'arrêté ministériel. Les parents membres de COGES et du bureau des parents d'élèves et membres du secrétariat sont élus démocratiquement. Les membres du secrétariat de COGES issus de l'association des parents d'élèves sont démocratiquement élus.</li> <li>• Un COGES fonctionnel doit être autosuffisant et capable de mobiliser des ressources financières pour mener ses activités. La source financière principale est la contribution des habitants de la communauté. Le résultat de l'analyse des rapports annuels de Tahoua et Zinder montre que le montant mobilisé a connu une amélioration dans les deux régions comme le montre la figure ci-dessous. Elle montre une forte initiative en matière de mobilisation de ressources dans les écoles et les communautés</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le COGES est mis en place au niveau communautaire sur la base de l'arrêté ministériel. Les parents membres de COGES et du bureau des parents d'élèves et membres du secrétariat sont élus démocratiquement. Les membres du secrétariat de COGES issus de l'association des parents d'élèves sont démocratiquement élus.</li> <li>• Un COGES fonctionnel doit être autosuffisant et capable de mobiliser des ressources financières pour mener ses activités. La source financière principale est la contribution des habitants de la communauté. Le résultat de l'analyse des rapports annuels de Tahoua et Zinder montre que le montant mobilisé a connu une amélioration dans les deux régions comme le montre la figure ci-dessous. Elle montre une forte initiative en matière de mobilisation de ressources dans les écoles et les communautés</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les COGES ont-ils suffisamment de pouvoir et de ressources pour assurer la durabilité et le développement de leurs activités?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Avec le fond de contrepartie pour le coût du carburant des administrateurs de COGES, les activités de suivi sont conduites sans problème. Cependant cela pose la question de la durabilité financière du suivi.</li> </ul>
<p>Source: Projet EPT</p> <p>Budget moyen mobilisé à Tahoua et Zinder</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Est-il nécessaire de continuer les activités de financées par les fonds japonais et les fonds de contrepartie</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le budget pour assurer la durabilité des COGES et FCCI est-il garanti ?</li> </ul>



	après la période de coopération? Si oui, le fonds peut-il être garanti?	
<b>Aspects techniques</b>		
Les acteurs partenaires de COGES sont-ils suffisamment outillés en terme de capacité ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les administrateurs de COGES ont-ils une capacité technique suffisante pour la mise en oeuvre de la politique de COGES ?</li> <li>• Les administrateurs de COGES ont-ils une capacité technique suffisante pour la mise en oeuvre de la politique de COGES ?</li> <li>• Les FCC ont-ils une capacité technique suffisante pour la fonctionnalisation?</li> <li>• Les COGES ont-ils une capacité technique suffisante pour la fonctionnalisation?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les administrateurs de COGES comprennent bien sa stratégie et sont bien formés. Ils ont entrepris avec succès la formation relative à la mise en place des COGES et FCC à travers tout le pays. Certains ont déjà suffisamment de capacité pendant que d'autres sont sur la voie de développer leurs capacités à superviser les administrateurs de COGES et faire le rapport circonstancié à leurs supérieurs.</li> <li>• La plupart des administrateurs de COGES comprennent la stratégie et sont motivés. Ils ont entrepris avec succès la formation relative à la mise en place des COGES et FCC à travers tout le pays.</li> <li>• Les résultats de l'entrevue montre que les membres sont très motivés dans la conduite de leurs activités. La FCC entretient de bonnes relations avec les administrateurs de COGES et les membres</li> <li>• Certaines FCC ont demandé une formation sur la gestion financière, le plaidoyer et le marketing de développement parce qu'ils prévoient faire une requête d'appui financier à la commune.</li> <li>• La plupart des membres de COGES sont bien formés et motivés.</li> <li>• Le taux de soumission du plan d'action scolaire est de 72% ce qui montre que la fonction des COGES s'améliore continuellement. Cependant certains COGES ont encore besoin d'améliorer leurs capacités à développer un plan d'action.</li> <li>• Le taux de soumission du rapport annuel est de 51%, ce qui montre une possibilité d'amélioration.</li> </ul>
<b>Aspect social</b>		
Y a-t-il une possibilité qu'un effet durable soit inhibé à travers un manqué de considération pour les pauvres et les personnes vulnérables?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les ressources mobilisées par la communauté sont-elles d'un niveau suffisant ?</li> <li>• La grande différence géographique dans le revenu des COGES et de la FCC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les ressources et contributions des parents en faveur des COGES sont d'un niveau acceptable. Cependant certains parents ont des difficultés à payer leurs contributions à cause de la mauvaise récolte.</li> <li>• Certaines FCC sont financées par des sociétés privées dans les zones urbaines. La contribution des individus aux COGES est quelque chose que nous trouvons aussi à Niamey. Cela montre qu'il existe une grande différence entre les zones urbaines et les zones rurales.</li> </ul>

評価グリッド調査結果

プロジェクトの実績

評価項目	必要な情報・データ(指標)	調査結果																																			
<b>上位目標の達成度</b>																																					
上位目標:COGES による学校運営改善を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する	【PDM 指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>就学率の改善</li> <li>修了率の改善</li> <li>留年率の減少</li> <li>退学率の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎教育にかかわる国家教育統計では、2004 年のプロジェクト開始時(フェーズ I)以来、就学率や修了率、入学登録率、総就学率における男女格差は改善してきている。ニジュール側への聞き取り調査の結果から、このような指標の改善にはプロジェクトの活動が貢献していることが確認された。</li> <li>上位目標の指標はフェーズ I よりCOGES が設立され機能化が進んでいるタウア、ザンデールにおいてその向上が著しい。このことから機能する COGES が教育指標の改善のために重要な役割を果たしているといえる。したがって、COGES の機能強化をめざしたプロジェクト活動の継続により上位目標における指標の更なる改善が見込まれる。</li> </ul> <div data-bbox="1008 678 2038 1141" style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>上位目標の指標 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>総就学率 (%)</th> <th>入学登録率 (%)</th> <th>修了率 (%)</th> <th>総就学率における男女格差 (女子就学者数/男子就学者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2003-2004</td> <td>50</td> <td>68</td> <td>65</td> <td>0.86</td> </tr> <tr> <td>2004-2005</td> <td>52</td> <td>69</td> <td>66</td> <td>0.87</td> </tr> <tr> <td>2005-2006</td> <td>55</td> <td>70</td> <td>67</td> <td>0.88</td> </tr> <tr> <td>2006-2007</td> <td>58</td> <td>71</td> <td>68</td> <td>0.89</td> </tr> <tr> <td>2007-2008</td> <td>62</td> <td>74</td> <td>69</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>2008-2009</td> <td>68</td> <td>76</td> <td>70</td> <td>0.91</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所: 国民教育省統計</p> <p>上位目標の指標</p> </div>	学年	総就学率 (%)	入学登録率 (%)	修了率 (%)	総就学率における男女格差 (女子就学者数/男子就学者)	2003-2004	50	68	65	0.86	2004-2005	52	69	66	0.87	2005-2006	55	70	67	0.88	2006-2007	58	71	68	0.89	2007-2008	62	74	69	0.90	2008-2009	68	76	70	0.91
学年	総就学率 (%)	入学登録率 (%)	修了率 (%)	総就学率における男女格差 (女子就学者数/男子就学者)																																	
2003-2004	50	68	65	0.86																																	
2004-2005	52	69	66	0.87																																	
2005-2006	55	70	67	0.88																																	
2006-2007	58	71	68	0.89																																	
2007-2008	62	74	69	0.90																																	
2008-2009	68	76	70	0.91																																	



プロジェクト目標の達成度																																		
<p>プロジェクト目標:全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するための COGES 実施体制が強化される。</p>	<p>【PDM 指標 1】80%の COGES が民主選挙によって設立される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009 年 2 月時点で、アガデス、ディッファ、ドッソ、マラディ、ニアメ、ティラベリの各州の全学校<sup>1</sup>のうち 97.1%に当たる 6,577 校が民主選挙に基づき COGES を設置し、設置に係る議事録を提出している<sup>2</sup>。なお、COGES 設立に係る研修は世界銀行の支援によって行われている基礎教育開発支援プロジェクト(PADEV)の資金を活用して行われている。</li> </ul>																																
		<p>COGES 設置数及び設置率(2010 年 2 月時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総小学校数</th> <th>COGES 設置に係る議事録を提出した学校数<sup>3</sup></th> <th>議事録提出率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アガデス</td> <td>364</td> <td>237</td> <td>65.1</td> </tr> <tr> <td>ディッファ</td> <td>425</td> <td>425</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>ドッソ</td> <td>1,795</td> <td>1,795</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>マラディ</td> <td>1,868</td> <td>1,868</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>ニアメ</td> <td>453</td> <td>360</td> <td>79.3</td> </tr> <tr> <td>ティラベリ</td> <td>1,870</td> <td>1,892</td> <td>101.2</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>6,775</b></td> <td><b>6,577</b></td> <td><b>97.1</b></td> </tr> </tbody> </table>		総小学校数	COGES 設置に係る議事録を提出した学校数 <sup>3</sup>	議事録提出率(%)	アガデス	364	237	65.1	ディッファ	425	425	100.0	ドッソ	1,795	1,795	100.0	マラディ	1,868	1,868	100.0	ニアメ	453	360	79.3	ティラベリ	1,870	1,892	101.2	<b>合計</b>	<b>6,775</b>	<b>6,577</b>	<b>97.1</b>
	総小学校数	COGES 設置に係る議事録を提出した学校数 <sup>3</sup>	議事録提出率(%)																															
アガデス	364	237	65.1																															
ディッファ	425	425	100.0																															
ドッソ	1,795	1,795	100.0																															
マラディ	1,868	1,868	100.0																															
ニアメ	453	360	79.3																															
ティラベリ	1,870	1,892	101.2																															
<b>合計</b>	<b>6,775</b>	<b>6,577</b>	<b>97.1</b>																															
	<p>【PDM 指標 2】90%の COGES が COGES 連合に学校活動計画を提出する。</p>	<p>出所:みんなの学校プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニジェールでは小学校の数が急速に増加しており、このような新設校に対してニジェール側の努力により COGES の設立が推進されている。ティラベリでは 2009 年に約 200 の COGES が新たに設立された。聞き取り調査の結果からは、このような新たに設立された COGES は一般的に、学校支援に対して強いイニシアティブを示していることが確認された。</li> <li>2008/2009 年度において、全 COGES の 70.2%に当たる 7,333 の COGES が学校活動計画を各 COGES 連合に提出している。タウア及びザンデルでは COGES の 90%以上が提出しているものの、他州においては目標を達成していない。</li> <li>最新の集計では学校活動計画の提出率にいくらかの改善が確認される。聞き取り調査の結果からは、新たに任命された COGES メンバーの計画策定能力の不足が、活動計画表の提出の阻害要因となっていることが示唆された。</li> <li>マラディ、ザンデル、ティラベリでは視学官による学校活動計画回収が実施されていることが確認された。</li> </ul>																																

<sup>1</sup> ここで全学校数とは、研修実施時に設立済みの学校の総数を指す。ニジェールでは学校数は常に増加しているため、州によっては COGES 設立の議事録を提出した学校数が全学校数を上回っている。

<sup>2</sup> タウア及びザンデル州はフェーズ において民主選挙に基づいて COGES を設置している。

<sup>3</sup> COGES 設立のための議事録には民主選挙の結果を記載する必要があることから、議事録を提出した学校の数、民主的に COGES を設立した学校の数と同じである。

		学校活動計画及び年間総括表提出率					
		COGES 数	活動計画提出数	活動計画提出率 (%)	年間総括表提出数	総括表提出率 (%)	
		アガデス	239	264	82.8	103	43.1
		ディツファ	381	330	88.2	326	85.6
		ドツソ	1,798	1,147	43.4	97	5.4
		マラディ	1,958	1,093	76.0	939	48.0
		ニアメ	383	159	76.5	58	15.1
		タウア	1,710	1,264	90.1	1,397	81.7
		ティラベリ	2,039	723	44.7	721	35.4
		ザンデール	1,876	1,652	92.7	1,661	88.5
		<b>合計</b>	<b>10,384</b>	<b>6,632</b>	<b>70.2</b>	<b>5,302</b>	<b>49.7</b>
		出所:みんなの学校プロジェクト					
	【PDM 指標 3】80%のCOGESがCOGES 連合に年間活動総括表を提出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008/2009 年度において、全 COGES の 49.7%に当たる 5,195 の COGES が年間活動総括表を提出しているが、ほとんどの州において目標は達成されていない。指標の目標値の達成に向けて更なる努力が必要となる。</li> <li>提出された年間活動総括表のなかには、活動計画表との整合性がない、もしくは必要記載項目が欠けているものも確認されている。提出率のみでなく、質の向上及びその保管方法についても改善が必要である。</li> </ul>					
<b>成果の達成度</b>							
1.機能するCOGESを全国に設置するためにさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。	【PDM 指標 1-1】COGES 監督官(PF)及び COGES 担当官(OR)の 90%が COGES の設立及び学校活動計画策定に係る研修を受講する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト活動の結果、全州の COGES 監督官(8 名)及び COGES 担当官(51 名)が COGES 設立及び学校活動計画策定に係る研修を受講している。</li> <li>COGES 監督官、COGES 担当官は、COGES 政策及びモニタリングの重要性を理解している。また、COGES メンバーに対する研修、支援を実施する能力を同時に有している。</li> </ul>					
	【PDM 指標 1-2】対象州(6 州)すべてにおいて COGES 設立及び学校活動計画の実施に係る研修実施プログラムが策定される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象州(6 州)すべてにおいて COGES 設立及び学校活動計画の実施に係る研修実施プログラムが策定されている。</li> </ul>					
	【PDM 指標 1-3】対象 6 州の小学校校長の 90%が COGES 設立研修に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界銀行の財政支援によって COGES 設立研修(民主選挙研修)が行われ、対象 6 州の校長の 99.5%に当たる 6,579 名の学校長がこの研修を受講している。対象 6 州において学校数が増加していることから、新任の校長に対する研修は見返り資金によって行われている。</li> </ul>					

	<p>COGES 設立研修の参加率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州</th> <th>研修参加者(計画値)</th> <th>研修参加者(実績)</th> <th>参加率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アガデス</td> <td>364</td> <td>364</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>ディッフア</td> <td>425</td> <td>425</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>ドツソ</td> <td>1,802</td> <td>1,795</td> <td>99.6</td> </tr> <tr> <td>マラディ</td> <td>1,868</td> <td>1,868</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>ニアメ</td> <td>493</td> <td>453</td> <td>91.9</td> </tr> <tr> <td>ティラベリ</td> <td>1,860</td> <td>1,870</td> <td>100.5</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>6,812</b></td> <td><b>6,579</b></td> <td><b>99.5</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>	州	研修参加者(計画値)	研修参加者(実績)	参加率(%)	アガデス	364	364	100.0	ディッフア	425	425	100.0	ドツソ	1,802	1,795	99.6	マラディ	1,868	1,868	100.0	ニアメ	493	453	91.9	ティラベリ	1,860	1,870	100.5	<b>合計</b>	<b>6,812</b>	<b>6,579</b>	<b>99.5</b>
州	研修参加者(計画値)	研修参加者(実績)	参加率(%)																														
アガデス	364	364	100.0																														
ディッフア	425	425	100.0																														
ドツソ	1,802	1,795	99.6																														
マラディ	1,868	1,868	100.0																														
ニアメ	493	453	91.9																														
ティラベリ	1,860	1,870	100.5																														
<b>合計</b>	<b>6,812</b>	<b>6,579</b>	<b>99.5</b>																														
<p>【PDM 指標 1-4】対象 6 州において COGES 代表者の 90%が学校活動計画に係る研修を受講する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界銀行の財政支援によって学校活動計画の策定に係る研修が行われ、対象 6 州の全 COGES メンバーの 98.5%に当たる 1 万 3,267 名がこの研修を受講している。</li> <li>アガデス州の研修参加率は他州に比べ低い値となっているが、アガデス州は砂漠地帯であり学校が広範囲に点在しているため、アクセスの難しさから研修参加が困難であったためと考えられる。</li> </ul> <p>学校活動計画策定に係る研修への参加率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州</th> <th>研修参加者(計画)</th> <th>研修参加者(実績)</th> <th>参加率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アガデス</td> <td>728</td> <td>622</td> <td>85.4</td> </tr> <tr> <td>ディッフア</td> <td>850</td> <td>769</td> <td>90.5</td> </tr> <tr> <td>ドツソ</td> <td>3,608</td> <td>3,604</td> <td>99.9</td> </tr> <tr> <td>マラディ</td> <td>3,736</td> <td>3,748</td> <td>100.3</td> </tr> <tr> <td>ニアメ</td> <td>984</td> <td>916</td> <td>93.1</td> </tr> <tr> <td>ティラベリ</td> <td>3,558</td> <td>3,608</td> <td>101.4</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>13,464</b></td> <td><b>13,267</b></td> <td><b>98.5</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>	州	研修参加者(計画)	研修参加者(実績)	参加率(%)	アガデス	728	622	85.4	ディッフア	850	769	90.5	ドツソ	3,608	3,604	99.9	マラディ	3,736	3,748	100.3	ニアメ	984	916	93.1	ティラベリ	3,558	3,608	101.4	<b>合計</b>	<b>13,464</b>	<b>13,267</b>	<b>98.5</b>
州	研修参加者(計画)	研修参加者(実績)	参加率(%)																														
アガデス	728	622	85.4																														
ディッフア	850	769	90.5																														
ドツソ	3,608	3,604	99.9																														
マラディ	3,736	3,748	100.3																														
ニアメ	984	916	93.1																														
ティラベリ	3,558	3,608	101.4																														
<b>合計</b>	<b>13,464</b>	<b>13,267</b>	<b>98.5</b>																														
<p>【PDM 指標 1-5】COGES 及び COGES 連合に係る戦略が改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 連合及び COGES モデルについての政策に関して改善が確認されている。COGES 連合のモデルについて、2008 年 7 月に行われた国民教育省主催のワークショップにおいて国家モデルとして承認された。</li> <li>2008 年 10 月には、COGES 連合(FCC)の設立、役割、組織についての国民教育省省令が公布された。省令には COGES 連合の COGES のモニタリングについての明確な機能と役割が明記された。</li> </ul>																																
<p>2. COGES のモニタリング体制が構築される。</p>	<p>【PDM 指標 2-1】COGES 連合モデルが承認される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 連合モデルは 2008 年 7 月、国民教育省主催のワークショップにて公式に承認され、同年 10 月に設立・役割・組織・機能に関する省令が公布された。同省令では、COGES 連合が COGES のモニタリングにおいて明確な機能と役割を有していることが規定されている。</li> </ul>																																

<p>【PDM 指標 2-2】民主的選挙によって COGES 連合メンバーが選出され、すべてのコミューンに COGES 連合が設置される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2009年12月時点で、5州<sup>4</sup>の151コミューンのうち、ディッファ州の2コミューンを除くすべてのコミューンで COGES 連合が設置されている。ディッファ州の2コミューンについては、多くの学校がコミューン庁舎から100km以上離れているため、研修が実施されていない。</li> <li>• FCCは女子就学率、成績向上キャンペーンの実施及びCOGESとパートナーとのコミュニケーション、COGES モニタリング、管理の実施に際して中心的な役割を担っている。</li> </ul>																		
<p>【PDM 指標 2-3】COGES 担当官の月例会議がすべての州において少なくとも年10回開催される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すべての州において、COGES 担当官月例会議が年10回以上開催されているが、2008年は見返り資金の運用開始時期の遅れにより、一部の会議で実施の遅れがみられた。しかし、2009年2月より見返り資金のディスバースメントが開始され、それ以降は月例会議が計画どおり実施されている。</li> </ul> <p>月例会議開催数</p> <table border="1" data-bbox="1010 497 1585 788"> <thead> <tr> <th colspan="2">月例会議回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アガデス</td><td>10</td></tr> <tr><td>ディッファ</td><td>11</td></tr> <tr><td>ドツソ</td><td>12</td></tr> <tr><td>マラディ</td><td>10</td></tr> <tr><td>ニアメ</td><td>12</td></tr> <tr><td>タウア</td><td>11</td></tr> <tr><td>ティラベリ</td><td>12</td></tr> <tr><td>ザンデール</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>	月例会議回数		アガデス	10	ディッファ	11	ドツソ	12	マラディ	10	ニアメ	12	タウア	11	ティラベリ	12	ザンデール	11
月例会議回数																			
アガデス	10																		
ディッファ	11																		
ドツソ	12																		
マラディ	10																		
ニアメ	12																		
タウア	11																		
ティラベリ	12																		
ザンデール	11																		
<p>【PDM 指標 2-4】2009/2010年度において、80%の COGES 連合が少なくとも3回の住民総会と6回の事務局会合を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フェーズIIで新たに対象となった6州では COGES 連合は2008/2009年度の中盤において設立されたばかりであり、分析を行うのは時期尚早である<sup>5</sup>。しかしながら、タウア州及びザンデール州では COGES 連合がプロジェクトの初期に設立されていることもあり、2008/2009年度においては両州の COGES 連合のうち82%が少なくとも年3回の住民総会及び年6回の事務局会合を行っている。したがって、2009/2010年度において、新規対象州でも目標の達成の可能性が高いと考えられる。</li> </ul> <p>年3回の住民総会及び年6回の事務局会合を行った COGES 連合数</p> <table border="1" data-bbox="1010 1046 1899 1216"> <thead> <tr> <th></th> <th>COGES 連合 の数</th> <th>住民総会(年3回)及び事務局会合(年 6回)を行った COGES 連合の数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>タウア</td><td>44</td><td>33</td><td>75</td></tr> <tr><td>ザンデール</td><td>55</td><td>48</td><td>87</td></tr> <tr><td><b>合計</b></td><td><b>99</b></td><td><b>81</b></td><td><b>82</b></td></tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>		COGES 連合 の数	住民総会(年3回)及び事務局会合(年 6回)を行った COGES 連合の数	割合(%)	タウア	44	33	75	ザンデール	55	48	87	<b>合計</b>	<b>99</b>	<b>81</b>	<b>82</b>		
	COGES 連合 の数	住民総会(年3回)及び事務局会合(年 6回)を行った COGES 連合の数	割合(%)																
タウア	44	33	75																
ザンデール	55	48	87																
<b>合計</b>	<b>99</b>	<b>81</b>	<b>82</b>																

<sup>4</sup> 治安状況の悪化により、アガデス州では研修が延期されている。残りの5州には151のコミューンがあるが、ディッファ州の2コミューンについては所属するCOGESの2/3がコミューン庁舎から100km以上離れているため、COGES連合としての機能が必ずしも期待できない。

<sup>5</sup> タウア州及びザンデール州ではフェーズIにおいて研修を実施している。

<p>【PDM 指標 2-5】2009/2010 年度において COGES 連合の 80%が少なくとも1つのフォーラムのテーマに沿った学校活動を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラム・アプローチに伴う統一テーマによる学校活動は5州(タウア、ザンデール、マラディ、ティラベリ、ドツソ)で実施された。聞き取り調査においては、女子就学、成績向上にかかわる啓発キャンペーンによる成果が顕在化することで、各実施者のモチベーションが向上したことが報告された。</li> </ul> <p>各州でのフォーラム・アプローチの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007</th> <th>2008</th> <th>2009</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タウア</td> <td></td> <td>女子就学向上(4月)</td> <td>中退対策(5月)</td> </tr> <tr> <td>ザンデール</td> <td>女子就学向上(5月)</td> <td>成績向上(1月)</td> <td>中退対策(5月)</td> </tr> <tr> <td>マラディ</td> <td></td> <td></td> <td>女子就学向上(4月)</td> </tr> <tr> <td>ティラベリ</td> <td></td> <td></td> <td>女子就学向上(5月)</td> </tr> <tr> <td>ドツソ</td> <td></td> <td></td> <td>中退対策(5月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2008/2009 年度においては、69%の COGES 連合が少なくとも統一テーマに沿った学校活動を実施していることから、今後の各州でのフォーラム・アプローチが指標の達成に大きく貢献することが見込まれる。</li> </ul> <p>学校活動計画を少なくとも1つ実施した COGES 連合数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州</th> <th>1つ以上学校活動を実施した COGES 連合数</th> <th>COGES 連合の数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディツファ</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ドツソ</td> <td>16</td> <td>43</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>マラディ</td> <td>33</td> <td>47</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>ニアメ</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>タウア</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ティラベリ</td> <td>21</td> <td>44</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ザンデール</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>172</td> <td>248</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>		2007	2008	2009	タウア		女子就学向上(4月)	中退対策(5月)	ザンデール	女子就学向上(5月)	成績向上(1月)	中退対策(5月)	マラディ			女子就学向上(4月)	ティラベリ			女子就学向上(5月)	ドツソ			中退対策(5月)	州	1つ以上学校活動を実施した COGES 連合数	COGES 連合の数	割合(%)	ディツファ	0	10	0	ドツソ	16	43	37	マラディ	33	47	70	ニアメ	4	5	80	タウア	44	44	100	ティラベリ	21	44	48	ザンデール	54	55	98	合計	172	248	69
	2007	2008	2009																																																										
タウア		女子就学向上(4月)	中退対策(5月)																																																										
ザンデール	女子就学向上(5月)	成績向上(1月)	中退対策(5月)																																																										
マラディ			女子就学向上(4月)																																																										
ティラベリ			女子就学向上(5月)																																																										
ドツソ			中退対策(5月)																																																										
州	1つ以上学校活動を実施した COGES 連合数	COGES 連合の数	割合(%)																																																										
ディツファ	0	10	0																																																										
ドツソ	16	43	37																																																										
マラディ	33	47	70																																																										
ニアメ	4	5	80																																																										
タウア	44	44	100																																																										
ティラベリ	21	44	48																																																										
ザンデール	54	55	98																																																										
合計	172	248	69																																																										
<p>3. パイロット地域(タウア州とザンデール州)において COGES を通じた教育改善活動のモデルが構築される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前教育へのニーズを満たすため、2008/2009 年度は62の COGES(タウア:29、ザンデール:33)、2009/2010 年度は53の COGES(タウア:17、ザンデール:36)が就学前教育視学官事務所(Inspection of Preschool Education Office)にコミュニティ幼稚園設立のための議事録を提出している。</li> </ul>																																																												

<p>【PDM 指標 3-2】2008/2009 年度及び 2009/2010 年度において、タウア州及びザンデール州にある 50 の COGES がコミュニティ幼稚園を設立・管理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008/2009 年度は 62 の COGES(タウア:29、ザンデール:33)、2009/2010 年度は 53 の COGES(タウア:17、ザンデール:36)が UNICEF の支援を受けてコミュニティ幼稚園を設置した。</li> <li>両州ではこれまで合計で 165 のコミュニティ幼稚園が設立されている。両州の園児の数は 1 万人を超えていると想定される。タウア、ザンデールでの園児はほぼ全員が小学校へ進学するなど、コミュニティ幼稚園の設立は初等教育へのアクセス、質に対しても大きく貢献している。</li> </ul> <p>コミュニティ幼稚園及び園児数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>コミュニティ幼稚園数</th> <th>園児数</th> <th>女子の数</th> <th>女子の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2008/09</td> <td>タウア</td> <td>54</td> <td>3,674</td> <td>1,724</td> <td>46.9</td> </tr> <tr> <td>ザンデール</td> <td>55</td> <td>2,825</td> <td>1,383</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>109</td> <td>6,499</td> <td>3,107</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2009/10 (2009 年 12 月時点)</td> <td>タウア</td> <td>71</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>ザンデール</td> <td>94</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>165</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ幼稚園は 5 項目の「インパクト」にも示すとおり、就学前教育の改善に対して高いインパクトを与えている。一方で設立後のモニタリング体制の整備が求められている。</li> </ul>			コミュニティ幼稚園数	園児数	女子の数	女子の割合 (%)	2008/09	タウア	54	3,674	1,724	46.9	ザンデール	55	2,825	1,383	49.0	合計	109	6,499	3,107	47.8	2009/10 (2009 年 12 月時点)	タウア	71	N/A	N/A	N/A	ザンデール	94	N/A	N/A	N/A	合計	165	N/A	N/A	N/A
		コミュニティ幼稚園数	園児数	女子の数	女子の割合 (%)																																		
2008/09	タウア	54	3,674	1,724	46.9																																		
	ザンデール	55	2,825	1,383	49.0																																		
	合計	109	6,499	3,107	47.8																																		
2009/10 (2009 年 12 月時点)	タウア	71	N/A	N/A	N/A																																		
	ザンデール	94	N/A	N/A	N/A																																		
	合計	165	N/A	N/A	N/A																																		
<p>【PDM 指標 3-3】コミュニティ幼稚園のモデルが承認される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008 年 8 月に国民教育省主催のワークショップにおいて、コミュニティ幼稚園のモデルが承認され、政策的・制度的な自立発展性に貢献している。</li> <li>「コミュニティ幼稚園設置のためのガイドライン」がタウア及びザンデールでのパイロット活動を通じて策定された。このガイドラインは 2009 年 12 月に開催されたワークショップにおいて公式に承認され、プロジェクト関係者(国民教育省、州教育事務所、就学前教育視学官)に情報共有が行われている。</li> </ul>																																						
<p>【PDM 指標 3-4】フォーラムを実施した 90% の COGES 連合が、関係者のコミットメントを引き出すことを目的として総会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マラディ、タウア、ティラベリ、ザンデールのすべての州で 95%以上の COGES 連合が、フォーラムで決定した特定テーマへのコミットメントを引き出すことを目的とした総会を開催している。</li> <li>ドソ州については、終了時評価の 1 カ月前にフォーラムが行われたため、現在そのモニタリングが実施されている。</li> </ul> <p>総会数(2008~2009 年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総会数</th> <th>COGES 連合数</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マラディ</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>タウア</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>ティラベリ</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ザンデール</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>		総会数	COGES 連合数	割合 (%)	マラディ	47	47	100	タウア	42	44	95	ティラベリ	44	44	100	ザンデール	55	55	100																		
	総会数	COGES 連合数	割合 (%)																																				
マラディ	47	47	100																																				
タウア	42	44	95																																				
ティラベリ	44	44	100																																				
ザンデール	55	55	100																																				

投入の実績		
投入	<p>日本側</p> <p>A. 日本人専門家派遣 1) 長期専門家(4名) 2) 短期専門家(必要に応じて)</p> <p>B. 機材供与〔巡回用車両、オートバイ、その他(必要に応じて)〕</p> <p>C. 現地業務費</p>	<p>以下の投入が行われた。(注:詳細はミニッツの ANNEX 1 を参照)</p> <p>A. 日本人専門家派遣 1)長期専門家(4名)  <ul style="list-style-type: none"> <li>● チーフアドバイザー/教育アドバイザー</li> <li>● COGES モニタリング</li> <li>● 学校活動計画</li> <li>● 業務調整/住民能力強化</li> </ul> 2)短期専門家  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方教育行政</li> </ul> </p> <p>B. 機材供与 プロジェクト実施に必要な機材が供与され、供与額は2010年2月の暫定値で2,869万3,000円である。</p> <p>C. 現地業務費 2009年2月の暫定値で1億6,872万4,590円が供与された。</p> <p>D. 研修生受入れ 「教員養成課程における教育改善方法の検討(仏語圏アフリカ)コース」にカウンターパート2名参加。</p>
	<p>ニジェール側</p> <p>A. カウンターパートの配置(国民教育省次官、基礎教育総局長、COGES 推進室長、教育計画局長、各州教育事務所長、各県視学官)</p> <p>B. 事務所の提供(国民教育省内事務所)</p> <p>C. ローカルコスト負担[NGO 業務委託費用(COGES 選挙研修及び学校活動計画研修実施に係る費用、COGES のモニタリングに係る費用)]</p>	<p>A. カウンターパートの配置 ミニッツ ANNEX 1-4 を参照。</p> <p>B. 事務所の提供 プロジェクトは独自にプロジェクト事務所を開設した。</p> <p>C. ローカルコスト負担 COGES 全国普及のための研修に係る費用は、計画どおり世界銀行/PADEB による支援によって国民教育省が負担した。しかしながら、COGES 担当官のモニタリングのための経常経費は、見返り資金拠出によって支払われている。</p>
前提条件		
COGES 政策が維持される。	COGES 政策が維持される。	● COGES 政策は、2008年10月に発表された FCC 設置に関する省令によって強化された。

## 実施プロセスの検証

評価項目	必要な情報・データ(指標)	調査結果
計画の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動は計画どおりに実施されたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES モニタリングのための見返り資金のディスパースメントの遅れにもかかわらず、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)に記載されたすべての活動は開始された。プロジェクトはこの遅れを取り戻すべく、活動の実施に取り組んでいる。詳細は活動計画(PO)参照。</li> </ul>
プロジェクト運営実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトスタッフは十分か。彼らの役割と責任は適切か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国展開における各州での出張の頻度が高く、日本人専門家、現地スタッフの業務量が高いことが確認されている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチーム内の相互コミュニケーションは十分か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチームは2009年1月以降、週1度のミーティングを行っており、頻繁な出張のため、中止されることが多いものの、ミーティングの実施により、コミュニケーションが改善したことが報告されている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチームとカウンターパートの相互コミュニケーションは十分か。信頼関係が醸成されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民教育省 COGES 推進室長及びタウア、ティラベリ、マラディ、ニアメの州国民教育事務所(DREN)は、プロジェクトチームとカウンターパートの間に信頼関係が醸成されていることが確認された。</li> <li>州の活動経験は半年に1度、合同調整委員会に併せて実施される経験共有セミナーにおいて、共有されている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同調整委員会は機能しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同調整委員会は計画どおり実施され、プロジェクトの進捗状況のレビュー、情報交換の場として有効に機能している。</li> </ul>
カウンターパートのオーナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンターパートは主体的にプロジェクト活動を実施しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンターパートは主体的にプロジェクトに参画しており、特にタウア、ティラベリ、マラディ、ニアメの州国民教育局局長はプロジェクトの推進に対して積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 連合、COGES 委員、住民は主体的に活動を実施しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取り調査の対象のほぼすべての COGES 及び COGES 連合のメンバーは強いモチベーションをもっており、積極的にプロジェクト活動に参画している。</li> <li>プロジェクトはコミュニティレベルでの教育指標を目に見える形で示すことで、COGES 及び COGES 連合のメンバーのオーナーシップの醸成に成功している。</li> </ul>
他ドナーとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他ドナーとの情報共有は行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトは世銀、UNICEF といった関係ドナーと必要に応じ、会議を開催して情報共有を実施している。</li> </ul>
青年海外協力隊(JOCV)との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互の情報提供や活動における連携はあるか。連携による活動は有効だったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JOCV の活動である生産実習活動(APP)クラブにいくつかの COGES メンバーが参加している。JOCV への聞き取り調査の結果、APPクラブが実施されるか否かについては、校長のやる気に左右され、またタウア州では APP クラブの活動が限定的であることが報告された。</li> </ul>
プロジェクトの成果、プロジェクト目標の達成のための推進要因		<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取り調査の結果からは、プロジェクトの成果を顕在化することが、コミュニティの参加を促進するための重要な要因となることが確認された。インパクトを見せることにより関係者のコミットメント及び主体性を引き出すことが可能となる。</li> <li>フォーラム・アプローチにおいては、州の指導者、視学官などを含め、すべての関係者が主要テーマにおける自らの役割をコミットする。また、それらの役割が確実に実施されているか必要なモニタリングを行うことで成果を確実に生み出している。</li> </ul>
プロジェクトの成果、プロジェクト目標の達成のための阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>【外部条件】治安状況は悪化していないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治安状況の悪化による移動制限により、特に日本人専門家がモニタリングすることのできる地域が限定されている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【外部条件】見返り資金は州教育局に定期的にディスパースされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009年1月より見返り資金が順調にディスパースされている。これ以降プロジェクトは活動の遅れを取り戻しつつある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他の阻害要因はあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大統領再選に対する他の主要ドナーの援助の中断に関して、教育セクターの政府予算がドナーの支援するコモンファンドによるところが大きいことから、ドナーによる支援の中止はプロジェクトの活動に影響を与える可能性が高い。一方で、世銀、UNICEF、フランスなどの援助機関は現在のところ援助の停止を検討していないことが確認された。</li> </ul>



## 5 項目評価

妥当性 : 非常に高い

評価項目	必要な情報・データ	調査結果
<b>必要性</b>		
プロジェクト目標はターゲット・グループのニーズと合致しているか。	COGES の活動は住民・児童のニーズと合致しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。</li> <li>• COGES の活動としてのコミュニティ幼稚園の活動はコミュニティ、特に地方部のニーズに整合している。</li> </ul>
<b>優先度</b>		
プロジェクト目標とニジェール国家開発計画との整合性はあるか。	COGES を柱のひとつとして位置づけた「教育開発 10 カ年計画」(PDDE)に変更はないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育の地方分権化の一環として住民参画型の学校運営を促進することは、教育開発計画(PDDE)における優先事項であることに変わりはない。</li> <li>• PDDE においては 2013 年までに就学前教育の就学率を 5%とすること及び地方部での幼稚園の拡大が目標に挙げられている。</li> </ul>
	コミュニティに権限を委譲する地方分権化政策に変更はないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地方分権化政策に変更はない。また、2008 年 10 月に発表された、FCC 設立に関する国民教育省省令では、FCC はコミュニティの管轄下にあると規定しており、コミュニティが FCC を管理、支援する権限が強化されている。</li> </ul>
プロジェクトと日本の援助政策、JICA 国別事業実施計画との整合性はあるか。	日本の対ニジェール援助重点課題、JICA 国別事業実施計画に変更はないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2008 年 5 月に開催の TICAD(アフリカ開発会議)IV にて採択された横浜行動計画において、学校運営改善モデルによる支援対象を西アフリカにおいて 1 万校に拡大し、1,000 万 US\$の支援を世銀を通して日本社会開発基金(JSDF)で実施することを表明しており、日本の援助政策に合致している。</li> </ul>
<b>手段の適切性</b>		
プロジェクトのアプローチは適切か。	ミニマム・パッケージは COGES の機能化に効果を上げる戦略として適切か。COGES 担当官及び COGES 連合によるモニタリングは COGES の機能化に効果を上げる戦略として適切か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 民主選挙による COGES 代表の選出は、メンバーのモチベーションを向上させ、COGES の機能化及び住民総会を通じた透明性の確保に貢献している。</li> <li>• COGES の全国普及に際して、最低限度の研修コスト、期間、内容といったミニマム・パッケージが関係者への研修の実施に大きく貢献している。ミニマム・パッケージによる COGES の普及は、政府のリソースが限られているニジェールにおいて妥当なアプローチである。</li> <li>• フェーズ II より全国への導入が実施された COGES 連合は各州へ拡大しており、COGES とその他の関係者(視学官、支援者、地方自治会など)とのコミュニケーションを促進するうえで重要な役割を担っている。FCC の設立により、COGES の活動がより多様かつ、活発になったことが確認された。</li> </ul>
日本の協力としての優位性はあるか。	日本に対象技術のノウハウが蓄積されているか、日本の経験が生かせるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フェーズ I で蓄積された COGES の機能化のための知識や技能は、フェーズ II での COGES の全国普及プロセスにおいて大いに活用されている。</li> </ul>

有効性:高い(ほぼ達成している)

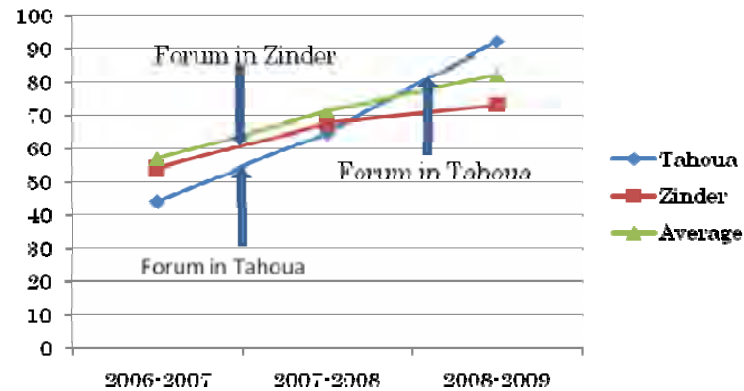
評価項目	必要な情報・データ	調査結果
<b>プロジェクト目標の達成見込み</b>		
プロジェクト目標は適切か。	プロジェクト目標が達成される可能性は高いか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国の 97.1%の学校において COGES が民主的に設置された。</li> <li>• COGES からの学校活動計画及び活動総括表の提出率に関しては、達成途中である。これは COGES の機能化、モニタリング体制の構築が現在進行中であることを示している。</li> <li>• 2009 年 2 月の中間レビュー結果を受けて、プロジェクト目標の指標に目標数値が設定された。現状に合わせた適切な数値目標である一方で、学校活動計画及び活動総括表回収の目的は、COGES による計画策定を促すものであり、回収率の向上そのものが目的でないことに留意し、それらの内容、精度についても確認する必要がある。</li> </ul>
	プロジェクト目標指標の設定レベルは適切か。	
<b>因果関係</b>		
プロジェクトのアウトプットはプロジェクト目標達成に貢献しているか。	COGES 関係者の能力強化は COGES の全国普及に貢献しているか。(成果 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高い COGES の設立件数は、校長への民主的な COGES 設立にかかわる研修が有効に機能していることを示している。また、学校活動計画にかかわる研修では、計画策定、実施、モニタリングといった一連の活動の実施能力の向上に寄与している。</li> <li>• 首都ニアメにおける学校活動計画の提出率の低さは、独自の保護者会に関する取極めを有している私立校が多く所在することに起因していることが想定される。</li> <li>• アガデスにおける設立率の低さは、砂漠地域に点在する学校関係者の研修会場への困難なアクセスの状況が原因となっている。</li> </ul>
	COGES モニタリング体制の構築 (COGES 担当官、COGES 連合) は COGES の機能強化に貢献しているか。(成果 2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FCC 及び COGES 委員のメンバーへの聞き取り調査の結果、COGES モニタリングシステムの構築は COGES の機能化に寄与していることが確認された。</li> <li>• COGES 担当官会議が COGES モニタリングメカニズムとして機能しているだけでなく、COGES 担当官の能力強化にも寄与していることが確認された。COGES 担当官会議は、経験を共有し、成功例から学び、課題解決のための方策を議論する場となっている。</li> </ul>
	COGES を通じた教育改善活動モデルの構築は、COGES の機能強化・定着に貢献しているか。(成果 3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コミュニティ幼稚園、フォーラム・アプローチ、視学官会議といった COGES を通じた教育改善活動モデルの構築は、成果 3 で述べたように COGES の機能強化・定着に貢献している。</li> <li>• フォーラム・アプローチは直接的に教育のアクセスと質にインパクトを与えている。また、すべてのフォーラムの実施者が活動へのコミットメントを通して、活動の実施能力を向上させている。</li> </ul>
プロジェクト目標達成を促進あるいは阻害する外部要因はあるか。	【外部条件】校長もしくは教員等のストライキ等により学校が長期的に閉鎖状態に陥ったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 契約教員によるストライキは、授業時間の減少、中退児童の増加といった教育の質に影響を与える。</li> </ul>
	【外部条件】家庭の経済状況が悪化しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ニジェールは全国的に貧困状態にあり、COGES に対するコミュニティからの分担金は近年の異常気象による農業の不作に影響を受けている。</li> </ul>
	【外部条件】研修の効果に影響を及ぼすような大規模な人事異動(教員及び行政官)等が行われない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• COGES メンバーに校長、教師といった教育関係者が含まれることから、彼らの異動は COGES の活動に影響を与えている。これに対処するためにも新任の COGES メンバーに対する学校活動計画の研修の実施の必要性が関係者より指摘された。</li> <li>• 大統領再選にかかわる国外からの非難に対して、大統領の交代が実現した場合には、国民教育省の大臣以下、主要スタッフの交代が想定される。</li> </ul>

効率性: 高い

評価項目	必要な情報・データ	調査結果
<b>成果の達成度</b>		
成果は計画どおり達成されているか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼすべての活動が計画どおり実施され、プロジェクト目標を達成するための各成果の発現につながっている。しかし、モニタリング体制の構築といったいくつかの活動に関しては、プロジェクトの前半時点で発生した見返り資金の配布の遅れの影響により、活動進捗の遅れがある。</li> </ul>
<b>因果関係</b>		
活動は成果を効率的に産出しているか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>提供された投入はおおむね計画どおり成果を産出している。</li> </ul>
達成されたアウトプットからみて投入の質、量、タイミングは適切か。	<p>専門家派遣人数、専門分野、派遣時期は適切か。</p> <p>供与機材の種類、量、設置時期は適切か。</p> <p>本邦研修の分野、研修内容、研修時期、受入時期は適切か。</p> <p>日本側、ニジェール側の現地活動費は適当であったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 設立の全国展開を考慮すると、日本人専門家の作業負荷が頻繁な国内出張に伴い高いレベルにある。これはプロジェクトの良好な運営を阻害する可能性がある。</li> <li>供与機材は、必要であり、適切にかつ十分使用されている。</li> <li>本邦研修に参加したカウンターパートへの聞き取り調査の結果、本邦研修の内容は日本の学校運営、住民参加に関する知識の習得のうえで適切であった。</li> <li>見返り資金拠出が遅れたため、COGES モニタリングシステム構築に関連したいくつかの活動の実施が遅れた。しかし 2009 年 2 月以降拠出が定期的実施されるようになったことにより、プロジェクトの活動はおおむね順調に実施されている。</li> </ul>
<b>効率性に影響を与えている要因</b>		
他のドナーとの連携による効率化が実現しているか。	<p>COGES 設置及びモニタリングの全国普及のための世界銀行/PADEB との連携は効率的か。</p> <p>コミュニティ幼稚園設立のための UNICEF との連携は効率的か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 設置及びモニタリングの全国普及のための世界銀行/PADEB との連携による投入により、効果的な全国展開が可能となった。</li> <li>モニタリング経費、モニタリング用バイクの調達遅れが当初発生している。一方で世銀の費用で実施される研修の質にもばらつきがみられることから、連携に際しては計画段階での十分な準備と情報共有が必要であることがプロジェクトチームより指摘された。</li> <li>UNICEF との連携により、プロジェクトは効率的に COGES によるコミュニティ幼稚園の設置、支援を推進している。UNICEF は就学前局との協力によってコミュニティ幼稚園教員の養成・現職研修の実施、幼稚園への教材のミニマム・パッケージの提供を実施し、一方プロジェクトはコミュニティ幼稚園の設立、運営、モニタリングについての研修を行っている。このような相互補完的な連携により、タウア、ザンデルにおいて計 165 の幼稚園が設立された。</li> </ul>
ローカル資源が有効に活用されているか。	<p>ローカル資源が有効に活用されているか。</p> <p>フェーズ I の経験が生かされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校及び COGES に対する財政的な投入は一切されておらず、コミュニティのイニシアティブ、潜在能力を最大化している。この戦略は有効に機能している。</li> <li>フェーズ I で開発された戦略、アプローチ、技能、知識、人的資源、ネットワーク、ロジスティックスが最大限に活用されている。</li> </ul>

## インパクト:非常に高い

評価項目	必要な情報・データ	調査結果												
<b>上位目標の達成見込み</b>														
投入・成果の実績、活動の状況から、上位目標の達成の可能性は高いか。上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか。	COGES 設立及びフォーラム・アプローチの開催は上位目標の達成に寄与するか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家教育統計によれば、フェーズ I 開始の 2004 年以降、上位目標である総就学率、修了率などニジェールの教育指標には改善がみられる。これらの教育指標の向上には多くの貢献要因が考えられるが、プロジェクトの活動が指標の向上に貢献していることが指摘されている。</li> <li>上位目標とプロジェクト目標の関係は整合している。各州への踏査による関係者への聞き取り調査の結果、プロジェクトを通じた COGES の設置と機能化がその大きな貢献要因になっていることが確認された。</li> </ul>												
上位目標達成に必要な外部条件が満たされる可能性は高いか。	【外部条件】教育政策において COGES による学校運営改善が一貫して重要な位置を占める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育政策において COGES による学校運営改善が一貫して重要な位置を占めており、2008 年 10 月の FCC 設置に関する省令によって、COGES 政策は強化された。</li> <li>大統領再選にかかわる国外からの非難に対応した、人事変更が今後実施された場合、COGES 政策が変更されるリスク要因となり得る。</li> </ul>												
<b>波及効果</b>														
プロジェクトの波及効果はあるか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>マリディにおいて COGES 担当官が県レベルでのフォーラムを開催していることが確認された。通常州レベルの教育問題を解決するために行われるフォーラムは必ずしも各県の問題を反映しているとはいえないため、各県レベルでの地方指導者を巻き込んだフォーラムの必要性が指摘されている。</li> <li>ニジェールにおいて有効性が実証された学校運営委員会モデルを基に、セネガル、マリにおいても同様の学校運営改善プロジェクトが開始された。ブルキナファソにおいてもプロジェクト実施に向けたパイロット事業を実施中である。これらの国に対して、プロジェクトがその経験を共有し、プロジェクトスタッフが技術支援を行っている。</li> </ul> <p>● 学校運営委員会モデル推進活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクトからの講師派遣国</th> <th>プロジェクト名</th> <th>支援内容</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マリ</td> <td>学校運営委員会支援プロジェクト</td> <td>講師研修実施に係る技術支援</td> <td>2008 年 8 月 22 日～9 月 3 日</td> </tr> <tr> <td>ブルキナファソ</td> <td>住民参画型学校運営改善パイロットプロジェクト</td> <td>講師研修</td> <td>2008 年 11 月 25 日～12 月 2 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:みんなの学校プロジェクト</p>	プロジェクトからの講師派遣国	プロジェクト名	支援内容	期間	マリ	学校運営委員会支援プロジェクト	講師研修実施に係る技術支援	2008 年 8 月 22 日～9 月 3 日	ブルキナファソ	住民参画型学校運営改善パイロットプロジェクト	講師研修	2008 年 11 月 25 日～12 月 2 日
プロジェクトからの講師派遣国	プロジェクト名	支援内容	期間											
マリ	学校運営委員会支援プロジェクト	講師研修実施に係る技術支援	2008 年 8 月 22 日～9 月 3 日											
ブルキナファソ	住民参画型学校運営改善パイロットプロジェクト	講師研修	2008 年 11 月 25 日～12 月 2 日											
<b>その他のインパクト</b>														
上位目標以外の正負の効果・影響があるか。	正のインパクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES によるコミュニティ幼稚園及び COGES 連合等なども巻き込んだ女子就学促進、成績の質向上キャンペーンの実施は特にフェーズ I より協力が実施されてきたタウア、ザンデルにおいて、教育のアクセス、質の向上に大きなインパクトを与えていることが確認された。</li> </ul> <p><u>女子就学促進キャンペーン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ザンデルでは 2007 年 5 月から女子就学促進キャンペーンが、タウアでは 2008 年 4 月から女子就学促進キャンペーン、2009 年 3 月からは入学した女子に対する残留キャンペーンが実施され、女子入学登録者数が大幅に増加すると同時に、入学登録者における男女比率(女子数/男子数)について、以下に示すとおり両州において向上がみられる。</li> </ul>												

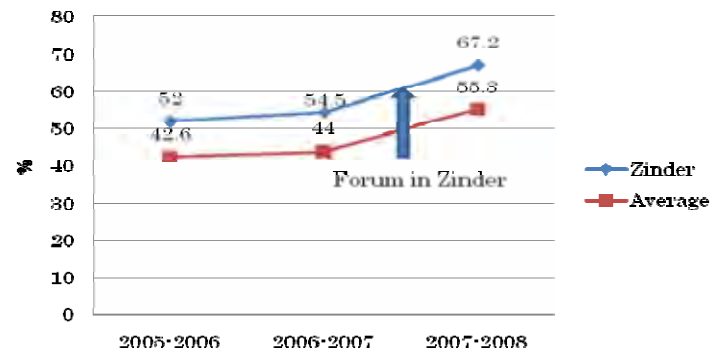


出所: 国民教育省統計

新規入学登録者数における男女比率(女子数/男子数)

#### 教育の質向上キャンペーン

- 2008年1月から教育の質向上キャンペーンが実施されたザンデルは、2007/2008年度の初等教育修了試験合格率(CFEPD)が67.2%となり、全国平均を大きく上回り全国1位となった。教育の質、特に試験合格率の向上には多くの要因による影響を考慮する必要があるが、ザンデルにおける COGES を通じた成績向上のキャンペーンが、試験合格率の向上に寄与していることが想定される。

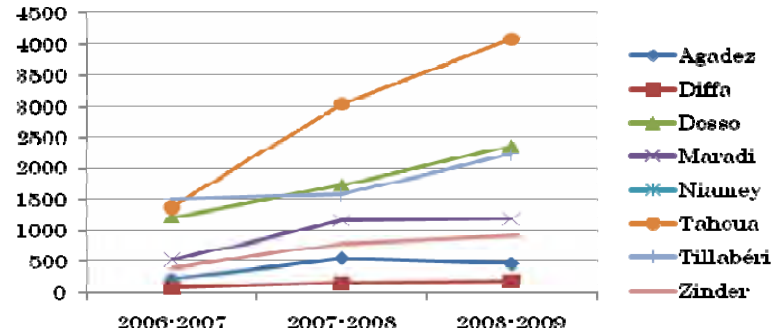


出所: 国民教育省統計

初等教育修了試験合格率(CFEPD)

コミュニティ幼稚園普及のインパクト

- コミュニティ幼稚園の普及効果として、タウア州における農村部の就学前教育就学児童数が下図に示すとおり、プロジェクト介入(2006年)以後、群を抜いてトップに位置している。ニジェールの、特に農村部での就学前教育へのアクセス拡大はPDDEの目標としてもその点が掲げられており、国家教育政策の実現に寄与している。



出所: 国民教育省統計

農村部就学前教育就学児童数推移

負のインパクト

- コミュニティ幼稚園の普及による就学前教育の拡大は初等教育における女子教育の推進、学校運営の改善等に正の影響を与えることが報告されている。
- 就学率の急速な増加に伴い、教員の不足や必要な教室の不足を原因として、一度登録をした児童が実際に入学できないなどの問題が指摘されている。これらの対応策として、教員への支援、複式学級などが実施されている。

## 自立発展性: 中程度

評価項目	必要な情報・データ	調査結果
<b>政策・制度面</b>		
政策支援は協力終了後も継続される可能性は高いか。	国民教育省はプロジェクト終了後の COGES の継続に係る戦略をもっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民参画型の学校運営を促進することは教育開発計画 (PDDE) に明記されている。</li> <li>機能する COGES 及び FCC モデルは政府が主催したワークショップによって公式モデルとして採用され、省令が発表された。</li> <li>国民教育省は COGES 政策実施のための十分な能力を有しているが、インパクトの恒常的な発現のため、更なる主体的なプロジェクトへの参画が求められる。COGES 政策の実施強化に向けた国民教育省の主体的取り組みが必要となる。</li> </ul>
<b>組織・財政面</b>		
COGES 政策の実施を担う組織は維持されるか。	国民教育省 COGES 推進室は全国レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するために必要な権限と人員、予算を有しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民教育省の基礎教育総局長の下に COGES 推進室があり、COGES 政策策定の責任を負っている。COGES 推進室は、見返り資金拠出を推進するにあたって困難に直面した。一方、COGES 推進室は、COGES 政策実施についての経験共有セミナーを開催している。</li> </ul>
	州国民教育事務所は、州レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するために必要な権限と人員、予算を有しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各州国民教育事務所 (DREN) には COGES 監督官が 1 名配置されている。COGES 監督官の主要な職務は COGES 担当官の指導監督である。</li> <li>COGES 担当官会議が定期的に毎月開催されている。</li> <li>国民教育省は、DREN への通達によって、視学官会議を制度化した。視学官会議開催費用に対するプロジェクトからの支援はなく、州独自の予算で実施されており、視学官会議の財政的持続性は高い。</li> <li>州国民教育局、局長はおおむね教育開発における COGES の重要性を理解しており、州レベルでの COGES 政策実施へのコミットメントは高い。</li> </ul>
	県視学官事務所は、県レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するために必要な権限と人員、予算を有しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 担当官が各視学官事務所に配置されている。COGES 担当官の主要な職務は FCC 及び COGES のモニタリング・指導である。</li> <li>COGES 担当官と同様に視学官事務所に配置されている指導主事は資格の必要なポストであるのに対して、COGES 担当官には資格が必要ない。</li> <li>COGES 担当官へのガソリン経費の支給など見返り資金によってモニタリングが順調に実施されている。しかし、プロジェクト終了後のモニタリングの継続のための経費負担に関しても、国民教育省による経費の確保の意向が示されているが、その可能性については今後の課題である。</li> </ul>
	COGES 連合は活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCC は省令に基づき、コミュニティーレベルで設立されている。FCC の主要な役割は COGES のモニタリング・指導である。FCC の事務局員は民主選挙によって選出されている。</li> <li>FCC は財政的に自立して活動することが期待されている。タウアとザンデルの FCC の収入の 2008～2009 年の平均値は 33 万 4,115CFA フラン (Fcf) だった。</li> <li>COGES 連合については COGES からの分担金及び地方政府、地元企業などの他の支援者からの寄付を主な財源としている。今後、継続的にこれらのパートナーからの支援を得るための広報活動、提案書作成といった連合のメンバーへの研修機会に対するニーズが高いことが確認された。</li> </ul>
	COGES は活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES は省令に基づき、コミュニティーレベルで設置されている。COGES 委員の親の代表は民主選挙によって選ばれている。</li> <li>機能する COGES は財政的に自立して活動することが期待されている。COGES の主要な財源は住民からの寄付である。タウア、ザンデルからの活動総括表の分析結果から、地域住民が中心となり COGES への財政的、物質的な支援が実施されていることが確認される。以下に示すとおり、各 COGES 当たり分担金はそれぞれの州で増加している。</li> </ul>

		<p>出所：活動総括表</p> <p>タウア、ザンデルにおける分担金の推移<sup>6</sup></p>
COGES 連合及び COGES の維持に必要な財源は確保される見込みか。	日本側予算・見返り資金で手当てしている活動について、プロジェクト終了後も活動の継続は必要か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 担当官へのガソリン経費の支給など見返り資金によってモニタリングが順調に実施されている。しかし、プロジェクト終了後のモニタリングの継続のための経費負担に関しても、国民教育省による経費の確保の意向が示されているが、その可能性については今後の課題である。</li> </ul>
<b>技術面</b>		
COGES 関係者の能力開発は十分に行われているか。	COGES 監督官の COGES 政策実施能力は十分か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>COGES 監督官は COGES 政策を十分に理解している。COGES 監督官は各州において COGES 設置及び FCC 設置のための研修を成功裏に実施した。COGES 監督官の担当官への指導管理、報告能力は監督官によって格差がある。</li> </ul>
	COGES 担当官の COGES 政策実施能力は十分か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの COGES 担当官は COGES 政策を十分に理解し、各州における COGES 設置及び FCC 設置のための研修を実施する能力を有している。</li> </ul>
	FCC は機能化するための技術的な能力を十分に備えているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取り調査の結果、FCC のメンバーは活動の実施に際して、高いモチベーションを有しており、COGES 担当官、COGES メンバーとの良好な関係を構築している。</li> <li>地方政府からの支援を取り付けるための広報活動、提案書作成といった研修機会の要望がいくつかの FCC から出された。</li> </ul>
	COGES は機能化するための技術的な能力を十分に備えているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの COGES メンバーが研修を受講しており、高いモチベーションをもっている。</li> <li>学校活動計画の提出率は 72.1%であり、これは COGES の機能が向上していることを示すものである。しかし、いくつかの COGES はメンバーの更なる能力強化が必要となる。</li> <li>活動総括表の提出は全国で 51%にとどまり、今後改善の余地がある。</li> </ul>
<b>社会面</b>		
貧困層や脆弱なグループに対する配慮不足のために効果の持続性が損なわれる可能性はないか。	動員額は、住民にとって過度な負担となっていないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の親からの COGES への分担金は負担可能な額であることが指摘されている。一方で近年の穀物ミレットなどの不作に起因した収穫量の減少により、地域によっては分担金の負担ができないケースが増加していることが指摘されている。</li> </ul>
	コミュニンから FCC への支援額について大きな地域間格差はみられるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市部に位置するいくつかの FCC は民間企業などからの支援を受けている。また、首都のニアメでは一部の個人からの COGES への献金が報告された。これらは、支援額に関して都市・農村格差があることを示している。</li> </ul>

<sup>6</sup> サンプル数は、タウアについて 1,165 COGES (全体の 58%)、ザンデルについて 1,506 COGES (72%)



## 団 長 所 感

### (1) COGES連合の機能化とモニタリング体制の確立

みんなの学校プロジェクトは、フェーズ 1 では、住民参加による教育開発、フェーズ 2 では、住民参加と行政の連携による地域の教育のモデル化、普及を実施し、大きな成果を上げてきた。ニジェール側のプロジェクトに対する評価も高い。課題は、学校運営委員会（COGES）連合機能化と、そのCOGES連合を通じた行政官によるモニタリング体制の構築である。プロジェクトは、COGES推進室COGES監督官、担当官ラインに集中していたCOGESモニタリング機能を、ニジェールの地方教育行政のラインである州国民教育事務所長、視学官、指導主事とあわせた複合的で自立可能な体制に移行させようとしており、その方向性は適切であると判断できる。しかし、このモニタリング体制を機能させるためには、新たにモニタリングラインに加わったアクター（州国民教育事務所長、視学官、指導主事）へのCOGESモニタリングに関する能力強化は不可欠であろう。特に、各アクターが、COGESの機能性が、透明性のある組織を通じた住民ニーズの自らの実現という住民参加のメカニズムによって支えられているというロジックを理解することが必要である。このロジックを理解しない限り、住民参加＝上からの啓発という固定観念に逆戻りし、COGESの機能性を失わせる危険がある。また、モニタリングのアクターが増えた分、その調整機能を視学官事務所レベルにもたせることも考慮する必要がある。

COGES連合の機能化及びその維持については、COGESの機能化より更に難易度が高い。これは、COGES連合という組織が、各COGESつまり住民に支えられた組織である点に由来する。住民組織であるがゆえに住民への影響力も強いが、いったん住民の支持を失えば、その機能性は消えていく。そして住民の支持を得るためには、常に自身の有用性を示す必要があり、COGES連合は、COGESモニタリング機能を超えて、住民の教育開発のニーズに応えるような活動を続けていかなければならない。現在、COGES連合の有用性を示す活動として、フォーラム・アプローチによる女子の就学改善キャンペーンや教育の質改善キャンペーンがある。これらの活動により、住民の視点から見れば、自分の村の学校で、適切な教員配置がなされたり、住民にとっての唯一の教育の質の判断基準である試験の合格率が上がったりに見える結果が出ている。この成功によりCOGES連合の存在が住民に認知され、支持が集まりはじめている。しかし、フォーラムでの結果が出なければ、次のキャンペーンでの住民動員は期待できない。それゆえに、フォーラムのテーマ選択は慎重に行う必要がある。フォーラム・アプローチの特徴は、地域のアクター（住民、教員、校長など）や国民教育省の共通の開発ニーズをそのキャンペーンのテーマに選ぶところにあるが、結果を残すためには、例えば、就学促進であれば、住民の動員による新入学生の確保だけでなく、教員の確保が必要であり、そのめどをあらかじめ考慮する必要がある。試験の合格率の向上であれば、その向上のための条件をあらかじめ分析して、各アクターの動員を適切に動かすような調整が必要である。結果が出るのが難しいと判断されるテーマをメインのテーマとして打ち出すことは、避けるべきと思料する。

### (2) プロジェクトの方向性と不確定要因

今後のプロジェクトの方向性に大きな影響を与えそうな要因として、現在のニジェールの政治状況がある。現大統領の3選を禁止した憲法の改定をめぐる国民投票の強行に端を発した混乱は現在も続いており、現政権と国際社会との交渉が継続中である。交渉が決裂した場合、現在

のニジェールの開発を支えている資金の流入がストップする可能性もある。その場合、教育開発においても、致命的な影響が出るのは必至である。全教員の大多数を占める契約教員の賃金の支払いの遅れ、あるいは停止、モニタリング資金の停止、教育資材の配布の停止等が起これば、ニジェールの教育システムはまひする。その場合、プロジェクトが達成した成果あるいは今後達成できる成果も減少する可能性は高い。しかし、最悪の状態、草の根レベルの教育は、コミュニティを基盤とした学校が支えてきたことは、多くの紛争国での例が示している。みんなの学校がめざしてきた学校は、まさに地域の学校であり、最悪の状態においても、その効果を発揮すると思われる。したがって、プロジェクトとしては、現在めざす、COGES連合を通じたCOGESの機能化という目標の達成への努力の継続が望まれる。

< 謝辞 >

今回の調査が、事務所やプロジェクト専門家の準備や調整により、円滑に実施できたことに、調査団として感謝します。プロジェクトは、専門家やスタッフ、国民教育省の地方行政官、住民の多大な努力により、多くの成果を残しています。この成果がより大きくなるよう、現在の政治状況が改善されることを祈願します。

## 面談・視察録

日 時	2010年1月19日(火) 17:30~19:00
場 所	みんなの学校プロジェクト(EPT)プロジェクト事務所
面会者	JICA 金田所員、三浦専門家、國枝専門家、近藤専門家
調査団	伊藤団員
<p>プロジェクトのインパクトに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトのインパクト、特にフォーラム・アプローチによる活動の実施、それに伴う教育指標の改善の度合いは、担当の視学官の能力に左右される。また、指標の改善は他ドナー等の活動もあり、必ずしもすべてプロジェクトによる成果であるとはいえない。</li> <li>新たにフェーズ からプロジェクトを開始した6州に関しては、マラディ、ティラベリ、ドツソにおいてフォーラムを実施した。特にマラディ、ティラベリに関して高い成果が発現している。マラディに関しては女子就学が大きく改善することにより、州国民教育事務所の局長が活動を積極的に推進している。</li> <li>タウア、ザンデルの旧2州については1年目、成果が確認されたが、2年目、3年目は成果の向上がみられない。この1回目のフォーラムによるインパクトをどのように維持していけるかが課題。</li> <li>フォーラムの成果に関しては、その開催時期が成果の発現の要因となる。女子就学の向上に関しては、入学登録前の啓発などのキャンペーンの実施、事前入学登録による生徒数の予測が重要となり、生徒の入学時期に合わせたフォーラムの実施が求められる。</li> </ul> <p>プロジェクト目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト目標の指標 2、3 に関しては、フェーズ の実績を基に設定した。学校運営委員会(COGES)からの活動実績総括表の提出を80%とし、その前提となる活動計画(PAL)の提出率を90%と設定した。タウア、ザンデルに関しては達成可能であるが、新たにフェーズ からプロジェクトを開始した6州に関しては、プロジェクト期間内での達成は困難な状況にある。今回の終了時評価では今までの総括表、活動計画の提出状況から将来的な指標達成の見込みを評価してほしい。</li> </ul> <p>見返り資金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2009年2月以降、見返り資金の遅配による活動への影響は解消されている。国民教育省側の体制の問題となっている。一方で資金がなくなったあと、どのように活動を継続するかといった問題は残る。</li> <li>県の視学官のモニタリング予算は国庫より州を経由せずに配布される。一方で教育指導主事のモニタリング予算はコモンファンドによる支払いとなっているといった情報を得ており再確認が必要。</li> </ul> <p>視学官の巻き込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県のCOGES担当官は90%の業務がCOGES関連であり、州のCOGES監督官は30~50%をCOGES関連業務に割り当てる。COGESの継続的な活動の実施のためには、視学官、指導主事といった国の行政のプロジェクトへの関与が重要となるが、管轄校へのモニタリング等業務負荷が高いため、COGES関連業務への主体的な巻き込みは難しい。今後、視学官会議における啓発を強化する。</li> </ul> <p>活動計画表、活動実績総括表の回収状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回収率はタウア、ザンデル共に50%程度となっている。データの抜け落ちなど均一なものとなっていない。一方でCOGES連合(FCC)からの活動計画表はほぼ回収できている。</li> </ul>	

日 時	2010年1月20日(水) 14:45～15:15
場 所	マラディ州 Guidan Roundji 視学官事務所
面会者	視学官(表敬訪問)
調査団	伊藤団員
<p>プロジェクトに対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトにより教育指標を向上するための活動を実施するフレームワークを得ることができた。特にフォーラム・アプローチによるコミュニティ、行政、学校関係者の巻き込んだ活動により高い効果を得ることができた。マラディ州は教育指標で最下位の州であったが、全国で2位となれたのはEPTプロジェクトの成果であると考えている。</li> <li>月例会議によるミーティングでの問題点、効果の共有が活動の推進に役に立っている。</li> <li>関係者がCOGESの有効性を確認できたことにより、キャンペーンの実施を推進している。COGESはコミュニティと行政の橋渡しをしている。</li> <li>昨年は県内で1万1,000人が入学登録を行った。これは総就学率(就学年齢の児童数)100%を超える数値となっている。</li> <li>COGESの活動を更に活性化するために、優秀なCOGESを表彰するなどといった活動を取り入れたい。</li> </ul>	

日 時	2010年1月20日(水) 15:45～16:30
場 所	マラディ州 Guidan Roundji 県 El Kolta 小学校
面会者	COGESメンバー(6名)、教員
調査団	伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>2009年の活動として、教室設置、机と教科書の補修(追加活動)、女生徒への補習クラス、学校祭、女子就学についての啓発を実施した。</li> <li>2009-2010年の活動は教室設置〔15万2,500CFAフラン(Fcfa)〕、文具の購入(14万3,600Fcfa)、校長の住居(23万9,500Fcfa)、女生徒への補習クラス(18万6,000Fcfa)への支援を予定している。</li> <li>FCCとのミーティングは有用である。グッドプラクティスを共有することができる。</li> <li>2009年度にはマラディ州内の36校で女子就学などを支援しているカナダのNGO(Tatlali)からの活動予算の支援を受けた。</li> <li>2008-2009年の生徒数は353名(女児166)であり、キャンペーンの結果、女子の登録数が大幅に増加した。新任の校長は過去の学校の統計データを把握していない。</li> <li>問題点としては地域の貧困、学力が低い生徒に対する補習の効果が上がらないことなどが挙げられる。全353名の生徒のうち55名はCOGESの分担金を支払うことができない家庭の子どもである。</li> <li>COGESが設立されることで、学校が抱えていた問題点を親と共に解決できるようになった。生徒の親の感心が高まることで、学力向上などインパクトが生まれている。</li> </ul>	

日 時	2010年1月20日(水) 17:30～18:30
場 所	マラディ州国民教育事務所(DREN)
面会者	マラディ州DREN、視学官
調査団	伊藤団員
<p>プロジェクトの評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニジェルは独立以降多くの予算を教育セクターに投入したが、成果を出すことができなかった。EPTは国家が管轄する学校を「学校はコミュニティのもの」「子どもたちはコミュニティで育てる」といった新しいパラダイムの変換により学校運営改善に成功している。</li> </ul>	

#### 推進要因

- ・ 生徒の親への啓発が、プロジェクトの効果の発現につながった。
- ・ 以前から父母会などの組織があったが、伝統的リーダー、地域の有力者もしくはその家族が代表者となるケースが多く住民のオーナーシップを引き出すことができなかった。民主的な選挙の導入はコミュニティのオーナーシップの向上に貢献している。

#### FCCの機能

- ・ FCCは機能している、月例会議でコミュニティの抱える問題を各学校単位のCOGESの枠組みを超えて共有することを可能としている。

#### フォーラム・アプローチの有効性

- ・ フォーラム・アプローチは高い成果を上げた。マラディ州は多くの教育指標が最下位であったが、昨年女子就学フォーラムの実施により、女子入学登録率が40% 46%と1年間で大きく向上し、全国で2位となった。成果が顕在化することで、関係者のモチベーションが大きく向上した。
- ・ 女子の就学率を上げた要因のひとつに事前入学登録を実施したことが挙げられる。事前に就学数を把握することでCOGESが登録を行っていない家庭に対して、啓発をすることができる。学校も入学予定人数が事前に把握できるため、教員の配置、教室の設置等の対応が可能となる。
- ・ フォーラムの促進要因は住民、教育行政、地域行政からコミットメントを引き出すことができたためである。
- ・ フォーラムでの決議をFCC、COGESが住民にフィードバックすることが重要である。フィードバックのプロセスを保証するのがCOGES担当官なので、彼らの役割は大きい。

#### 阻害要因

- ・ 生徒数の急速な増加により、教室、教員が足りないといった状況も発生しているが、2部制の導入、コミュニティからの補助教員の採用等により対応している。
- ・ 視学官のモニタリング経費が遅配している。昨年は特にひどく、四半期ごとの支給が年3回となり、交通費（ガソリン代）が不足した。
- ・ 住民が分担金を支払うことが困難な地域が存在する。コミュニティの貧困はCOGESの活動を制限している。

日時	2010年1月21日(木) 10:00~10:45
場所	Tessaoua 視学官事務所
面会者	Tessaoua COGES 連合(FCC): 事務局長、副事務局長、会計担当、書記官、女子就学推進担当
調査団	國枝専門家、伊藤団員
実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 加盟COGES数は84であるが、管轄地域には95校の小学校があり、今後設立研修を行うことで残りの学校についても加盟をめざす。</li><li>・ プロジェクトは地域の教育課題を解決することで多くのインパクトを出している。COGESは学校と住民を結びつける役割があり、住民に対する教育の理解の促進に貢献している。</li><li>・ 2009年4月に実施された女子就学フォーラムにより、女子の就学数が2倍程度となる地域も確認された。女子の教育は早婚、衛生、栄養改善に大きく貢献できる。</li><li>・ 活動計画表、総括表が提出されていないCOGESもあるが、提出が遅れており今後回収可能である。また、計画策定研修を受講していないCOGESもあり、研修の受講により活動計画が提出されない場合もある。研修を実施したが、校長が交代した場合や、COGESメンバーの契約教員が計画を策定できないといったケースがあり、その場合、アドバイスをを行う。</li></ul>

- ・ 活動が計画どおり実施される COGES とそうでない COGES の差は、関係者のコミットメント、校長の意識の違いなどが挙げられる。
- ・ 84 の COGES のうち、75 から分担金を徴収した。残りの COGES からは次回の総会で徴収する。
- ・ COGES からの分担金のみでなく、地方政府、議会からの支援も受けている。
- ・ 各 COGES から年会費として 5,000Fcfa 徴収するが、交通費、キャンペーンを実施する費用が不足している。キャンペーンは地方政府などの支援を受けて実施する計画。また、総会を行うための適切な会議室がない。

#### 近隣フランス語諸国へのインパクト

- ・ ブルキナファソ、マリ、セネガルで研修をした経験から COGES のモデルは普及可能であると考えている。COGES モデルの普及は、地方分権化が進むほど容易になるため、地方自治体がニジェールよりも強いマリでは、進展すると思う。

日 時	2010 年 1 月 21 日 ( 木 ) 11:00 ~ 11:15
場 所	マラディ州 Tessaoua 視学官事務所
面会者	視学官 ( 表敬訪問 )
調査団	國枝専門家、伊藤団員
プロジェクトに対する評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトは女子就学、試験の合格率に大きく貢献した。特に FCC が機能することで各 COGES へのモニタリングが可能となり活動を推進している。</li> <li>・ 月例会議による問題点、成果の共有が有効である。</li> <li>・ フォーラムの実施により、多くの学校で事前入学登録が実施できるようになった。</li> </ul>	

日 時	2010 年 1 月 21 日 ( 木 ) 11:30 ~ 12:30
場 所	マラディ州 Aguié 県 Tchadoua 小学校
面会者	Tchadoua COGES 連合 ( FCC ): 事務局長、副事務局長、会計担当、書記官、女子就学推進担当、メンバー
調査団	國枝専門家、伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加盟 COGES 数 : 69</li> <li>・ 今年の活動計画として、9 回のミーティング ( 総会 : 3 回、定期会合 6 回 ) 及び女子就学キャンペーンの活動の実施を計画している。</li> <li>・ 前回実施した女子就学キャンペーンにより女子の就学率が向上することで、早婚の減少、生活の改善などのインパクトがあった。</li> <li>・ 地方政府、議会からの資金援助を受けている。COGES からの年会費として 3,500Fcfa 徴収しているが、実際に会費を払っている COGES は 38/69 にとどまっている。2 月に実施される総会で年会費を徴収する計画である。一方で他のパートナー ( 地方政府、企業、個人 ) からの支援を期待している。昨年のキャンペーンでは、実施のための経費を COGES からの会費から負担した。一方で車両は視学官事務所から貸与してもらい、ガソリン、運転手については FCC が負担した。</li> <li>・ 活動を計画どおり実施するためには、COGES の会費のみでは困難な状況であり、会費の値上げを提案したが、総会で否認された経緯がある。</li> <li>・ 総会の開催場所、レポート作成のための OA 機器、交通手段、活動実施予算、メンバーの研修機会の不足が今後の課題であり、支援をお願いしたい。</li> </ul>	

- ・ FCC には各 COGES からの問題解決のための手段が蓄積される。女子の就学に関して同様の問題が起きている COGES の経験を用いて、FCC があるコミュニティの問題を解決した事例がある。

日 時	2010 年 1 月 21 日 (木) 12:30 ~ 13:00
場 所	マラディ州 Aguié 県 Zabon Mousso 小学校
面会者	COGES メンバー (7 名) 村長
調査団	國枝専門家、伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒数 : 330 名 (女子 138 名) 教員数 : 7 名 (契約教員 6 名)</li> <li>・ キャンペーン実施の結果、昨年就学したグレード 1 では女子 47 名、男子 22 名と女生徒の方が多くなっている。2007-2008 年の女生徒の数は 68 名/298 名、一方で 2009-2010 年は 138 名/330 名と女生徒が 2 倍程度増加した。</li> <li>・ 分担金を支払うことができない家族があるが、食料、労働力の提供を代わりに行っている。</li> <li>・ 今年の活動として、女子就学キャンペーン、教材・文具の購入、飲料水の整備を計画している。昨年は教室 (わらぶき) の設置、教員研修の支援、補修の支援、試験実施の支援を行った。</li> <li>・ 現在、教室建設 (ブロック) を継続して実施している。</li> </ul> <p>コミュニティ幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES によりコミュニティ幼稚園を 2010 年 1 月より開始した。園児数は 70 名 (女子 34 名) となっている。女性のための識字教育の教室 (わらぶき) を午前中に幼稚園として使用している。JICA、国連児童基金 (UNICEF) 等からの支援はなく、COGES が教員の給与を負担している。</li> <li>・ 幼稚園児を優先的に小学校へ入学させる措置をとる。知識の習得、子どもの保護の点からも親のニーズが高い。</li> </ul>	

日 時	2010 年 1 月 21 日 (木) 16:00 ~ 16:40
場 所	マラディ州 DREN 事務所
面会者	マラディ州 COGES 監督官、COGES 担当官 (Dakoro 県、Guidan Roundji 県、Tibiri Gobir 県)
調査団	國枝専門家、伊藤団員
<p>プロジェクトの評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトは住民、教育行政、地方行政のコミットメントを得ることで教育へのアクセス、質の面で貢献した。特に女子の就学率に関して、2010 年の時点で 77% と他の州と比較しても高い成果を得ることができた。また、生徒が修了試験を受けるための費用負担などを行うことで、修了者数の改善にも貢献している。</li> </ul> <p>推進要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FCC は組織されたばかりであり、今後メンバーの能力強化が求められる。しかしフォーラムの実施に中心的な役割を担っており、よく機能している。</li> <li>・ 能力が足りない COGES 担当官に対して、COGES 監督官が配置替えを行っている。また、新任の担当官に対して他の担当官が経験を共有している。FCC、COGES の活動は県の COGES 担当官のオーナーシップ、能力によるところが大きい。</li> </ul> <p>阻害要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリング時の交通費、宿泊費の不足などの問題を抱えている。このような厳しい状況のなかでも、監督官は「結果を出したら資金はあとからついてくる」といったポリシーをもって、活動に取り組んでいる。結果を示すことで、支援を得ることが可能となる。</li> </ul>	

- ・ 昨年の農業の不作により COGES での分担金の集まりが悪く、COGES からの会費が FCC へ支払われな  
いといった問題があった。
- ・ 活動計画、総括表の提出は COGES のメンバー、特に校長が研修を受講しているか否かが大きな要因  
となる。いくつかの学校でプロジェクトにおいて研修を受けた校長が入れ替わっている。
- ・ 新任の校長へは県の COGES 担当官が研修を実施することになっている。

日 時	2010 年 1 月 22 日 ( 金 ) 10:00 ~ 10:40																												
場 所	タウア州コニ県 Malbaza 小学校																												
面会者	タウア州コニ県 Malbaza FCC 全メンバー																												
調査団	國枝専門家、伊藤団員																												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加盟 COGES 数 : 72</li> </ul> <p>プロジェクトの成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前は校長がすべての役割を担っていたが、COGES の設置により役割が共有でき、学校運営にかか わる問題の多くを解決することができるようになった。</li> <li>・ 女子の就学率に貢献した。</li> </ul> <p>阻害要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES によって能力が異なる。パフォーマンスが低い COGES に対しては FCC が指導を行う。</li> <li>・ 活動計画の提出状況</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>COGES 会員数</th> <th>活動表提出数</th> <th>%</th> <th>活動実施件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2006-2007</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>100</td> <td>2/2</td> </tr> <tr> <td>2007-2008</td> <td>52</td> <td>39</td> <td>75</td> <td>3/3</td> </tr> <tr> <td>2008-2009</td> <td>70</td> <td>64</td> <td>72</td> <td>4/4</td> </tr> <tr> <td>2009-2010</td> <td>72</td> <td>70</td> <td>99</td> <td>2/4( 2 件実施中 )</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動表を提出していない 2 校については、1 校がコーラン学校、他校は校長が着任したばかりとな っている。活動総括表の提出率 80% となっている。</li> <li>・ 2009-2010 年の実績では 17 万 8,000Fcfa が COGES からの会費、12 万 1,000Fcfa が企業などの支援 者からの徴収となっている。地域にはセメント工場及びそれにかかわる企業があり、支援を得てい る。活動当初は支援金を得ることは困難であったが、活動計画表を企業、地方政府関係者に見せて 説得するなどの活動を行った。</li> <li>・ FCC としての活動はプロジェクトが終了したとしても続ける。成果を出した以上、後戻りするこ とはない。</li> <li>・ FCC の会員である 72 の COGES のうち、2 校のコミュニティ幼稚園がある。幼稚園児は 100% 小学校 に入学するため、就学率の向上に寄与している。今後も幼稚園の設置を推進する計画。</li> <li>・ 幼稚園児の親からのニーズは高い、しかし 1,000Fcfa/年支払う必要があり、支払いが困難であるた めに入学を断念する親もいる。</li> </ul>					COGES 会員数	活動表提出数	%	活動実施件数	2006-2007	47	47	100	2/2	2007-2008	52	39	75	3/3	2008-2009	70	64	72	4/4	2009-2010	72	70	99	2/4( 2 件実施中 )
	COGES 会員数	活動表提出数	%	活動実施件数																									
2006-2007	47	47	100	2/2																									
2007-2008	52	39	75	3/3																									
2008-2009	70	64	72	4/4																									
2009-2010	72	70	99	2/4( 2 件実施中 )																									

日 時	2010 年 1 月 22 日 ( 金 ) 11:00 ~ 11:40			
場 所	タウア州コニ県 Tsernaoua コミューン Tsernaoua Quartier 小学校			
面会者	Tsernaoua Quartier COGES メンバー、教員、村長			
調査団	國枝専門家、伊藤団員			



COGES 設立：2004 年
教員数：6
教室数：6
生徒数：男子 132/女子 85（2008-2009） 男子 158/女子 87（2009-2010）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES 設立、活動計画の作成にかかわる研修が有意義であった。</li> <li>・ FCC の支援は有効である。</li> <li>・ 2008 年の計画は 100%実施済み。2010 年の計画は 50%が終了し残り（フェンス）が進行中である。</li> <li>・ 3 つの活動はすべて実施済み。追加の 2 つの活動（わらぶき教室 2 教室建設、コミュニティ幼稚園の建設及び運営）も実施済み。</li> <li>・ 親からの負担金は家庭の状況に応じて 1,500Fcfa、と 1,000Fcfa の 2 段階を設定している。全 217 名の生徒のうち 41 名が支払うことができていない。</li> <li>・ 女子の就学の向上は、早婚、生活改善、衛生の改善に寄与する。</li> <li>・ 就学率の向上には学校のフェンスの設置が重要、学校の安全が守られることで親が安心して子どもを学校に預けることができる。</li> </ul>

日 時	2010 年 1 月 22 日（金）12:45～13:20
場 所	タウア州コニ県 Mounwadata コミューン Mounwadata Medersa 小学校
面会者	Mounwadata Medersa COGES メンバー、教員、村長
調査団	國枝専門家、伊藤団員

COGES 設立：2004 年																								
教員数：6																								
教室数：6																								
生徒数：男子 285/女子 261（2009-2010）																								
活動実施実績：																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007-2008</th> <th>2008-2009</th> <th>2009-2010</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施計画件数</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実績件数</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計画予算（Fcfa）</td> <td>641,800</td> <td>679,350</td> <td>678,000</td> </tr> <tr> <td>徴収額（Fcfa）</td> <td>635,000</td> <td>612,350</td> <td>635,900</td> </tr> <tr> <td>執行額（Fcfa）</td> <td>635,000</td> <td>612,350</td> <td>510,000</td> </tr> </tbody> </table>		2007-2008	2008-2009	2009-2010	実施計画件数	6	11	7	実績件数	6	10	5	計画予算（Fcfa）	641,800	679,350	678,000	徴収額（Fcfa）	635,000	612,350	635,900	執行額（Fcfa）	635,000	612,350	510,000
	2007-2008	2008-2009	2009-2010																					
実施計画件数	6	11	7																					
実績件数	6	10	5																					
計画予算（Fcfa）	641,800	679,350	678,000																					
徴収額（Fcfa）	635,000	612,350	635,900																					
執行額（Fcfa）	635,000	612,350	510,000																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2008-2009 年の活動で予算の不足から実施ができなかったものは、学校のフェンスの設置である。2009-2010 年は計画 7 件中、5 件が実施済み。2 件に関しては今後活動が計画されている。</li> <li>・ 総会において FCC からの情報共有が行われている。FCC のシステムは COGES の活動に不可欠。</li> <li>・ COGES 担当官は COGES の問題に対して適切に対処している。</li> <li>・ 子どもたちの将来のために COGES としての活動を継続したい。</li> <li>・ COGES としての優先課題はフェンスの設置。</li> </ul>																								

日 時	2010 年 1 月 22 日（金）15:00～16:30
場 所	タウア州コニ県視学官事務所
面会者	タウア州 DREN 局長、州視学官、県視学官（コニ県、レイラ県、キエタ県）
調査団	伊藤団員

- ・ 局長として着任 1 カ月であるが、EPT のプロジェクトは以前から知っており高く評価している。教育分野のドナーからの介入で最も有効なものである。
- ・ 女子入学及び残存キャンペーンにおける住民への啓発と行政のコミットメントを引き出したことにより、女子就学の向上とドロップアウトを減らすことが可能となった。
- ・ 視学官会議及び COGES 担当官会議の定期的な開催、コミュニティ幼稚園の設立といった成果をプロジェクトは達成した。COGES が機能することで視学官の学校管理の監督にかかわる業務が軽減された。
- ・ COGES の機能化には校長への啓発が重要。校長が交代した場合、COGES にかかわる再研修を実施することが大切。
- ・ 視学会議は視学官の COGES への関与の増大に寄与している。会議によって視学官のプロジェクトへのコミットメントを引き出した。
- ・ フォーラムの成功は自治体、市長、議員、伝統的指導者の巻き込みが重要な要因。
- ・ COGES の活動は州を挙げて取り組む、多くの成果を出しており、後戻りはできない。現在のところ、中央から州へのモニタリング用の経費が遅配なく支払われている。
- ・ 県視学官へのモニタリング経費は州から分配される。2008 年には中央のコモンバスケットから指導主事用のモニタリング経費が支払われたが、あくまで一時的な措置に過ぎず、現在は州から支払われている。
- ・ 教員によるストライキはプロジェクトの直接的な活動に影響を与えてはいない。一方で授業時間が短くなることで教育の質には影響する。
- ・ 車両は継続的に整備される必要がある。以前 EPT から供与された車両の修理をお願いしたい。

日 時	2010 年 1 月 22 日 ( 金 ) 16:30 ~ 17:30
場 所	タウア州コニ県視学官事務所
面会者	タウア州 COGES 監督官、コニ県 & モルバザ県 COGES 担当官
調査団	伊藤団員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2003 年フェーズ の当初から COGES 監督官としてプロジェクトに携わっている。プロジェクトによってタウア州の教育指標は大きく改善した。特に女子就学の改善にプロジェクトは貢献している。</li> <li>・ 2008 年は女子就学向上のためのフォーラムを実施した。一方で 2009 年は入学した生徒の在籍率の向上フォーラムを実施した。2009 年のキャンペーンにおいても啓発や事前入学登録を実施したが、より在籍率の向上に焦点を当てた活動となっている。成果を測定するためにグレード 1 とグレード 6 の年初、修了時の生徒数の比較を行った。</li> <li>・ 半年に 1 度、ニアメにおいて他州への経験共有セミナーを実施しており、タウアでの活動内容が共有されている。</li> <li>・ COGES 担当官へのモニタリングは月例会議を通じて行う。月例会議では、COGES 活動の評価、問題解決を議論する。FCC の会費の徴収にかかわる問題などについて月例会議を通して議論し、解決策を検討している。</li> <li>・ フォーラムを県レベルでも実施したい。州レベルの問題は必ずしも県レベルでの課題であるといえない。また、県レベルでの自治体、伝統的リーダーなどの関係者のプロジェクトへの巻き込みが可能となり、活動がより効果的に実施可能となる。</li> <li>・ 2009 年にモルバザ県とコニ県が分割された。もともとモルバザ県側のオーナーシップが高かったこともあり、分割後、一時的にコニ県的女子就学にかかわる指標が低下した。</li> <li>・ 地域によってフォーラムの成果は限定される。遊牧民が多い北部での啓発活動は困難である。</li> </ul>

- ・ 総括表の提出ができない理由として、地域によっては雨が降る農耕期に総会を開催できないケースがあり、総括表が回収できないといった状況が生じている。
- ・ 活動は COGES へのモニタリングにとどまらず、FCC、COGES から問題が発生した際に呼び出しがかかる。このような状況への対応として交通費の不足といった問題が常にあるが、プロジェクトの支援により活動が継続されている。今後もプロジェクトの継続を期待している。
- ・ 多くのコミュニティ幼稚園が設立されたことで満足している。コミュニティ幼稚園の普及が、初等教育の就学率の改善に貢献している。
- ・ コミュニティ幼稚園の教員には、住民からの徴収金により、およそ 3 万 Fcfa/月支払っている。教員となる条件として中卒があり、校長の妻が採用されるケースも多い。

日 時	2010 年 1 月 22 日 ( 金 ) 19:00 ~ 21:00
場 所	タウアのホテル
面会者	青年海外協力隊員 ( 村落開発 )
調査団	國枝専門家、伊藤団員
<p>APP 活動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES を活用した生産実習活動 ( APP ) を前任者から引き継いだ。14 校を対象としているが、定期的に APP が実施されている学校は 1 校のみである。この 1 校では家庭菜園が行われている。</li> <li>・ APP の活動や機能する COGES は校長のやる気に左右されていると思われる。</li> <li>・ 治安上の制約もあり、活動地域が限定されている。</li> <li>・ 学校レベルでの COGES 会合にも参加するが、議論が盛り上がる COGES、議論が行われず、一部のメンバーが会議を取り仕切る COGES など COGES 間に違いが見られる。</li> <li>・ APP 活動を始めるにあたって、COGES 担当官と各学校を巡回した。担当官はとても積極的に活動に取り組んでいる。一方で担当官としての本来業務が忙しく、APP 活動まで手が回らないのが現状である。</li> </ul>	

日 時	2010 年 1 月 23 日 ( 土 ) 9:00 ~ 9:40
場 所	タウア州コニ県 Allela 村役場
面会者	Allela FCC メンバー
調査団	國枝専門家、伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加盟 COGES 数 : 41、うち 6 校が新たに新設されたため、活動計画策定のための研修をまだ受講していない。1 カ所のコミュニティ幼稚園が設立されている。</li> <li>・ 活動計画は新設校以外の COGES からすべて回収済み。総括表に関しては、活動が完了していない COGES からは提出されていない。</li> <li>・ FCC の活動がすべて実施されていない要因としては、COGES からの会費の徴収が遅れている。または総量が不足している。テーマ課題への活動が優先される。 昨年は不作により活動資金の徴収ができないなどである。</li> <li>・ 会費は COGES 当たり 6,250Fcfa 徴収しており、新設の学校も含めてすべて一律の料金となっている ( COGES 監督官より徴収金額が高いとの指摘あり )。</li> <li>・ COGES からの会費以外に、地方政府、フランスの NGO ( Rail、県内 6 校を対象に教室、教具の支援 ) 及び視学官事務所等からの支援を受けた。70% が会費で 30% が支援者 ( パートナー ) からの徴収となっている。</li> </ul>	

- ・ 女子就学フォーラムによる住民への啓発に関して、いまだに女子の就学に理解を示さない母親は多い。理由として女兒を学校にやるより、家事、農作業に使いたいといった希望をもっている。
- ・ 管轄している学校では、キャンペーンの結果、女子就学率が 15% から 36.7% と向上した。

日 時	2010 年 1 月 25 日 ( 月 ) 13 : 00 ~ 14 : 45
場 所	三浦専門家宅
面会者	三浦専門家
調査団	伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーナーシップや能力の向上のためにフォーラムを行う必要がある。関係者が自らの問題を確認し、それぞれの活動をコミットし、執拗にモニタリングを実施することで、能力の向上に寄与する。</li> <li>・ フォーラムの結果は FCC を通してモニタリングする。成果を確認することができないとその必要性が理解されない。</li> <li>・ マラディでは昨年初めてフォーラムが実施された。初年度は盛り上がりを見せるが、タウアのように結果が停滞または低下するのが通常である。この下げ率を 70% 程度で維持することが課題であるが、ここでもモニタリングが重要となる。</li> <li>・ 活動が通常業務として実施されるようになるまで、3~4 年ぐらいはモニタリングの継続による成果の管理が必要。COGES の機能は校長の能力、オーナーシップによるところが大きい。したがってモニタリングは校長に影響力のある視学官が実施する必要がある。COGES 担当官は地位が低く、FCC を管理できないケースもある。</li> <li>・ FCC は情報の共有、キャンペーンの効果的な実施、パートナーシップの構築のために重要な役割をもつ。</li> <li>・ フォーラムは実施可能性の高い州から優先的に実施し、結果を示す必要があった。</li> <li>・ ザンデルでは成績向上にかかわるフォーラムを実施した。女子就学に問題があるが、関係者が成績向上を取り上げた。</li> <li>・ フォーラムに関して、州レベルのニジェル側関係者のオーナーシップが高く、日本人専門家の関与が減っている。他州の活動を見て、その上をめざした努力が州間で行われている。州によっては、フォーラム参加者の宿を自ら手配するなどの自主的な活動も観察された。</li> <li>・ ドツソでのフォーラムは独自のテーマである中退率の低下が設定され、成果が確認された。</li> <li>・ ニアメは他州と状況が異なり、COGES メンバーである住民代表に地位の高い人物が含まれる場合が多い。また、分担金が多く集まるだけに、政治的な問題が発生するケースがある。女性教員が多く、産休などの人事の変更が生じやすい。</li> <li>・ 世銀との連携に関して、外部から予算を調達する場合、十分に準備期間を設ける必要がある。また、COGES の設置にかかわる研修など活動の根本にかかわる活動での連携は避けるべき。プロジェクト終了後の出口戦略として外部の予算を活用する。プロジェクトの計画段階で世銀の調達に関する認識が必要であった。</li> <li>・ COGES を活性化させるには、校長への影響力をもつ視学官ラインと住民への啓発を行う FCC との双方の能力が強化される必要がある。</li> <li>・ 自立発展を考慮すると、視学官の巻き込みが不可欠である。一方で視学官のモニタリング費用が出せないといった問題もあるが、現場で結果を出して、活動の有効性について既成事実を積み重ねる必要があると考える。また、視学官への COGES についての研修の必要性がある。教員養成、視学官養成研修に COGES に関する内容を盛り込む必要があると考える。</li> <li>・ 中間レビュー以降、プロジェクト内のコミュニケーションの促進のため月 1 回のミーティングを実施するようにしている。</li> </ul>	

- ・ 大統領再選に関して、今後動きがある。選挙のやり直しに関して、欧州連合（EU）は3月初旬を期限として、援助の停止を行う可能性がある。一方で大統領が代われれば大臣が入れ替わる可能性があり、大幅な人事の変更が想定される。幸いプロジェクトは州に重点を置いているため、影響が少ないと思われる。

日 時	2010年1月25日（月）15：00～16：00
場 所	EPT プロジェクト事務所
面会者	ONEN(NGO)スタッフ Ibo Issa 氏
調査団	伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニジェールでは住民参加のプロジェクトが保健、水分野などで多く実施されているが、どれも失敗している。EPT が成功した理由は、民主的選挙を取り入れたことにある。</li> <li>・ 識字率の低い住民に対して、絵を用いた啓発、ロールプレイなどを用いることで分かりやすい研修が実施された。</li> <li>・ FCC は設立されたばかりであり、その能力強化の必要性を感じている。FCC を対象とした研修を実施する必要がある。</li> <li>・ タウアではフォーラムが実施されたにもかかわらず教育指標が低下した理由は、局長に問題があり、ストライキが多発した。また、タウアは教員養成校のキャパシティが300名と他州に比べ低い。700名の教員需要があったが、多くの教員が他州から採用され、地元で採用されなかったモチベーションが低い教員が多い。</li> <li>・ 総会の質の向上のためには、その機会を利用して COGES 担当官への研修を実施する必要がある。</li> <li>・ 過去にマリ、ブルキナファソの EPT の講師として参加した。他国へニジェールの経験を伝えることができることにやりがいを感じる。一方でそれぞれの国に異なる状況があり、全く同じアプローチは使えない。</li> <li>・ プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）指標は高く設定されているが、終了までに達成可能なレベルであると考える。</li> </ul>	

日 時	2010年1月26日（火）10:00～10:30
場 所	EPT プロジェクト事務所
面会者	近藤専門家
調査団	伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視学官会議がフォーラムを実施した州で始められた。ドッソではフォーラム後の会議が開催されない、情報の共有がなされないなどの問題も発生している。</li> <li>・ 会議の開催予定が変更になるケースが多い。1つの会議がずれると他の会議を調整する必要があり、この調整業務に追われている。</li> <li>・ モニタリングの機能を視学官にもたせる動きがあるが、もともとその予算確保が困難であったため FCC によるモニタリングの実施を推進した経緯があり、視学官に戻したときに機能するかは分からない。</li> <li>・ PDM での COGES の記述が少なくなった。政策的に重視されているのか分からない。COGES 推進室は、もともと基礎教育総局の一部署であったが、最近次官（SG）の直轄となった。</li> <li>・ 住民にポテンシャルがあり、いかにそれを引き出せるかがカギとなる。民主的選挙、成果の顕在化で住民の参加が促進される。</li> </ul>	

日 時	2010年2月1日(月) 8:00～8:50
場 所	JICA ニジェール事務所
面会者	三浦専門家、國枝専門家、近藤専門家、西本所長、金田所員
調査団	原団長、梅宮団員、丸山団員、伊藤団員
要旨	<p>終了時評価ミニッツ(M/M)の概要説明に基づき、プロジェクト側の意見について聴取を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視学官は現在各県に2～3名配置されているが、今後国民教育省による人員増加が見込まれている。現在教育省がその役割を検討中。</li> <li>・ コミュニティ幼稚園について小学校の指導主事によるモニタリングを提案している。</li> <li>・ EUによる財政支援が停止すると、視学官、指導主事及び教員への給与の支払いが遅配もしくは停止すると考えられる。その結果、プロジェクトへの影響は避けられない状況にあるといえる。</li> <li>・ ディッファ州での成功要因は、視学官がCOGESに対して学校計画表及び総括表の提出を丹念に呼びかけている点である。</li> <li>・ 視学官及び指導主事に対する能力開発が必要となる。視学官会議の開催にはその予算の確保に難点があるのが現状である。</li> <li>・ SNV(オランダのNGO)の活動が現時点で停止している。その原因はオランダ国内における財政悪化であるという。</li> <li>・ 見返り資金については、ドッソ州において使い込みが懸念されており注意が必要。</li> </ul>

日 時	2010年2月1日(月) 9:00～9:50
場 所	SNV 事務所会議室
面会者	William Stringfellow氏、Mainassara Chekaraou氏
調査団	原団長、梅宮団員、金田所員、Abdou Moussa 所員、丸山団員
要旨	<p>みんなの学校に対する終了時評価の概要説明を行い、SNVとの連携の可能性及びSNVの今後の活動について意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNVの財政問題については、オランダ本国での財政状況の悪化が原因ではない。2009年度に予算執行が計画よりも多かったために、プロジェクト等実施を先送りした。すなわち、予算計画の問題であった。</li> <li>・ SNVとJICAはニジェールの開発において同じ方向性・目的を有している。SNVはみんなの学校をはじめ、その取り組みを高く評価している。例えば、みんなの学校におけるフォーラム・アプローチを通じた女子就学率の改善や教育の質の改善は、SNVとしても関心をもっている。</li> <li>・ SNVはタウアヤザンデルなどにフィールドオフィスを構えている。SNVは教育や保健、農業開発(家畜等)などの専門家を有している。</li> <li>・ JICAと同じく、アカウンタピリティの観点から投入に対する効果・成果の検証がSNVの現在の課題となっている。JICAとの連携に関しても、その連携効果をいかに計測するかという点をどのように解決するかを考えていきたい。例えば、JICAとUNICEFとの連携により、コミュニティ幼稚園の園児数が1万人を超えたが、そのような具体的な指標の改善が効果として計測できるのならば望ましいと考えている。</li> <li>・ SNVは政府機関ではなく、NGOである。したがって、EUによる援助の停止があったとしてもSNVが活動を停止することは特に考えていない。</li> <li>・ SNVの問題意識は、ニジェールの政治体制だけでなく、2004/2005年よりも深刻なものとなると予想される食糧不足問題に対して危機感をもっている。SNVは人道援助機関ではないため食料の配布等は行えないが、食糧不足はプロジェクトの活動にも影響を与えられられる。ニジェール政府は食糧問題を解決するための具体的な政策を決定していないが、近い将来その問題が顕在化することは間違いないと考えている。</li> </ul>

日 時	2010年2月1日(月) 10:10～11:00
場 所	UNICEF 事務所会議室
面会者	Dominique Tallet Brasseur 氏
調査団	原団長、梅宮団員、金田所員、Abdou Moussa 所員、丸山団員
<p>要旨：UNICEF との連携によるコミュニティ幼稚園、ニジェールの政治状況に関する UNICEF の活動への影響について情報収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EPT に対する UNICEF の評価は非常に高い。EPT が教育の質と量（例えば、女子就学数の増加）の改善に果たした役割だけでなく、JICA と UNICEF が連携して展開しているコミュニティ幼稚園は大きなインパクトをコミュニティに対して与えているといえる。</li> <li>・ ニジェールにおける JICA と UNICEF の連携は互いの特徴を生かしあった連携であり、他国と比べても良い事例である。</li> <li>・ コミュニティ幼稚園の実施・展開にあたっては、教員の給与問題、ニジェール全体の財政問題、地方分権化の影響等が懸念事項である。特に教員給与について、政府による支払いが検討されているが懸念している。つまり、現在コミュニティ幼稚園では、当該コミュニティの出身者を教員にしているが、政府雇用になると他地域から配置されることになり、コミュニティによる運営・支援という利点が失われる可能性がある。むしろ政府は COGES か COGES 連合に対して、コミュニティの教員に給与が払えるよう資金を提供すべき。</li> <li>・ 就学前教員を全国に普及するための戦略が必要である。</li> <li>・ UNICEF の支援の今後の方向性は大きく分けて 2 つある。前者は学校運営改善、もう 1 つは Child-Friendly-School である。</li> <li>・ 現在のニジェールの政治状況が UNICEF に与える影響はほとんどないと考えている。財政支援はリスクがあるがプロジェクト支援は継続可能。特に教育分野に関しては、他のドナーの状況にかかわらず、プロジェクトの実施を中止することは考えていない。</li> </ul>	

日 時	2010年2月1日(月) 12:00～12:40
場 所	国民教育省会議室
面会者	国民教育省大臣
調査団	原団長、梅宮団員、丸山団員、西本所長、金田所員、伊藤団員
<p>要旨：プロジェクトより、プロジェクト終了後の資金の調達、フォーラムの制度化、モニタリングにおける視学官の役割について、大臣からの意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視学官への能力強化のための研修はプロジェクトの継続に不可欠であり有効な手段である。研修計画を策定したい。</li> <li>・ フォーラムの有効性は明白である。実際に、フォーラム実施後、女子の入学率が 100%に達した例もあり、財務省にその有効性を示して、国民教育省が予算を確保することは、それほど難しいことではない。今後、どのくらいの頻度でフォーラムを行うのか等をその州の需要に沿って決めていく必要がある。また、地方分権に伴い州の予算が昨年と比べて、2 倍程度増加していることからみても、地方自治体の協力の下、フォーラムを実施していく方向性も考えられる。</li> <li>・ COGES の機能度はそれぞれ異なる。機能しない理由として、従来存在した保護者会の反発、教員の反発、COGES の能力の不足が挙げられる。</li> <li>・ 保護者会は、一般的にはコミュニティの伝統的なリーダーが長を担っていた。COGES により、これらの保護者会のリーダーが疎外感を感じており反対が見られた。しかし現在では、彼らの多くが COGES の役割を理解している。</li> </ul>	

- ・ 教員に関しては、彼らの出席、パフォーマンスをモニターするなど、COGES に管理されるという危惧から、COGES を良く思わない教員組合が多い。教員組合が COGES を受け入れるには時間が必要。
- ・ COGES の更なる能力強化が必要。能力が強化され COGES が結果を出すことで、父母、教員の意識改革が可能となる。
- ・ モニタリングに関しては、教育省の視学官のラインがモニタリングに関与する必要がある。現場レベルでは既に、視学官による COGES へのモニタリングが実施されている。視学官によるモニタリングと COGES 監督官、COGES 担当官によるモニタリングの統一については、調査団より具体的な案を出していきたい。(調査団)

日 時	2010 年 2 月 1 日 ( 月 ) 12:50 ~ 13:15
場 所	国民教育省
面会者	国民教育省次官補
調査団	原団長、梅宮団員、丸山団員、金田所員、伊藤団員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ザンデルでのコミュニティ幼稚園のワークショップに参加した。コミュニティ幼稚園に関しては、そのモニタリング体制が不足していることは認識している。国民教育省がモニタリング戦略を策定する必要がある。</li> <li>・ コミュニティ幼稚園の教員の給与は、コミュニティからの献金で賄われており、全国普及等の際に制度化すると、教員の配置、予算の不足など多くの問題が生じ、住民のニーズに沿った運営ができない。</li> <li>・ COGES メンバーの能力強化が重要である。教育行政を地方分権するうえでの不可欠な課題となっている。</li> <li>・ 各コミュンが活動計画 ( Action Plan ) をもつ必要がある。その実施を COGES が行う。</li> <li>・ 視学官を活動に巻き込む必要があることはプロジェクトの開始時から考えていたことである。視学官のラインに対して資金を投入する必要がある。</li> </ul>

日 時	2010 年 2 月 1 日 ( 月 ) 15:15 ~ 15:40
場 所	フランス開発庁 ( AFD )
面会者	Chargee de Mission Celine Demagny 氏
調査団	原団長、梅宮団員、丸山団員、伊藤団員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の政治状況を受けてドイツ、スウェーデン国際協力開発庁 ( SIDA )、英国、ルクセンブルクなどのドナーはコモンファンドへの資金供与を一時停止するなどしている。EU も財政支援を一時停止している。</li> <li>・ AFD については、フランス政府からまだ対応方針について特に指示などは来ておらず従来どおり。教育分野の協力については継続していく予定。</li> <li>・ 現在、「PADEN」プロジェクトと「EBN ( Basic Education Project )」プロジェクトの 2 案件を実施中。PADEN はプロジェクト型協力とコモンファンドへの拠出の 2 本立て。2005 年からこれまでに 650 万ユーロの支援を行っている。</li> <li>・ 教員給与は、EU による財政支援からではなく、国民教育省独自の予算から支出されている ( したがって EU が本格的に財政支援を停止することになっても、即、給与の支払いがストップすることにはならない )。</li> <li>・ 援助再開の条件としては、複数の指標・条件が設定され、これらが満たされたら再開ということになるだろう。</li> </ul>



- ・ AFD は 2008 年までドナーコミュニティのリーダー（ドナーの取りまとめ役）であったが、2008 年から世銀がこの役を担っている。
- ・ （当方から、AFD と JICA の幹部が昨年協議に続き 2 月にパリで協議をもち、本 EPT プロジェクトにより開発された COGES モデルの展開における両者の連携可能性などを議論する予定であることについて情報共有）

日 時	2010 年 2 月 1 日（月）16:00～16:30
場 所	世界銀行
面会者	Education Specialist Adama Ouedraogo 氏
調査団	原団長、梅宮団員、丸山団員、伊藤団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の政治状況を受けての世界銀行の対応について、世界銀行は Political Institution ではないので、現在の政治状況を受けて援助を取りやめるといったことはない。</li> <li>・ 現行の基礎教育開発支援プロジェクト（PADEB）の終了後に、4 年間で 3,000 万ドルのプロジェクトを計画している。Fast Track Initiative（FTI）が初等教育に焦点を当てていることもあり、同プロジェクトは初等教育後の教育（Post-primary）や職業訓練などを視野に入れる予定。</li> <li>・ また、この 2 つのプロジェクトをつなぐブリッジ（パイプライン）の支援として 800 万ドルのプロジェクトを計画。</li> <li>・ 世界銀行が行っていた School-based management のインパクト評価調査については中止した。</li> <li>・ 2004～2005 年から FTI の下で 1,600 万ドルの資金供与がなされているが、政府の吸収・予算執行能力が低く、多くが残っている状態である。</li> </ul>	

日 時	2010 年 2 月 2 日（火）8:20～9:30
場 所	ニアメ第 4 区サヘル小学校
面会者	ニアメ第 4 区 COGES 連合メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傘下の 89 の COGES のうち COGES 連合のメンバーフィーの支払いがなされたのは 47 の COGES で、一部支払いが停滞している。</li> <li>・ 個々の COGES に運営指導のための訪問を行い問題分析を行っている。80%以上の COGES が機能している。活動計画が策定、承認され実施されているかどうか、機能しているかどうかの判断基準。</li> <li>・ COGES の成果は例えばフェンスを作るなど目に見えるものが多いのに対して、COGES 連合の成果は目に見えにくいので、透明性を確保することが重要。</li> <li>・ COGES 連合は、コミュニティと学校のインターフェースである。コミュニティの代表者もときどき COGES 連合の会合に参加している。</li> <li>・ 他の COGES 連合が総会に参加することもある。また COGES 担当官を通じて情報を得ている。</li> </ul>	

日 時	2010 年 2 月 2 日（火）9:40～10:50
場 所	ニアメ第 3 区アミティエ小学校
面会者	ニアメ第 3 区 COGES 連合メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傘下に 55 の小学校、35 の幼稚園、22 のフレンチ・アラビック学校がある。</li> <li>・ COGES からの支払いが増えている理由は、COGES 連合に対する信頼感や活動の透明性が向上したからであると考えられる。「教育は子どもの将来と福祉、ひいては国の開発に貢献する」というミッションが理解されたことにより信頼感が醸成されている。</li> </ul>	

- ・ 学校活動計画の回収率は93%と高い。
- ・ COGES 連合のためのオフィススペースがないことが課題である。
- ・ 当初フレンチ・アラビック学校で活動計画を提出したのは22校のうち6校のみであったが研修のあとは20校が提出している。
- ・ 第1回総会への参加者数は225名。

日 時	2010年2月2日(火) 11:10～11:50
場 所	ニアメ第1区ヤンタラ第3小学校
面会者	ヤンタラ第3小学校 COGES メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES の導入によって、生徒の学習時間が増加するなどの効果がみられた。また、資金の流れに透明性が出るなど、住民の学校に対する信頼感の醸成に大きく貢献しているといえる。</li> <li>・ 女子生徒が多く就学している。COGES 活動を通じて、学校への理解度が高まったことがその要因であると考えている。</li> <li>・ COGES により教科書が増え、教室が増えたことで教育環境が改善されている。6教室が改築され、1クラス当たり58名から28名まで改善された。</li> <li>・ COGES 連合は、モニタリングと問題の解決に役立っている。</li> <li>・ 家に教科書を持ち帰るようになり、家庭での学習時間も増えている。</li> </ul>	

日 時	2010年2月2日(火) 13:45～14:30
場 所	ニアメ Haussatche 小学校
面会者	ニアメ Haussatche 小学校 COGES メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES 設立以前は contribution の行方が不明であったが、現在は何に使われているかが分かる。</li> <li>・ 女子の就学促進のための最善の方法は母親に対する啓発活動である。学校に行くことで早い時期の結婚を避けることができる。</li> </ul>	

日 時	2010年2月2日(火) 14:50～15:50
場 所	ニアメ特別州 州国民教育事務所
面会者	州国民教育局長
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES の導入により、コミュニティのオーナーシップが向上するなど、その効果は大きいと考えている。</li> <li>・ COGES の設立前後の変化としては、教員の変化(責任感の向上、態度の変容)、親の意識変容、学校活動への参画などがあり、望ましい効果がみられる。</li> <li>・ また、教育統計の改善もみられる。例えば、就学率の向上や教育の質の向上が数値の面から確認できている。</li> </ul>	

日 時	2010年2月3日(水) 8:30～9:40
場 所	ハムダライ・カルティエ(地区)
面会者	ティラベリ州、ハムダライ地区 COGES 連合メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員

- ・ COGES 連合は COGES の意見交換の場として機能している。
- ・ ローカル COGES に対して、新しい年度 (School Year) が開始する前に学校活動計画の作成・提出を、レターを通じて呼びかけている。
- ・ 総括表 (bilan) は、所属 64COGES のうち 24 の COGES から提出があった。提出する COGES の数が少ない理由は、COGES 連合からローカル COGES への伝達の遅れであると考えている。
- ・ COGES 連合の総会 (AG) にはほとんどすべての COGES が参加しているが、一部の COGES は距離が遠いため総会に参加することができなかった (第 1 回は欠席なし。第 2 回は 1 つの COGES、第 3 回は 2 つの COGES が欠席)。
- ・ フォーラムの方針を受け、女子就学の促進キャンペーンを行った。51 の学校を訪問。新しい学年が始まっていないので、キャンペーンの効果を確認できてはいない。
- ・ 40 の COGES がメンバーフィーを支払っている。

日 時	2010 年 2 月 3 日 (水) 10:00 ~ 10:50
場 所	ティラベリ州、ハムダライ・カルティエ (地区) 小学校の COGES
面会者	ハムダライ・カルティエ小学校の COGES メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校活動計画では 6 つの活動を実施した [教室建設、男女別トイレ、移動式黒板、教具、勉強道具 (ノートなど)、教材 (教科書など)]。しかし、教室の質の低さは依然として課題である。</li> <li>・ 2008 年の COGES 設立後の効果としては、生徒数 (就学者数) の増加 (154 名から 222 名に) と教員の増加 (1 名から 10 名に) が挙げられる。</li> <li>・ COGES 運営にあたり大きな問題はない。</li> <li>・ COGES 連合からはさまざまにサポートを受けている。具体的には、COGES の運営に係る有益な情報の提供及び経験の共有である。</li> <li>・ COGES 担当官からのサポートについては、sensitization 及び COGES 運営に係る技術的な支援を中心に受けている。</li> </ul>

日 時	2010 年 2 月 3 日 (水) 11:10 ~ 11:40
場 所	ティラベリ州、ハムダライ地区の視学官事務所
面会者	ハムダライ地区視学官
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、担当地区には契約教員が多く存在する。契約教員は地区への帰属意識も低く、教員の職業に誇りをもっているわけでもないため、モチベーションが低いという課題がある。</li> <li>・ また、中退率の高さもこの地区が抱える課題である。特に今年は 800 名近くの生徒が中退しており、問題は深刻である。その原因は、教師の教え方の問題、食糧不足による引っ越し、親の学校に対する不信感などである。特に、親の学校に対する不信感の解消のためには、何らかの啓発活動が必要であると認識している。</li> <li>・ 視学官と COGES 連合は良い連携関係にある。COGES 連合を通じて確認された各学校における問題点が視学官に報告されている。また、COGES 連合は親の教育に対するオーナーシップを向上し、フォーラムを通じて就学児童数の増加を実現している。</li> </ul>

日 時	2010年2月3日(水) 13:40~14:50
場 所	ティラベリ州、ンドゥンガ地区
面会者	ンドゥンガ地区 COGES 連合メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES 連合が設立して間もないため(1年前に設立)、自身の能力強化等の研修が必要である。</li> <li>・ フォーラムの方針であるキャンペーンは女子就学の促進であるが、必ずしも促進きれていない面もある。特に女子は家庭での家事手伝いや食料集めなどが期待されているなど、就学を妨げる要因が多数存在するためである。</li> <li>・ 所属する COGES のなかには COGES 連合への参加料を支払うことが困難な COGES もあるなど、課題も散見される。</li> <li>・ コミューン、米販売会社、個人からの寄付も受けている。</li> <li>・ COGES 連合とローカル COGES の関係性については、担当地区を2つに分けて管理している。個別の COGES への訪問も必要に応じて行っている(月1回程度)。</li> <li>・ 次回の総会には近隣の他の COGES 連合も招待し情報共有・意見交換をしたいと考えている。</li> </ul>	

日 時	2010年2月3日(水) 15:00~15:30
場 所	ティラベリ州、ンドゥンガ地区
面会者	ンドゥンガ小学校 COGES メンバー
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES によって教室が改築され、その結果就学児童数が増えるなど、COGES の設立・運営に伴う成果が出ている。</li> <li>・ COGES では中退した子どもの親に対して、中退の理由の聞き取りや説得を行っている。</li> </ul>	

日 時	2010年2月3日(水) 15:30~16:30
場 所	ティラベリ州、ンドゥンガ地区視学官事務所
面会者	ンドゥンガ地区視学官、COGES 担当官、指導主事
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COGES のモニタリングに関し、視学官のタームズ・オブ・レファレンス(TOR)に新たに付与することは可能であると考えている。</li> <li>・ 現在、ンドゥンガ地区には11の COGES 連合と約400校の小学校が存在する。5名の視学官、11名の教育指導主事(Sector Advisor)、1名の COGES 担当官でカバーしている。</li> <li>・ 教育指導主事が COGES のモニタリングを行う場合には、モニタリングのための能力強化研修が必要。</li> </ul>	

日 時	2010年2月5日(金) 15:00~16:00
場 所	国民教育省就学前教育局
面会者	就学前教育局長
調査団	原団長、梅宮団員、伊藤団員、丸山団員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の部署は、以前は課(Division)であったが、2年前に局(Direction)に格上げされるなど、その役割に対する期待が高まってきている。自身は2009年9月から局長をしている。</li> <li>・ 視学官事務所はかつて全国で4事務所であったが、現在は5つ増設されているため、合計9事務所となっている。</li> </ul>	

- ・ 公的な就学前教育の登録料は以前は1年当たりおよそ6,000Fcfaが必要であったが、現在は都市部で2,000Fcfa、農村部で1,000Fcfaとなっている。
- ・ 政府のみで就学前教育の需要に応えるのは不可能であり、コミュニティ幼稚園は、就学前教育の拡充のための重要な代替手段である。
- ・ 終了時評価の調査団による提言については、コミュニティ幼稚園の戦略策定の必要性を感じている。今後は、コミュニティ幼稚園の普遍化（universalize）をめざしていきたいと考えている。
- ・ 幼稚園教員は各コミュニティに選ばれている。幼稚園教員の訓練・研修については、255名の教員が研修を受講している。
- ・ 現在、世界銀行により、就学前教育の現況調査や国家政策のアクションプラン策定などの3つの調査研究が行われている。

日 時	2010年2月8日（月）13:00～14:30
場 所	ニアメ市内レストラン（昼食会）
面会者	Ousmane Samba Mamadou 国民教育省大臣、Hamidou Soumana Diallo 次官補、Marou Amadou 基礎教育総局長、Damana Isaka COGES 推進室長
調査団	原団長、西本所長、飯村中西部アフリカ第二課長、梅宮団員、三浦専門家、國枝専門家、金田所員、伊藤団員、丸山団員

<プロジェクトについて>

みんなの学校プロジェクトをはじめ JICA が他のドナーの援助と違うところは、自立発展性を重視しているところと、現場からの発想ということである。他のドナーの援助プロジェクトのほとんどすべては、活動期間の成果を維持できたところはない。一方、日本の支援によるみんなの学校プロジェクトは、ニジェール自身が自分たちでできることで、すぐに結果がでるような活動を試行し、それを技術移転してくれている。COGES 連合や、特に視学官会議や、フォーラム・アプローチがその良い例である。視学官会議の報告書は毎月、私に届き、それにより現場で何が起きているのか、戦略を考える源となっている。

<世銀との関係>

世銀の政策は、他の国の例をそのまま移転する方式なので、現場での弊害が多い。世銀の提言に沿って導入した契約教員の例がその典型的な例だ。教員給与の予算に占める割合を削減するために、導入を提言されたが、実施した結果、現在は教員の8割を契約教員が占めるようになり、彼らの問題が、ニジェールの教育開発の弊害として最たるものになっている。まず、その質、モチベーションの低さ等は、ニジェールの教育開発の最大の問題である。また、学校レベルへの権限の委譲であるが、5、6年前に行った補助金では、補助金の供与が、機能していた COGES をだめにした。補助金の横領で逮捕者も出ている。大事なことは、試行期間を設け、問題点と教訓を洗い出し、最善の形をつくりだしたうえで、普及していくことだ。このような漸進主義も、みんなの学校プロジェクトが身をもって示してくれた。

<補助金パイロット活動>

補助金についても、漸進主義で行いたい。まず、小地域で、パイロット的な活動を行い、その結果をもって、広げていきたいと考えている。

